



# CLA

取扱説明書



Mercedes-Benz

## マーク


この説明書には以下のマークがあります。


### 警告

警告ステッカーには、お客様や他の乗員などの健康または生命を危険にさらすおそれのある事項について記載されています。

### 環境に関する注意

環境に関する注意は、環境を意識した行動や廃棄についての情報を提供しています。

 車両の損傷につながる危険を喚起する、機材の損傷に関する注意です。

 これらのマークは、お客様の助けになるような、便利な操作方法や詳細情報を示しています。

▶ このマークは、お客様に従っていただきたい操作を示しています。

▶ 連続しているマークは、いくつかのステップがある操作を示しています。

(▷ ページ) このマークは、項目についての詳細情報がある場所を示しています。

▷▷ このマークは次のページに続く警告または操作を示しています。

**ディスプレイ** この表記は、マルチファンクションディスプレイ/COMANDディスプレイのメッセージを示しています。

車両のソフトウェア部品は © 2005 The FreeType Project <http://www.freetype.org> の著作権により保護されています。 All rights reserved.

## メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称はオプションや仕様により異なる場合があります。

この取扱説明書のイラストは主に左ハンドル車のものを使用しています。右ハンドル車では、車両の部品の配置や位置、そして操作方法が異なる場合がありますので、ご注意ください。

取扱説明書には 100 km/h を上回る車両速度での性能データおよび車両状況も記載されています。ただし、公道を走行するときは常に、その場所で適用される法定速度または制限速度を遵守してください。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

以下のものは、車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 装備付属の補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべての書類をお渡しください。

Daimler AGの技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社



さくいん .....	4	各部の名称 .....	25
概要 .....	20	安全性 .....	35
		オープン/クローズ .....	75
		シート、ステアリングとミラー .....	95
		ライトおよびフロントワイパー ..	109
		エアコンディショナー .....	127
		走行と駐車 .....	143
		マルチファンクションディスプレイと表示 .....	207
		収納と機能 .....	277
		メンテナンスおよび手入れ .....	291
		万一のとき .....	309
		ホイールとタイヤ .....	331
		サービスデータ .....	349

## あ

## アクティブパーキングアシスト

機能 / 注意事項.....	191
重要な安全上の注意.....	191
中止.....	196
駐車.....	193
駐車スペースからの退出.....	195
駐車スペースの検知.....	192
ディスプレイメッセージ.....	254

## アクティブライトシステム.....114

## アシスト画面(マルチファンクションディスプレイ).....219

## アシストメニュー(マルチファンクションディスプレイ).....218

## アダプティブハイビームアシスト

機能/注意.....	115
作動/解除(マルチファンクションディスプレイ).....	223
作動と解除.....	116
ディスプレイメッセージ.....	248

## アダプティブブレーキ.....71

## アダプティブブレーキアシスト

機能/注意.....	64
ディスプレイメッセージ.....	242

## アダプティブブレーキライト.....66

## アテンションアシスト

機能/注意.....	200
設定/解除.....	220
ディスプレイメッセージ.....	252

## 安全

子供を乗せるとき.....	48
---------------	----

## 安全システム

チャイルドセーフティシート.....	48
参照 走行安全装備	

## アンチロック・ブレーキング・システム

参照 ABS(アンチロック・ブレーキング・システム)
----------------------------

## アンビエントライト

照度の設定(マルチファンクションディスプレイ).....	224
------------------------------	-----

## イグニッションロック

参照 キーの位置
----------

## イモビライザー.....72

## インジケーター

参照 方向指示灯
----------

## インテリジェントライトシステム

オン/オフ.....	222
概要.....	114
ディスプレイメッセージ.....	247
ロービームヘッドライトの左側/右側通行の設定.....	223

## ウィンタータイヤ

ウィンタータイヤ.....	335
速度制限(マルチファンクションディスプレイ).....	225

## ウインドウ

清掃.....	303
デフロスター.....	136
参照 サイドウインドウ	

## ウインドウウォッシャー

注意.....	355
補給.....	297

## ウインドウウォッシャー液

参照 ウインドウウォッシャー
----------------

## ウインドウバッグ

機能.....	42
ディスプレイメッセージ.....	244

## ウォッシャー液

ディスプレイメッセージ.....	263
------------------	-----

## ウットトリム(清掃の説明).....306

## 運転席

概要.....	26
---------	----

## 運転席ドア

参照 ドア
-------

## 運転のヒント

一般.....	166
オートマチックトランスミッション.....	154
下り坂の傾斜.....	168
新品のブレーキパッド/ライニング.....	169
スノーチェーン.....	335
ディストロニックプラス.....	183
冬季の走行.....	169
凍結した路面.....	170
凍結防止剤等が撒かれた路面でのブレーキ性能の制限.....	169
慣らし運転について注意事項.....	144
濡れた路面の走行.....	169
ハイドロブレーニング現象.....	169
ブレーキ.....	168

## エアコンディショナー

ウインドウの曇りを取る.....	136
------------------	-----

エアコンディショナー.....129  
 エアコンディショナーの使用  
 についての注意.....129  
 オン/オフ.....132  
 温度の設定.....134  
 クライメートコントロール(左  
 右独立調整).....131  
 クライメートコントロール(左  
 右独立調整)の使用についての  
 注意.....131  
 コンビニエンスオープニング/  
 クロージング(内気循環モード).....138  
 システムの概要.....128  
 重要な安全上の注意.....128  
 ゾーン機能の設定/解除.....135  
 送風口の調整.....140  
 送風配分の選択.....135  
 送風量の調整.....135  
 内気循環モードの作動/解除.....138  
 表示灯.....134  
 フロントウインドウの霜を取る.....136  
 余熱ヒーターのオン/オフ.....139  
 リアデフォグガーの作動/解除.....137  
 リアデフォグガーの不具合.....138  
 ACモード.....133  
 ACモードの不具合.....134  
 AUTOモード.....134

**エアコンディショナーシステム**  
 参照 エアコンディショナー

**エアバッグ**  
 ウインドウバッグ.....42  
 格納場所.....40  
 サイドバッグ.....41  
 作動.....37  
 重要な安全上の注意.....38  
 ニーバッグ.....41  
 フロントエアバッグ(運転席、  
 助手席).....40

**ECO表示**  
 マルチファンクションディス  
 プレイ.....213

**エマージェンシーキー**  
 運転席ドアの解錠.....83  
 機能/注意.....77  
 車両の施錠.....83

**エレクトロニック・スタビリ  
 ティ・プログラム**  
 参照 ESP®(エレクトロニッ  
 ク・スタビリティ・プログラム)

**エンジン**  
 エンジン番号.....351  
 オーバーヒート.....297  
 警告灯(エンジン診断).....273  
 けん引始動(車両).....327  
 作動不良.....150  
 始動時のトラブル.....150  
 ジャンプスタート.....4, 321  
 停止.....164  
 ディスプレイメッセージ.....249  
 ECOスタートストップ機能.....147

**エンジンオイル**  
 エンジンオイル量の点検.....293  
 オイルグレードについての注意.....354  
 温度(マルチファンクション  
 ディスプレイ).....227  
 充填容量.....354  
 ディスプレイメッセージ.....251  
 添加剤.....354  
 粘度.....354  
 補給.....294  
 油量および消費についての注意.....293  
 レベルゲージを使用してオイ  
 ル量を点検する.....294

**エンジン自動始動(ECOスタート  
 ストップ機能).....148**  
**エンジン自動停止(ECOスタート  
 ストップ機能).....148**  
**エンジンジャンプスタート**  
 参照 ジャンプスタート(エンジン)

**エンジンの始動**  
 キー操作.....146

**エンジンの電子制御部品**  
 故障(誤作動).....150

**オーディオシステム**  
 参照 別冊取扱説明書

**オーディオメニュー(マルチファ  
 ンクションディスプレイ).....215**  
**オートマチックトランスミッション**  
 アクセルペダルのポジション.....154  
 運転のヒント.....154  
 エマージェンシーモード.....160  
 エンジンの始動.....146  
 オートマチック走行モード.....157

概要	151
ギアシフト操作	154
キックダウン	155
シフトポジション	154
シフトポジション表示	152, 154
ステアリングパドルシフト	156
セクターレバー	153
走行モード選択スイッチ	155
走行モード表示	152
ダイレクトセレクトレバー	152
ディスプレイメッセージ	259
ドライブポジションの選択	153
トラブル(不具合)	160
ニュートラルの選択	153
上り坂勾配で車両を停車した ままにする	155
パーキングポジションPの選択	152
パーキングポジションPの選択 (AMG車)	154
発進	146
マニュアルギアシフト	157
リバースギアの選択	153
<b>オートマチックトランスミッション のエマージェンシーモード</b>	<b>160</b>
<b>オートマチックヘッドライトモード</b>	<b>110</b>
<b>オートライト</b>	
ディスプレイメッセージ	247
参照 ライト	
<b>オーバーヘッドコントロールユ ニット</b>	<b>33</b>
<b>オイル</b>	
参照 エンジンオイル	
<b>応急用スペアタイヤ</b>	
サービスデータ	348
重要な安全上の注意	346
全体的な注意事項	347
取り外し	347
<b>オドメーター</b>	
参照 トリップメーター	
<b>温度</b>	
エンジンオイル(マルチファン クッションディスプレイ)	227
外気温度	209
設定(エアコン)	134
冷却水	208
冷却水(マルチファンクシ ョンディスプレイ)	227

## か

<b>外気温度計</b>	<b>209</b>
<b>解錠</b>	
車内から(セントラルロックン グスイッチ)	82
非常時の解錠	83
<b>懐中電灯</b>	<b>310</b>
<b>カップホルダー</b>	
重要な安全上の注意	285
センターコンソール	285
リア	286
<b>可変スピードリミッター</b>	
可変機能	173
可変機能の解除	175
機能/注意	173
現在の速度を記憶する	174
重要な安全上の注意	173
選択	174
参照 スピードリミッター	
LIM表示灯	173
<b>環境保護</b>	
全体的な注意事項	20
<b>冠水路の走行(オンロード)</b>	<b>169</b>
<b>寒冷時の走行</b>	
スノーチェーン	335
滑りやすい路面	170
全体的な注意事項	334
<b>キー</b>	
位置(エンジンスイッチ)	145
エマージェンシーキー	77
エンジンの始動	146
コンビニエンスオープニング	
機能	87
コンビニエンスクロージング	
機能	87
重要な安全上の注意	76
設定変更	77
セントラルロックによる施錠/ 開錠	76
ディスプレイメッセージ	263
電池交換	79
電池点検	78
不具合(異常)	80
紛失	80
<b>キーの位置(イグニッションロック)</b>	<b>145</b>
<b>ギアまたはセクターレバー(清 掃の説明)</b>	<b>306</b>

**キックダウン**  
 運転のヒント.....155  
 マニュアルギアシフト.....159  
**救急セット.....310**  
**給油**  
 給油のしかた.....161  
 重要な安全上の注意.....160  
 燃料計.....28  
 参照 燃料  
**距離レコーダー**  
 参照 トリップメーター  
**緊急時点灯機能.....118**  
**空気圧**  
 参照 タイヤ空気圧  
**クルーズコントロール**  
 解除.....173  
 機能/注意.....170  
 クルーズコントロールレバー.....171  
 現在の速度を記憶および維持  
 する.....172  
 作動条件.....171  
 重要な安全上の注意.....171  
 選択.....171  
 走行装備.....170  
 速度の設定.....172  
 ディスプレイメッセージ.....257  
 LIM表示灯.....171  
**グローブボックス.....279**  
**警告灯/表示灯**  
 エンジン診断.....273  
 各部の名称.....29  
 シートベルト.....264  
 車間距離警告.....276  
 助手席エアバッグオフ.....51  
 スポーツハンドリングモード.....269  
 ディストロニック・プラス.....276  
 燃料タンク.....273  
 ブレーキ.....265  
 冷却水.....273  
 ABS.....266  
 ESP®.....268  
 ESP®オフ.....269  
 LIM(可変スピードリミッター)..173  
 LIM(クルーズコントロール).....171  
 LIM(ディストロニックプラス)..177  
 SRS.....272  
**計測(レースタイマー).....228**

**携帯電話**  
 周波数.....350  
 送信出力(最大).....350  
 取り付け.....350  
 メニュー(マルチファンクショ  
 ンディスプレイ).....217  
**警報システム**  
 参照 ATA(盗難防止警報システム)  
**警報システム(ATA)を解除する.....72**  
**けん引**  
 けん引フックの取り付け.....325  
 けん引フックの取り外し.....325  
 重要な安全上の注意.....324  
 フロントアクスルをつり上げ  
 た状態.....326  
 フロントおよびリアが接地し  
 た状態で.....326  
**けん引始動**  
 エンジンエマージェンシース  
 タート.....327  
 重要な安全上の注意.....324  
**けん引による始動**  
 けん引フックの取り付け.....325  
 けん引フックの取り外し.....325  
**けん引防止機能.....73**  
**コーナリングライト**  
 機能/注意.....114  
 電球の交換.....121  
**コーナリングライト機能**  
 ディスプレイメッセージ.....245  
**高圧式ブレーキの使用.....302**  
**後席用シートベルトステータス  
 ンジケーター.....46**  
**故障**  
 参照 パンクしたタイヤ  
 参照 けん引 / けん引始動  
**故障メッセージ**  
 参照 ディスプレイメッセージ  
**故障メッセージを表示させる**  
 参照 ディスプレイメッセージ  
**子供**  
 乗員保護装置.....48  
 乗せるとき.....48  
**小物入れ**  
 アームレスト(下).....280  
 アームレスト(前部).....280  
 運転席および助手席シート下部 280  
 カップホルダー.....285



グローブボックス.....	279	サマータイヤ.....	335
重要な安全上の注意.....	279	サンバイザー.....	286
センターコンソール.....	279	シート	
センターコンソール(リア).....	281	運転席のシートポジション.....	96
メガネホルダー.....	279	シートヒーターのトラブル.....	103
ラゲッジネット.....	281	シートヒーターを使用する.....	101
<b>コリジョンプリベンションアシスト</b>		重要な安全上の注意.....	97
距離警告機能の作動/解除.....	219	調整(手動).....	98
操作 / 注意事項.....	63	調整(電動式).....	99
ディスプレイメッセージ.....	231	調整(パフォーマンスシート).....	101
<b>コリジョンプリベンションアシストプラス</b>		電動ランバーサポートを調整する.....	100
作動 / 解除.....	220	バックレスト(後席)を倒す/起こす.....	282
操作 / 注意事項.....	65	表面の手入れ.....	306
ディスプレイメッセージ.....	241	ヘッドレストの調整.....	99
<b>コンビニエンスオープニング機能.....</b>	<b>87</b>	メモリー機能(設定の記憶).....	107
<b>コンビニエンスオープン/クローズ(内気循環モード).....</b>	<b>138</b>	<b>シートベルト</b>	
<b>コンビニエンスクロージング機能.....</b>	<b>87</b>	運転席および助手席シートベルト.....	45
<b>コンビネーションスイッチ.....</b>	<b>113</b>	解除.....	45
		警告灯.....	264
		警告灯(機能).....	46
		後席用シートベルトステータスインジケータ.....	46
		シートベルト調整の作動/停止(マルチファンクションディスプレイ).....	226
		シートベルトテンショナー.....	47
		重要な安全上の注意点.....	43
		高さ調整.....	45
		着用.....	44
		手入れ.....	307
		ベルトフォースリミッター.....	47
		<b>シートベルトテンショナー</b>	
		機能.....	47
		作動.....	37
		<b>時刻</b>	
		参照 別冊の取扱説明書	
		<b>事故のとき.....</b>	<b>48</b>
		<b>室内センサー.....</b>	<b>73</b>
		<b>指定サービス工場</b>	
		参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場	
<b>サイドトリムパネルの開閉.....</b>	<b>121</b>	<b>始動(エンジン).....</b>	<b>145</b>
<b>サイドバッグ.....</b>	<b>41</b>	<b>自動車</b>	
<b>サイドランプ</b>		参照 車両	
オン / オフの切り替え.....	112		

## さ

## サービス

参照 メンテナンスインジケータ

## サービスセンター

参照 メルセデス・ベンツ指定

サービス工場

## サービスデータ

応急用スペアタイヤ.....
 348 |

タイヤ/ホイール.....
 344 |

容量.....
 351 |

サービスプロダクト

燃料.....
 351 |

ブレーキ液.....
 354 |

サイドウィンドウ

開閉.....
 86 |

コンビニエンスオープニング機能.....
 87 |

コンビニエンスクロージング機能.....
 87 |

重要な安全上の注意.....
 86 |

不具合(異常).....
 88 |

リセット.....
 88 |

サイドトリムパネルの開閉.....
 121 |

サイドバッグ.....
 41 |

サイドランプ

オン / オフの切り替え.....
 112 |

シフトインジケーター(マルチファンクションディスプレイ).....	227	周波数	
シフトポジション表示(DIRECT SELECTレバー).....	152	携帯電話.....	350
車外ライト		無線機.....	350
設定オプション.....	110	乗員安全	
参照 ライト		子供を乗せるとき.....	48
車間距離警告機能		重要な安全上の注意点.....	36
機能/注意.....	63	乗員の安全	
警告灯.....	276	PRE-SAFE®(予期乗員保護).....	42
作動/解除.....	219	消灯遅延機能	
遮光フィルム.....	290	車外ライト(マルチファンクションディスプレイ).....	224
車載工具.....	311	車内ライト.....	224
車台番号		助手席エアバッグオフ	
参照 VIN		トラブル(故障).....	60
ジャッキ		助手席エアバッグオフ表示灯.....	51
収納場所.....	311	診断機の接続部.....	22
使用方法.....	341	スタートストップ機能	
車内ライト		参照 ECOスタートストップ機能	
消灯遅延機能(マルチファンクションディスプレイ).....	224	ステアコントロール.....	71
車両		ステアリング	
運搬.....	327	安全のために.....	103
解錠(キー).....	76	スイッチ(マルチファンクションディスプレイ).....	210
各種の設定.....	221	スイッチの概要.....	30
けん引.....	324	清掃.....	306
けん引始動.....	324	調整(手動).....	103
ジャッキアップ.....	341	ステアリング(ディスプレイメッセージ).....	262
ジャッキダウン.....	344	ステアリングホイール	
車両が動き出さないよう固定する.....	341	パドルシフト.....	156
車両データ.....	356	ストップウォッチ(レースタイマー).....	228
施錠(キー).....	76	スノーチェーン.....	335
装備.....	21	スピードメーター	
正しい使用.....	23	セグメント表示.....	209
駐車.....	166	デジタル.....	213
データ取得.....	23	表示単位の設定.....	221
電子制御部品.....	350	補助スピードメーターのオン/オフ.....	222
発進.....	146	メーターパネル内.....	28
非常時の解錠.....	83	参照 メーターパネル	
非常時の施錠.....	83	スピードリミッター	
車両データ.....	356	スノータイヤ.....	175
車両のメンテナンス		ディスプレイメッセージ.....	257
参照 メンテナンスインジケーター		スポーツハンドリングモード	
車両を運搬する.....	327	警告灯.....	269
ジャンプスタート(エンジン).....	321	スポーツモード	
		作動 / 解除(AMG車).....	69

スライディングルーフ		ABS(アンチロック・ブレーキ ング・システム).....62
参照 パノラミックスライディ ングルーフ		BAS(ブレーキアシスト).....63
スルーローディング.....282		ESP®(エレクトロニック・ス タビリティ・プログラム)....66, 68
施錠		ETS/4ETS(エレクトロニッ クトラクションシステム).....67
参照 セントラルロックシステム		<b>走行距離記録.....212</b>
施錠(ドア)		<b>走行時の注意</b>
車内から(セントラルロック グスイッチ).....82		冠水路の走行(オンロード).....169
非常時の施錠.....83		<b>走行時の注意点</b>
施錠確認シグナル音(マルチファ ンクションディスプレイ).....225		濡れた路面.....168
設定		<b>走行装備</b>
初期化(マルチファンクシ ョンディスプレイ).....227		アクティブパーキングアシスト 191
マルチファンクションディス プレイ.....221		アテンションアシスト.....200
設定変更(キー).....77		可変スピードリミッター.....173
セットアップ画面(マルチファン クションディスプレイ).....227		クルーズコントロール.....170
センサー(日常の手入れ).....304		ディスプレイメッセージ.....252
洗車(手入れ).....301		パークトロンニック.....187
センターコンソール		ブラインドスポットアシスト...201
下部.....32		ホールド機能.....184
上部.....31		リアビューカメラ.....196
セントラルロックシステム		レーススタート(AMG車).....186
車速感応ドアロック(マルチ ファンクションディスプレイ).....225		レーンキーピングアシスト.....203
施錠/解錠(キー使用).....76		<b>走行モード</b>
セントラルロック		オートマチック.....157
参照 セントラルロックシステム		セットアップ画面(マルチファ ンクションディスプレイ).....227
ゾーン機能		表示.....154
スイッチのオン / オフ.....135		表示(ダイレクトセレクトレ バー).....152
走行安全装備		マニュアル.....157
アダプティブブレーキ.....71		<b>走行モード選択スイッチ.....155</b>
アダプティブブレーキアシスト...64		<b>操作安全性</b>
アダプティブブレーキライト.....66		重要な安全上の注意.....21
エレクトロニックブレーキ		<b>操作システム</b>
フォースディストリビューショ ン.....71		参照 マルチファンクション ディスプレイ
概要.....61		<b>送風口</b>
コリジョンプリベンションア シスト.....63		サイド送風口の調整.....140
コリジョンプリベンションア シストプラス.....65		重要な安全上の注意.....140
車間距離警告機能.....63		送風の設定.....140
重要な安全上の注意点.....62		中央送風口の調整.....140
ステアコントロール.....71		リア.....141
		参照 エアコンディショナー
		<b>送風口の設定.....135</b>
		<b>送風量の設定.....135</b>

**速度制限の設定**

参照 可変スピードリミッター

**速度の制御**

参照 クルーズコントロール

**た****タイヤ**

ウィンタータイヤ.....	335
応急用スペアタイヤ.....	346
回転方向.....	340
交換.....	339
サマータイヤ.....	170, 335
重要な安全上の注意.....	332
新品のホイールの取り付け.....	343
タイヤサイズ(データ).....	344
タイヤの交換.....	339
タイヤの取り付け.....	340
タイヤの取り外し.....	343
タイヤのトレッド.....	334
耐用年数.....	334
ディスプレイメッセージ.....	258
点検.....	333
保管.....	340
参照 バンクしたタイヤ	
MOExtendedタイヤ.....	334

**タイヤ空気圧**

指定.....	336
達している(タイヤフィット).....	315
達しない(タイヤフィット).....	315
ディスプレイメッセージ.....	258

**タイヤ空気圧警告**

全体的な注意事項.....	338
---------------	-----

**タイヤ空気圧警告システム**

再起動.....	338
重要な安全上の注意.....	338

**タイヤの取り付け**

ジャッキアップ.....	341
ジャッキダウン.....	344
車両が動き出さないよう固定	
する.....	341
車両の準備.....	340
ホイールの装着.....	343
ホイールの取り外し.....	343

**タイヤフィット.....313****ダイレクトセレクトレバー**参照 オートマチックトランス  
ミッション**タコメーター.....209****ダッシュボード**

参照 メーターパネル

**ダッシュボード照明**

参照 メーターパネル照明

**タンク**

参照 燃料タンク

**チャイルドセーフティシート**

自動検知.....	51
純正.....	58
助手席に装着.....	50
適切な位置.....	55
テザーアンカー.....	53
トラブル(故障).....	60
ISOFIX.....	52

**チャイルドブルーフロック**

重要な安全上の注意.....	60
リアサイドウインドウ.....	61
リアドア.....	61

**駐車**

重要な安全上の注意.....	163
助手席側ドアミラーの位置.....	106
リアビューカメラ.....	196
参照 パークトロンニック	
参照 アクティブパーキングアシスト	

**著作権.....24****データ**

参照 サービスデータ

**テールランプ**

ディスプレイメッセージ.....	246
参照 ライト	

**停止表示板.....310****ディストロニック・プラス**

警告灯.....	276
----------	-----

**ディストロニックプラス**

運転のヒント.....	183
解除.....	181
機能/注意.....	175
クルーズコントロールレバー.....	177
作動条件.....	178
指定最低距離の設定.....	181
重要な安全上の注意.....	176
選択する.....	177
ディスプレイメッセージ.....	255
マルチファンクションディスプレイの表示.....	182

**ディスプレイ(日常の手入れ).....306**

**ディスプレイメッセージ**

安全装備.....	231
エンジン.....	249
キー.....	263
車両.....	259
全体的な注意事項.....	230
走行装備.....	252
タイヤ.....	258
非表示(マルチファンクション ディスプレイ).....	230
メンテナンスインジケータ.....	299
呼び出し(マルチファンクショ ンディスプレイ).....	230
ランプ.....	244

**デイトタイムドライビングライト**

ディスプレイメッセージ.....	247
点灯/消灯(スイッチ).....	110
点灯/消灯(マルチファンクショ ンディスプレイ).....	222

**手入れ**

ウインドウ.....	303
ウッドトリム.....	306
カーペット.....	307
ギア/セレクターレバー.....	306
高圧式スプレーガン.....	302
シート表皮.....	306
シートベルト.....	307
自動洗車機.....	301
車外ライト.....	304
車内.....	306
ステアリング.....	306
センサー.....	304
洗車.....	301
注意.....	300
ディスプレイ.....	306
塗装面.....	302
トリム部品.....	306
プラスチックトリム.....	306
ホイール.....	302
マットペイント.....	303
マフラー.....	305
リアビューカメラ.....	305
ルーフィニング.....	307
ワイパーブレード.....	304

<b>デザアンカー.....</b>	<b>53</b>
<b>デジタルスピードメーター.....</b>	<b>213</b>

**テレビ**

操作(マルチファンクション ディスプレイ).....	216
参照 別冊の取扱説明書	

**添加剤(エンジンオイル).....354****電球**

参照 電球の交換

**電球の交換**

カバー(フロントホイールアー チ)の取り外し/取り付け.....	120
コーナリングライト機能.....	121
重要な安全上の注意.....	118
電球の種類概要.....	119
電球を外す(フロント).....	121
ハイビームヘッドライト.....	121
バックランプ.....	122
ブレーキランプ.....	122
方向指示灯(リア).....	122
リアフォグランプ.....	122
ロービームヘッドライト.....	120

**点検**

参照 メンテナンスインジケータ

**電源ソケット**

使用上の注意.....	288
センターコンソール.....	288
トランク.....	289
リア.....	289

**電子制御部品**

注意.....	350
---------	-----

**電池(キー)**

交換.....	79
重要な安全上の注意.....	78
点検.....	78

**電動ブラインド**

開閉.....	92
パノラミックスライディング ルーフ.....	91

**電話**

着信を受ける.....	217
通話の拒否/終了.....	217
ディスプレイメッセージ.....	262
電話帳からの番号.....	218
メニュー(マルチファンクショ ンディスプレイ).....	217
リダイヤル.....	218

**ドア**

オートマチックロック(マルチファンクションディスプレイ).....	225
車速感応ドアロック(スイッチ).....	83
重要な安全上の注意.....	81
セントラルロックによる施錠/開錠(キー使用).....	76
操作パネル.....	34
ディスプレイメッセージ.....	262
非常時の解錠.....	83
非常時の施錠.....	83
開く(車内から).....	81

**ドアミラー**

格納/展開(自動).....	105
格納/展開(電動).....	105
施錠時の格納(マルチファンクションディスプレイ).....	226
外側に曲げられたとき.....	105
調整.....	104
防眩(自動).....	105
メモリー機能(設定の記憶).....	107
リセット.....	105
リバースポジションの記憶.....	106

**ドアロック**

車速感応.....	83
-----------	----

**盗難防止警報システム**

けん引防止機能.....	73
車内センサー.....	73

**盗難防止システム**

イモビライザー.....	72
ATA(盗難防止警報システム).....	72

**読書灯.....****塗装面(日常の手入れ).....****ドライブシステム**

レーントラッキングパッケージ	201
----------------	-----

**トランク**

開閉(車外からの手動).....	84
車内からの自動開閉.....	85
重要な安全上の注意.....	84
非常時のリリース.....	85
開く(車外から自動).....	85

**トランクの重量(最大).....****トランクフロアボード下の収納ス****ペース.....****トランクリッド**

ディスプレイメッセージ.....	262
開いたときの寸法.....	356

**トランスミッション**

参照 オートマチックトランスミッション

**取扱説明書**

車両装備.....	21
-----------	----

**トリップコンピューター(マルチファンクションディスプレイ).....****トリップメーター**

初期化(マルチファンクションディスプレイ).....	213
呼び出し.....	212

**トリム部品(清掃の説明).....****トレーラーのけん引**

ESP®(エレクトロニック・スタビリティ・プログラム).....	71
----------------------------------	----

**な****内気循環モードの作動および解除..****ナビゲーション**

メニュー(マルチファンクションディスプレイ).....	214
-----------------------------	-----

参照 別冊の取扱説明書

**慣らし運転.....****ニーバッグ.....****荷物固定用リング.....****荷物の積み方.....****燃費(マルチファンクションディスプレイ).....****燃料**

給油.....	160
グレード(ガソリン).....	352
重要な安全上の注意.....	351
消費に関する情報.....	353
走行可能距離の表示.....	213
タンク容量/予備燃料.....	352
添加剤.....	353
燃料計.....	28
燃料消費の表示.....	213
平均燃費.....	212
無鉛ハイオク.....	352
問題があるとき.....	163
AMG車.....	353

**燃料および油脂**

安全に関する重要な注意.....	351
ウォッシャー液.....	355
エンジンオイル.....	354
冷却水(エンジン).....	355

**燃料キャップ**

参照 燃料給油口

**燃料給油口**

施錠/解錠.....161

**燃料容量**

燃料計.....28

**燃料残量**

警告灯.....273

走行可能距離の呼び出し(マル

チファンクションディスプレイ)213

ディスプレイメッセージ.....252

**燃料タンク**

不具合.....163

容量.....352

**は****パーキング**

パーキングブレーキ.....165

**パーキングアシスト**

参照 パークトロニック

**パーキングブレーキ**

警告灯.....272

ディスプレイメッセージ.....235

パーキングブレーキ.....165

**パーキングヘルプ**

アクティブパーキングアシスト 191

参照 ドアミラー

参照 パークトロニック

**パーキングランプ**

ディスプレイメッセージ.....247

点灯/消灯.....112

**パークトロニック**

インジケーター.....189

解除/作動.....189

機能/注意.....187

重要な安全上の注意.....187

センサーの感知範囲.....188

走行装備.....187

不具合(故障).....191

**ハイウェイモード.....115****灰皿.....287****ハイドロブレーキング現象.....169****ハイビームヘッドライト**

ディスプレイメッセージ.....246

電球の交換.....121

点灯/消灯.....113

**バックランプ**

ディスプレイメッセージ.....247

電球の交換.....122

**発進**

オートマチックトランスミッ

ション.....146

**バッテリー(車両)**

ジャンプスタート.....321

充電.....319

重要な安全上の注意事項.....317

ディスプレイメッセージ.....251

電圧.....357

容量.....357

**パドルシフト.....156****パニティミラー(サンバイザー内)..286****パノラミックスライディングルーフ**

開閉.....90

重要な安全上の注意.....89

電動ブラインドの開閉.....92

不具合(故障).....92

リセット.....92

レインクローズ機能.....91

**パワーウィンドウ**

参照 サイドウィンドウ

**パンク**

参照 応急用スペアタイヤ

MOExtendedタイヤ.....312

**パンクしたタイヤ**

車両の準備.....311

タイヤフィット.....313

**ハンドブレーキ**

参照 パーキングブレーキ

**ビークルプレート.....350****ヒーター**

参照 エアコンディショナー

**非常時の解錠**

運転席ドア.....83

車両.....83

**非常時の車両の施錠.....83****非常時のリリース**

トランク.....85

**非常点滅灯**

ディスプレイメッセージ.....263

**ビデオ (DVD).....216****ビデオDVD(マルチファンクショ****ンディスプレイ).....216**

**ヒューズ**

エンジンルーム内のヒューズボックス.....	328
交換の前に.....	328
重要な安全上の注意.....	327
配置表.....	329

**ヒューズボックス**

助手席足元のヒューズボックス	329
----------------	-----

**表示灯**

参照 警告灯/表示灯	
------------	--

**表示灯と警告灯**

燃料残量.....	273
-----------	-----

**ヒルスタートアシスト.....146****フォグライト**

強化機能.....	115
点灯/消灯.....	111

**フューエルリザーブ**

参照 燃料	
-------	--

**ブラインドスポットアシスト**

機能/注意.....	201
作動 / 解除.....	220
ディスプレイメッセージ.....	254

**プラスチックトリム(清掃の説明)..306****ブレーキ**

アダプティブブレーキアシスト..	64
運転のヒント.....	168
警告灯.....	265
重要な安全上の注意.....	168
ディスプレイメッセージ.....	231
パーキングブレーキ.....	165
ブレーキ液(注意).....	354
ABS.....	62
BAS.....	63

**ブレーキアシスト**

参照 BAS(ブレーキアシスト)	
------------------	--

**ブレーキ液**

注意.....	354
ディスプレイメッセージ.....	240

**ブレーキ液量.....298****ブレーキランプ**

アダプティブ.....	66
ディスプレイメッセージ.....	245
電球の交換.....	122

**フロアマット.....289****フロントウインドウ**

参照 ウインドウ	
----------	--

**フロントフォグランプ**

ディスプレイメッセージ.....	246
------------------	-----

**フロントワイパー**

不具合.....	125
----------	-----

**分割可倒式シート.....281****ヘッドライト**

ウォッシャー(注記).....	355
ウォッシャーシステム(機能)....	114
ウォッシャーの補給.....	297
くもり.....	117
参照 オートマチックヘッドラ イトモード	

**ヘッドライト光軸の調整.....112****ヘッドレスト**

調整.....	99
調整(機械的).....	99
調整(電動式).....	100
調整(リア).....	100
取り外し/取り付け(リア).....	100

**ベルト**

参照 シートベルト	
-----------	--

**ベルトフォースリミッター**

機能.....	47
作動.....	47

**ホールド機能**

解除.....	185
機能/注意.....	185
ディスプレイメッセージ.....	252

**ホイール**

交換/ローテーション.....	339
締め付けトルク.....	344
重要な安全上の注意.....	332
清掃.....	302
清掃(警告の注意).....	340
タイヤの交換.....	339
点検.....	333
ホイールサイズ/タイヤサイズ..	344
保管.....	340

**ホイールボルトの締め付けトルク..344****方向指示灯**

ディスプレイメッセージ.....	245
電球の交換(フロント).....	121
電球の交換(リア).....	122
点灯/消灯.....	113

**保護システム**

参照 SRS(乗員保護補助装置)	
------------------	--

**補充**

AMG車についての注意.....	353
------------------	-----

**補助スピードメーター.....222**



**補助保護システム**

参照 SRS(乗員保護補助装置)

**ボンネット**

重要な安全上の注意.....	292
ディスプレイメッセージ.....	262
閉じる.....	293
開く.....	292

**ま**

マットペイント(日常の手入れ).....303

マフラー(手入れ).....305

**マルチファンクションステアリング**

概要.....30

**マルチファンクションステアリン****グホイール**

マルチファンクションディスプレイの操作.....	210
--------------------------	-----

**マルチファンクションディスプレイ**

アシストメニュー.....	218
安全に関する重要事項.....	208
オーディオメニュー.....	215
機能/注意.....	211
基本画面.....	212
コンフォートサブメニュー.....	226
サブメーター.....	222
車両サブメニュー.....	225
設定初期化サブメニュー.....	227
設定メニュー.....	221
操作.....	210
ディストロニックプラス.....	182
ディスプレイメッセージ.....	230
テレビの操作.....	216
点検メッセージの表示.....	300
トリップメニュー.....	212
ナビゲーションメニュー.....	214
ビデオDVDの操作.....	216
メーターパネルサブメニュー.....	221
メッセージの記憶.....	230
メニューの概要.....	211
メンテナンスメニュー.....	221
ライトサブメニュー.....	222
レースタイマー.....	228
AMGメニュー.....	227
TELメニュー.....	217

**ミラー**

参照 ルームミラー

参照 ドアミラー

参照 バニティミラー (サンバイザー内)

**無線機**

周波数.....	350
送信出力(最大).....	350
取り付け.....	350

**メーターパネル**

設定.....	221
各部の名称.....	28
警告灯/表示灯.....	29

メーターパネル照明.....208

メガネホルダー.....279

**メッセージ**

参照 ディスプレイメッセージ

メッセージの記憶(マルチファンクションディスプレイ).....230

メモリーカード(オーディオ).....216

メモリー機能.....107

メルセデス・ベンツ指定サービス

工場.....23

メルセデス・ベンツ純正部品.....20

**メンテナンス**

参照 メンテナンスインジケーター

**メンテナンスインジケーター**

注意.....	299
特別な点検が必要なとき.....	300
メンテナンスインジケーターのリセット.....	300
メンテナンスメッセージ.....	299
メンテナンスメッセージの非表示.....	300
メンテナンスメッセージの表示.....	300

メンテナンスメニュー(マルチファンクションディスプレイ).....221

**や**

余熱ヒーター(エアコンディショナー).....139

**予備(燃料タンク)**

参照 燃料

**ら**

ライセンスランプ(ディスプレイメッセージ).....246

<b>ライター</b> .....	287	ランプスイッチ.....	110
<b>ライト</b>		リアフォグランプ.....	111
アダプティブハイビームアシ		ロービームヘッドライト.....	111
スタのオン/オフ.....	223	参照 警告灯/表示灯	
アンビエントライトの照度の		<b>ランプセンサー(ディスプレイメッ</b>	
設定(マルチファンクション		<b>セージ)</b> .....	247
ディスプレイ).....	224	<b>リア</b>	
インテリジェントライトシス		送風口の調整.....	141
テムのオン/オフ.....	222	<b>リアデフォッガー</b>	
車外ライト消灯遅延機能の作		機能のオン/オフ.....	137
動/解除(マルチファンクション		トラブル(故障).....	138
ディスプレイ).....	224	<b>リアビューカメラ</b>	
車内ライト消灯遅延機能の作		オン/オフ.....	197
動/解除.....	224	機能/注意.....	196
ディスプレイメッセージ.....	244	清掃の説明.....	305
デイトタイムドライビングライ		<b>リアフォグライト</b>	
トの点灯/消灯(スイッチ).....	110	点灯/消灯.....	111
デイトタイムドライビングライ		<b>リアフォグランプ</b>	
トの点灯/消灯(マルチファンク		ディスプレイメッセージ.....	246
ションディスプレイ).....	222	電球の交換.....	122
フォグライト.....	111	<b>リアベンチシート</b>	
ヘッドライト光軸.....	112	バックレストを倒す/起こす.....	282
ヘッドライトのパッシング.....	113	<b>リアランプ</b>	
方向指示灯.....	113	参照 ライト	
ロケイターライティングのオ		<b>リバースギア(セレクターレバー)..</b>	153
ン/オフの切り替え(マルチファ		<b>リバース機能</b>	
ンクションディスプレイ).....	224	サイドウインドウ.....	86
参照 ルームライト		電動ブラインド.....	91
参照 電球の交換		パノラミックスライディング	
<b>ラゲッジネット</b> .....	281	ルーフ.....	90
<b>ラゲッジルーム</b> .....	279	<b>ルート(ナビゲーション)</b>	
<b>ラゲッジルームの拡大</b> .....	282	参照 ルート案内(ナビゲーション)	
<b>ラジオ</b>		<b>ルート案内(ナビゲーション)</b> .....	214
放送局の選択.....	215	<b>ルーフの重量(最大)</b> .....	357
参照 別冊の取扱説明書		<b>ルーフライニングとカーペット</b>	
<b>ラップタイム(レースタイマー)</b> .....	228	(清掃の説明).....	307
<b>ランバーサポート</b>		<b>ルーフラック</b> .....	284
電動ランバーサポートの調整.....	100	<b>ルームミラー</b>	
<b>ランプ</b>		防眩(自動).....	105
アクティブライトシステム.....	114	防眩(手動).....	104
コーナリングライト.....	114	<b>ルームライト</b>	
車幅灯.....	112	アンビエントライトの照度の	
パーキングランプ.....	112	設定(マルチファンクション	
ハイウェイモード.....	115	ディスプレイ).....	224
ハイビームヘッドライト.....	113	概要.....	117
非常点滅灯.....	113	緊急時点灯機能.....	118
フォグランプ(強化機能).....	115	読書灯.....	117
ヘッドライトのオートモード.....	110		

ルームランプ	
自動点灯.....	118
手動点灯.....	118
レーススタート(AMG車両).....	186
レースタイマー(マルチファンク ションディスプレイ).....	228
レーダーセンサーシステム	
オン/オフ.....	226
ディスプレイメッセージ.....	252
レンキーピングアシスト	
機能 / 情報.....	203
設定 / 解除.....	220
ディスプレイメッセージ.....	253
レントラッキングパッケージ.....	201
冷却水(エンジン)	
温度(マルチファンクション ディスプレイ).....	227
温度計.....	208
警告灯.....	273
重要な安全上の注意.....	355
定期交換.....	297
ディスプレイメッセージ.....	249
補給.....	296
量の点検.....	295
冷房	
参照 エアコンディショナー	
レインクローズ機能(パノラミック クスライディングルーフ).....	91
ロービームヘッドライト	
ディスプレイメッセージ.....	245
電球の交換.....	120
点灯/消灯.....	111
左側/右側通行の設定.....	223
ロケイターライティング(マルチ ファンクションディスプレイ).....	224
<b>わ</b>	
ワークショップ	
参照 メルセデス・ベンツ指定 サービス工場	
ワイパー	
ディスプレイメッセージ.....	263
ワイパーの操作.....	122
ワイパーブレードの交換.....	123
ワイパーブレード	
交換(フロントウインドウ).....	124
重要な安全上の注意.....	123
清掃.....	304
輪止め.....	341
<b>英字</b>	
4ETS	
参照 ETS/4ETS (エレクトロ ニックトラクションシステム)	
4MATIC (フルタイム4輪駆動).....	187
4MATIC(フルタイム4輪駆動シ ステム)	
ディスプレイメッセージ.....	261
12Vソケット	
参照 電源ソケット	
ABS(アンチロック・ブレーキン グ・システム)	
機能/注意.....	62
警告灯.....	266
重要な安全上の注意.....	62
ディスプレイメッセージ.....	231
ACモードのオン/オフ.....	133
AMG	
パフォーマンスシート.....	101
AMGメニュー(マルチファンク ションディスプレイ).....	227
ATA(盗難防止警報システム)	
機能.....	72
警報の解除.....	72
作動/解除.....	72
BAS(ブレーキアシスト).....	63
COMAND システム	
参照 別冊の取扱説明書	
DVDオーディオ(マルチファンク ションディスプレイ).....	216
EASY-VARIO-PLUSシステム	
ラゲッジルームの拡大.....	282
EBD(エレクトロニックブレーキ フォースディストリビューション)	
機能/注意.....	71
ディスプレイメッセージ.....	235
ECOインジケーター	
機能/注意.....	166
ECOスタートストップ機能	
一般的な注意.....	147
エンジン自動始動.....	148
エンジン自動停止.....	148
概要.....	147

作動/解除.....	149
重要な安全上の注意.....	147
<b>ESP®(エレクトロニック・スタビ リティ・プログラム)</b>	
機能/注意.....	66, 68
警告灯.....	268
作動/解除(AMG車を除く).68, 219	
作動/解除(AMG車).....	69
作動/解除(AMG車を除く).68, 219	
重要な安全上の注意.....	67
全体的な注意事項.....	66
ディスプレイメッセージ.....	231
トレーラー.....	71
AMGメニュー(マルチファンク ションディスプレイ).....	227
ETS/4ETS.....	67
<b>ETS/4ETS(エレクトロニックト ラクションシステム).....</b>	<b>67</b>
<b>ISOFIX 対応チャイルドセーフ ティシート.....</b>	<b>52</b>
<b>LIM表示灯</b>	
可変スピードリミッター.....	173
クルーズコントロール.....	171
ディストロニックプラス.....	177
<b>M+Sタイヤ.....</b>	<b>335</b>
<b>MOExtendedタイヤ.....</b>	<b>312</b>
<b>MP3</b>	
操作.....	216
参照 別冊の取扱説明書	
<b>PRE-SAFE®</b>	
機能の仕方.....	42
<b>PRE-SAFE®システム</b>	
ディスプレイメッセージ.....	242
<b>SRS(乗員保護補助装置)</b>	
警告灯.....	272
警告灯(機能).....	37
ディスプレイメッセージ.....	243
まえがき.....	36
<b>VIN.....</b>	<b>350</b>

## 環境保護

### 全体的な注意事項

#### 🌀 環境に関する注意

Daimlerは、包括的な環境保護の一つとして対策を明確にしています。

それは、地球上で少しずつ使われ、自然と人間双方の要求に注意を促す、我々の存在の源となる自然資源のためです。

環境的に配慮のある方法で車両を操作することも、環境を保護する一助になります。

燃費やエンジン回転、トランスミッション、ブレーキ、タイヤの摩耗具合は、以下の要因に左右されます。

- お客様の車両の使用状況
- お客様の個人的な運転スタイル

お客様は、いずれの要因にも影響を及ぼしています。以下のことにご注意ください。

#### 使用状況

- 短距離の走行は燃料消費を増やす原因となります。
- タイヤの空気圧が常に適正であることを確認してください。
- 不要な重量物は積載しないでください。
- 必要でないときは、ルーフラックを取り外してください。
- 定期的な車両の整備は、環境保護に貢献します。整備の間隔を守ってください。
- 点検整備は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

#### 個人的な運転スタイル

- エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。
- 車両を停止したままのエンジン暖機は行なわないでください。
- 注意して運転し、前方の車両との適切な距離を保持してください。
- 頻繁な、または急な加速やブレーキ操作は避けてください。

- 適切なタイミングでギアを変え、それぞれのギアの使用は、エンジン最高回転数の $\frac{2}{3}$ までにとどめてください。
- 渋滞しているときは、エンジンを停止してください。
- 車両の燃費に注意してください。

## メルセデス・ベンツ純正部品

#### 🌀 環境

Daimler AGでは、新品同様の品質を持つ、リサイクルしたアッセンブリーやパーツも供給しています。新品と同様の保証が適用されます。

**!** 以下の部位の周辺には、エアバッグやシートベルトテンショナー、また乗員保護装置のコントロールユニットやセンサー類が取り付けられています。

- ドア
- ドアピラー
- サイドシル
- シート
- ダッシュボード
- メーターパネル
- センターコンソール

これらの部位にオーディオなどのアクセサリを取り付けしないでください。修理や板金作業を行なわないでください。乗員保護装置の作動効果が損なわれるおそれがあります。

アクセサリを装着するときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼してください。

メルセデス・ベンツにより承認されていない安全性に関わる部品、タイヤおよびホイール、ならびにアクセサリなどを使用する場合は、車両の操作に関する安全性を損なうおそれがあります。ブレーキシステムなどの安全に関連したシステムが故障するおそれがあります。メルセ

デス・ベンツ純正部品または同等の品質の部品のみを使用してください。タイヤやホイール、アクセサリーなどは必ず、車両用に明確に承認された製品のみを使用してください。

メルセデス・ベンツでは、純正部品や交換部品、アクセサリーに対して、それらの信頼性や安全性、適合性が明確に車両に適しているかをテストしています。メルセデス・ベンツでは、継続的に市場調査を行なっていますが、純正でない部品の使用を認めていません。公的に承認されている、またはテストセンターによって独自に承認されている場合でも、メルセデス・ベンツ車でそのような部品の使用については、メルセデス・ベンツは責任を負いかねます。

メルセデス・ベンツ純正部品を注文するときは、常に車台番号 (VIN) (▶ 350 ページ) を確認する必要があります。

## 取扱説明書

### 車両の装備

車両の標準およびオプション装備については、別添をご覧ください。

装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書と整備手帳は重要な書類ですので、車内に保管してください。

## 使用に関する安全性

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行っていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行ってください。

#### ⚠ 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

#### ⚠ 警告

電子部品、ソフトウェア配線への改造は、それらの機能およびその他のネットワークでつながっている構成部品の機能を損なうことがあります。特に、安全にかかわるシステムに影響が生じるおそれがあります。結果として、車両の機能が適切に作動しないあるいは走行安全性が危険にさらされることがあります。けがや事故の危険が高まります。

また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。電気装備および電子機器に関するすべての作業および改造はメルセデス・ベンツ指定サービス工場ですべて行ってください。

❗ 以下のときは、車両が損傷することがあります：

- 高い縁石や舗装されていない道路で車両が立ち往生したとき
- 縁石や道路のくぼみなどの障害物の上を速すぎる速度で走行したとき
- 重量のある障害物がボディ下部やシャーシの部品にぶつかったとき

このような状況では、ボディ、ボディ下部、シャーシ部品、ホイール、タイヤが目に見える損傷はなくとも損傷するおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあり、

事故の場合には、設計されている負担に耐えることができないおそれがあります。

ボディ下部のパネルが損傷しているとき、葉、草または小枝のような可燃性の素材が、ボディ下部とボディ下部パネル間に堆積することがあります。これらの素材が排気システムの熱い部品に長時間触れると、発火するおそれがあります。

そのような場合には、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検および修理を受けてください。走行中に、走行の安全性が損なわれていると感じた場合は、周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

### 診断用接続部

診断機の接続部は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での診断機器のみを接続するように想定されています。

#### ⚠ 警告

機器を診断機の接続部に接続すると、車両システムの操作に影響を与える場合があります。車両の走行安全性が損なわれることがあります。事故の危険性があります。

いかなる機器も車両の診断機の接続部に接続しないでください。

#### ⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルをロックすることがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。ペダルに常に十分な空間があることを確認するために、フロア

マットは操作の妨げにならないように、ペダルから所定の余裕をとってしっかりと装着してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

**!** エンジンが停止しているときに診断機の接続部の装備品を使用すると、スターターバッテリーが放電することがあります。

診断機器を診断機の接続部に接続すると、例えば排出ガスモニター情報のリセットにつながります。これにより、次の主要な点検の際の排出ガス試験の要件に適合しなくなることにつながります。

### 日常点検および点検整備

お客様自身の責任において日常点検と定期検査を行なうことが法律で定められています。それぞれの検査手順についての詳細情報は、整備手帳をご覧ください。

### オートマチックトランスミッションの操作

#### 全体的な注意事項

適切にご使用いただくために、オートマチックトランスミッションを使用する前に、特徴や操作に関連する事項についての理解を深めてください。

"走行および駐車"の指示もご覧ください。(p. 151 ページ)。

### オートマチックトランスミッションの特徴

#### クリーブ現象

エンジンがかかっている状態でトランスミッションがトランスミッションポジション **D** または **R** のときは、駆動輪に動力が伝達されています。その結果、アクセル

ペダルを踏んでいなくても、車両が動き出します。

## メルセデス・ベンツ指定サービス工場

メルセデス・ベンツ指定サービス工場は、車両に必要とされる適切な作業を行なうための、必要とされる専門的な知識、工具および資格があります。これは特に安全に関する作業に当てはまりません。

整備手帳にある注意に従ってください。以下の作業については、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

- 安全に関する作業
- 整備やメンテナンス作業
- 修理作業
- 改造、装着、交換
- 電子部品の作業

メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。

## 正しく使用するために

警告ステッカーをはがすと、お客様や他の方々が危険を認識できないことがあります。警告ステッカーをはがさないでください。

車両を運転しているときは以下の情報に従ってください。

- 本説明書の安全に対する注意点
- 本説明書のサービスデータ
- 道路交通法
- 自動車に関する法律と安全基準

## 車両に記憶されているデータ

車両に装備されている数多くの電子部品はデータメモリーを装備しています。

これらのデータメモリーは、以下に関する技術情報を一時的または恒常的に保存します：

- 車両の作動状態
- 発生した事象
- 故障

一般的に、この技術情報は構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態について記録します。

例えば、以下を含みます：

- フルードレベルなどのシステム構成部品の作動条件
- ホイール回転数/速度、減速、横方向の加速度、アクセルペダルの位置などの車両の状況メッセージおよび個別の構成部品
- ランプ、ブレーキなどの重要なシステム構成部品の故障および異常
- エアバッグの作動、スタビリティコントロールシステムの介入などの特殊な走行状態での車両の反応および作動条件
- 外気温度などの外気条件

このデータは以下の技術的なことにのみ使用されます：

- 故障や不具合の検知および改良の支援
- 事故後などの車両機能の解析
- 車両機能の最適化

データを使用して、車両の動きをたどることはできません。

お客様の車両が整備を受けたときは、この技術情報が発生事象データメモリーおよび故障データメモリーから読み出されます。



例えば以下の整備が含まれます：

- 修理整備
- 整備処理
- 保証
- 品質保証

この情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場の認定された従業員（メーカーを含む）が特別な診断機を使用して読み出します。必要に応じて、より詳細な情報を取得します。

故障が解決されたあと、情報は故障メモリから消去されるか、絶えず上書きされます。

車両を操作する場合、その他の情報と併せて（必要に応じて、該当機関に相談し）、この技術データから個人を特定することができる場合があります。

以下の例が含まれます：

- 事故レポート
- 車両への損傷
- 目撃者証言

お客様と合意したその他の追加機能によって、特定の車両データも車両から取得することができます。追加機能は、非常時の車両位置などを含んでいます。

## 著作権の情報

### 全体的な注意事項

車両やその電子部品に使用されているフリーおよびオープンソースのソフトウェアのライセンスに関する情報は、下記のウェブサイトで入手できます。

<http://www.mercedes-benz.com/opensource>

運転席 .....	26
メーターパネル .....	28
マルチファンクションステアリング .....	30
センターコンソール .....	31
オーバーヘッドコントロールパネル .....	33
ドアコントロールパネル .....	34

## 運転席



機能	ページ
① ステアリングのギアシフトパドル	156
② コンビネーションスイッチ	113
③ メーターパネル	28
④ ホーン	
⑤ DIRECT SELECTレバー	152
⑥ パークトロッピックインジケーター/作動表示灯	187
⑦ オーバーヘッドコントロールパネル	33

機能	ページ
⑧ エアコンディショナー	128
⑨ エンジンスイッチ	145
⑩ ステアリング調整レバー	103
⑪ クルーズコントロールレバー	171
⑫ 電気式パーキングブレーキ	165
⑬ ライトスイッチ	110
⑭ 診断用接続部	22
⑮ ボンネット解除レバー	292



機能	ページ
① オーバーヘッドコントロールパネル	33
② パークトロンニックインジケーター/作動表示灯	187
③ コンビネーションスイッチ	113
④ メーターパネル	28
⑤ ホーン	
⑥ DIRECT SELECTレバー	152
⑦ ステアリングのギアシフトパドル	156

機能	ページ
⑧ ライトスイッチ	110
⑨ 電気式パーキングブレーキ	165
⑩ ボンネット解除レバー	292
⑪ 診断用接続部	22
⑫ エンジンスイッチ	145
⑬ ステアリング調整レバー	103
⑭ クルーズコントロールレバー	171
⑮ エアコンディショナー	128

## メーターパネル

## ディスプレイおよび操作



P54.33-2644-31

	機能	ページ
①	セグメント付きスピードメーター	209
②	マルチファンクションディスプレイ	211
③	タコメーター	209

	機能	ページ
④	冷却水温度	208
⑤	燃料計	
⑥	メーターパネル照明	208

## 警告と表示灯



P54.33-2675-31







機能	ページ
①  ヘッドライト表示灯	111
②  車幅灯	112
③  ハイビームヘッドライト	113
④  ESP <sup>®</sup> 表示灯	268
⑤  電気式パーキングブレーキ (赤色)	272
⑥  電気式パーキングブレーキ (黄色)	272
⑦  車間距離警告灯	276
⑧   方向指示灯	113
⑨  SRS警告灯	272
⑩  シートベルト警告灯	264







機能	ページ
⑪  このランプには機能はありません。	
ESPスポーツモード (AMG車)	269
⑫  冷却水警告灯	273
⑬  リアフォグランプ表示灯	111
⑭  フォグランプ	111
⑮  エンジン警告灯	273
⑯  このランプには機能はありません。	
⑰  燃料残量警告灯	273
⑱  ESP <sup>®</sup> オフ表示灯	268
⑲  ABS警告灯	266
⑳  ブレーキ警告灯	265

マルチファンクションステアリング

各部の名称






	機能	ページ
①	マルチファンクションディスプレイ	211
②	オーディオ/COMANDディスプレイ：別冊の取扱説明書をご覧ください。	
③	 音声認識のオン：別冊取扱説明書をご覧ください	
④	 通話を拒否する、または終了する 電話帳 / 発信履歴を終了する  発信する、または受ける リダイヤルメモリーに切り替える   音量の調整  ミュート	217

	機能	ページ
⑤	  メニューを選択する   サブメニューの選択またはリストのスクロール  選択の確定 ディスプレイメッセージの消去	210 210 210 230
⑥	 戻る 音声認識のオフ：別冊取扱説明書をご覧ください	210

## センターコンソール

## センターコンソール、上部



機能	ページ
① オーディオシステム/ COMANDシステム：別 冊の取扱説明書をご覧 ください。	
②  シートヒーター	101
③  パークトロンニック	187
④  ECOスタートス トップ機能	147

機能	ページ
⑤  非常点滅灯	113
⑥  助手席エア バッグオフ表示灯	51
⑦  走行モード選択	155
 AMG車：ESP®	69



## センターコンソール、下部







	機能	ページ
①	灰皿 ライター 電源ソケット 小物入れ	287 287 288 279
②	小物入れ	279

	機能	ページ
③	カップホルダー	285
④	小物入れ	279
⑤	オーディオ/COMAND コントローラー：別冊取 扱説明書をご覧ください。	

オーバーヘッドコントロールパネル
















	機能	ページ
①	 リアルームライト点灯/消灯の切り替え	118
②	 右側読書灯点灯/消灯の切り替え	117
③	 フロントルームライト消灯/ルームライト自動コントロールのオフ	118
④	 けん引防止機能の解除	73
⑤	ルームミラー	104

	機能	ページ
⑥	 室内センサーの解除	73
⑦	サングラス入れ	279
⑧	 電動ブラインド付きパノラミックスライディングルーフの開閉	90
⑨	 フロントルームライト点灯	118
⑩	 左側読書灯点灯/消灯の切り替え	117

## ドアコントロールパネル



	機能	ページ
①	ドアレバー	81
②	  車両の施錠/解錠	82
③	    シートおよびドアミラー設定の保存	107
④	パワーシートの調整	99
⑤	    ドアミラーの電動調整および格納/展開	104

	機能	ページ
⑥	 サイドウィンドウの開閉	86
⑦	 後席のサイドウィンドウのチャイルドブローフロック機能の設定/解除	61
⑧	 トランクを開く	85

役に立つ情報 .....	36
乗員の安全性 .....	36
子供を乗せるとき .....	48
走行安全システム .....	61
盗難防止システム .....	72

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 23 ページ)

## 乗員の安全性

### 重要な安全上の注意事項

#### 警告

保護システムを改造すると適切に機能しなくなります。システムが設計どおりに乗員を保護できなくなります。事故の際に保護機能を果たせず、また不意に作動することもあります。けがをしますおそれが高まります。

保護システムの部品を改造しないでください。また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。

エアバッグシステムは障害のある方に適合されています。さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

シートベルトやSRS（乗員保護装置）は相互に補完し、連動して作動する乗員保護装置です。(▷ 36 ページ) これらは、あらかじめ定義された種類の事故の状況においてけがの危険性を低減し、乗員の安全性を高めます。ただし、シートベルトとエアバッグは外側から車両に侵入した物に対する保護は一般的には行いません。

乗員保護装置の機能を十分に発揮させるため、以下の点に注意してください。

- シートやヘッドレストを正しく調整してください。(▷ 96 ページ)
- シートベルトを正しく着用してください。(▷ 43 ページ)
- エアバッグが作動した場合に制限なしで膨らむことができる (▷ 38 ページ)
- ステアリングを正しい位置に調整してください。(▷ 103 ページ)
- 保護システムを改造しないでください。


エアバッグは、シートベルトを着用した乗員の保護機能を高めます。ただし、エアバッグはシートベルトを補足する追加的な保護システムに過ぎず、代わりになるものではありません。車両にエアバッグが装備されていても、乗員全員が常に正しくシートベルトを着用する必要があります。エアバッグは、あらゆる種類の事故で作動するわけではありません。たとえば、エアバッグの作動が正しく着用したシートベルトの保護効果を高めると判断されない場合、エアバッグは作動しません。

エアバッグの展開はシートベルトが正しく着用されている場合にのみ、提供する保護を高めることができます。シートベルトは第一に、エアバッグとの最適な位置に車両の乗員を保つ補助になります。第二に、正面衝突などの際に、シートベルトは衝撃を受けた方向に同乗者が移動しないようにします。

### SRS（乗員保護補助装置）

#### 概要

乗員保護装置（SRS）は以下の通りです：

- SRS 警告灯 
- エアバッグ

- エアバッグコントロールユニット（クラッシュセンサー付き）
- フロントシートベルト用およびリアの外側シートベルト用シートベルトテンショナー
- フロントシートベルト用およびリアの外側シートベルト用ベルトフォースリミッター

SRSは、事故の際に乗員が車内の部品にぶつかる危険性を低減します。また事故の際に乗員が受ける衝撃を緩和させます。


## SRS警告灯


### ⚠ 警告

SRSが故障している場合は、大幅な車両の減速を伴う事故の際に、保護システムの構成部品が不意に作動したり、またはまったく作動しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。




ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検および修理を受けてください。

SRSの機能は、エンジンスイッチをオンにしたときやエンジンの作動中に定期的に診断されています。そのため、不具合が発生すると早い時期に検出することができます。

メーターパネルのSRS警告灯  は、イグニッションをオンにすると点灯します。エンジンが始動した後、数秒以内に消灯します。

エンジンがかかっている間にSRS 警告灯  が消灯したときは、SRSの構成部品の作動準備が整っています。

以下のときは、不具合が発生していません。

- イグニッションがオンのときに、SRS警告灯  が点灯しない。
- エンジンを始動して数秒後に、SRS警告灯  が消灯しない。
- エンジンがかかっているときに、SRS警告灯  が再度点灯する。

## シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動

衝突の初期段階で、エアバッグコントロールユニットは、以下のような車両の減速度または加速度に関する重要な物理的データを判断します。

- 衝撃の作用した時間
- 方向
- 衝撃の強さ

これらのデータを判断して、エアバッグコントロールユニットは衝突の初期段階でシートベルトテンショナーを事前に作動させます。

車両の縦方向の減速度または加速度がさらに大きくなると、フロントエアバッグも作動します。

車両には、衝撃の大きさに応じて展開力を2段階に制御するデュアルステージ式フロントエアバッグが装備されています。エアバッグコントロールユニットは、衝突の際に車両の減速度または加速度を評価します。第1段階では、フロントエアバッグは乗員の負傷を防ぐのに最適なガス圧で膨らみます。数ミリ秒以内に第2段階の作動基準値に達すると、フロントエアバッグは最大限に膨らみます。

シートベルトテンショナーとエアバッグの作動基準値は、車両の検知された減速度または加速度に応じて適切に設定されます。このプロセスは事前に実行されます。作動決定プロセスは、衝突の初期段

階で早い時期に行なわれる必要があります。

車両の減速度や加速度、衝撃の方向は、基本的に以下の要素によって決まります。

- 衝突時の衝撃エネルギーの分散度
- 衝撃の角度
- 車体の変形状態
- 車両と衝突した物体の特性

衝突の発生後に検知される要素は、エアバッグの作動条件とは必ずしも一致しません。また、エアバッグを展開させる基準とはなりません。

衝突時にボンネットやフェンダーなど車体が著しく変形していながら、エアバッグが作動しない場合があります。変形しやすい衝撃吸収部品のみが衝突の影響を受け、エアバッグを作動させるのに十分な減速度に達していない場合です。反対に、車体の変形状態が軽度であってもエアバッグが作動することがあります。縦方向のボディメンバーなど高剛性の部品が衝撃を受けたため車両の減速度が十分な高いレベルに達した場合などです。

**i** フロントのシートベルトテンショナーは、フロントシートのシートベルトのプレートが正しくバックルに差し込まれている場合のみ作動させることができます。

**i** 事故の際に、すべてのエアバッグが作動するわけではありません。各エアバッグシステムは、それぞれ独立して作動します。

エアバッグシステムの作動条件は、事故の大きさ（特に車両の減速度または加速度）および以下のような事故の形態に基づいて予測することで決まります。

- 正面衝突
- 側面衝突
- 横転や転覆

## エアバッグ

### 重要な安全上の注意事項


前方にあるアクティブエアバッグによって保護されているシートで、後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。子供に致命的な、または重大なけがを引き起こすことがあります。

#### 警告

エアバッグは補助的な保護をもたらしますが、シートベルトの代わりになるものではありません。

エアバッグの作動が原因による重大な、または致命的なけがの危険性を軽減するため、以下の注意事項をお守りください。

- 妊娠中の女性も含めて、乗員全員が常にシートベルトを正しく着用し、バックレストをできるだけ垂直にしてシートに深く腰かけてください。ヘッドレストは、中央部が目の高さになるように調整してください。
- 身長約 1.5 m 未満または年齢 12 歳未満の子供は常に、適切なチャイルドセーフティシートに固定してください。
- 乗員全員がシート位置を正しく調整し、エアバッグとの間隔をできるだけ確保してください。運転席シートの位置は、車両を安全に運転できるものでなければなりません。運転者の胸部は、運転席エアバッグカバーの中央からできるだけ離れていなければなりません。
- 助手席シートはできるだけ後方に移動してください。特に、助手席にチャイルドセーフティシートを装着して子供を乗せるときは助手席シートを後方に移動することが大切です。
- 車両乗員 - 特に子供 - は、サイドバッグ/ウインドウバッグが展開するウインドウの周辺には頭部を寄りかからせないでください。
- 助手席シートエアバッグが解除されている場合を除いて、後ろ向きのチャイルドセーフティシートを助手席シート

に装着しないでください。チャイルドセーフティシート検知システム装備車の助手席に、センサー付き純正チャイルドセーフティシートを装着する場合は、助手席エアバッグが解除されます。助手席エアバッグオフ表示灯  が点灯し続けます。

車両の助手席にチャイルドセーフティシート検知システムが装備されていない場合や、後ろ向きのチャイルドセーフティシートにチャイルドセーフティシート自動検知用のトランスポンダーがない場合は、必ず後席に装着してください。助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。

- 衣服のポケットに重い物やとがった物を入れないでください。
- 特に走行中は、運転席・助手席フロントエアバッグの格納部にもたれかかりたりしないでください。
- ダッシュボードの上に足をのせないでください。
- ステアリングは外側のみを握ってください。それにより、エアバッグを十分に膨らませることができます。ステアリングの内側を握った状態でエアバッグが作動すると、運転者がけがをするおそれがあります。
- ドアに寄りかからないでください。
- エアバッグ作動範囲と乗員の間に人やペットまた荷物を置かないでください。
- バックレストとドアの間に物を置かないでください。
- アシストグリップやコートフックに、コートハンガーなどのかたい物をかけないでください。
- ドアにカップホルダーなどのアクセサリを取り付けしないでください。

エアバッグは瞬時に作動する必要があるため、エアバッグの作動によりけがをする危険性を排除することは不可能です。

### ⚠ 警告

エアバッグカバーを改造したり、ステッカーのような物を貼る場合は、エアバッグが正しく機能できなくなることがあります。けがをするおそれが高まります。エアバッグカバーを改造したり、またはそれらに物を貼らないでください。

### ⚠ 警告

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。

### ⚠ 警告


エアバッグが作動した後は、エアバッグの部品は熱くなっています。けがの危険性があります。

エアバッグの部品に触れないでください。できるだけすみやかに作動したエアバッグをメルセデス・ベンツ指定サービス工場場で交換してください。

衝突の際にエアバッグが作動すると、乗員の身体の移動を抑えて拘束します。

エアバッグが作動するとき、作動音が聞こえ、空中に少量の白煙が発生することがあります。爆発音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。発生した粉は一般的には健康を害する性質はなく、車内に火災があることを示すものでもありません。この白煙を吸い込むと、ぜんそくや肺疾患のある方は一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。潜在的な呼吸困難を防止するため、安全であればすぐに車両から離れてください。または、ウインドウを開いて新鮮な



空気を車内に取り込んでください。SRS警告灯  が点灯します。

エアバッグの格納場所には、エアバッグのマークが付いています。

**①** エアバッグが作動した後は、車両がまだ走行できる場合でも最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場までけん引してください。



## エアバッグの取付位置

エアバッグ	格納場所
運転席エアバッグ	ステアリングパッド部
助手席エアバッグ	グローブボックス上部のダッシュボード部
運転席ニーバッグ	ステアリング下部のダッシュボードカバー
サイドバッグ	運転席・助手席のシートバックレスト側面 リアシート上部
ウインドウバッグ	Aピラー側方からCピラーのルーフレーム

## フロントエアバッグ

**❗** 助手席シートには重い物を置かないでください。助手席シートに同乗者がいるとシステムが誤って判断する原因になります。衝突の際に助手席側の乗員保護装置が作動して交換する必要があるおそれがあります。

運転席エアバッグ ① はステアリング正面で膨らみ、助手席エアバッグ ② はグローブボックスの正面と上部で膨らみません。

フロントエアバッグは、運転者と乗員の頭部や胸部を保護する効果を高めます。それらは以下のときに作動します。

- 衝突の初期段階で、車両の縦方向に一定以上の高い加速度または減速度を検知したとき。
- エアバッグの作動が、シートベルトの乗員保護機能を高めるとシステムが判断したとき。
- 車内の他のエアバッグの作動に関係なく作動します。

フロントエアバッグの展開時間はシートベルトの使用により異なります。

車両が横転または転覆したときは、フロントエアバッグは通常作動しません。

## 助手席チャイルドセーフティシート検知システム装備車： 助手席エアバッグ ②

は、助手席に乗車しているとシステムが判断したときにのみ作動します。センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯は点灯しません (▶ 51 ページ)。

チャイルドセーフティシートが助手席に装着されている場合、以下のときはセンターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯しません。

- チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダーを内蔵してい

ないチャイルドセーフティシートが装着されているとき、または

- トランスポンダー内蔵チャイルドセーフティシートが正しく装着されていないとき

## 運転席ニーバッグ



運転席ニーバッグ ① はステアリングの下で作動します。運転席ニーバッグは、フロントエアバッグと一緒に作動します。運転席ニーバッグは前面衝突の際に特定の規定値を超えるとフロントエアバッグと一緒に作動するように設計されています。運転席ニーバッグは、正しい位置で着用されたシートベルトと組み合わせられて最適に作動します。

運転席ニーバッグ ① は、運転者の以下のような傷害を軽減して乗員保護効果を高めます。

- 膝のけが
- 大腿部のけが
- 下肢のけが

## サイドバッグ

### ⚠ 警告

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。こ

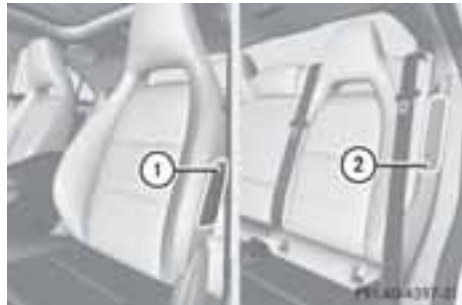
れにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。

### ⚠ 警告

エアバッグを制御するセンサーがドアの内部にあります。ドアまたはドアパネル、ならびに損傷したドアに改造または作業が正しく行われていないと、センサーの機能が損なわれることがあります。したがって、エアバッグは正しく機能しなくなる可能性があります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。けがをす

るおそれが高まります。ドアまたはドアの部品を改造しないでください。ドアまたはドアパネルの作業は常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。



フロントサイドバッグ ① およびリアサイドバッグ ② は外側シートクッション脇で作動します。

作動すると、サイドバッグは前席の乗員の胸部および車両の衝撃が発生した側の乗員の骨盤に補助で保護を行います。ただし、以下は保護しません。

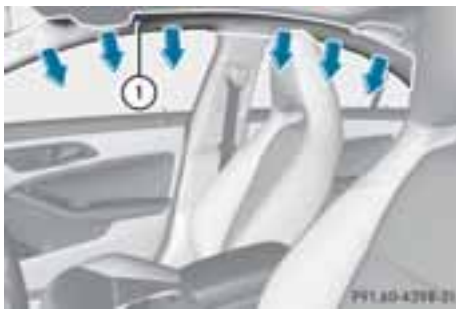
- 頭部
- 頸部
- 腕

サイドバッグは以下のとおり作動します。

- 衝撃を受けた側で作動します。
- 側面衝突などの初期段階で、車両の横方向の加速度または減速度が高くなったとき
- シートベルトの着用に関係なく作動します。
- フロントエアバッグの作動に連動しません。
- シートベルトテンショナーの作動に連動しません。

車両が横転した場合、サイドバッグは通常は作動しません。システムが横方向の車両の高い減速または加速を検知し、サイドバッグの作動によってシートベルトによりもたらされるものに補助的な保護を与えると判断した場合に、サイドバッグは作動します。

## ウインドウバッグ



ウインドウバッグ ① は、車両の衝撃が発生した側の（乗員の胸部や腕ではなく）頭部の保護レベルを高めます。

ウインドウバッグ ① はルーフレーム側面に内蔵され、AピラーからCピラー間の範囲で作動します。

ウインドウバッグ は以下の条件で作動します。

- 側面衝突などの初期段階で、車両の横方向の加速度または減速度が高くなったとき
- 衝撃を受けた側
- 車両が横転または転覆した際に、シートベルトによる乗員保護効果を高めることができるシステムが判断したときは、運転席側と助手席側の両方で作動します。
- シートベルトの着用に関係なく作動します。
- 助手席乗員の有無に関わらず作動します。
- フロントエアバッグの作動に連動しません。

## PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）

### 概要

PRE-SAFE® は、特定の危険な状況で、乗員を保護するために予防的な措置を行います。

### 重要な安全上の注意事項

**!** シートの前後位置を調整するときは、足元やシート後方に物がないことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

車両に PRE-SAFE®システムが装備されていても、事故のときのけがの可能性をなくすことはできません。

常に実際の道路や天候状況に適するように運転スタイルを合わせ、先行車両との間に十分に安全な距離を保ってください。注意して運転してください。

## 機能

PRE-SAFE® は以下のときに作動します。

- BASが作動しているときなど、緊急ブレーキ状態のとき
- 物理的限界を超えて車両の走行姿勢が著しいアンダーステアやオーバーステアになるなど、危険な走行状態になったとき
- **ディストロニック・プラス装備車**：アダプティブブレーキアシストが強力に介入したとき。

PRE-SAFE® は検知した危険な状態に応じて、以下のように作動します。

- フロントシートベルトを引き込み、シートベルトの張力を高めます。
- 車両が横滑りすると、パノラミックスライディングルーフおよびサイドウィンドウが少しの間隙を残して閉じます。
- **メモリー機能付き車両**：助手席シートが好ましくない位置にある場合は調整されます。

事故につながることなく危険な状況が過ぎた場合は、PRE-SAFE® がシートベルトの張力を緩めます。PRE-SAFE® により行なわれたすべての設定が元に戻ります。

シートベルトの張力が緩まないとき

- ▶ 停車中に、バックレスト角度やシートの前後位置を少し動かします。シートベルトの張力が緩み、ロック機構が解除されます。

シートベルト調節は、PRE-SAFE® コンビニエンス機能に内蔵された一部です。シートベルト調整について詳しくは"シートベルト調整"をご覧ください(▶ 45ページ)。

## シートベルト警告灯

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

シートベルトを正しく着用していなかったり、シートベルトがバックルに確実に差し込まれていないと、シートベルトの本来の保護機能が十分に発揮されません。事故のとき、状況によっては乗員が致命的なけがをするおそれがあります。妊娠中の女性も含めて、乗員全員が常にシートベルトを正しく着用し、バックレストをできるだけ垂直にしてシートに深く腰かけてください。ヘッドレストは、中央部が目の高さになるように調整してください。

- シートベルトは身体に密着させ、ねじれないように着用してください。コートなどの厚手の衣類は着用しないでください。肩ベルトは肩の中央にかけてください。絶対に首や脇の下には通さないでください。また、シートベルトを引き上げて上半身に密着させてください。腰ベルトは、腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。必要であれば、ベルトを少し押し下げた後、再び引き戻してたるみを取ってください。
- とがった物やこわれやすい物にベルトストラップをかけないでください。これは特に、メガネ、ペン、鍵などが衣類の中、または表面にあるときがそうです。事故の際にシートベルトが損傷して裂け、運転者や他の乗員がけがをするおそれがあります。
- 各シートベルトは必ず1人の乗員が使用します。絶対に子供を膝の上に座らせて走行しないでください。急な進路変更時やブレーキ時、衝突時に子供を保護することができなくなります。その結果、子供と他の乗員が致命的なけがをするおそれがあります。
- 身長約 150 cm 未満の乗員は、シートベルトを正しく着用することができません。そのため身長約 150 cm 未

満の乗員は、体格に応じた専用の乗員保護装置を使用してください。

- 身長約 150 cm 未満または12歳未満の子供は、シートベルトを正しく着用することができません。そのため、適切なシートの適切なチャイルドセーフティシートに常に固定してください。さらなる情報は、本取扱説明書安全装備の章にある"子供を乗せるとき"をご覧ください。チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着指示に従ってください。
- 乗員が着用しているシートベルトで荷物などを固定しないでください。

### ⚠ 警告

バックレストをできるだけ垂直に近い位置にしないと、シートベルトの保護機能が十分に発揮できません。ブレーキ操作時または事故発生時、シートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などがけがを負うおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。常にシートが垂直に近い位置であることを確認してください。

### ⚠ 警告

以下の場合、シートベルトは意図された保護機能を発揮しないことがあります。

- シートベルトが 損傷している、改造されている、極端に汚れている、漂白されている、または着色されている
- シートベルトのバックルが損傷している、または極端に汚れている
- ベルトテンショナーまたはベルトアンカーが改造されている

事故が起こった際には目には見えない場合でも、たとえばガラスの破片によってシートベルトに損傷していることがあります。改造または損傷したシートベルトは、事故のときなどに裂けたり、または作動しないおそれがあります。改造され

たベルトテンショナーは突然作動したり、または必要なときに作動しないおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

シートベルト、ベルトテンショナー、ベルトアンカーまたは慣性リールを改造しないでください。シートベルトが損傷していない、擦り切れていない、そして清潔であることを確認してください。

メルセデス・ベンツによりお客様の車両専用に承認されたシートベルトのみを使用することを、メルセデス・ベンツは推奨します。

シートベルトは、事故のとき、乗員の身体の移動を最も効果的に抑えるための手段です。これにより、乗員が車内の部品にぶつかるのを防ぎます。

### シートベルトの着用



- ▶ シートを調整し、バックレストをほぼ垂直の位置に動かします。(▶ 96 ページ)
- ▶ シートベルトをベルトアンカー ① からゆっくり引き出します。
- ▶ ねじれがないように、シートベルトの肩の部分を肩の中央に、腰の部分を骨盤にかけます。

- ▶ プレート ② をバックル ③ に差し込みます。
- ▶ 必要であれば、シートベルトを適切な高さに調整します(▶ 45 ページ)。
- ▶ 必要であれば、肩ベルトを上方に引いて、シートベルトを身体に密着させます。

解除スイッチ ④ でのシートベルトの解除に関する情報(▶ 45 ページ)。

### シートベルトの調整

シートベルト自動調整機能は、運転席および助手席シートベルトが乗員の上半身に密着するように、自動的にシートベルトを調整します。

以下のときは、シートベルトを少し引き込みます。

- シートベルトのプレートをバックルに差し込んだ後、イグニッション位置を 2 にしたとき
- イグニッション位置を 2 にした後、シートベルトのプレートをバックルに差し込んだとき

シートベルト調整は、乗員とシートベルトの間にたるみを検知すると、特定の締め付け力を適用します。調整の間は、シートベルトを強くつかまないでください。シートベルト調整は、マルチファンクションディスプレイで選択 / 解除できます(▶ 226 ページ)。

シートベルト調整は、PRE-SAFE® コンビニエンス機能に内蔵された一部です。PRE-SAFE® に関する詳細は、"PRE-SAFE® (予防的な乗員保護システム)" (▶ 42 ページ)をご覧ください。

### シートベルトの高さ調整



フロントシートのベルトの高さを調整することができます。シートベルトの上部が肩の中央にかかるような高さにベルトを調整します。

- ▶ **上げる**：ベルトアンカーをそのまま引き上げます。  
ベルトアンカーはお好みの位置に調整できます。
- ▶ **下げる**：ベルトガイドのリリース ① を押して保持します。
- ▶ そのままベルトアンカーを下にスライドさせます。
- ▶ ベルトガイドのリリース ① をはなし、ベルトガイドがロックされていることを確認します。


### シートベルトの解除


**!** シートベルトが完全に巻き取られていることを確認してください。ベルトが完全に収納されていないと、シートベルトやプレートがドアに挟まれたりシート機構に引っかかることがあります。その結果、ドアやドアトリムパネル、シートベルトを損傷するおそれがあります。損傷したシートベルトは保護機能を果たすことができなくなるため、必ず新品と交換してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。






- ▶ バックル ③ の解除ボタン ④ を押します。
- ▶ シートベルトのプレート ② をベルトガイド ① にスライドして戻します。

### 運転者および助手席乗員のシートベルト警告

メーターパネルのシートベルト警告灯  は、すべての乗員にシートベルトの着用を促します。警告灯は点灯し続けるか点滅します。また、場合によっては警告音も鳴ります。

運転者と助手席乗員がシートベルトを着用すると、シートベルト警告灯  が消灯し、警告音が鳴り止みます。

一部の国のみ：エンジン始動のたびに始動後に約6秒間シートベルト警告灯  が点灯します。それは運転者と助手席乗員がシートベルトを着用しているかどうかにかかわらず、点灯します。運転者と助手席乗員がシートベルトを着用すると、シートベルト警告灯  が消灯します。



**i** シートベルト警告灯  について、詳しくは「メーターパネルの表示灯と警

告灯、シートベルト" (▷ 264 ページ) をご覧ください。

### 後席シートベルトステータスインジケータ



例：後席シートベルトステータスインジケータ

後席用シートベルトステータスインジケータはベルトが着用されている後席を表示します。例では、進行方向に向かって右リアシートの乗員が固定されています。ディスプレイのマーク  は着用しているシートベルトを示します。シートベルトが着用されていない、またはシートに乗車していない場合は、マーク  が表示されます。

後席用シートベルトステータスインジケータは、以下の場合約30秒間マルチファンクションディスプレイに表示されます。

- 発進して速度が約10 km/h に到達した場合
- 走行中に後席の乗員がシートベルトを着用または外した場合
- 誰かが車両に乗る、または降り、車両が再度発進した場合

後席用シートベルトステータスインジケータをただちに解除することもできます (▷ 230 ページ)。

**i** 後席用シートベルト用ステータスインジケータは一部の国でのみ使用することができます。

## シートベルトテンショナー、ベルトフォースリミッター

### ⚠ 警告

作動した火薬式シートベルトテンショナーは作動しなくなり、意図した保護機能を発揮できなくなります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

したがって、作動した火薬式シートベルトテンショナーは、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

**!** 助手席に乗車していない場合は、助手席シートベルトのプレートをバックルに差し込まないでください。衝突の際にシートベルトテンショナーが作動することがあります。

**i** PRE-SAFE® 装備車：電子モーターによって作動するベルトテンショナーは、必要なときごとに作動させることができ、交換の必要はありません。


フロントシートベルトと後席外側のシートベルトには、シートベルトテンショナーとベルトフォースリミッターが装備されています。

シートベルトテンショナーは、衝突時にシートベルトを瞬時に巻き上げ、乗員の身体に密着させる働きをします。

ただし、シートベルトテンショナーは、適切でないシート位置や正しく着用していないシートベルトを補正することはできません。

シートベルトテンショナーは、乗員の上体をバックレストに引き寄せるためのものではありません。


シートベルトテンショナーは、次のような場合に作動します。

- イグニッションがオンである
- 保護システムが作動可能である。"SRS 警告灯  "をご覧ください。(▷ 37 ページ)
- フロントシートベルトの各ベルトのプレートがバックルに確実に差し込まれている

左右リアシートのシートベルトテンショナーは、シートベルトの固定状態に関わらず、個別に作動します。

シートベルトテンショナーは、事故の形態や大きさに応じて次のような場合に作動します。

- 正面衝突または追突の際に、衝突の初期段階で車両の縦方向の減速度または加速度が急激に大きくなった場合
- 側面衝突の際に、衝撃を受けた反対側で車両の横方向の加速度または減速度が急激に大きくなった場合
- 車両が横転または転覆した状況で、追加的な保護をもたらすとシステムが判断したとき

シートベルトテンショナーが作動するときに、作動音が聞こえ、空中に少量の白煙が発生することがあります。爆発音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。発生した粉は一般的には健康を害する性質はなく、車内に火災があることを示すものでもありません。この白煙を吸い込むと、ぜんそくや肺疾患のある方は一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。潜在的な呼吸困難を防止するため、安全であればすぐに車両から離れてください。または、ウインドウを開いて新鮮な空気を車内に取り込んでください。SRS警告灯  が点灯します。

ベルトフォースリミッター付きシートベルトでは、ベルトフォースリミッターが



作動して衝突時に巻き上げたベルトの拘束力を緩め、乗員の身体を加わる負担を軽減します。

フロントシートのベルトフォースリミッターは、減速力の一部となるフロントエアバッグと同期しています。その結果、かかる負荷はより広い範囲に分散されます。

## 事故の後で

### 事故のとき

- ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。
- ▶ 非常点滅灯を点滅させます。
- ▶ パーキングブレーキを効かせます。
- ▶ 周囲の安全を確認して、乗員は車から降りてください。
- ▶ 危険な場所に誰も近づかないようにしてください。フェンスなどで区切った安全な場所に乗員を避難させてください。
- ▶ 適切な場所に停止表示板を置いてください。

高速道路や自動車専用道路で駐停車する場合は、周囲に注意を促すため、停止表示板を置くことが法律で義務付けられています。

### 車が動かなくなったとき

- ▶ DIRECT SELECTレバーを**P**にします。
- ▶ パーキングブレーキを解除します。
- ▶ 安全な場所まで車を押して移動してください。  
必要な場合は、同乗者か付近の人に救援を求めてください。

オートマチックトランスミッションをシフトポジション **N** にできない場合、運

転者と乗員は危険な範囲からただちに離れてください。

**i** イグニッションがオンのときに車輪が回転すると、車両は自動的に施錠されます。そのため、車を押すときやダイナモメーターで性能をテストするときなどは、車外に閉め出されるおそれがあります。

**i** 踏切内で車が動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。緊急を要する場合は、非常信号用具も使用してください。

## 子供を乗せるとき

### チャイルドセーフティシート

#### 重要な安全上の注意事項

#### 警告

急な進路変更時やブレーキ時、衝突時などに子供が致命的なけがをするのを防ぐため、以下の点に注意してください。

- 身長が1.50 m 未満で年齢が12歳未満の子供は、適切な車両のシートの特別なチャイルドセーフティシートに常に固定してください。シートベルトは子供向けに設計されていないため、このことが必要となります。
- 助手席シートに後ろ向きチャイルドセーフティシートで子供を固定して運搬しないでください。例外：車両にチャイルドセーフティシートセンサー（助手席）が装備されていて、チャイルドセーフティシート用トランスポンダー装備のチャイルドセーフティシートに子供が固定されている場合。
- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、車両のシートベルトアウトレットのショルダーシートベルトをチャイルドセーフティシートのショルダーシートベルト

ガイドの前部に向かって通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。

- 絶対に子供を膝の上に座らせて走行しないでください。急な進路変更時や急ブレーキ時、衝突時に発生する力により、子供を保護することができなくなります。子供が車内の部品に激しくぶつけられ、致命的なけがをされるおそれがあります。

### ⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが適切なシート位置に正しく取り付けられていない場合は、意図した保護機能を発揮することができません。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに子供を保護することができません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示およびチャイルドセーフティシートの正しい使用を常に遵守してください。チャイルドセーフティシートの底面全体が常にシートクッションに接触している事を確認してください。チャイルドセーフティシートの下または背面にクッションなどの物を置かないでください。チャイルドセーフティシートには、必ずこのシート専用の純正シートカバーを使用してください。損傷したカバーを取り替えるときは、必ず純正品を使用してください。

### ⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが正しく取り付けられていない、または固定されていない場合は、事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに外れるおそれがあります。チャイルドセーフティシートが投げ出されて、乗員にぶつかるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

着座していないチャイルドセーフティシートも常に正しく取り付けてください。

常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。

### ⚠ 警告

事故で負荷を受けたチャイルドセーフティシートやその固定装置は、意図した保護機能を発揮できないことがあります。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに、子供が保護されません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

事故で損傷したり、または負荷を受けたチャイルドセーフティシートはただちに交換してください。チャイルドセーフティシートを再度取り付ける前に、チャイルドセーフティシートの固定装置をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

### ⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
  - 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
  - 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。
- また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。
- パーキングブレーキの解除
  - オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
  - エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

### ⚠ 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命

的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

### ⚠ 警告

チャイルドセーフティシートが直射日光または熱にさらされている場合は、部品が高温になることがあります。子供がこれらの部品、特にチャイルドセーフティシートの金属部品で火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。運転者および子供が車両から離れる場合は、チャイルドセーフティシートを直射日光にさらさないように気をつけてください。毛布などで覆ってください。チャイルドセーフティシートが直射日光にさらされた場合は、子供を固定する前に冷ましてください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

お子様が同乗するときは、身長、年齢、体重に合った純正品のチャイルドセーフティシートを使用して、お子様の身体を固定してください。チャイルドセーフティシートに子供を正しく固定するために、チャイルドセーフティシートメーカーの装着指示を常に遵守してください。乗員保護装置はできるだけ適切なリアシートに装着してください。走行時は子供が固定されていることを常に確認してください。

メルセデス・ベンツは、リストに挙げられているチャイルドセーフティシートの使用をお勧めします。(p. 58 ページ) 適切なチャイルドセーフティシートについてのさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。

**i** チャイルドセーフティシートを清掃するときは、メルセデス・ベンツ純正のカーケア用品のご使用をお勧めします。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。


## 助手席でのチャイルドセーフティシート

### ⚠ 警告

助手席フロントエアバッグの機能が解除されていないときは、以下のように対処してください。

- 助手席エアバッグが展開すると、助手席のチャイルドセーフティシートに固定されている子供が重大な、または致命的なけがをするおそれがあります。エアバッグが展開したときに子供が助手席エアバッグのすぐそばにいる場合は、特に危険です。
- 後ろ向きチャイルドセーフティシートを助手席に装着して、子供を乗せないでください。後ろ向きチャイルドセーフティシートは、必ず適切なリアシートに装着してください。
- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、車両のシートベルトアウトレットのショルダーシートベルトをチャイルドセーフティシートのショルダーシートベルトガイドの前部に向かって通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。

次のような場合、助手席フロントエアバッグの機能は解除されません。

- チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）非装備車。
- チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）装備車で、チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダー付きのチャイルドセーフティシートが助手席に装着されていない場合。
- チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）装備車で、助手席エアバッグオフ表示灯  が点灯しない場合

このような危険に注意を促すため、ダッシュボードの側面と助手席側サンバイ

ザーの両側に警告ステッカーが貼られています。  
純正のチャイルドセーフティシートについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。



例：助手席側サンバイザーの警告告知




後ろ向きチャイルドセーフティシートの警告マーク

前方にあるアクティブエアバッグによって保護されているシートで、後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。子供に致命的な、または重大なけがを引き起こすことがあります。

### 助手席チャイルドセーフティシート自動検知

#### ⚠ 警告

チャイルドセーフティシートを装着していても助手席エアバッグオフ表示灯  が点灯しないときは、助手席エアバッグの機能は解除されていません。助手席エアバッグが作動するときの衝撃で、子供

が重大なけがをしたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

以下のように進めてください。

- 後ろ向きチャイルドセーフティシートは助手席に装着しないでください。
- 後ろ向きチャイルドセーフティシートは適切なリアシートに装着してください。

または

- 助手席には必ず前向きのチャイルドセーフティシートを装着し、助手席シートをできるだけ後方に下げてください。その際、シートベルト引き出し口から出ている車両のシートベルトがチャイルドセーフティシートのショルダーベルトガイドに向かって前方に向いていることを確認してください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。
- メルセデス・ベンツ指定サービス工場 でチャイルドセーフティシート検知システムの点検を受けてください。

チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）が正しく機能し、検知することができるように、チャイルドセーフティシートの下にクッションなどを置かないでください。チャイルドセーフティシートの底面全体をシートクッションに接触させる必要があります。不適切に装着されたチャイルドセーフティシートは、事故のときに意図された保護機能を発揮することができず、けがにつながる可能性があります。

#### ⚠ 警告

例えば、助手席シートの上にある以下のような電子機器が、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能に影響を与えるおそれがあります。

- ノートパソコン
- 携帯電話
- スキーパスまたはアクセスパスのような信号の送受信を行なうカード

助手席フロントエアバッグが不意に作動したり、事故の間に意図されたように機能しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

上記に記載された機器または類似の機器を助手席シートに置かないでください。



車両の助手席にチャイルドセーフティシート検知システムがない場合は、特別なステッカーによって示されます。ステッカーは、助手席側ダッシュボードの側面に貼付されています。助手席ドアを開いたときに、このステッカーが見えます。

チャイルドセーフティシート検知システム非装備車：エンジンスイッチのキーを**2**の位置にまわすと、助手席エアバッグオフ表示灯が少しの間点灯します。しかし、表示灯は機能しません。チャイルドセーフティシートセンサー（助手席）があることは示していません。



① 助手席エアバッグオフ表示灯

チャイルドセーフティシート用の助手席のセンサーシステムは、チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダー付きの特別なメルセデス・ベンツチャイルドセーフティシートが装着されているかを検知します。この場合、助手席エアバッグオフ表示灯 ① が点灯します。助手席エアバッグが無効になります。

**①** チャイルドセーフティシート検知システムにより助手席フロントエアバッグの機能が解除されている場合でも、助手席側の以下の装置は通常どおりに作動します。

- サイドバッグ
- ウィンドウバッグ
- シートベルトテンショナー

## リアシートの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置

### ▲ 警告

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートは、体重が22 kg以上でチャイルドセーフティシートに内蔵されたセーフティベルトを使用して固定されている子供には十分な保護効果をもたらしません。例えば、事故のときに子供が正しく固定されないなどのおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

子供の体重が22 kg以上の場合は、必ず子供が車両のシートベルトでも固定されるISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを使用してください。使用可能であれば、チャイルドセーフティシートをテザーアンカーベルトでも固定してください。

チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着指示およびチャイルドシートの正しい使用に関する説明を遵守していることを確認してください。

**⚠ 警告**

チャイルドセーフティシートは、車両の適切なシートに正しく装着されていないと、保護機能を発揮することができません。事故、急ブレーキまたは突然の進路変更のときに、子供を保護することができなくなります。子供が重大な、または致命的なけがをするおそれがあります。そのため、チャイルドセーフティシートを固定するときは、必ず製品に付属の取付説明書の指示およびチャイルドセーフティシートの正しい使用方法に従ってください。

安全のため、リアシートではメルセデス・ベンツ車両のためにテストおよび承認された ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートのみを使用してください。

正しく装着されていないと、チャイルドセーフティシートが外れ、子供と他の乗員が致命的なけがをするおそれがあります。チャイルドセーフティシートを装着したら、左右の ISOFIX 固定リングに確実に固定されているか必ず確認してください。

**!** ISOFIXチャイルドセーフティシートを装着するときは、中央リアシートのシートベルトを挟み込まないように注意してください。シートベルトが損傷するおそれがあります。



▶ ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置を取り付けます。ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着するときは、チャイルド

セーフティシートメーカーの指示に従ってください。

ISOFIX は、専用設計されたチャイルドセーフティシートのリアシートへの規格化された固定システムです。2つの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート用固定リング ① は後席の左と右に装着されています。

**テザーアンカー**

**重要な安全上の注意事項**

**⚠ 警告**

テザーアンカーベルトを取り付ける前に、必ずリアシートバックレストを直立の位置にしてください。それらが正しく固定されているかどうかを点検するために、リアシートバックレストを押したり引いたりしてください。正しく固定されていない場合は、リアシートバックレストが倒れることがあります。チャイルドセーフティシートが正しく支えられなくなったり、またはその位置になくなり、意図した機能を実行できなくなります。重大な、または致命的なけがの原因になるおそれがあります。



- ▶ **2本のベルトストラップ付きテザーアンカーベルト**：左右のテザーアンカーベルト ⑤ をヘッドレスト ① の横から取り回します。
- ▶ テザーアンカーフック ④ をテザーアンカー ③ に引っかけます。
- ▶ テザーアンカーベルト ⑤ にねじれないことを確認します。
- ▶ テザーアンカーで、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着します。その場合は、常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。テザーアンカーベルト ⑤ が締まっていることを確認します。

例：シートベルト付きテザーアンカーベルト  
テザーアンカーは、ISOFIXで固定された ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートと後席を補助的に接続します。これにより、けがの危険性をさらに低減する補助を行ないます。チャイルドセーフティシートがテザーアンカーで装着される場合は、必ずこれを使用してください。

テザーアンカーは、後席のシェルフの外側ヘッドレストの裏にあります。

- ▶ カバーの後部 ② を矢印の方向に押し下げます。  
カバー ② の前部がわずかに上がります。
- ▶ テザーアンカー ③ のカバー ② を開きます。
- ▶ **1本のベルトストラップ付きテザーアンカーベルト**：テザーアンカーベルト ⑤ をヘッドレスト ① の上の中央に取り回します。

## チャイルドセーフティシートの適切な位置

欧州経済共同体基準ECE R44により承認されたチャイルドセーフティシートしか、車両に使用することは許されません。

### ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

記号説明：

- X このカテゴリー（適応体重）の子供には適切でないシート
- U この体重カテゴリーでの使用が承認された"ユニバーサル"カテゴリーのチャイルドセーフティシートに適合
- UF このカテゴリー（適応体重）に適合する"ユニバーサル"の前向きチャイルドセーフティシートに適切
- L 推奨されているようなチャイルドセーフティシートに適合。以下の表"推奨チャイルドセーフティシート" (p. 58 ページ) をご覧ください。車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに載っている場合に、セミユニバーサルチャイルドセーフティシートに適合。

カテゴリー (適応体重)	シート位置			
	助手席シート	リアシート <sup>1</sup>		
	助手席エアバッグが解除されない	助手席フロントエアバッグが解除されている	左、右	センター部
カテゴリー 0： 10 kg 以下	X	U <sup>2, 3</sup> L <sup>2, 3</sup>	UL	U、L <sup>4</sup>
カテゴリー 0+： 13 kg 以下	X	U <sup>2, 3</sup> 、L <sup>2, 3</sup>	UL	UL <sup>4</sup>

- 1 カテゴリー 0 または 0+ のベビーカーシートあるいはカテゴリー 1 の後ろ向きチャイルドセーフティシートをリアシートで使用する場合は、運転席または助手席のシートが後ろ向きチャイルドセーフティシートに接触しないように運転席または助手席を調整する必要があります。
- 2 助手席チャイルドセーフティシート検知システム装備車：チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダー内蔵の"ユニバーサル"チャイルドセーフティシートを必ず装着してください。助手席エアバッグオフ表示灯が点灯している必要があります。
- 3 助手席シートをできるだけ後ろに移動してください。助手席の前向きのチャイルドセーフティシートに子供を固定する場合は、車両のシートベルトアウトレットのショルダースーツベルトをチャイルドセーフティシートのショルダースーツベルトガイドの前部に向かって通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。助手席を一番高い位置に移動し、バックレストをできるだけ垂直に近い位置にします。その際、チャイルドセーフティシートの面全体が助手席シートのバックレストに寄りかかり、チャイルドセーフティシートがルーフに接触しないようにしてください。そのためには、シートバックレストを少し下に調整しなければならない場合もあります。電動調整シートでは、シートクッションの角度を、一番高く最も直立に近い位置に設定する必要があります。
- 4 サポートブラケット付きチャイルドセーフティシートはこのシートに適合しません。



カテゴリー (適応体重)	シート位置			
	助手席シート		リアシート <sup>1</sup>	
	助手席エア バッグが解除 されない	助手席フロン トエアバッグ が解除されて いる	左、右	センター部
カテゴリー I: 9 ~ 18 kg	UF <sup>3</sup> 、L <sup>3</sup>	U <sup>3</sup> 、L <sup>3</sup>	UL	UL <sup>4</sup>
カテゴリー II: 15~ 25 kg	UF <sup>3</sup> 、L <sup>3</sup>	U <sup>3</sup> 、L <sup>3</sup>	UL	UL <sup>4</sup>
カテゴリー III: 22~ 36 kg	UF <sup>3, 5</sup> 、L <sup>3, 5</sup>	UF <sup>3, 5</sup> 、L <sup>3, 5</sup>	UL <sup>5</sup>	UL <sup>4, 5</sup>



例：純正チャイルドセーフティシートの認証ラベル

"ユニバーサル" のチャイルドセーフティシートは、オレンジ色の認証ラベルと"ユニバーサル"の文字が目印です。

- 1 カテゴリー 0 または 0+ のベビーカーシートあるいはカテゴリー I の後ろ向きチャイルドセーフティシートをリアシートで使用する場合は、運転席または助手席のシートが後ろ向きチャイルドセーフティシートに接触しないように運転席または助手席を調整する必要があります。
- 3 助手席シートをできるだけ後ろに移動してください。助手席の前向きのチャイルドセーフティシートに子供を固定する場合は、車両のシートベルトアウトレットのショルダーシートベルトをチャイルドセーフティシートのショルダーシートベルトガイドの前部に向かって通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。助手席を一番高い位置に移動し、バックレストをできるだけ垂直に近い位置にします。その際、チャイルドセーフティシートの面全体が助手席シートのバックレストに寄りかかり、チャイルドセーフティシートがルーフに接触しないようにしてください。そのためには、シートバックレストを少し下に調整しなければなりません。電動調整シートでは、シートクッションの角度を、一番高く最も直立に近い位置に設定する必要があります。
- 4 サポートブラケット付きチャイルドセーフティシートはこのシートに適合しません。
- 5 この重量カテゴリーの一部のチャイルドセーフティシートは、ルーフと接触するおそれがあるためチャイルドセーフティシートの最大の設定サイズに設定できず、使用範囲が制限される場合があります。

"ユニバーサル"カテゴリーのチャイルドセーフティシートは、"ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性"または"ISOFIX 対応 チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性"の表にしたがってU、UFまたはIUと表示されたシートで使用できます。

セミユニバーサルチャイルドセーフティシートは、認可ラベルに"セミユニバーサル"の文字が記されています。これらは、車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに載っている場合に使用できます。詳しくは、チャイルドセーフティシートメーカーにお問い合わせになるか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

### ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

記号説明：

- X この体重やサイズのカテゴリーで ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適さないISOFIXのポジション
- IUF この体重カテゴリーでの使用が承認された"ユニバーサル"カテゴリーに属しているISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合
- IL 推奨しているようなISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合。以下の表"推奨チャイルドセーフティシート" (p 58 ページ) をご覧ください。

メーカーは、適切な ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートも推奨しています。そのためには、お客様の車両とシートがチャイルドセーフティシートメーカーのモデルリストに掲載されていなければなりません。詳しくは、チャイルドセーフティシートメーカーにお問い合わせになるか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

カテゴリー (適応体重)	サイズ等級	装備	左右リアシート
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
0: 10 kg以下 6 ヶ月以下	E	ISO/R1	IL
0+: 13 kg以下 15 ヶ月以下	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
I: 9 ~ 18 kg 約9 ヶ月 ~ 4 歳	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF

カテゴリー (適応体重)	サイズ等級	装備	左右リアシート
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF

### 推奨チャイルドセーフティシート

チャイルドセーフティシートセンサー (助手席) 用トランスポンダーを内蔵しないチャイルドセーフティシートが助手席シートに装着されている場合。

▶ 助手席シートはできるだけ後方に移動してください。

助手席の前向きのチャイルドセーフティシートに子供を固定する場合は、車両のシートベルトアウトレットのショルダーシートベルトをチャイルドセーフティシートのショルダーシートベルトガイドの前部に向かって通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。

カテゴリー (適応体重)	メーカー	タイプ	認証番号 (E1 ...)	注文番号 (A 000 ...) <sup>6</sup>	チャイルドセーフティシート検知システム
カテゴリー 0: 10 kg 以下 約6 ヶ月以下	Britax Römer	ベビー セーフプ ラス	03 301146 04 301146	970 10 00	はい
カテゴリー (適応体重) 0+: 13 kg 以下 約15 ヶ月以下	Britax Römer	ベビー セーフプ ラス	03 301146 04 301146	970 10 00	はい
カテゴリー I: 9 ~ 18 kg 約9 ヶ月 ~ 4 歳	Britax Römer	デュオプ ラス	03 301133 04 301133	970 11 00 970 16 00	はい いいえ
グループ II/ III: 15 ~ 36 kg 約4~12 歳	Britax Römer	キッド フィク ス	04 301198	970 18 00 970 19 00	はい いいえ


<sup>6</sup> カラーコード9H95

推奨 "ユニバーサル" / "セミユニバーサル" カテゴリー ISOFIX対応チャイルドセーフティシート：

カテゴリー (適応体重)	サイズ等級	メーカー	タイプ	認証番号 (E1 ...)	注文番号 <sup>6</sup>	チャイルドセーフティシート検知システム
キャリコット	F	-	-	-	-	-
	G	-	-	-	-	-
カテゴリー 0 : 10 kg以下	E	-	-	-	-	-
カテゴリー 0+ : 13 kg以下	E	Britax Römer	ベビーセーフ ISOFIX プラス	04 30114 6	B6 6 86 8224	いいえ
	D	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
カテゴリー 1 : 9 ~ 18 kg	D	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
	B1	Britax Römer	デュオプラス	04 30113 3	A000 970 11 00	はい
					A 000 970 16 00	いいえ
A	-	-	-	-	-	

6 カラーコード9H95

## チャイルドセーフティシート自動検知のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯する。	助手席シートに、チャイルドセーフティシートセンサー用トランスポンダーを内蔵するメルセデス・ベンツ純正チャイルドセーフティシートが装着されている。そのため、助手席エアバッグの機能が解除されている。
センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯する。 または イグニッションをオンにしたときに、SRS警告灯  が点灯する、および/または助手席エアバッグオフ表示灯が短時間点灯しない。	<p><b>⚠ 警告</b></p> <p>助手席シートにチャイルドセーフティシートが装着されていない。チャイルドセーフティシートセンサーが故障している。 けがの危険性があります。</p> <p>▶ 助手席シートの座面に以下のような電子機器が置いているときは取り除いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ノートパソコン</li> <li>• 携帯電話</li> <li>• ICカードや磁気カード</li> </ul> <p>助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままの場合</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>

## チャイルドブルーロック

## 重要な安全上の注意事項

**⚠ 警告**

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

**⚠ 警告**

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

**⚠ 警告**

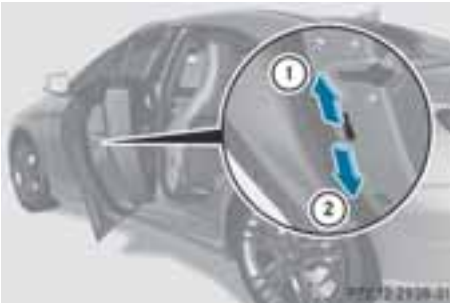
子供を車両に乗せて走行している場合は、以下のおそれがあります。

- ドアを開き、それにより他の人または道路使用者を危険にさらす
- 車両から降りて、対向交通にぶつかる
- 例えば、車両装備を操作して挟まれる事故やけがの危険性があります。

子供を車両に乗せて走行する場合は、使用可能なチャイルドブルーロックを常に作動させてください。車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

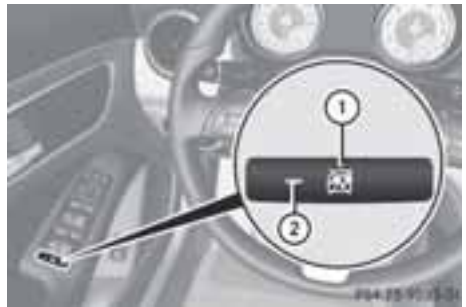
以下のチャイルドブルーロックを作動させることができます。

- リアドア (▶ 61 ページ)
- リアサイドウインドウ (▶ 61 ページ)

**リアドアのチャイルドブルーロック**

リアドアのチャイルドブルーロックを使用して、各ドアを個別にロックできます。チャイルドブルーロックで固定されたドアは、車内から開くことができません。車が解錠されているときは、外側からドアを開くことができます。

- ▶ **設定する：** チャイルドブルーロックレバーを矢印の方向 ① に押し上げます。
- ▶ チャイルドブルーロックが正常に設定されていることを確認します。
- ▶ **解除する：** チャイルドブルーロックレバーを矢印の方向 ② に押し下げます。

**リアサイドウインドウのチャイルドブルーロック**

- ▶ **設定 / 解除する：** スイッチ ① を押しします。表示灯 ② が点灯する場合は、リアサイドウインドウの操作はできません。運転席ドアのスイッチを使用してのみ、操作が可能です。表示灯 ② が消灯しているときは、後席のスイッチを使用しての操作が可能です。

**走行安全システム****走行安全システムの概要**

この章では、以下の走行安全装備に関する情報を記載しています。

- **ABS (Anti-lock Braking System :** アンチロック・ブレーキング・システム) (▶ 62 ページ)
- **BAS (Brake Assist System :** ブレーキアシスト) (▶ 63 ページ)

- コリジョンプリベンションアシスト (アダプティブブレーキアシストおよび車間距離警告機能) (▷ 63 ページ)
- アダプティブブレーキライト (▷ 66 ページ)
- ESP® (Electronic Stability Program : エレクトロニック・スタビリティ・プログラム) (▷ 66 ページ)
- EBD(Electronic Brake force Distribution : エレクトロニック・ブレーキフォース・ディストリビューション) (▷ 71 ページ)
- アダプティブブレーキ (▷ 71 ページ)
- ステアコントロール (▷ 71 ページ)

### 重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせなかったり、注意が散漫になると、走行安全装備は事故の危険性を低減できないだけでなく、物理的法則を超えることもできません。走行安全装備は、運転の補助のために設計された単なる支援に過ぎません。先行車両との距離や車両の速度、適切なブレーキ操作の責任は運転者にあります。常に実際の道路や天候、交通状況に応じて運転スタイルを合わせ、先行車両との間に安全な距離を保ってください。注意して運転してください。

**i** 記載している走行安全装備は、タイヤと路面との間に十分な接触があるときにのみ、可能な限り効果的に作動します。"タイヤとホイール"(▷ 332 ページ)のタイヤ、推奨されるタイヤトレッドの最小深さなどに関する情報に特に注意してください。


冬の走行状況では、常にウィンタータイヤ (M+S tyres) を、必要であればスノーチェーンを使用してください。この

ようにすることでのみ、本章に記載されている走行安全装備が可能な限り効果的に作動します。

### ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)

#### 全体的な注意事項

ABSは、ブレーキ圧をコントロールすることで、ブレーキ時の車輪のロックを防ぐ装置です。そのため、ブレーキをかけながら、ステアリング操作を続けることができます。

メーターパネルのABS警告灯  は、イグニッションをオンにすると点灯します。エンジンがかかっているときは消灯します。

#### 重要な安全上の注意事項

**i** 走行安全装備の"重要な安全上の注意"を遵守してください (▷ 62 ページ)。

#### 警告

ABSに異常があるときは、ブレーキ時に車輪がロックすることがあります。ステアリングでの操縦性およびブレーキ性能が著しく損なわれることがあります。さらに、他の走行安全装備が解除されます。横滑りや事故の危険が高まります。

注意して運転してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場へABSの点検をしてください。

ABSが故障している場合は、走行安全装備を含めた他のシステムも作動しません。ABS警告灯 (▷ 265 ページ) とメーターパネル (▷ 231 ページ) に表示されるディスプレイメッセージに関する情報を遵守してください。

ABSは路面の状況に関わらず、約 8 km/h 以上の速度から作動します。滑りやすい路面では、軽くブレーキを効かせただけでもABSは作動します。

## ブレーキ操作

- ▶ **ABSが作動したとき**：必要なだけ、そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- ▶ **強い制動力が必要なとき**：ブレーキペダルをいっぱい踏み込んでください。

ブレーキ時にABSが作動した場合は、ブレーキペダルに振動を感じます。

ブレーキペダルの振動は、危険な道路状況を知らせることができ、走行中に特別な注意を喚起させるものとして機能します。

## BAS（ブレーキアシスト）

### 全体的な注意事項

BASは、緊急ブレーキ状態で作動します。ブレーキペダルを素早く踏み込むと、BASが自動的に制動力を高めて制動距離を短縮します。

### 重要な安全上の注意

- ① "重要な安全上の注意"を遵守してください。（▶ 62 ページ）

#### ⚠ 警告

BASが故障している場合は、緊急ブレーキの状況での制動距離が長くなります。事故の危険性があります。

緊急ブレーキの状況では、ブレーキペダルを思いっきり踏んでください。ABSが車輪のロックを防ぎます。

## ブレーキ操作

- ▶ 緊急ブレーキ状態から脱するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABSがホイールのロックを防ぎます。

ブレーキペダルから足を放すと、ブレーキは通常の作動状態に戻ります。BASの機能が解除されます。

## コリジョンプリベンションアシスト

### 全体的な注意事項

コリジョンプリベンションアシストは、以下に説明のあるアダプティブブレーキアシストおよび距離警告信号から構成されています。

### 車間距離警告機能

#### 重要な安全上の注意事項

- ① "重要な安全上の注意事項"の項目に従ってください（▶ 62 ページ）。

#### ⚠ 警告

車間距離警告機能は、以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 対向車
- 交差する交通
- カーブを走行するとき

そのため、車間距離警告機能はすべての危険な状況で警告を行うとは限りません。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。

#### ⚠ 警告

車間距離警告機能は、常に障害物および複雑な交通状況を明確に識別できるわけではありません。

そのような場合は、車間距離警告機能は以下になることがあります。

- 不必要な警告を発する
- 警告を発しない


事故の危険性があります。

常に交通状況に十分注意を払い、車間距離警告機能のみに頼らないでください。

### 機能



- ▶ **設定/解除する**：マルチファンクションディスプレイで距離警告機能を設定または解除します（▶ 219 ページ）。



距離警告機能が設定されている場合は、のシンボルがアシストグラフィックディスプレイに表示されます。

距離警告機能は、先行車両との追突事故の危険性を最小限にしたり、そのような衝突の影響を低減させることで運転者を支援します。距離警告機能が衝突の危険を検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告が発せられます。距離警告機能は、運転者の操作なしに衝突を避けることはできません。

距離警告機能は、以下の速度で警告を発します。

- 約 30 km/h またはそれ以上で、数秒間にわたり前方を走行している車両との間に保たれている距離が不十分な場合、メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。
- 約 7 km/h またはそれ以上で、先行車両に急激に接近した場合、断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯  が点灯します。
- ▶ 先行車両との車間距離を広げるために、ただちにブレーキを効かせてください。または
- ▶ 安全確認のうえ、危険回避の操作を行なってください。

システムの特性により、危険な走行状況ではなくとも、特に複雑な走行状況がシステムが警告を表示する原因になることがあります。

レーダーセンサーシステムの支援で、距離警告機能は車両の進路に長時間ある障害物を検知することができます。

約 70 km/h 以下の速度では、距離警告機能は停止している、または駐車している車両のような静止物にも反応できます。

障害物に接近し、距離警告機能が衝突の危険を検知した場合は、視覚的および聴覚的両方で運転者に警告を行ないます。

特に以下のときは、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
  - 雪または激しい雨が降っている
  - 他のレーダー送信機による干渉がある
  - 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こっている
  - オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
  - 先行車両が別の車線を走行している
- 車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

## アダプティブブレーキアシスト

**i** 走行安全装備の"重要な安全上の注意"を遵守してください (▶ 62 ページ)。

### 警告

アダプティブブレーキアシストは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。その場合、アダプティブブレーキアシストは作動しない場合があります。事故の危険性があります。常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。

### 警告

アダプティブブレーキアシストは、以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 対向車
- 交差する交通
- 静止している障害物
- カーブを走行するとき

その結果、アダプティブブレーキアシストはすべての危険な状況では作動しない

場合があります。事故の危険性があります。常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。

システムの特性により、危険な走行状況ではないけれど、特に複雑な走行状況もブレーキアシストが介入する原因になることがあります。

アダプティブブレーキアシストは、約7 km/h以上の速度での危険な状況の間にブレーキを効かせる支援を行ない、レーダーセンサーシステムを使用して交通状況を判断します。

車両の進路に長時間ある障害物を検知することができます。

車両が障害物に接近して、アダプティブブレーキアシストが衝突の危険を検知すると、アダプティブブレーキアシストは先行車両との衝突を避けるために必要な制動力を算出します。ブレーキを力強く効かせると、アダプティブブレーキアシストは交通状況に適したレベルまで制動力を自動的に増加させます。

▶ 緊急ブレーキ状態から脱するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABSがホイールのロックを防ぎます。

以下の場合、ブレーキは再び通常通り作動します。

- ブレーキペダルを離れたとき
- 衝突の危険がなくなったとき
- 車両前方に検知される障害物がないとき

その後、アダプティブブレーキアシストは解除されます。

**PRE-SAFE® 装備車：** アダプティブブレーキアシストが特に高いブレーキ圧を必要としている場合は、予期乗員保護（PRE-SAFE®）が同時に作動します。

約 250 km/h の車両速度までは、一定期間の間に1度は検知された動いている

障害物にも、アダプティブブレーキアシストは反応することができます。アダプティブブレーキアシストは静止している障害物には反応しません。

レーダーセンサーシステムの故障によりアダプティブブレーキアシストが使用できない場合は、ブレーキシステムは完全なブレーキ倍力効果およびBASとともに使用可能なままになります。

特に以下の状況では、障害物の感知が困難になります。

- センサーに異物が付着しているまたはセンサーが何かでおおわれているとき
- 雪または激しい雨が降っているとき
- 他のレーダー送信機による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こりやすいとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車が別の車線を走行している

車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

## コリジョンプリベンションアシストプラス

### 全体的な注意事項


CPAプラス（衝突警告システムプラス）は、ディストロニック装備車両でのみ使用できます。

CPAプラス（衝突警告システムプラス）は、自動ブレーキ機能によりCPA（衝突警告システム）の機能を拡張したものです。CPAプラス（衝突警告システムプラス）は、先行車両との追突事故の危険性を最小限にしたり、そのような衝突の影響を低減させることで運転者を支援します。CPAプラス（衝突警告システムプラ

ス) が衝突の危険があることを検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告が発せられます。危険な状況では、CPAプラス（衝突警告システムプラス）は自動ブレーキも行ないます。

### 機能

▶ **設定/解除:** マルチファンクションディスプレイでCPAプラス（衝突警告システムプラス）を設定または解除します（▶ 220 ページ）。

CPAプラス（衝突警告システムプラス）が設定されている場合は、のシンボルがアシストグラフィックディスプレイに表示されます。

運転席のシートベルトが着用されている場合は、約7 km/h ~ 200 km/hの速度域内でCPAプラス（衝突警告システムプラス）は自動的にブレーキを効かせることができます。

約7 km/h ~ 30 km/hの速度域内では、CPAプラス（衝突警告システムプラス）は静止物に対しても自動ブレーキで反応することができます。

**PRE-SAFE® 装備車両:** CPAプラス（衝突警告システムプラス）の自動ブレーキ機能が強力に介入した場合は、予期乗員保護措置（PRE-SAFE®）が同時に作動します。

特に以下のときは、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー送信機による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こっている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車両が別の車線を走行している

車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

### アダプティブブレーキライト

アダプティブブレーキアシストは緊急ブレーキ状況で以下のように後続の車両に警告します。

- ブレーキランプの点滅
- 非常点滅灯が作動

約50 km/h以上の速度から車両に急ブレーキを効かせた場合、またはBASまたはBASプラス（ブレーキアシストプラス）によりブレーキ操作が支援された場合は、ブレーキランプが素早く点滅します。このようにして、より注意を引きやすい方法で後方の車両に警告を行ないます。

約70 km/h以上の速度で停止するまで急ブレーキを効かせた場合は、非常点滅灯が自動で作動します。再度ブレーキを効かせると、ブレーキランプが点灯し続けます。非常点滅灯は、約10 km/h以上で走行すると自動的に消灯します。非常点滅灯スイッチ（▶ 113 ページ）を押して、消灯させることもできます。

### ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）

#### 全体的な注意事項

**i** "重要な安全上の注意"を遵守してください。（▶ 62 ページ）

ESP®は走行安定性およびトラクション（タイヤおよび路面の間の動力伝達）をモニターします。

ESP<sup>®</sup>は、車の走行ラインが運転者の望む進行方向から外れていると判断すると、1本または複数のタイヤにブレーキを効かせ、車の走行姿勢を安定させます。また、エンジン出力を調整して、物理的限界内で運転者の意志に沿った方向に車の向きを保つように作動します。ESP<sup>®</sup>は、濡れた路面や滑りやすい路面での発進操作をアシストします。また、ESP<sup>®</sup>はブレーキ時の車の姿勢も安定させることができます。

## ETS/4ETS (エレクトロニックトラクションシステム)

① "重要な安全上の注意"を遵守してください。(▷ 62 ページ)

ETS/4ETSトラクションコントロールはESP<sup>®</sup>の一部です。

ETSは、駆動輪が空転したときに、駆動輪に個別にブレーキを効かせます。これにより、片側が滑りやすい路面などの滑りやすい路面での発進や加速を可能にします。さらに、車輪または駆動力のある車輪にさらなる走行トルクが伝達されます。

ESP<sup>®</sup>を解除しても、ETSは作動します。

## 重要な安全上の注意事項

### ⚠ 警告

ESP<sup>®</sup>が故障している場合は、ESP<sup>®</sup>は車両を安定させることはできません。さらに、他の走行安全装備はオフになります。これにより、横滑りや事故の危険性が高くなります。

注意して運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。

❗ 電気式パーキングブレーキをブレーキダイナモメーターでテストしているときは、イグニッションをオフにしてくだ

さい。さもないと、ESP<sup>®</sup>によるブレーキの作動により、ブレーキシステムを破壊することがあります。

❗ 4MATIC装備車両：電気式パーキングブレーキをダイナモメーターを使用してテストしているときは、イグニッションをオフにしてください。


さもないと、ESP<sup>®</sup>によるブレーキの作動により、ブレーキシステムを破壊することがあります。



❗ 4MATIC装備車：機能または性能テストは2軸ダイナモメーターでのみ実行します。そのようなダイナモメーターで車両を操作する前に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。駆動系またはブレーキシステムが損傷するおそれがあります。

❗ 4MATIC装備車は、前輪または後輪を持ち上げた状態でけん引しないでください。

4MATIC非装備車：前輪を上げて車両をけん引するときは、ESP<sup>®</sup>に関する注意事項を遵守してください(▷ 326 ページ)。

4MATIC装備車：両アクスルを地面に接地してけん引するときは、ESP<sup>®</sup>に関する注意事項を遵守してください(▷ 326 ページ)。

エンジンがかかっているときにメーターパネルのESP<sup>®</sup>OFF 警告灯  が点灯し続ける場合は、ESP<sup>®</sup>の機能が解除されています。

 ESP<sup>®</sup>表示灯および  ESP<sup>®</sup>オフ表示灯が点灯し続けるときは、ESP<sup>®</sup>が故障により作動していません。


警告灯(▷ 268 ページ)とメーターパネル(▷ 231 ページ)に表示されるディスプレイメッセージに関する情報を遵守してください。

以下のときは、故障/警告メッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- エンジンをかけた状態で、立体駐車場のターンテーブルで車を回転させたとき
- 立体駐車場の狭くて長いらせん状のアプローチを走行しているとき

以下のような警告灯/表示灯も点灯することがあります。

• ESP®表示灯 

• ESP®オフ表示灯 

• ABS警告灯 

▶ 道路や交通状況に注意しながら、車両を停止します。

▶ エンジンを停止します。

▶ イグニッションをオフにします。

▶ エンジンを再始動してください。


しばらくすると、メッセージが消え、警告灯/表示灯が消灯します。消灯しない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で原因を調査してください。

**i** 必ず指定サイズのタイヤを使用してください。指定サイズのタイヤを装着した場合のみ、ESP®は正しく機能します。

## ESP®の特性

### 全体的な注意事項

ESP 警告灯  が走行を開始する前に消灯した場合、ESP® が自動的に作動します。

ESP®が作動すると、メーターパネルのESP®表示灯  が点滅します。

ESP®が作動する場合

- ▶ どのような状況でもESP®を解除しないでください。
- ▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- ▶ 実際の道路や天候の状況に適するように運転スタイルを合わせてください。

## ECOスタートストップ機能

ECOスタートストップ機能は、車両が停止すると、自動的にエンジンを停止します。再び発進するときに、自動的にエンジンが始動します。ESP®は、以前の設定状況のままになります。**例：**エンジンを停止する前にESP®が解除されていた場合は、エンジンを再度始動したときにESP®は解除されたままになります。

## ESP® の設定/解除 (AMG車両を除く)

### 重要な安全上の注意事項

以下のESP®の状態を選択することができます：

- ESP®が作動しているとき
- ESP®の機能が解除されているとき

### 警告

ESP®を解除すると、ESP®は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。

以下に記載された状況でのみESP®を解除してください。

以下の状況では、ESP®を解除したほうが良いことがあります。


- スノーチェーンを装着しているとき
- 深い雪の上を走行するとき
- 砂地や砂利道を走行するとき


**i** 上記の状況でなくなったら、ただちにESP®を待機状態にしてください。そうしないと車が横滑りしたり車輪が空転

し始めたときに、ESP<sup>®</sup>の機能で車の走行姿勢を安定させることができません。


### ESP<sup>®</sup>の解除/作動

マルチファンクションディスプレイ経由でESP<sup>®</sup>を解除または作動させることができます。

▶ **解除する：** (▷ 219 ページ)  
メーターパネルのESP<sup>®</sup> オフ表示灯  が点灯します。

▶ **作動させる：** (▷ 219 ページ)  
メーターパネルのESP<sup>®</sup> オフ表示灯  が消灯します。

### ESP<sup>®</sup>の機能が解除されているときの特性

ESP<sup>®</sup>を解除しているとき1本または複数の車輪が空転し始めると、メーターパネルのESP<sup>®</sup>表示灯  が点滅します。このような状況では、ESP<sup>®</sup>は車両を安定させません。

ESP<sup>®</sup>を解除すると、以下のようになります。

- ESP<sup>®</sup>は作動せず、走行安全性を高めることはできなくなります。
- エンジントルクの制御は行なわれなくなり、駆動輪が空転することがあります。  
やわらかい路面でホイールが空転した場合は、エンジンの出力制御により駆動力の確保が行なわれます。
- トラクションコントロールは引き続き作動します。
- ブレーキを踏むと、ESP<sup>®</sup>は自動的に作動します。

### ESP<sup>®</sup>の設定/解除 (AMG車両)

#### 重要な安全上の注意事項

① "重要な安全上の注意"を遵守してください。(▷ 62 ページ)

以下のESP<sup>®</sup>の状態を選択することができます：

- ESP<sup>®</sup>が作動しているとき
- スポーツモードになっている。
- ESP<sup>®</sup>の機能が解除されているとき

#### ⚠ 警告

スポーツモードが作動しているときは、横滑りおよび事故の危険が高まります。以下に記載されている状況でのみスポーツモードを作動してください。

#### ⚠ 警告

ESP<sup>®</sup>を解除すると、ESP<sup>®</sup>は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。以下に記載された状況でのみESP<sup>®</sup>を解除してください。

次のような状況では、スポーツモードにするか、ESP<sup>®</sup>を解除した方が走行しやすい場合があります。

- スノーチェーンを装着しているとき
- 深い雪の上を走行するとき
- 砂地や砂利道を走行するとき
- 車両のオーバーステアやアンダーステア特性が求められる特別に設計された道路を走行するとき


スポーツハンドリングモードを使用またはESP<sup>®</sup>を使用しないで走行するには、資格要件を満たした経験豊富な運転者が必要です。

① 上記の状況でなくなったら、ただちにESP<sup>®</sup>を待機状態にしてください。そうしないと車が横滑りしたり車輪が空転し始めたときに、ESP<sup>®</sup>の機能で車の走行姿勢を安定させることができません。


## ESP® の解除/作動





- ▶ **スポーツモードを作動させる**：スイッチ ① を軽く押します。

メーターパネルのハンドリングモード警告灯  が点灯します。マルチファンクションディスプレイに **SPORT handling mode** のメッセージが表示されます。



- ▶ **スポーツモードを解除する**：スイッチ ① を軽く押します。

メーターパネルのハンドリングモード警告灯  が消灯します。


- ▶ **ESP®を解除する**：メーターパネルのESP® オフ警告灯  が点灯するまで、スイッチ ① を押します。

マルチファンクションディスプレイに  OFF というメッセージが表示されます。

- ▶ **ESP®を作動させる**：スイッチ ① を軽く押します。

メーターパネルのESP® オフ警告灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイに  ESP® ON のメッセージが表示されます。


## 作動しているスポーツモードの特性

スポーツハンドリングモードが作動している、1本以上のホイールが空転し始めた場合は、メーターパネルのESP® 警告灯  が点滅します。ESP® は限られた程度までのみ車両を安定させます。

スポーツハンドリングモードが作動したとき

- ESP® は限られた程度までのみ走行安定性を確保します。
  - トラクションコントロールは引き続き作動します。
  - エンジントルクが限られた度合いに制限され、駆動輪が空転することがあります。
- やわらかい路面でホイールが空転した場合は、エンジンの出力制御により駆動力の確保が行なわれます。
- ブレーキを踏むと、ESP®は自動的に作動します。

## ESP®の機能が解除されているときの特性

ESP® が解除されていて1本以上のホイールが空転し始めた場合は、メーターパネルのESP® 表示灯  は点滅しません。このような状況では、ESP®は車両を安定させません。

ESP®を解除すると、以下ようになります。

- ESP®は作動せず、走行安全性を高めることはできなくなります。
  - エンジントルクの制御は行なわれなくなり、駆動輪が空転することがあります。
- やわらかい路面でホイールが空転した場合は、エンジンの出力制御により駆動力の確保が行なわれます。
- トラクションコントロールは引き続き作動します。
  - PRE-SAFE®は作動しなくなります。ブレーキを強く効かせ、ESP®が作動した場合でも作動しません。
  - コリジョンプリベンションアシストは作動しなくなります。ブレーキを強く効かせ、ESP®が作動した場合でも作動しません。

- コリジョンプリベンションアシストは作動しなくなります。ブレーキを強く効かせ、ESP<sup>®</sup>が作動した場合でも作動しません。
- ブレーキを踏むと、ESP<sup>®</sup>は自動的に作動します。

## ESP<sup>®</sup> トレーラースタビライゼーション

### 全体的な注意事項

車両/トレーラー連結が急にそれた場合は、この状況でESP<sup>®</sup>が支援します。ESP<sup>®</sup>は車両/トレーラー連結が安定するまでブレーキを効かせ、エンジン出力を制限することにより、車両を減速させます。

### 重要な安全上の注意

#### ⚠ 警告

道路および天候の状況が悪い場合は、トレーラースタビライゼーションは車両/トレーラーの連結が急に逸脱することを防ぐことはできません。重心の高いトレーラーは、ESP<sup>®</sup>がこれを検知する前に横転することがあります。事故の危険性があります。

常に路面や天候の状況に合わせて慎重に運転してください。

車両/トレーラー連結が急に傾き始めた場合は、ブレーキをしっかりと踏むことのみにより、車両/トレーラー連結を安定させることができます。

ESP<sup>®</sup>トレーラースタビライゼーションは約65 km/h以上の速度で作動します。故障のためにESP<sup>®</sup>が解除されるか、または使用できなくなると、ESP<sup>®</sup>トレーラースタビライゼーションは作動しません。

## EBD (エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション)

### 全体的な注意事項

EBDは、後輪のブレーキ圧を監視してコントロールし、ブレーキ時の走行安全性を高めます。

### 重要な安全上の注意

**i** 走行安全装備の"重要な安全上の注意"を遵守してください (▷ 62 ページ)。

#### ⚠ 警告

EBDが故障した場合には、急ブレーキ時などには後輪がロックすることがあります。これにより、横滑りして事故が起きる危険性が高くなります。

操縦性の変化に応じて慎重に運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではブレーキシステムの点検を受けてください。

表示および警告灯 (▷ 266 ページ) およびディスプレイメッセージ (▷ 235 ページ) に関する情報を遵守してください。

## アダプティブブレーキ

アダプティブブレーキは、ブレーキ時の安全性を高めるとともに、さらに快適なブレーキ操作をもたらします。ブレーキ機能に加えて、アダプティブブレーキはホールド機能 (▷ 185 ページ) およびヒルスタートアシスト機能 (▷ 146 ページ) も備えています。詳しくは、運転のヒントをお読みください (▷ 168 ページ)。

## ステアコントロール

### 全体的な注意事項

ステアコントロールは、車両の走行姿勢を安定させるのに必要な向きの操舵力を



ステアリングに伝達し、運転者が適切な回避操作が行なえるようステアリング操作をアシストする機能です。

このステアリング補助機能は、特に以下のような状況で作動します。

- ブレーキ時に、右側または左側の前後車輪が濡れた路面または滑りやすい路面にあるとき
- 車が横滑りをし始めたとき

### 重要な安全上の注意

ESP®に不具合があるときは、ステアコントロールからの操舵補助は受けられません。しかし、パワーステアリングは作動し続けます。

## 盗難防止システム

### イモビライザー

イモビライザーは、正規のキー以外ではエンジンを始動させない盗難防止装置です。

- ▶ **作動させる**： エンジンスイッチからキーを取り外します。
- ▶ **解除する**： エンジンをかけます。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。有効なキーが車内に残されていると、誰かがエンジンを始動するおそれがあります。

**i** イモビライザーは、エンジンを始動すると解除されます。

### ATA（盗難防止警報システム）





- ▶ **待機状態にする**： キーで車両を施錠します。  
表示灯 **①** が点滅します。警報システムが約15秒後に待機状態になります。
- ▶ **解除する**： キーで車両を解錠します。  
または
- ▶ **イグニッションスイッチにキーを差し込みます。**

システムが待機状態にあるときに以下の部分を開くと、サイレンが鳴り、非常点滅灯が点滅します。

- 車（エマージェンシーキーによる解錠）
- ドア
- トランクリッド
- ボンネット

▶ **警報を停止させる**： エンジンスイッチにキーを差し込みます。  
警報が停止します。

または

- ▶ キーの  または  スイッチを押します。  
警報が停止します。

開いたドアをすぐに閉じて、警報は解除されません。

## けん引防止機能

### 機能

けん引防止機能が待機状態のときに車両の傾きを感知すると、サイレンが鳴り非常点滅灯が点滅します。たとえば、ジャッキアップなどにより車両の片側が持ち上げられたときに警報が作動します。

### 設定スイッチ

- ▶ 以下のことを確認してください。
  - ドアが閉じているとき
  - トランクリッドが閉じていること
 この場合のみ、けん引防止機能が待機状態になります。
- ▶ リモコン操作で、車を施錠します。約60秒後にけん引防止機能が待機状態になります。

### 解除スイッチ

- ▶ リモコン操作で、車を解錠します。または
- ▶ イグニッションスイッチにキーを差し込みます。けん引防止機能は自動的に解除されます。

### 解除スイッチ



- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ スイッチ ① を押します。表示灯 ② が短く点灯します。

- ▶ リモコン操作で、車を施錠します。けん引防止機能が解除されます。

けん引防止機能は、以下の操作が行なわれると再び作動します。

- 車両を再度解錠する
- ドアを開いて、再度閉じる
- 車両を再度施錠する

誤作動を防止するため、以下のような状況で車を施錠する場合は、けん引防止機能を解除してください。

- けん引されるとき
- カーフェリーや車両運搬車で運ばれるとき
- 立体駐車場などのターンテーブルに駐車するとき

## 室内センサー

### 機能

室内センサーを待機状態にしたときは、車内で物体の動きを感知すると、サイレンが鳴り、非常点滅灯が点滅します。たとえば、車内に人が侵入したときなどに警報が作動します。

### 設定スイッチ

- ▶ 以下のことを確認してください。
  - サイドウィンドウが閉じていること
  - パノラミックスライディングルーフが閉じていること
  - ルームミラーやルーフトリムのグリップハンドルにマスコットなどをかけていないこと
 以上のことは、警報の誤作動を防ぎます。
- ▶ 以下のことを確認してください。

- ドアが閉じているとき
  - パノラミックスライディングルーフが閉じていること
  - トランクリッドが閉じていること
- この場合のみ、室内センサーは待機状態になります。
- ▶ リモコン操作で、車を施錠します。  
室内センサーが約30秒後に待機状態になります。

誤作動を防止するため、以下のような状況で車を施錠する場合は、室内センサーを解除してください。

- 車内に人や動物が残るとき
- パノラミックスライディングルーフが開いているとき
- サイドウィンドウが開いているとき

### 解除スイッチ

- ▶ リモコン操作で、車を解錠します。
- または
- ▶ イグニッションスイッチにキーを差し込みます。  
室内センサーが自動的に解除されます。

### 解除スイッチ



- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ スイッチ ① を押します。  
表示灯 ② が短く点滅します。
- ▶ リモコン操作で、車を施錠します。  
室内センサーが解除されます。

室内センサーは以下のときまで解除されたままになります。

- 車両を再度解錠する
- ドアを開いて、再度閉じる
- 車両を再度施錠する

役に立つ情報 .....	76
キー .....	76
ドア .....	81
トランク .....	84
サイドウインドウ .....	86
パノラミックスライディングルー フ .....	89

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▶ 23 ページ)

## キー

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

## ⚠ 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命

的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

## ⚠ 警告

キーに、重い物や大きなアクセサリ等を付けていると、エンジンスイッチのキーが不意にまわるおそれがあります。そのため、エンジンが停止するおそれがあります。事故の危険性があります。

キーには重い物や大きなアクセサリ等を付けしないでください。操作の邪魔になるアクセサリ等は、エンジンスイッチにキーを差し込む前に取り外してください。

**!** 強い磁場を発生する物の近くにキーを保管しないでください。磁場の影響で、リモコン機能が正常に機能しなくなるおそれがあります。

強い磁場は、強力な電気設備の近くで発生します。

以下にはキーを近づけないでください。

- 携帯電話や他のキーなどの電子機器
- 硬貨や金属片などの金属物
- 金属ケースなどの金属物の内部

## キーの機能



- ① 施錠ボタン
- ② トランクリッドを開く
- ③ 解錠ボタン

▶ **すべてを解錠する**：スイッチ ③ を押します。

解錠して約 40 秒以内に車両を開かない場合：

- 車両は再度施錠されます。
- 盗難防止警報システムが再び待機状態になります。

▶ **すべてを施錠する**：スイッチ ① を押します。

キーで以下のすべての施錠/解錠操作ができます。

- ドア
- トランクリッド
- 燃料給油口

解錠したときは、方向指示灯が1回点滅します。施錠したときは、3回点滅します。



① マルチファンクションディスプレイでロケイターライティング機能を設定しておくと、周囲が暗いときに車外ランプを点灯させることができます (▶ 224 ページ)。



① また、施錠時に確認音が鳴るキーアンサーバック機能を設定することもできます。キーアンサーバック機能の設定と解除は、マルチファンクションディスプレイで行ないます (▶ 225 ページ)。

▶ **トランクリッドを自動的に開く**：スイッチ ② をトランクリッドが開くまで押して保持します (▶ 85 ページ)。

## ロックシステムの設定変更

ロックシステムの設定を変更することができます。車両を解錠すると運転席のドアと燃料給油口のみが解錠されます。運転者1人で乗ることが多い場合は、この設定が便利です。


▶ **設定を変更する**： および  スイッチを電池表示灯 (▶ 78 ページ) が2回点滅するまで押して保持します。


① 車両の信号範囲内でロックシステムの設定を変更したときは、 または  スイッチを押すと、以下になります。



- 車の施錠
- 車の解錠

キーは以下のように作動します。

▶ **運転席ドアを解錠する**： ボタンを1回押します。

▶ **すべてを解錠する**： ボタンを2回押します。

▶ **すべてを施錠する**： ボタンを押します。

▶ **工場出荷時の設定に戻す**：バッテリーチェックランプが2回点滅するまで、 および  スイッチを約6秒間同時に押して保持します (▶ 78 ページ)。



## エマージェンシーキー

### 全体的な注意事項

キーで車を解錠できなくなったときは、エマージェンシーキーを使用します。

エマージェンシーキーで運転席ドアを解錠して開くと、盗難防止警報システムが作動します。 (▶ 72 ページ)

以下のいずれかの方法で、盗難防止警報システムを解除します。

▶ キーの  または  スイッチを押します。

または

▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

エマージェンシーキーで車を解錠しても、燃料給油口は自動的に解錠されません。

▶ 燃料給油口を解錠する： エンジンスイッチにキーを差し込みます。

### エマージェンシーキーの取り外し



▶ ストッパー ① を矢印の方向に押しながら、エマージェンシーキー ② をキーから矢印の方向に抜きます。

詳しい情報は、以下をご覧ください。

- 運転席ドアの解錠 (▷ 83 ページ)
- トランクの解錠 (▷ 85 ページ)
- 車両の施錠 (▷ 83 ページ)

### キーの電池

#### 重要な安全上の注意事項

##### ⚠ 警告

電池には毒性および腐食性を持つ物質が含まれています。電池を飲み込んでしまうと、深刻な健康上の問題を引き起こす



ことがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

電池は子供の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

バッテリーの交換は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

### 電池の点検





▶  または  スイッチを押しません。

キーの表示灯 ① が軽く点灯すれば、電池は正常です。

キーの表示灯 ① が点滅しない場合は、電池が消耗しています。

▶ 電池を交換してください (▷ 79 ページ)。

① 信号の到達範囲内でキーの電池を点検したときは、 または  ボタンを押します：

- 車の施錠
- 車の解錠

① 電池に関する詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

## 電池の交換

CR 2025 3 Vの電池が必要です。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▶ 77 ページ)。



- ▶ エマージェンシーキー ② をキーの開口部に差し込み、電池カバー ① が開くまで矢印の方向に押します。このとき、指でカバー ① を押さえないようにしてください。
- ▶ 電池カバー ① を取り外します。







- ▶ キーを裏返して手の平に載せ、電池 ③ が外れるまでキーを軽くたたきます。
- ▶ 電池のプラス (+) 面を上にして、新しい電池を取り付けます。このとき、毛羽立ちのない布で電池を持つようにしてください。
- ▶ 電池の表面に糸くず、脂分、汚れがないことを確認してください。

- ▶ 電池カバー ① の前側にある凸部をキーに差し込んでから、カバーを押して閉じます。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。
- ▶ キーのすべてのボタンが正常に機能することを確認します。



## キーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーで車を施錠 / 解錠できない。	<p>キーの電池が消耗している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーのリモコン機能を使用して再度車両の施錠 / 解錠を行なってください。キーの先端部を運転席ドアのドアハンドルに向け、至近距離から  /  スイッチを押します。</li> </ul> <p>それでも施錠 / 解錠できないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの電池を点検し、必要であれば交換してください。(▶ 79 ページ)</li> <li>▶ エマージェンシーキーで車を施錠 (▶ 83 ページ) または解錠 (▶ 83 ページ) してください。</li> </ul> <p>強い電波などの干渉を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーのリモコン機能を使用して再度車両の施錠 / 解錠を行なってください。キーの先端部を運転席ドアのドアハンドルに向け、至近距離から  /  スイッチを押します。</li> </ul> <p>キーが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エマージェンシーキーで車を施錠 (▶ 83 ページ) または解錠 (▶ 83 ページ) してください。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でキーの点検を受けてください。</li> </ul>
キーを紛失した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で、紛失したキーを無効にしてください。</li> <li>▶ ただちに自動車保険会社へキー紛失の事実を報告してください。</li> <li>▶ 必要であれば、キーシリンダーも交換してください。</li> </ul>
エマージェンシーキーを紛失した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ただちに自動車保険会社へキー紛失の事実を報告してください。</li> <li>▶ 必要であれば、キーシリンダーも交換してください。</li> </ul>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーによるエンジン始動ができない。	<p>バッテリーの電圧が低下している</p> <p>▶ シートヒーター、ルームライトなどの必ず必要としない電気装備を停止してから、再度エンジン始動操作を行なってください。</p> <p>それでも施錠 / 解錠できないとき</p> <p>▶ スターターバッテリーを点検し、必要であれば交換してください。(▶ 317 ページ)</p> <p>または</p> <p>▶ ジャンプスタートを行なってください。(▶ 321 ページ)</p> <p>または</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</p>
キーによるエンジン始動ができない。	<p>ステアリングロックが機械的にかかっている。</p> <p>▶ エンジンスイッチからキーを抜き、再度差し込んでください。このとき、ステアリングを左右に回してください。</p>

## ドア

### 重要な安全上の注意事項

#### 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす。
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる。
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる。

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション P からシフトする
- エンジンの始動

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者の

いない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

#### 警告

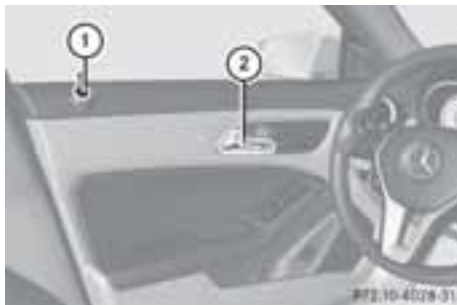
人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

荷物や貨物はなるべくトランクに積みこんでください。荷物の積み方 (▶ 278 ページ) をお守りください。

### 内側からドアを解錠して開く

**i** ドアを開けると、開けようとしているドア側のサイドウィンドウが少し開きます。ドアが閉まると、サイドウィンドウは再度閉じます。

**!** バッテリーがあがっているときや、サイドウィンドウが凍結しているときには、サイドウィンドウは開閉しません。その際、ドアを開じることができなくなります。ドアを無理に閉じようとししないでください。ドアやサイドウィンドウが損傷するおそれがあります。



▶ ドアハンドル ② を引きます。

ドアが施錠されているときは、ロックノブ ① が上がります。ドアが解錠され、開くことができます。

施錠されている場合でも、車内からドアを開くことができます。

車両があらかじめキーで施錠されている場合に、車内からドアを開くと盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください (▶ 72 ページ)。

チャイルドブルーロックによって保護されていない場合のみに、車内からリアドアを開くことができます (▶ 61 ページ)。

### 車内からの車両の集中施錠および解錠

車内から車両すべてを施錠または解錠できます。これは、発進前に車両を施錠したいときになどに便利です。



▶ 解錠する：スイッチ ① を押します。

▶ 施錠する：スイッチ ② を押します。  
すべてのドアおよびトランクリッドが閉じているときは、車両が施錠されます。

これは燃料給油フラップを施錠したり解錠したりはしません。

リモコン操作で車両が施錠されているときは、車内からドアロックスイッチで解錠することはできません。

施錠されている場合でも、車内からドアを開くことができます。

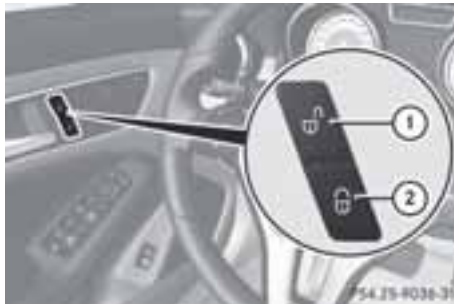
車両があらかじめキーで施錠されている場合に、車内からドアを開くと盗難防止警報システムが作動します。警報を停止してください。(▶ 72 ページ)

チャイルドブルーロックによって保護されていない場合のみに、車内からリアドアを開くことができます (▶ 61 ページ)。

セントラルロックのロックスイッチを使用して車両が施錠がされている、または自動的に施錠されていて、内側からドアが開かれた場合：

- あらかじめ完全に解錠されている場合は、車両は完全に解錠されます。
- 運転席のドアのみがあらかじめ解錠されている場合は、内側から開いたドアのみが解錠されます。

## 車速感応ドアロック



- ▶ **解除する**： 確認音が鳴るまで解除スイッチ ① を約5 秒間押し続けます。
- ▶ **設定する**： 確認音が鳴るまで設定スイッチ ② を約5 秒間押し続けます。

**i** スイッチを押しても確認音が鳴らない場合、その設定はすでに行なわれています。

エンジンスイッチをオンにしホイールが回転し始めると、車両は自動的に施錠されます。

そのため、以下では閉め出されるおそれがあります。

- 車を押すとき
- けん引されるとき
- ダイナモメーターで車両をテストするとき

車速感応ドアロックは、マルチファンクションディスプレイでも設定 / 解除できます。(▶ 225 ページ)

## 運転席ドアの解錠 (エマージェンシーキー)

キーで車を解錠できなくなったときは、エマージェンシーキーを使用します。

エマージェンシーキーで運転席ドアを解錠して開くと、盗難防止警報システムが作動します (▶ 72 ページ)。

- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▶ 77 ページ)。
- ▶ エマージェンシーキーを運転席ドアのキーシリンダーに確実に差し込みます。



- ▶ エマージェンシーキーを ① の位置まで時計回りにまわします。運転席ドアが解錠されます。
- ▶ エマージェンシーキーを元の位置に戻して、抜き取ります。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

## 車両の施錠 (エマージェンシーキー)

キーで車を施錠できなくなったときは、エマージェンシーキーを使用します。

- ▶ 運転席ドアを開きます。
- ▶ 助手席ドア、リアドア、トランクリッドを閉じます。
- ▶ ロックスイッチ (▶ 82 ページ) を押します。
- ▶ 助手席ドアとリアドアのロックノブがまだ見えていることを確認します。必要であれば、ロックノブを手動で押し下げます (▶ 81 ページ)。
- ▶ 運転席ドアを閉じます。
- ▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します (▶ 77 ページ)。
- ▶ エマージェンシーキーを運転席ドアのキーシリンダーに確実に差し込みます。



- ▶ エマージェンシーキーを反時計回りにまわして、①の位置にします。
- ▶ エマージェンシーキーを元の位置に戻して、抜き取ります。
- ▶ ドアとトランクリッドが施錠されていることを確認します。
- ▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

① 上記の方法で車を施錠した場合、燃料給油口は施錠されません。盗難防止警報システムは機能しません。

## トランク

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

燃焼エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッドが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッドを開く前に、必ずエンジンをオフにしてください。トランクリッドを開いたまま走行しないでください。

#### ⚠ 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

❗ トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

① トランクリッドを開いたときの寸法については、「サービスデータ」の(▷ 356 ページ)をご覧ください。

荷物や貨物はなるべくトランクに積みこんでください。荷物の積み方 (▷ 278 ページ) をお守りください。

トランクの中にキーを残したままにしないでください。外に閉め出されるおそれがあります。

トランクリッドは、以下の方法で操作できます。

- 車外から手動で開閉する
- エマージェンシーキーで内側から解錠する

### 車外からの手動開閉

#### 開く


- ▶ キーの  ボタンを押します。



- ▶ ハンドル ① を引きます。
- ▶ トランクリッドを引き上げます。

## 閉じる



- ▶ ハンドル ① に手をかけて、トランクリッドを引き下げます。
- ▶ トランクリッドを下げてロックさせます。
- ▶ 必要な場合は、キーの  スイッチを使って車両をロックします。

## 車外から自動で開く


### 全体的な注意事項

**!** トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

**i** トランクリッドを開いたときの寸法 (▷ 356 ページ)

### 開く

キーまたはトランクリッドのハンドルを操作して、トランクリッドを自動で開くことができます。

- ▶ トランクリッドが開くまで、キーの  スイッチを押し続けます。

または

- ▶ トランクリッドが解錠されているときは、トランクハンドルを手前に引いてすぐに手を放します。

## 車内からの自動開閉

### 全体的な注意事項

**!** トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

**i** トランクリッドを開いたときの寸法 (▷ 356 ページ)

### 開く



車両が停止して解錠されているときに、運転席からトランクリッドを開くことができます。

- ▶ **開く**：トランクリッドが開くまで、トランクスイッチ ① を引き続けます。

## 非常時の解錠

トランクリッドを車外から開くことができなときは、トランクリッドの内側にあるエマージェンシーリリースを使用してください。

**!** トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

**i** トランクリッドを開いたときの寸法については、「サービスデータ」の (▷ 356 ページ)をご覧ください。

トランクからエマージェンシーリリースに手が届きます。シートバックレストを前に倒します (▶ 282 ページ)。



- ▶ ドライバーなどの適切なツール ② を左側の緊急解除スロット ① に水平に差し込みます。
- ▶ ツール ② を矢印の方向に一定に押して、トランクリッドを開きます。

❶ 車両を施錠すると (▶ 83 ページ)、トランクリッドも施錠されます。

## サイドウィンドウ

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

閉じる部分に身体を近づけていると、サイドウィンドウを開く際に挟まれるおそれがあります。けがをする危険があります。

閉じる手順の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。誰かが挟まれたら、スイッチを放すか、あるいはスイッチを押してサイドウィンドウをもう一度開きます。

#### ⚠ 警告

とくに保護者のいない状態で子供を車内に残すと、サイドウィンドウを操作して挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

リアサイドウィンドウのチャイルドブルーロックを作動させます。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

### サイドウィンドウのリバース機能

サイドウィンドウには自動リバース機能が装備されています。閉じる動作中にかたい障害物がサイドウィンドウを妨げた、または制限した場合は、サイドウィンドウは再度自動的に開きます。しかし、オートリバース機能は補助に過ぎず、サイドウィンドウを閉じるときの注意に代わるものではありません。

#### ⚠ 警告

以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り4 mm以下となったとき
- リセット中
- リバース機能作動のすぐあとに再度手動でサイドウィンドウを閉じるとき

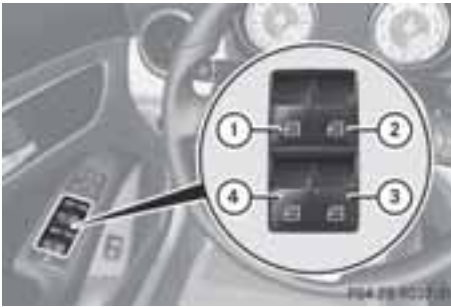
リバース機能は、これらの状況で挟み込まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉動作の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。挟み込まれたら、スイッチを押して、サイドウィンドウを再度開きます。

### サイドウィンドウの開閉

運転席ドアには、すべてのサイドウィンドウのスイッチがあります。サイドウィンドウのスイッチは、各ドアにもありません。

運転席ドアのスイッチ操作が優先されません。



- ① 左フロント
- ② 右フロント
- ③ 右リア
- ④ 左リア

**i** サイドウィンドウのチャイルドロック機能が作動しているときは、サイドウィンドウは後ろからは操作できません (▷ 61 ページ)。

- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。
- ▶ **開く**：スイッチを軽く押します。
- ▶ **完全に開く**：該当するスイッチを抵抗を感じるポイントを超えて押します。自動閉作動が開始します。
- ▶ **閉じる**：スイッチを軽く引きます。
- ▶ **完全に閉じる**：該当するスイッチを抵抗を感じるポイントを超えて押します。自動閉作動が開始します。
- ▶ **自動開閉を中断する**：該当するスイッチを再度押すか引きます。

**i** スwitchをいっぱいまで押すと、自動で開閉します。再度を押すと、自動動作を停止できます。




**i** エンジン停止するか、エンジンスイッチからキーを抜いても、サイドウィンドウを開閉できます。エンジン停止してから約5分間、または運転席/助手席ドアを開くまでサイドウィンドウを開閉できます。

### コンビニエンスオープニング機能

乗車する前に車内の空気を換気することができます。このために、以下の機能を同時に実行するためにキーが使用されません。

- 車を解錠したとき
- サイドウィンドウを開いたとき
- パノラミックスライディングルーフと電動ブラインドを開いたとき

**i** コンビニエンスオープニング機能は、リモコン操作でのみ行なうことができます。キーは運転席ドアのドアハンドル付近で操作してください。

- ▶ キーの先端部を運転席ドアのドアハンドルに向けます。
- ▶ サイドウィンドウおよびパノラミックサンルーフが希望の位置になるまで、 スwitchを押して保持します。パノラミックスライディングルーフの電動ブラインドが閉じているときは、電動ブラインドが先に開きます。
- ▶ パノラミックスライディングルーフが希望の位置になるまで、再度  スwitchを押して保持します。
- ▶ **コンビニエンスオープニングを中断する**： スwitchを放します。

### コンビニエンススクローリング機能

#### 警告

コンビニエンススクローリング機能が作動している場合、身体の一部がサイドウィンドウおよびスライディングルーフの閉じる部分に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

コンビニエンススクローリング機能进行操作しているときは、最後まで閉じる動作に注意してください。閉じている間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。




車両を施錠すると、以下のことを同時にすることができます。



- ・サイドウィンドウを閉じる
- ・パノラミックスライディングルーフを閉じる

パノラミックスライディングルーフ装備車の場合は、引き続き電動ブラインドも閉じます。

**i** キーは運転席ドアのドアハンドル付近で操作してください。

- ▶ キーの先端部を運転席ドアのドアハンドルに向けます。
- ▶ サイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが完全に閉じるまで、 スイッチを押して保持します。
- ▶ すべてのサイドウィンドウおよびパノラミックスライディングルーフが閉じていることを確認してください。

パノラミックスライディングルーフ装備車

- ▶ パノラミックスライディングルーフの電動ブラインドが閉じるまで、 スイッチを再度押して保持します。
- ▶ **コンビニエンスクロージングを中断する**： スイッチを放します。

### サイドウィンドウのリセット

以下の場合には各サイドウィンドウをリセットしなければなりません。

- ・完全に閉じた後にサイドウィンドウが再度少し開いた場合
- ・サイドウィンドウを完全に開く、または閉じることができない場合
- ▶ すべてのドアを閉じます。
- ▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

- ▶ サイドウィンドウが完全に閉じるまで、ドア操作パネルの対応するスイッチを引きます(▶ 86 ページ)。
- ▶ さらに数秒間スイッチを引いたまま保持します。

サイドウィンドウが再度少し下降したら、以下の操作を行なってください。

- ▶ サイドウィンドウが完全に閉じるまで、ただちにドア操作パネルの対応するスイッチを引きます(▶ 86 ページ)。
- ▶ さらに数秒間スイッチを引いたまま保持します。
- ▶ スイッチを解除した後サイドウィンドウが閉じたままになれば、サイドウィンドウのリセットが正しく行なわれています。そうでない場合は、再度リセット操作を行なってください。

### サイドウィンドウのトラブル

#### 警告

サイドウィンドウをブロックされたまたはリセットされた後すぐに再度閉じる場合、サイドウィンドウはより大きなまたは最大の力で閉じます。リバース機能は作動しません。この手順のとき、身体の一部を閉じる部分に挟み込まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

閉じている間は、身体の一部を閉じる部分に近づけないようにしてください。閉動作を止めるには、スイッチを放すか、サイドウィンドウを再度開くためにスイッチをもう一度押します。

**トラブル：ガイドレールなどに落ち葉などの障害物が挟まっているため、サイドウィンドウが全閉しない。**

- ▶ 障害物を取り除いてください。
- ▶ サイドウィンドウを閉じます。

**トラブル：サイドウィンドウが全閉しない。原因が分からない。** サイドウィンドウを閉じているとき、ウィンドウが障害物を検知して停止し、その位置から少し下降した場合は、以下の操作を行なってください。

- ▶ その状態からただちに再度スイッチを引き続けて、サイドウィンドウを閉じます。  
サイドウィンドウは、より強い力で閉じます。

サイドウィンドウを閉じているときに、ウィンドウが再度障害物を検知して停止し、その位置から少し下降した場合は、以下の操作を行なってください。

- ▶ その状態からただちに再度スイッチを引き続けて、サイドウィンドウを閉じます。  
サイドウィンドウは挟み込み防止機能が作動しない状態で閉じます。

## パノラミックスライディンググループ

### 重要な安全上の注意事項

以下の項では、「スライディンググループ」という言葉はパノラミックスライディンググループに該当します。

#### ⚠ 警告

スライディンググループを開閉するときに、グループの移動範囲に身体を近づけると、はさまれるおそれがあります。けがをすることおそれがあります。

開閉操作中は身体を近づけすぎないようにしてください。

はさまれた場合：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
- 自動操作中に、どの方向でもスイッチを短時間押します。

開閉手順が中断されます。

#### ⚠ 警告

とくに保護者のいない状態で子供を車内に残すと、スライディンググループを操作して挟まれるおそれがあります。けがをすることおそれがあります。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

#### ⚠ 警告

速度が早いとき、持ち上がっているスライディンググループは自動的に後部に下がります。ご自身または乗員を挟み込む可能性があります。けがの危険性があります。車両が走行している間は、スライディンググループの動いている範囲内に誰も近づいていないことを確認してください。

挟み込まれた場合は、道路および交通状況に注意を払って、ただちに速度を落としてください。スライディンググループは、元の位置で再度開きます。

スライディンググループが完全に持ち上がっていない場合、スイッチで持ち上げることもできます。

**!** パノラミックスライディンググループに雪や氷が付着した状態で操作しないでください。スライディンググループが故障する原因になります。

スライディンググループの開口部から物を出さないようにしてください。スライディンググループのシール部が損傷するおそれがあります。

**i** スライディンググループが開いているときは、通常の風切り音に加えて空気の振動が発生する可能性があります。これらは、車内の圧力変動が原因で発生します。これらを低減または除去するには、スライディンググループの位置を変更するか、サイドウィンドウを少し開いてください。

## スライディングルーフのリバース機能

スライディングルーフにはオートリバース機能が装備されています。スライディングルーフの閉動作中に障害物が挟まる、または動作が制限される場合、スライディングルーフは自動的に再度開きます。しかし、オートリバース機能は補助に過ぎず、スライディングルーフを閉じるときの注意に代わるものではありません。

### ⚠ 警告

以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り4 mm以下となったとき
- リセット中
- リバース機能作動のすぐあとに再度手動でスライディングルーフを閉じるとき

リバース機能は、これらの状況で挟み込まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉動作の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。

挟み込まれたとき：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
- 自動閉動作中に、どの方向でもスイッチを押します。

閉動作が停止します。

## スライディングルーフの操作


### オープン/クローズ




ルーフオペレーティングユニット

- ① チルトアップ
- ② 開く
- ③ 閉じる / チルトダウン

▶ エンジンスイッチを **1** または **2** の位置にします。

▶  スイッチを対応する方向へ押すか、または引きます。

**i**  スイッチを抵抗があるところを越えて押すと、対応する方向で自動開閉動作が開始されます。再度を押すと、自動動作を停止できます。

**i** 電動ブラインドが開いた後、電動ブラインドは自動的に少し閉じます。これは車内に入る風を減少させます。

**i** 電動ブラインドが後部でチルトアップした場合、より高い速度で自動的に少し下がります。結果として、車内のノイズレベルが減少します。

低速で、自動的に再度上がります。

**i** エンジンを停止するか、キーを抜いた後は、スライディングルーフの操作を続けることができます。この機能は5分間、またはフロンドアを開くまで作動したままになります。

**i** ルーフキャリアが取り付けられている場合は、スライディングルーフを開く

ことはできません。車内を換気するために、スライディンググループを上げることができます。

メルセデス・ベンツにより承認されたグループキャリアが接触する場合は、スライディンググループは少し下がり、後部が上がったままになります。

## レインクローズ機能

レインクローズ機能は、レインセンサー装備車でのみ使用することができます。エンジンスイッチのキーが **0** の位置にあるか、または取り外されたときは、以下のときにスライディンググループが自動で閉じます。

- 雨が降り始めたとき
- 外気温度が極端に高い、または低いとき
- 約6時間が経過したとき
- バッテリー電圧が低下したとき

車内を換気するために、スライディンググループは後部が上がったままになります。

**i** レインクローズ機能により閉じているときにスライディンググループが妨げられると、再度少し開きます。そして、レインクローズ機能が解除されます。

以下のときは、スライディンググループは閉じません。

- パノラミックスライディンググループをチルトアップしているとき
- 障害になる物が挟まっているとき
- 例えば、車両が橋の下などにあり、レインセンサーによってモニターされているフロントウインドウの範囲に雨が落ちないとき

## スライディンググループの電動ブラインドの操作

### 重要な安全上の注意

#### ⚠ 警告

電動ブラインドの開閉時、身体の一部が電動ブラインドとフレームまたはスライディンググループ間に挟み込まれるおそれがあります。けがの危険性があります。開閉動作の間は、身体を電動ブラインドの動いている部分に近づけないようにしてください。

挟み込まれたとき：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
- 自動開閉動作中に、どの方向でもスイッチを押します。

開閉動作が停止します。

電動ブラインドは日差しから車内を守ります。スライディンググループが閉じているときにのみ、2つの電動ブラインドを一緒に開閉することができます。

## 電動ブラインドのリバース機能

電動ブラインドは、オートリバース機能が装備されています。電動ブラインドの開閉動作中に障害物が挟まる、または動作が制限される場合、電動ブラインドは自動的に再度開きます。しかし、オートリバース機能は補助に過ぎず、電動ブラインドを閉じるときの注意に代わるものではありません。

#### ⚠ 警告

以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 電動ブラインドをオートリバース後すぐに手で閉じたとき

リバース機能は、これらの状況で挟み込まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている間は、身体の一部を電動ブラインドの動いている範囲内に近づけないようにしてください。




挟み込まれたとき：

- ただちにスイッチを放すか、あるいは
  - 自動開閉動作中に、どの方向でもスイッチを押します。
- 閉動作が停止します。

## オープン/クローズ







ルーフオペレーティングユニット

- ① 開く
  - ② 開く
  - ③ 閉じる
- ▶ エンジンスイッチを **1** または **2** の位置にします。
  - ▶  スイッチを対応する方向へ押すか、または引きます。
  - ▶  スイッチを抵抗があるところを越えて押すと、対応する方向で自動開閉動作が開始されます。再度を押すと、自動動作を停止できます。
  - ▶  電動ブラインドが開いた後、電動ブラインドは自動的に少し閉じます。これは車内の隙間風を減少させます。

## スライディンググループと電動ブラインドのリセット

スライディンググループや電動ブラインドがスムーズに作動しないときは、スライディンググループや電動ブラインドをリセットしてください。

- ▶ エンジンスイッチを **1** または **2** の位置にします。
- ▶ スライディンググループが完全に閉じるまで、 スイッチを矢印の方向 ③ に抵抗があるところまで繰り返し引きます。
- ▶  スイッチを引いたまま数秒間保持します。
- ▶ 電動ブラインドが完全に閉じるまで、 スイッチを矢印の方向 ③ に抵抗があるところまで繰り返し引きます。
- ▶  スイッチを引いたまま数秒間保持します。
- ▶ スライディンググループ (p. 90 ページ) および電動ブラインド (p. 92 ページ) が再度完全に開いて、再度閉じることを確認します。
- ▶ そうでない場合は、再度リセット操作を行なってください。

## スライディンググループのトラブル


### ⚠ 警告

故障または電力供給が遮断された後に電動ブラインドのリセットを行なわない場合、その後リバース機能が不具合をおこしたり、作動しないことがあります。電動ブラインドは、より強い力で閉じます。この手順のとき、閉じる範囲内で身体の一部を挟み込まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。


このような場合や似たような状況では、閉じている間は、決して閉じる範囲に身体の一部を近づけないようにしてください。

い。不具合または電圧供給の遮断後は、必ず電動ブラインドをリセットしてください。

**トラブル：スライディンググループが全閉しない。原因が分からない。** スライディンググループが閉じているときに挟み込みの抵抗を検知したため停止し、その位置から少し開いた場合は、以下の操作を行なってください。

- ▶ 抵抗を感じた後はただちに、スライディンググループが閉じるまで、 スイッチを抵抗があるところまで再度引き下げます。  
スライディンググループは、より強い力で閉じます。

スライディンググループが再度抵抗を挟み込みの検知したため停止し、その位置から少し開いた場合は、以下の操作を行なってください。

- ▶ 抵抗を感じた後はただちに、スライディンググループが閉じるまで、 スイッチを抵抗があるところまで再度引き下げます。  
挟み込み防止機能が作動しない状態でスライディンググループが閉じます。

役に立つ情報 .....	96
運転席の適切な位置 .....	96
シート .....	97
ステアリング .....	103
ミラー .....	104
メモリー機能 .....	107

## 役に立つ情報

❶ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

❷ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 23 ページ)

## 運転席の適切な位置

## ⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する

- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。



シート調整に関する安全上の注意事項を守ってください(▷ 97 ページ)。

▶ シート ③ が正しく調整されていることを確認してください。

手動シートの調整 (▷ 98 ページ)

電動シートの調整 (▷ 99 ページ)

シートを調整するときの留意点

- 運転席エアバッグからできるだけ離れていること。
- 通常の垂直位置で着座していること。
- シートベルトをきちんと装着できること。
- バックレストはほぼ垂直の位置になるように調整すること。
- 大腿部が軽く支えられるようにシートの角度を調整すること。
- ペダルをきちんと踏み込めること。

▶ ヘッドレストが適切に調整されていることを確認してください (▷ 99 ページ)。

ヘッドレストの中央が目の高さに調整され、後頭部がヘッドレストに支えられていることを確認してください。

ステアリング調整に関する安全上の注意事項を守ってください(▷ 103 ページ)。

▶ ステアリング ① が正しく調整されていることを確認してください。

ステアリング調整レバー (▷ 103 ページ)

ステアリングを調整するときの留意点

- ステアリングを握ったときに、腕に適度な余裕があること。
- 足を自由に動かせること。
- メーターパネル内のすべてのディスプレイが確認できること。

シートベルトに関する安全上のガイドラインを守ってください(▷ 43 ページ)。



- ▶ シートベルト ② を正しく着用しているかどうかを確認します(▶ 44 ページ)。  
シートベルトは、以下のように着用してください。
  - 身体に密着させる。
  - 肩を通るベルトが肩の中央にかかっている。
  - 腰を通るベルトが腰骨の低い位置にかかっている。
- ▶ 走行する前に、ルームミラーとドアミラー (▶ 104 ページ) を道路と交通状況がよく見える角度に調整してください。
- ▶ **メモリー機能付パワーシート装備車**：シート、ドアミラーの設定 (▶ 107 ページ) を記憶させてください。

## シート

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

保護者のいない状態で、お子様がシートを調整すると、挟み込まれる可能性があります。けがの危険性があります。  
車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

#### ⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。

#### ⚠ 警告

シートの高さは慎重に調整しないと、挟み込まれて負傷するおそれがあります。とくに子供は、電動シート調整スイッチを誤って押ししまい、挟み込まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートが動いている間は、シート調整システムのレバー部品の下に手や身体などを入れないでください。

#### ⚠ 警告

シートを調整するとき、シートガイドレールなどに挟み込まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートを調整する場合、身体がシートの動いている部分に触れていないというのを確認してください。

#### ⚠ 警告

バックレストをできるだけ垂直に近い位置にしないと、シートベルトの保護機能が十分に発揮できません。ブレーキ操作時または事故発生時、シートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などがけがを負うおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。常にシートが垂直に近い位置であることを確認してください。

#### ⚠ 警告

ヘッドレストが合っておらず、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがををする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

**!** シートとシートヒーターの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

- シートに液体をこぼさないでください。シートに液体をこぼしたときは、すみやかに乾燥させてください。
- シートカバーが濡れたときは、シートヒーターを使用しないでください。シートを乾燥させるためにシートヒーターを使用しないでください。
- シートカバーを清掃してください。"日常の手入れ"をご覧ください。
- シートの上に重い物を載せないでください。また、シートクッションの上にナイフやくぎ、工具などの鋭利な物を置かないでください。シートはできるだけ人を乗せるためだけに使用してください。
- シートヒーターの使用中は、ブランケットやコート、バッグ、シートカバー、チャイルドセーフティシート、補助シートなどにより、シートを覆わないでください。

**!** シートの前後位置を調整するときは、足元やシート後方に物が無いことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

**i** フロントシートおよびリアシートのヘッドレストは取り外すことができます。<sup>7</sup>

詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

**i** その他の関連テーマ：

- ラゲッジルームの拡大（リアシートを倒す）（▷ 282 ページ）

## シートの手動調整



## シートの前後位置

- ▶ ハンドル ① を持ち上げて、シートを前方または後方にスライドさせます。
- ▶ レバー ① を再度放します。  
シートが正しい位置でかみ合う音を確認します。

## バックレストの角度

- ▶ バックレストにかかる力を和らげます。
- ▶ ダイアル ④ を前後にまわします。

## シートの高さ

- ▶ ハンドル ③ を希望する高さになるまで繰り返し持ち上げるか、押し下げます。

## シートクッションの角度

大腿部が軽く支えられるように、角度を調整します。

- ▶ ダイアル ② を前後にまわします。

## パワーシートの調整



- ① ヘッドレストの高さ<sup>8</sup>
- ② シートクッションの角度
- ③ シートの高さ
- ④ シートの前後位置
- ⑤ バックレストの角度

**i** シート位置はメモリー機能 (p. 107 ページ) で記憶させることができます。

## ヘッドレストの調整

### ⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。

### ⚠ 警告

ヘッドレストが合っておらず、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

## 全体的な注意事項

スポーツシート装備車では、ヘッドレストの調整またはリアヘッドレストの取外し、取付けをすることはできません。

## ヘッドレストの手動調整

### ヘッドレストの高さ調整



- ▶ **高くする**：ヘッドレストを引き上げます。
- ▶ **低くする**：リリースキャッチ ① を矢印方向に押し、ヘッドレストを希望の位置に押し下げます。

### ヘッドレストの前後位置の調整



<sup>8</sup> スポーツシート装備車は利用できません

この機能を使用して、ヘッドレストと後頭部間の距離を調整できます。

- ▶ **前方に動かす**：停止するまでヘッドレストを矢印の方向に前方に引きます。数ヵ所の停止箇所があります。
- ▶ **後方に動かす**：ロック解除スイッチ ① を押したままヘッドレストを後方に押しします。
- ▶ ヘッドレストが希望の位置にきたら、スイッチを放し、ヘッドレストが正しくかみ合っていることを確認します。

### 電動式ヘッドレストの調整

- ▶ **ヘッドレストの高さ調整**：シート調整スイッチ(▶ 99 ページ)を矢印の方向に操作して調整します。

### リアシートのヘッドレスト

#### リアヘッドレストの高さの調整



- ▶ **高くする**：ヘッドレストを引き上げます。
- ▶ **低くする**：ロック解除スイッチ ① を押しながら、ヘッドレストを押し下げます。

#### リアヘッドレストの脱着

##### ⚠ 警告

ヘッドレストが合っておらず、正しく調整されていない場合、本来の機能を果たすことができなくなります。これによ

り、事故またはブレーキ作動時に頭部および首周りにけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さにあることを確認してください。

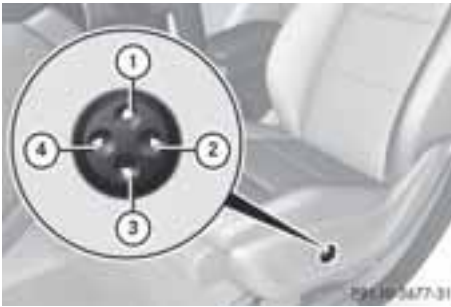
外側シートのリアヘッドレストは取外しおよび取付けができます。



- ▶ ヘッドレストを取り外すために、シートバックレストを少し前方に倒してください(▶ 282 ページ)。
- ▶ **取り外す**：ヘッドレストを止まるまで引き上げます。
- ▶ ロック解除スイッチ ① を押しながら、ヘッドレストを取り付け穴から引き抜きます。
- ▶ **取り付ける**：切り欠きのある方の支柱が前方から見て左側になるようにして、ヘッドレストを取り付け穴に差し込みます。
- ▶ ロックされるまで、ヘッドレストを押し下げます。

### 電動ランバーサポートの調整

ランバー（腰部）を最適にサポートできるように、フロントシートのバックレストの形状を調整できます。



- ① バックレストのサポート位置を上げる
- ② バックレストのサポートを弱くする
- ③ バックレストのサポート位置を下げる
- ④ バックレストのサポートを強くする

### AMGパフォーマンスシート

シートの形状を調整し、サイドサポートを改善するために、フロントシートを個別に調整することができます。



### シートクッションの長さの調整

- ▶ シートクッションを広げる：スイッチ ① を押します。
- ▶ シートクッションを縮める：スイッチ ② を押します。

### シートクッションのサイドサポートの調整

- ▶ シートクッションのサイドサポートを狭く設定する：スイッチ ③ を押します。
- ▶ シートクッションのサイドサポートを広く設定する：スイッチ ④ を押します。

### シートバックレストのサイドサポートの調整

- ▶ シートクッションのサイドサポートを狭く設定する：スイッチ ⑤ を押します。
- ▶ シートクッションのサイドサポートを広く設定する：スイッチ ⑥ を押します。

### シートヒーターの作動/停止の切り替え

#### オン / オフ

#### ⚠ 警告

シートヒーターを連続して使用すると、シートクッションおよびバックレストが異常に過熱する原因となります。高温により、温度変化を感知できにくい乗員や、異常な高温に対処できない乗員の健康に悪影響を与えたり、低温火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

したがって、シートヒーターを連続して使用しないでください。



スイッチの3つの赤い表示灯は、選択したレベルを表します。

システムは約8分後にレベル**3**から**2**へ自動的に切り替わります。

システムは約10分後にレベル**2**から**1**へ自動的に切り替わります。

レベル**1**に設定した約20分後に、システムは自動的に停止します。

▶ エンジンスイッチを**1**または**2**の位置にします (▷ 145 ページ)。

▶ **オンにする**：お好みのヒーターレベルになるまで、スイッチ①を繰り返し押します。

▶ **オフにする**：表示灯が消灯するまで、シートベンチレータースイッチ①を繰り返し押します。

**i** バッテリー電圧が低くなると、シートヒーターが停止することがあります。

## シートヒーターが作動しないとき

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シートヒーターが短時間で停止したり、作動しない。	多くの電気装備を使用しているため、バッテリー電圧が低くなっている。 ▶ リアデフォグガーやルームライトなど、必要のない電気装備をオフにしてください。 バッテリーが十分に充電できれば、シートヒーターは自動的にオンになります。

## ステアリング

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを装着する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを装着してください。

## ⚠ 警告

子供がステアリングを調整するとステアリングに挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

## ステアリング調整レバー

## ⚠ 警告

車が動いている状態で、ステアリングのロックが解除されている場合、不意に位置が変わるおそれがあります。車のコン

トロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

走行を開始する前に、ステアリングがロックされていることを確認してください。走行中は、決してステアリングのロックを解除しないでください。



① リリースレバー

② ステアリングの上下位置の調整

③ ステアリングの前後位置の調整

▶ リリースレバー ① を下方へ完全に押し下げます。

ステアリングはロック解除されます。

▶ ステアリングを希望のポジションに調整します。

- ▶ リリースレバー ① を上方へ完全に押し上げます。  
ステアリングがロックされます。
- ▶ ステアリングがロックされているか確認してください。ステアリングを上下方向に押す、または前後方向に動かして確認します。



## ミラー

### ルームミラー



- ▶ **防眩モードにする**：防眩モード切り替えスイッチ ① を前方または後方に操作します。

### ドアミラー

#### ドアミラーの調整

#### ⚠ 警告

ドアミラーに写る像は実際よりも小さく見えます。実際には、ドアミラーで見るとよりも近くにありますが、これは、車線を変更する際など、後続の道路使用者との距離感を見誤る可能性があるということです。事故の危険性があります。

そのため、肩越しに直接斜め後方を見て、実際の距離を確認してください。

- ▶ エンジンスイッチを **1** または **2** の位置にします (▶ 145 ページ)。
- ▶ 左側ドアミラースイッチ ① または右側ドアミラースイッチ ② を押します。  
選択したスイッチの表示灯が赤色に点灯します。  
しばらく何も操作を行わないと表示灯は消灯します。ドアミラー選択スイッチの表示灯が点灯しているときに、ドアミラー調整スイッチ ③ を操作すると、ドアミラーの角度を調整できます。
- ▶ 調整スイッチ ③ を上下方向、左右方向に押して、ドアミラーを正しい位置に調整します。交通状況にご注意ください。

より広い視野を確保するため、ドアミラーの外側部分は凸面になっています。エンジン始動後、リアデフォグがオンで、外気温度が低い場合は、ドアミラーが自動的に温められます。最大10分間温められます。

- ▶ **i** ドアミラーはリアデフォグスイッチによって手動で温めることもできます。



## ドアミラーを電動で格納 / 展開する



- ▶ エンジンスイッチを **1** または **2** の位置にします (▶ 145 ページ)。
- ▶ ドアミラー格納 / 展開スイッチ **①** を短く押します。  
ドアミラーが格納 / 展開します。

**①** ドアミラーは走行中は必ず完全に展開しているようにしてください。ドアミラーが振動することがあります。

**①** 47km/hより速く走行している場合は、ドアミラーを格納できなくなります。

## ドアミラーの設定

バッテリーが接続を外されたり、完全に放電した場合は、ドアミラーをリセットする必要があります。マルチファンクションディスプレイで"施錠時のドアミラー格納"機能が選択されていても、ドアミラーは格納されません(▶ 226 ページ)。

- ▶ エンジンスイッチを **1** の位置にまわします。(▶ 145 ページ)
- ▶ ドアミラー格納 / 展開スイッチ **①** を短く押します。

## ドアミラーを自動で格納 / 展開する

マルチファンクションディスプレイで"施錠時のドアミラー格納"機能が設定されているとき(▶ 226 ページ)：

- 車両の外側から施錠すると、ドアミラーも併せて格納されます。
- 車両を解錠し、運転席ドアまたは助手席ドアを開くと、ドアミラーは自動的に展開します。

**①** 手でドアミラーを格納した場合は、展開しません。

## ドアミラーが外側に曲げられたとき

ドアミラーが無理に外側に曲げられたときは、以下の操作を行なってください。

- ▶ **手動格納式ドアミラー装備車**：手動で元の位置に戻してください。
- ▶ **電動格納式ドアミラー装備車**：噛み合う音が聞こえ、ミラーが正しい位置に固定されるまでドアミラー格納 / 展開スイッチ(▶ 105 ページ)を押したままにします。  
ミラーの筐体が再度固定され、通常通りドアミラーを調整できます。(▶ 104 ページ)

## 自動防眩ミラー

"自動防眩ミラー"機能は、車両が"ミラーパッケージ"を装備している場合のみ使用できます。

以下の場合、ルームミラーと運転席側ドアミラーの自動防眩機能が作動します。

- エンジンスイッチがオン
- 後続車のライトがルームミラーのセンサーに当たる

シフトポジションがリバースのとき、またはルームライトが点灯しているときは、自動防眩機能は解除されます。

## リバースポジション機能付ドアミラー (助手席側)

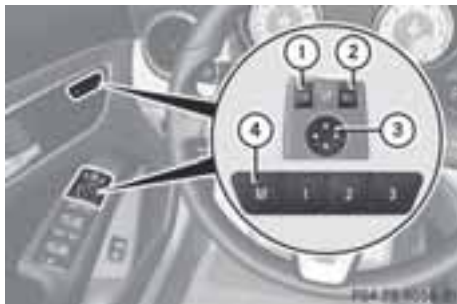
### 全体的な注意事項

"リバースポジション機能付ドアミラー(助手席側)"機能は、車両が"メモリパッケージ"を装備している車両のみが使用できます。

### リバースポジションの設定と記憶

#### リバースギアの使用

シフトポジションをリバースにしたとき、すみやかに後輪が見えるように助手席側ドアミラーを設定できます。その位置を記憶させることができます。



- ▶ 車両が停止していることを確認してください。
- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にまわします(▷ 145 ページ)。
- ▶ 助手席側ドアミラー選択スイッチ **②** を押します。
- ▶ リバースギアに入れます。  
助手席側ドアミラーの角度が、あらかじめ記憶させていた角度になります。
- ▶ ドアミラーを調整するため、調整スイッチ **③** を使用してください。ドアミラーからリアホイールと歩道が見えている必要があります。  
リバースポジションが記憶されます。

**①** シフトポジションをリバースから他の位置にすると、助手席側ドアミラーは元の角度に戻ります。

#### メモリースイッチの使用

シフトポジションをリバースにしたとき、すみやかに後輪が見えるように助手席側ドアミラーを設定できます。その位置を記憶させることができます。この設定は、メモリースイッチ **M ④** を使用して保存することができます。

- ▶ 車両が停止していることを確認してください。
- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にまわします(▷ 145 ページ)。
- ▶ 助手席側ドアミラー選択スイッチ **②** を押します。
- ▶ ドアミラーを調整するため、調整スイッチ **③** を使用してください。ドアミラーからリアホイールと歩道が見えている必要があります。
- ▶ メモリースイッチ **M ④** を押し、約3秒以内にドアミラー調整スイッチ **③** をいずれかの方向に押します。  
このとき助手席側ドアミラーが動かなければ、そのときの角度がリバースポジションとして記憶されます。
- ▶ 助手席側ドアミラーが動いたときは最初からやり直してください。

#### 記憶したリバースポジションの呼出し

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にまわします(▷ 145 ページ)。
- ▶ ドアミラー調整スイッチ(▷ 104 ページ)で、助手席側ドアミラーの角度を調整します。
- ▶ リバースギアに入れます。  
助手席側ドアミラーの角度が記憶されたリバースポジションになります。

助手席側ドアミラーは次のいずれかのときに元の角度に戻ります。

- 速度が 15 km/h を越えたときにすぐ
- シフトポジションをリバースから他の位置にして約10秒以上経過したとき
- 運転席側ドアミラー選択スイッチ ① を押したとき

## メモリー機能

### メモリーの設定

#### ⚠ 警告

走行中に運転席側のメモリー機能を使用すると、調整をした結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

車両が停車しているときにのみ運転席側のメモリー機能を使用してください。

#### ⚠ 警告

メモリー機能がシートを調整するとき、ご自身だけでなく、他の乗員、特にお子様が挟み込まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

メモリー機能が調整を行っている間、シートの動いている箇所にだれも近づかないように注意してください。挟み込まれた場合、すぐにメモリー機能ポジションスイッチを解除してください。調整プロセスが停止します。

#### ⚠ 警告

保護者のいない状態で、子供がメモリー機能を作動させると、挟み込まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。保護者のいない状態で子供を車内に残さないでください。

メモリー機能では、例えば3人の異なる運転者のために3つの位置を記憶させることができます。

以下の項目がひとつの設定として記憶されます。

- シートとバックレスト、ヘッドレストの位置
- 運転席側：運転席および助手席側のドアミラーの角度



- ▶ シート(▷ 99 ページ)を調整します。
- ▶ 運転席側ドアミラー (▷ 104 ページ) を調整します。
- ▶ メモリースイッチ **M** を押し、それから3 秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押します。選択したポジションスイッチにそのときの位置が記憶されます。メモリーの設定が完了すると確認音が鳴ります。

### 記憶した位置を呼び出す

- ▶ 記憶したシート位置とドアミラーの角度になるまで、呼び出したいポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押し続けます。

**i** ポジションスイッチから手を放すと、記憶位置の呼び出しは停止します。

役に立つ情報 .....	110
車外ライト .....	110
ルームライト .....	117
電球の交換 .....	118
フロントワイパー .....	122

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▶ 23 ページ)

## 車外ライト

## 全体的な注意事項

安全のため、昼間でもライトを点灯して運転することをお勧めします。国により、ヘッドライトの操作は法令によるものや自己責任によるもの場合があります。

## 車外ライトの設定

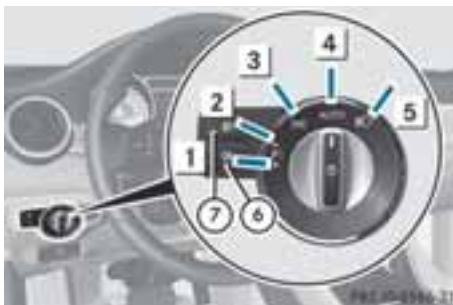
## 設定方法

ライトは以下を操作して設定できます。

- ライトスイッチ
- ヘッドライト光軸調整（ハロゲンヘッドライト装備車両のみ）(▶ 112 ページ)
- コンビネーションスイッチ (▶ 113 ページ)
- マルチファンクションディスプレイ (▶ 222 ページ)

## ライトスイッチ

## 使用



- 1 **←P** 左側パーキングランプ
- 2 **P←** 右側パーキングランプ
- 3 **☰** 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
- 4 **AUTO** ヘッドライトのオートモード（ライトセンサーによる制御）
- 5 **☰** ロービーム/ハイビームヘッドライト
- 6 **0\*** リアフォグランプ
- 7 **☰** フォグランプ（フロントフォグランプ装備車両のみ）

車両から離れるときに警告音が鳴る場合は、ライトが点灯していることがあります。

▶ ライトスイッチを **AUTO** にまわします。


車外ライト（車幅灯/パーキングライト以外）は、以下の操作を行なうと自動的に消灯します。

- エンジンスイッチからキーを抜く
- キーが **0** の位置のときに運転席ドアを開く

## ヘッドライトのオートモード

## ⚠ 警告


ライトスイッチを **AUTO** に設定しているときは、霧、雪、または霧雨のような天候状態のために視界を悪くする他の原因がある場合は、ロービームヘッドライト

が自動的にオンにならないことがあります。事故の危険性があります。このような状況のときは、ライトスイッチを  にまわします。


ライトのオートモード機能は単なる支援にすぎません。車両の照明に関する責任は、常に運転者にあります。



通常は、ライトスイッチを **AUTO** に設定することをお勧めします。ライト設定は、周囲の明るさに応じて以下のように自動的に選択されます（例外：霧、雪、霧雨などの天候による視界不良）。

- エンジンスイッチのキーが **1** の位置のとき：周囲の明るさに応じて車幅灯が自動的に点灯または消灯します。
  - エンジンがかかっているとき：マルチファンクションディスプレイでデイトタイムドライビングライト機能を作動させている場合は、デイトタイムドライビングライトまたは車幅灯およびロービームヘッドライトが周囲の明るさの明るさ度合いによって自動的にオンまたはオフに切り替わります。
- ▶ **ヘッドライトのオートモードをオンにする**：ライトスイッチを **AUTO** にまわします。

ロービームヘッドライトがオンのときは、メーターパネルの緑色の表示灯  が点灯します。






### ロービームヘッドライト

イグニッションがオンで、ライトスイッチが  の位置にあるときは、ライトセンサーが周囲の明るさの状況が暗いことを検知していなくても、車幅灯とロービームヘッドライトが点灯します。これは、霧や雨のときに便利です。

- ▶ **ロービームヘッドライトを点灯する**：エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわすか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを  にまわします。メーターパネルの緑色の表示灯  が点灯します。

### フォグランプ




霧、雪または雨のために視認性が悪い状況では、フォグランプは視認性を向上させるとともに、他の道路使用者のお客様への見やすさを容易にします。それらは車幅灯と一緒に、または車幅灯およびロービームヘッドライトと一緒に作動することができます。

- ▶ **フォグランプを点灯する**：エンジンスイッチのキーを **2** の位置にするか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを  または **AUTO** にまわします。
- ▶  スwitchを押します。メーターパネルの緑色の表示灯  が点灯します。
- ▶ **フロントフォグランプを消灯する**： スwitchを押します。メーターパネルの緑色の表示灯  が消灯します。

"フォグランプ"機能はフロントフォグランプ装備車のみには装備されています。インテリジェントライトシステム装備車でフォグランプの操作方法 (> 115 ページ)。




### リアフォグランプ



リアフォグランプは、濃霧の交通でのお客様の車両の被視認性を改善します。リアフォグランプの使用に関する、国ごとに規定された法律を遵守してください。

- ▶ **リアフォグランプを点灯する：** エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわすか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを  または **AUTO** にまわします。
- ▶ **0** スイッチを押します。  
メーターパネルの黄色の表示灯  が点灯します。
- ▶ **リアフォグランプを消灯する：** **0** スイッチを押します。  
メーターパネルの黄色の表示灯  が消灯します。

**i** リアフォグランプがオンのとき、テールランプのセンターブレーキランプは法的要求事項のためにオフにします。



### 車幅灯

**!** バッテリーが過放電すると、次回のエンジン始動を可能にするために、車幅灯またはパーキングランプが自動的に消灯します。法的基準にしたがって車両を安全で十分な明るさのところに常に駐車してください。車幅灯  を何時間も連続してご使用にならないでください。可能であれば、 右側または  左側パーキングランプを点灯してください。

- ▶ **点灯する：** ライトスイッチを  にまわします。  
メーターパネルの緑色の表示灯  が点灯します。

### パーキングランプ

パーキングランプを点灯すると、車両の対応する側の照明が点灯します。

- ▶ **パーキングランプを点灯する：** キーがエンジンスイッチにないか、または **0** の位置になっています。
- ▶ ライトスイッチを  (車両の左側) または  (車両の右側) にまわします。

### ヘッドライト光軸の調整 (ハロゲンヘッドライト)

ヘッドライト光軸ダイヤルは車両の荷重にあわせたヘッドライトの配光を調整します。

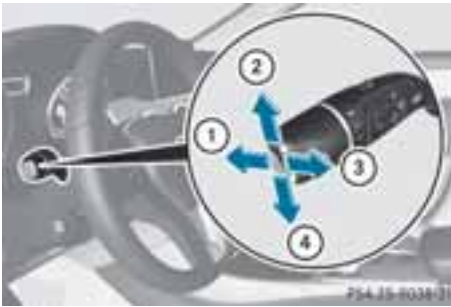


ヘッドライト光軸ダイヤル

- 0** 運転席および助手席に乗員
  - 1** 運転席、助手席およびリアシートに乗員
  - 2** 運転席、フロントシートおよびリアシートに乗員、トランクに積載
  - 3** 運転席、フロントシートに乗員、後軸の最大許容荷重を使用
- ▶ エンジンを始動してください。
  - ▶ 車両の荷重に対応する位置にヘッドライト光軸ダイヤルをまわします。

## コンビネーションスイッチ

## 方向指示灯



- ① ハイビームヘッドライト
- ② 右側の方向指示灯
- ③ パッシングライト
- ④ 左側の方向指示灯

- ▶ **短時間点滅させる：** コンビネーションスイッチを矢印 ② または ④ の方向に軽く押します。  
対応する方向指示灯が3回点滅します。
- ▶ **点滅させる：** コンビネーションスイッチを矢印 ② または ④ の方向に押しします。

## ハイビームヘッドライト

- ▶ **ハイビームヘッドライトを点灯する：** エンジンスイッチを 2 の位置にするか、エンジンを始動します。
- ▶ ライトスイッチを または **AUTO** にまわします。
- ▶ コンビネーションスイッチを手応えのあるところを越えて矢印 ① の方向に押しします。  
**AUTO** の位置のとき、ハイビームヘッドライトは、周囲が暗くエンジンがかかっているときにのみ点灯します。

ハイビームヘッドライトを点灯させると、メーターパネルの青色の表示灯 が点灯します。

- ▶ **ハイビームヘッドライトを消灯する：** コンビネーションスイッチを通常的位置に戻します。  
メーターパネルの青色の表示灯 が消灯します。

① アダプティブハイビームアシスト装備車：アダプティブハイビームアシストが作動しているとき、それがハイビームヘッドライトの作動をコントロールします。(▶ 115 ページ)

## パッシングライト

- ▶ **作動させる：** エンジンスイッチを 1 または 2 の位置にするか、エンジンを始動します。
- ▶ コンビネーションスイッチを矢印 ③ の方向に引きます。

## 非常点滅灯



非常点滅灯は、以下のときに自動的に点滅します。

- エアバッグが作動したとき
- 約70 km/h 以上の速度から車両が急減速して停止したとき



▶ **非常点滅灯の点灯**：スイッチ ①を押します。

すべての方向指示灯が点滅します。このときにコンビネーションスイッチを使用して方向指示灯を作動させたときは、車両の対応する側の方向指示灯のみが点滅します。

▶ **非常点滅灯の消灯**：スイッチ ①を再度押します。

フルブレーキを効かせた後に車両が再度約 10 km/h 以上の速度に達すると、非常点滅灯は自動的にオフになります。

❶ 非常点滅灯は、イグニッションがオフの場合でも作動します。

### ヘッドライトウォッシャー

ヘッドライトが点灯している間、エンジンがかかっている間は、「フロントウィンドウウォッシャー」機能を約5回操作すると、ヘッドライトが自動的に清掃されます(▶ 122 ページ)。イグニッションをオフにしたときは、自動ヘッドライトクルーニングシステムはリセットされ、回数は0から再開します。

### インテリジェントライトシステム

#### 全体的な注意事項

インテリジェントライトシステムは、実際の走行や天候状況に合わせてヘッドライトを自動的に調整するシステムです。車両速度や天候状況などに応じて路面の照射を向上させる最新機能を提供します。システムには、アクティブライトシステムやコーナリングライト、ハイウェイモード、フォグランプ強化機能が含まれます。システムは周囲が暗いときのみ作動します。

マルチファンクションディスプレイを使用して「インテリジェントライトシステ

ム」を作動させたり解除したりできます(▶ 222 ページ)。

### アクティブライトシステム



アクティブライトシステムは、ステアリングを切る角度に応じてヘッドライトの向きを変化させるシステムです。そのため、走行中はステアリングを操作した方向が常に照射されます。このシステムにより、歩行者、自転車、動物などを容易に認識することができます。

**以下のときに作動します**：ライトが点灯しているとき

### コーナリングライト



コーナリングライトは、コーナリング時に進行方向の路面を広く照射し、夜間の交差点などで運転者の視界を向上します。コーナリングライトは、ヘッドライトがロービームで点灯しているときのみ作動します。

**作動：**

- 約40 km/h以下の速度で走行していて、方向指示灯をオンにするか、またはステアリングをまわした場合
- 約40 km/hから70 km/hの間の速度で走行していて、ステアリングをまわした場合

**非作動：**約40 km/h以上の速度で走行しているか、または方向指示灯をオフにする、またはステアリングを直進位置にまわした場合

コーナリングライトは短時間点灯し続けますが、約3分後に自動的に消灯します。

**ハイウェイモード**

ハイウェイモードでは、ヘッドライトの照射範囲が拡大されます。

**作動：**

- 約110 km/h以上の速度で走行していて、1000 mの間ステアリングを大きく動かしていないとき
- 約130 km/h以上の速度で走行しているとき

**以下のときに解除されます。**作動後に、約80 km/h以下の速度で走行したとき

**フォグランプ強化機能**

フォグランプ強化機能は運転者の眩しさを軽減し、道路の端の照射を向上させます。

**作動：**約70 km/h以下の速度で走行していて、リアフォグランプをオンにした場合

**非作動：**約100 km/h以上で走行しているか、または作動後にリアフォグランプをオフにした場合

**アダプティブハイビームアシスト****重要な安全上の注意事項****⚠ 警告**

アダプティブハイビームアシストは、以下の道路利用者には反応しません。

- 歩行者などライトを持っていない
- 自転車にライトが装着されていても、ライトが暗い
- ガードレールの後ろにいるなど、道路使用者のライトが遮られている

また、アダプティブハイビームアシストはライトをもっている道路使用者をまったく検知しなかったり、検知が遅れたりします。このような場合は、ハイビームヘッドライトが自動で切り替わらなかったり、他の道路使用者がいるときに不意に切り替わる場合があります。事故の危険性があります。

道路や交通事情に常に注意して、適切なタイミングでハイビームヘッドライトをオフにしてください。

アダプティブハイビームアシストは、道路、天候または交通状況を考慮に入れることはできません。アダプティブハイビームアシストは単なる支援にすぎません。運転者は視界や道路状況に応じて、ヘッドライトの下向き/上向きを手動で調整してください。

特に以下の状況では、障害物の検知が困難になります。

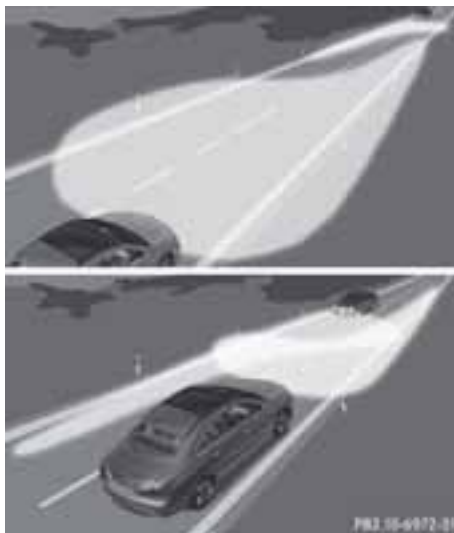
- ・霧や激しい雨、雪などで視界が悪い
- ・センサーに異物が付着しているときまたはセンサーが何かで覆われているとき

### 全体的な注意事項

この機能を設定すると、ヘッドライトのハイビームとロービームを自動的に切り替えることができます。システムがライトを点灯している対向車または先行車を検知した場合には、ヘッドライトをハイビームからロービームに切り替えます。

このシステムは、他車との距離に応じてロービームの照射範囲を自動調整します。他の車両が検知されなくなると、再びハイビームに戻します。

システムの光学センサーは、フロントウインドウ裏側のオーバーヘッドコントロールパネル付近に装着されています。



### アダプティブハイビームアシストのオン/オフの切り替え

▶ **オンにする**： マルチファンクションディスプレイを使用して、アダプティブハイビームアシスト機能をオンにします(▷ 223 ページ)。

▶ ライトスイッチを **AUTO** にまわします。


▶ コンビネーションスイッチを手応えのあるところを越えて矢印の方向 ① (▷ 113 ページ) に押します。

周囲が暗く、ライトセンサーがロービームヘッドライトを作動させたときは、マルチファンクションディスプレイの表示灯 **[D]** が点灯します。



約 45 km/h 以上の速度で走行している場合


ヘッドライトの照射範囲は、他車や他の道路使用者との距離に応じて自動的に設定されます。

約 55 km/h 以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されていない場合

自動的にハイビームヘッドライトが点灯します。メーターパネルの表示灯  も点灯します。

約45 km/h 以下の速度で走行しているか、または他の道路使用者が検知されている、または道路が十分に照らされている場合

自動的にハイビームヘッドライトが消灯します。メーターパネルの表示灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイの表示灯  は点灯したままになります。

- ▶ **解除する：** コンビネーションスイッチを通常の位置に戻します。マルチファンクションディスプレイの表示灯  は消灯します。

### ヘッドライト内側の曇り

外気の湿度が高いときは、ヘッドライトの内側が曇ることがあります。






- ▶ ライトを点灯して発進します。走行するうちに天候状態（湿度と温度）が変化すると、曇りは取れてきます。曇りが取れないとき
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場  
でヘッドライトの点検を受けてください。

## ルームライト

### ルームライトの概要





前席のルーフトオペレーティングユニット

- ①  フロント左側読書灯点灯 / 消灯の切り替え
- ②  フロントルームライト点灯
- ③  リアルームライト点灯 / 消灯の切り替え
- ④  フロントルームライト消灯 / ルームライト自動点灯モードのオフ
- ⑤  フロント右側読書灯点灯 / 消灯の切り替え
- ⑥ ルームライト自動点灯モードのオン



後席のルーフトオペレーティングユニット

- ①  左側読書灯点灯 / 消灯の切り替え
- ②  右側読書灯点灯 / 消灯の切り替え


## ルームライトの操作

### 重要な注意事項

車両のバッテリーあがりを防止するため、エンジンスイッチのキーが 2 の位置以外のおときは、ルームライトの機能は一定時間後に自動的に解除されます。

アンビエントライトの色と明るさは、マルチファンクションディスプレイ (p. 224 ページ) を使用して設定できます。

### ルームライトの自動点灯





- ▶ **オンにする**：スイッチを中央位置 ⑥ に設定します。
- ▶ **消灯する**：スイッチを  の位置に設定します。

ルームライトは以下のときに自動的に点灯します。

- 車を解錠したとき
- ドアを開いたとき
- エンジンスイッチからキーを抜き取ったとき

エンジンスイッチからキーを抜くと、ルームライトが少しの間点灯します。この遅延消灯は、マルチファンクションディスプレイを使用して作動できます (p. 224 ページ)。

### ルームライトの手動点灯

- ▶ **フロントルームライトを点灯する**：スイッチを  の位置に設定します。
- ▶ **ルームライトを消灯する**：スイッチを  の位置に、またはドアが閉じている場合は中央位置に設定します。
- ▶ **リアルームライトを点灯 / 消灯する**： スイッチを押します。
- ▶ **読書灯を点灯 / 消灯する**： スイッチを押します。

## 緊急時点灯機能

車両が事故に巻き込まれたときに、ルームライトが自動的に点灯します。

- ▶ **緊急時点灯機能をオフにする**：非常点滅灯スイッチを押します。

または

- ▶ キーを使用して、車両を施錠してから解錠します。

## 電球の交換

### 重要な安全上の注意事項

### キセノンライト

#### 危険

キセノンバルブには高電圧が発生しています。キセノンバルブのカバーを取外し、電気端子に触れると、感電するおそれがあります。致命的なけがををするおそれがあります。

決して、キセノンバルブの構成部品や電気端子に触れないでください。キセノンバルブに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

キセノンライトが装備されているときは、以下のように確認することができます。エンジンを始動したときに、キセノンライトからの光の軸が上から下に動き、元に戻ります。この動きを確認するには、エンジンを始動する前にヘッドライトを点灯させなければなりません。

電球やライトは、車両の安全性の重要な装備です。そのため、これらの機能が正常であることを常に確認してください。ヘッドライトの設定は、定期的に点検してください。

## その他の電球の取り扱い

### ⚠ 警告

作動時、電球、ランプおよびコネクターは非常に熱くなります。電球を交換するとき、これらの構成部品に触れると火傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

電球を交換するとき、これらの構成部品に触れると火傷するおそれがあります。

落ちた、またはガラス管に引っかき傷がある電球は使用しないでください。

以下のとき、電球が破裂するおそれがあります。

- 触れたとき
- 温度が高いとき
- 落としたとき
- 引っかいたとき

この用途のために設計された放電管の電球のみを使用してください。同一種類のスペア電球および正しい電圧でのみ取り付けてください。

ガラス管上に付いた痕は、電球の寿命を短くします。ガラス管を素手で触らないでください。必要に応じて、冷えているときにガラス管をアルコールで清掃し、毛羽立ちのない布でふき取ります。

点灯している間、電球を湿気から避けてください。電球に液体が接触しないようにしてください。

キセノン電球以外にもご自身で交換できない電球があります。挙げられてる電球のみを交換してください (▶ 119 ページ)。お客様自身で交換できない電球は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でお交換してください。

電球交換の支援が必要なときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

新しい電球が点灯しない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

電球やライトは、車両の安全性の重要な装備です。そのため、これらの機能が正常であることを常に確認してください。ヘッドライトの設定は、定期的に点検してください。

### 電球交換の概要 - 電球

以下の電球を交換できます。電球の種類の詳細は凡例をご覧ください。



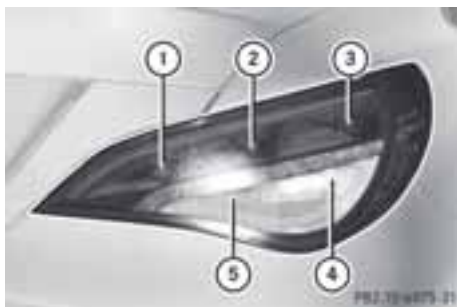
ハロゲンヘッドライト装備車

- ① 方向指示灯：PY 21 W
- ② ハイビームヘッドライト/デイトイムドライビングランプ/車幅灯/パークランプ：H15 55 W/15 W
- ③ ロービームヘッドライト：H7 55 W



インテリジェントライトシステム装備車両

- ① コーナリングライト：H7 55 W



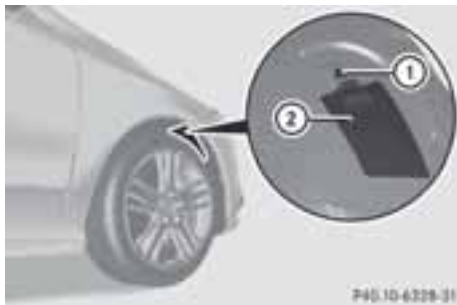
テールランプ (ハロゲンヘッドライト装備車)

- ① リアフォグランプ：P 21 W
- ② ブレーキランプ：W 16 W
- ③ ブレーキランプ：W 16 W
- ④ 方向指示灯：PY 21 W
- ⑤ バックランプ：W 16 W

### フロントの電球交換

#### フロントホイールアーチのカバー取付け/取外し

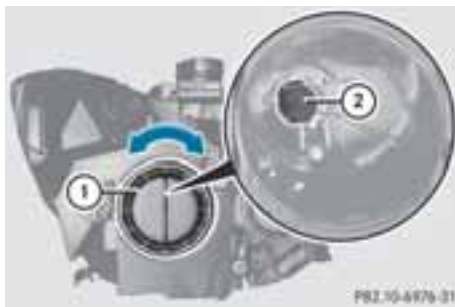
フロントの電球を交換する前に、前輪のハウジングからカバーを取り外してください。



- ▶ **取り外す**：ライトスイッチをオフにします。
- ▶ 前輪を内側にまわします。
- ▶ 回転ノブ ① を90° 回します。カバー ② が解除されます。
- ▶ カバー ② を下方に押します。

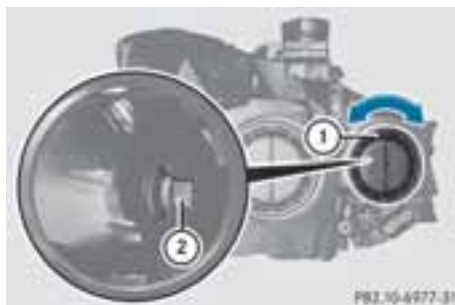
- ▶ **取り付ける**：カバー ② を上方へ上げる。
- ▶ 回転ノブ ① を90° 回します。カバー ② がロックされます。

#### ロービームヘッドライト (ハロゲンヘッドライト)



- ▶ フロントホイールアーチのカバーを取り外します。(▶ 120 ページ)
- ▶ ハウジングカバー ① を反時計回りにまわして引き出します。
- ▶ ソケット ② を反時計回りにまわして引き抜きます。
- ▶ ソケット ② から電球を抜き取ります。
- ▶ 新しい電球をソケット ② に差し込みます。
- ▶ ソケット ② をランプに差し込み、時計回りにまわします。
- ▶ ハウジングカバー ① の位置を合わせ、時計回りにまわしてロックさせます。
- ▶ フロントホイールアーチのカバーを交換します。(▶ 120 ページ)

## ハイビームヘッドライト/デイトタイムドライビングライト/サイドランプおよびパーキングランプ（ハロゲン・ヘッドライト装備車）



- ▶ ライトを消灯します。
- ▶ ボンネットを開きます。
- ▶ハウジングカバー ① を反時計回りにまわして引き出します。
- ▶電球 ② を反時計回りにまわして引き出します。
- ▶新品の電球を差し込み、止まるまではめます。
- ▶ハウジングカバー ① の位置を合わせ、時計回りにまわしてロックさせます。

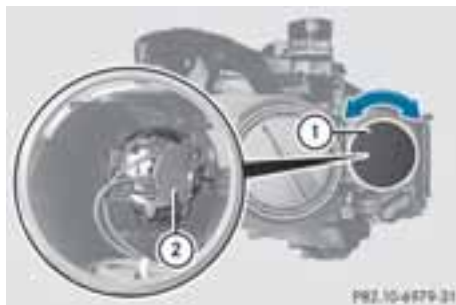
## 方向指示灯（ハロゲンヘッドライト）



- ▶ ライトを消灯します。
- ▶ ボンネットを開きます。
- ▶ソケット ① を反時計回りにまわして引き抜きます。

- ▶ソケット ①から電球を抜き取ります。
- ▶新しい電球をソケット ①に差し込みます。
- ▶バルブホルダー ① を差し込み、固定されるまで時計回りにまわします。

## コーナリングライト（インテリジェントライトシステム）



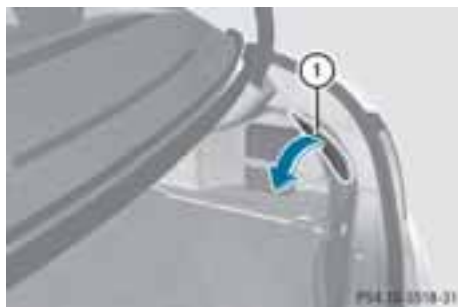
- ▶ ライトを消灯します。
- ▶ ボンネットを開きます。
- ▶ハウジングカバー ① を反時計回りにまわして引き出します。
- ▶ソケット ② を反時計回りにまわして引き抜きます。
- ▶ソケット ② から電球を抜き取ります。
- ▶新しい電球をソケット ② に差し込みます。
- ▶ソケット ② をランプに差し込み、時計回りにまわします。
- ▶ハウジングカバー ① の位置を合わせ、時計回りにまわしてロックさせます。

## リアの電球交換

### サイドトリムパネルの開閉

テールランプの電球を交換する前に、ラゲッジルーム内のサイドトリムパネルを開く必要があります。



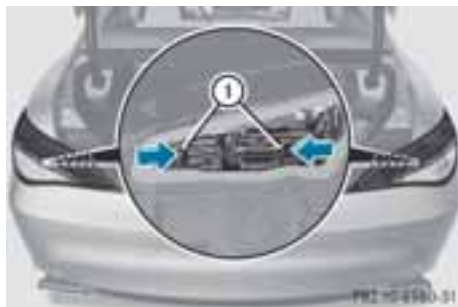


例：右側サイドトリムパネル

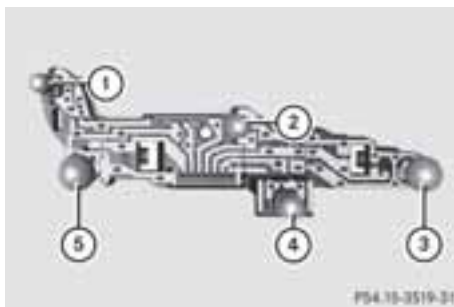
- ▶ **開く：** 左右いずれかのサイドトリムパネル ① を上部でゆるめ、矢印の方向に倒します。
- ▶ **閉じる：** サイドパネル ① を差し込みます。

## テールライト

- ▶ ライトを消灯します。
- ▶ トランクを開きます。
- ▶ サイドトリムパネルを開きます (▷ 121 ページ)。



- ▶ クリップ ① を矢印の方向に同時に押しします。
- ▶ バルブホルダーをコネクターおよび電球と一体で注意して取り外します。



ソケット

- ① ブレーキランプ
- ② ブレーキランプ
- ③ リアフォグランプ
- ④ バックランプ
- ⑤ 方向指示灯

- ▶ **ブレーキランプ/リアフォグランプ/バックランプ：** ソケットから対応する電球を取り外します。
- ▶ 新しい電球をソケットに差し込みます。
- ▶ **方向指示灯：** 電球をソケット内へ軽く押し、反時計回りにまわして、ソケットから取り外します。
- ▶ 新しい電球を電球ホルダーに差し込み、時計回りにまわします。
- ▶ ソケットを再度差し込み、クリップ ① にかみ合わせます。
- ▶ サイドトリムパネルを閉じます (▷ 121 ページ)。

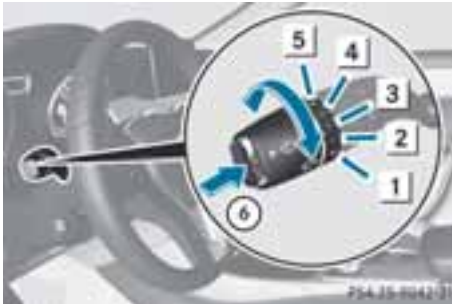
## フロントワイパー

### フロントワイパーの作動/停止の切り替え

❗ ウィンドウが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。また、ウィンドウに付着したほこりなどでウィンドウの表面に傷が付くおそれがあります。

乾燥した気候条件でフロントワイパーをオンにする必要がある場合は、必ずウォッシャー液を噴射しながら操作してください。

**!** 車両を自動洗車機で洗車した後にワイパーを使用しても油膜が残るときは、ウインドウに付着したワックスや洗剤などが原因と考えられます。ウインドウをウォッシャー液で洗淨してください。



コンビネーションスイッチ

- ① ワイパー停止
  - ② 低速間欠モード（レインセンサーは低感度に設定）
  - ③ 高速間欠モード（レインセンサーは高感度に設定）
  - ④ 低速作動モード
  - ⑤ 高速作動モード
  - ⑥ 一回のワイパー作動 / ウォッシャー液を使用してワイパーを作動させる
- ▶ エンジンスイッチを 1 または 2 の位置にします。
  - ▶ コンビネーションスイッチを作動の位置にします。

**!** レインセンサー装備車：乾燥した気候条件でフロントウインドウが汚れた場合、フロントワイパーが不意に作動するおそれがあります。ワイパーブレードを損傷したり、ウインドウに傷が付くおそれがあります。

このため、雨が降っていないときは必ずワイパースイッチを停止の位置にしてください。

**レインセンサー装備車：** または の位置では、雨滴量に応じてワイパーの作動が自動的に調整されます。 の位置では、レインセンサーは の位置よりも高感度となり、ワイパーはより短い間隔で作動します。

ワイパーブレードが劣化すると、ウインドウの水滴を十分に拭き取ることができません。視界を妨げて、周囲の交通状況を把握できないおそれがあります。ワイパーブレードは春と秋の年に2回交換してください。

### ワイパーブレードの交換

#### 重要な安全上の注意事項

##### 警告

ワイパーブレードを交換中にワイパーが動き出した場合、ワイパーアームに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

ワイパーブレードを交換する前に、ワイパーおよびイグニッションのスイッチを必ずオフにしてください。

**!** ワイパーブレードの損傷を避けるため、ワイパーアーム以外には触れないようにしてください。

**!** ワイパーアームを起こしているときは絶対にボンネットを開かないでください。

ワイパーブレードが取り付けられていない状態では絶対にワイパーアームをフロントウインドウの元の位置に戻さないでください。

ワイパーブレードを交換するときは、ワイパーアームを確実に持って作業をしてください。ワイパーブレードが取り付け

られていない状態でワイパーアームから手を放すと、ウインドウに当たってウインドウを損傷するおそれがあります。ワイパーブレードの交換は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

## フロントワイパーブレードの交換

### ワイパーブレードを取り外す

- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。



- ▶ 両方の解除クリップ ② を押します。
- ▶ ワイパーブレード ① を矢印 ③ の方向にワイパーアーム ④ から起こします。
- ▶ ワイパーブレード ① を矢印 ⑤ の方向に取り外します。

### ワイパーブレードを取り付ける



- ▶ 新しいワイパーブレード ① をラグ ⑤ の凹部 ⑥ に合わせます。
- ▶ 固定クリップ ② がブラケット ④ に固定されるまで、ワイパーブレード ① を矢印の方向 ③ にワイパーアームを倒します。
- ▶ ワイパーブレード ① が正しく位置していることを確認します。
- ▶ ワイパーアームをウインドウの元の位置に戻します。

## フロントワイパーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ワイパーに引っかかりがある。	葉や雪などにより、フロントウインドウワイパーの作動が妨げられていることがある。ワイパーモーターが解除されている。 ▶ 安全のため、エンジンスイッチからキーを抜いてください。 ▶ 妨げの原因を取り除いてください。 ▶ 再度、フロントウインドウワイパーを作動させてください。
フロントウインドウワイパーが全く作動しない。	フロントウインドウワイパーの駆動系統が故障している。 ▶ コンビネーションスイッチでワイパーの他の作動を選択してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのフロントウインドウワイパーの点検を受けてください。
ウォッシャー液がウインドウの中央に噴射されない。	噴射ノズルの角度がずれている。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での噴射ノズルの調整してください。

役に立つ情報 .....	128
エアコンディショナーシステムの 概要 .....	128
エアコンディショナーシステムの 操作 .....	132
送風口の調整 .....	140

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 23 ページ)

## エアコンディショナーシステムの概要

## 重要な安全上の注意事項

以下のページで推奨されている設定に注意してください。さもないとウィンドウが曇りやすくなります。

ウィンドウを曇りから防ぐには以下を行います：

- 短時間だけエアコンのオン / オフを切り替える
- 短時間だけ内気循環モードをオンにする
- ACモードをオンにする
- 必要に応じて、フロントウィンドウのデフロスター機能を短時間オンにする

エアコンディショナー/クライメートコントロール（左右独立調整）は車内の温度と湿度を制御し、空気から望ましくない物質をろ過します。

エアコンディショナー/クライメートコントロール（左右独立調整）はエンジンがかかっているときのみ作動可能です。サイドウィンドウおよびスライディングルーフを閉じている場合にのみ、最適な作動が得られます。

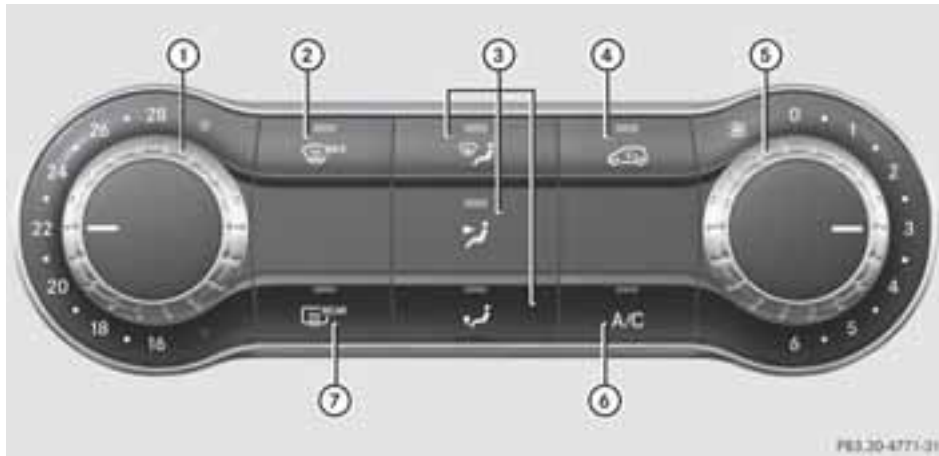
余熱ヒーターベンチレーションは、エンジン停止中のみ作動または停止することができます (▷ 139 ページ)。

**i** 暖かい気候の間は、例えば、コンビニエンスオープニング機能を使用して少しの間車両を換気します(▷ 87 ページ)。これにより、冷却処理が早くなり、より早く希望の車内温度に達します。

**i** 内蔵フィルターは、ほこりおよびすすの大部分の粒子をろ過し、花粉をろ過することができます。クライメートコントロール（左右独立調整）で、ガスによる汚染物質および臭いも減少します。詰まったフィルターは車内に供給される空気の量を減らします。このため、整備手帳で規定されているフィルターの交換間隔を必ず遵守してください。重度の大気汚染のような環境の状況によるので、間隔は整備手帳に記述されているよりも短くなる場合があります。

**i** エアコンディショナーシステムを乾燥させるために、キーを抜いてから1時間は、余熱ヒーターベンチレーションが自動的に作動する可能性があります。車両は約 30 分間換気を行います。

## エアコンディショナーの操作パネル




PE3.30-4771-31

- ① 温度の設定 (▷ 134 ページ)
- ② フロントウインドウの曇りを取る (▷ 136 ページ)
- ③ 送風口の設定 (▷ 135 ページ)
- ④ 内気循環モードの設定/解除 (▷ 138 ページ)
- ⑤ 送風量の設定 (▷ 135 ページ)
- ⑥ ACモードでの冷房を設定/解除 (▷ 133 ページ)
- ⑦ リアデフォグラーの作動と停止の切り替え (▷ 137 ページ)

## エアコンディショナーの使用に関する注意事項

## エアコンディショナー

以下には、エアコンディショナーの最適な使用に関する注意事項と推奨が含まれています。

- 調整ノブ ⑤ を希望する位置まで時計回りにまわして (0 位置以外)、エアコンディショナーシステムのスイッチをオンにします。
- 温度を 22 °C に設定してください。
- 外気温が低いまたは降水時のウインドウの曇りを防ぐ推奨事項：送風口をオン  または、必要に応じてオフ



 および  (▷ 135 ページ) にします。

内気循環モード  (▷ 138 ページ) を解除します。



送風量調整ダイヤル ⑤ を 3 ~ 6 (▷ 135 ページ) の間に設定します。

- 車内を急速に冷やすまたは温める際の**推奨事項**：送風量調整ダイヤル ⑤ を短時間 3 ~ 6 (▷ 135 ページ) の間に設定します。
- 車内の一定温度に関する**推奨事項**：送風量調整ダイヤル ⑤ を 1 ~ 3 (▷ 135 ページ) の間に設定します。

**・寒冷時の送風口に関する推奨事項：**

 と  を選択してください (p 135 ページ)。

**夏季の送風口に関する推奨事項：** 

または  および  を選択してください (p 135 ページ)。

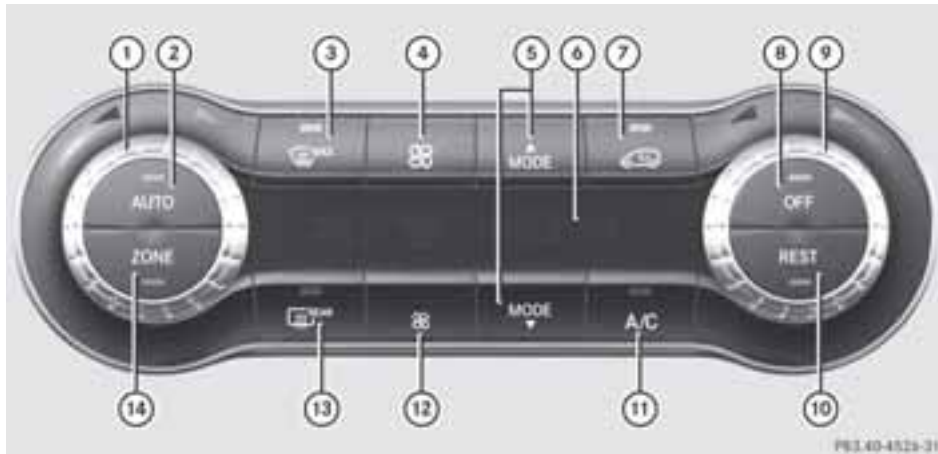
**・"フロントウインドウデフロスター"機能は、フロントウインドウが再度クリアになるまでの短時間のみ使用してください。****・内気循環モードは、不快な外気の臭いがある場合やトンネル内のときなどの短時間のみ使用してください。さもないと、内気循環モードでは車内に外気が取り込まれないので、ウインドウが曇るおそれがあります。****・COMANDシステム装備車：** エアコンディショナーの設定を変更した場合は、エアコンの状況表示がCOMANDディスプレイの表示下部に約3秒間表示されます。別冊のCOMANDシステムの取扱説明書をご覧ください。さまざまなエアコンの機能の現在の設定が表示されます。

## ECOスタートストップ機能

自動エンジン停止中は、エアコンディショナーは限られた出力でのみ作動します。エアコンディショナーの最大出力が必要な場合は、ECOスイッチを押すことにより、ECOスタートストップ機能を解除することができます (p 149 ページ)。



## クライメートコントロール（左右独立調整）の操作パネル



- ① 温度設定（左）（▷ 134 ページ）
- ② エアコンディショナーをAUTOモードに設定（▷ 134 ページ）
- ③ フロントウィンドウの曇りを取る（▷ 136 ページ）
- ④ 送風量を上げる（▷ 135 ページ）
- ⑤ 送風口の設定（▷ 135 ページ）
- ⑥ ディスプレイ
- ⑦ 内気循環モードの設定/解除（▷ 138 ページ）
- ⑧ エアコンディショナーの作動/停止の切り替え（▷ 132 ページ）
- ⑨ 温度設定（右）（▷ 134 ページ）
- ⑩ 余熱ヒーター機能の設定/解除（▷ 139 ページ）
- ⑪ ACモードでの冷房を設定/解除（▷ 133 ページ）
- ⑫ 送風量を下げる（▷ 135 ページ）
- ⑬ リアデフォグラーの作動と停止の切り替え（▷ 137 ページ）
- ⑭ 独立温度設定機能のオン/オフの切り替え（▷ 135 ページ）

### クライメートコントロール（左右独立調整）の使用に関する注意事項

#### クライメートコントロール（左右独立調整）

以下に、クライメートコントロール（左右独立調整）を最大限利用するための指示や推奨事項が記載されています。

- **AUTO** および **A/C** スイッチ を押して、エアコンディショナーを作動させます。  
**AUTO** および **A/C** スイッチの表示灯が点灯します。
- 温度を 22 °C に設定してください。
- "フロントウィンドウデフロスター"機能は、フロントウィンドウが再度クリ

アになるまでの短時間のみ使用してください。

- 内気循環モードは、不快な外気の臭いがある場合やトンネル内のときなどの短時間のみ使用してください。さもないと、内気循環モードでは車内に外気が取り込まれないので、ウインドウが曇るおそれがあります。
- ゾーン機能を使い、助手席側の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。  
 ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

- イグニッションをオフにした後に車内を暖房または換気したいときは、余熱ヒーター機能を使用してください。余熱ヒーター機能は、イグニッションがオフのときにのみ、作動または停止することができます。
- **COMANDシステム装備車**： エアコンディショナーの設定を変更した場合は、エアコンの状況表示がCOMANDディスプレイの表示下部に約3秒間表示されます。別冊のCOMANDシステムの取扱説明書をご覧ください。さまざまなエアコンの機能の現在の設定が表示されます。

### ECOスタートストップ機能

自動エンジン停止中は、エアコンディショナーは限られた出力でのみ作動します。エアコンディショナーの最大出力が必要な場合は、ECOスイッチを押すことにより、ECOスタートストップ機能を解除することができます (▶ 149 ページ)。

## エアコンディショナーシステムの操作

### エアコンディショナーの作動/停止の切り替え

#### 全体的な注意事項

エアコンディショナーを停止すると、空気の供給および空気の循環も停止します。ウインドウが曇るおそれがあります。そのため、エアコンディショナーは短時間のみ停止してください。

### エアコンディショナー

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします (▶ 145 ページ)。
- ▶ **オンにする**：コントロール ⑤ を希望の位置まで時計回りにまわします (0 位置以外) (▶ 129 ページ)。
- ▶ **オフにする**：コントロール ⑤ を0位置まで反時計回りにまわします (▶ 129 ページ)。

### クライメートコントロール (左右独立調整)

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします (▶ 145 ページ)。
- ▶ **オンにする**：  AUTO スイッチを押します。  
 AUTO スイッチの表示灯が点灯します。送風量と送風配分が、AUTOモードに設定されます。

または

- ▶  OFF スイッチを押します。  
 OFF スイッチの表示灯が消灯します。以前の設定が再度作動します。
- ▶ **解除する**：再度、  OFF スイッチを押します。  
 OFF スイッチの表示灯が点灯します。

**i** クライメートコントロール（左右独立調整）：通常は、**AUTO** スイッチを押して、エアコンディショナーを作動させます。

## ACモードの設定/解除

### 全体的な注意事項

"ACモード"を解除した場合は、車内の空気は冷却されません。そして、車内の空気は除湿もされません。ウインドウはより早く曇ることがあります。そのため、"ACモード"機能の解除は短時間のみにしてください。

"ACモード"は、エンジンがかかっているときにのみ使用できます。車内の空気は、選択された温度に応じて冷却・除湿されます。

ACモードが作動しているときは、車両の下から凝結水が落ちることがあります。これは正常なことで、誤作動の兆候ではありません。

### 作動/停止


▶ **オンにする**： **A/C** スイッチを押します。

**A/C** スイッチの表示灯が点灯します。

▶ **解除する**：再度、 **A/C** スイッチを押します。

**A/C** スイッチの表示灯が消灯します。"ACモード"には、停止遅延機能があります。

## ” ACモード” のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p> スイッチの表示灯が3回点滅するか、消灯する。ACモードシステムをオンにできない。</p>	<p>故障のためACモードが解除されている。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p>

### エアコンディショナーをAUTOモードに設定する



#### 全体的な注意事項



クライメートコントロール（左右独立調整）にのみ、AUTO モードがあります。AUTOモードでは、自動的に一定の設定温度に保たれます。送風温度、送風量、送風配分の選択が自動的に制御されます。

AUTOモード機能は、“ACモード”機能が作動しているときに最適に作動します。お好みでACモードを解除することもできます。




“ACモード”を解除した場合は、車内の空気は冷却されません。そして、車内の空気は除湿もされません。ウインドウはより早く曇ることがあります。そのため、“ACモード”機能の解除は短時間のみにしてください。

### エアコンディショナーをAUTOモードに設定する

- ▶ エンジンスイッチの位置を **2** にします (▷ 145 ページ)。
- ▶ 希望温度に設定します。
- ▶ **オンにする**： スイッチを押します。  
 スイッチの表示灯が点灯します。自動的な送風配分と送風量が作動します。

- ▶ **マニュアルモードへの切り換え**： または  スイッチを押します。

または

- ▶  または  ボタンを押します。  
 スイッチの表示灯が消灯します。自動的な送風配分と送風量が解除されます。

### 温度の設定

#### エアコンディショナー

車両全体の温度を設定することができます。

- ▶ エンジンスイッチの位置を **2** にします (▷ 145 ページ)。
- ▶ **上げる/下げる**：コントロール ① を時計回りまたは反時計回りにまわします (▷ 129 ページ)。少しの単位ずつ温度設定を変更してください。約22℃で開始してください。

## クライメートコントロール（左右独立調整）




設定温度を運転席側と助手席側で個別に調整できます。

- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします (▷ 145 ページ)。
- ▶ **上昇/下降させる**：コントロール ① または ⑨ を時計回り、または反時計回りにまわします (▷ 131 ページ)。少しの単位ずつ温度設定を変更してください。約22℃で開始してください。

### 送風配分の設定




## エアコンディショナー

### 送風口を選択する

-  ウィンドウの曇り取り
-  中央、サイドの送風口から送風
-  足元の送風口から送風




**i** 送風設定を複数同時にオンにすることも可能です。このためには、複数の送風配分スイッチを押します。異なる送風口から風が出ます。



### 送風口の設定

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします (▷ 145 ページ)。
- ▶ 、、 スイッチの一つまたは複数を押します。該当する表示灯が点灯します。

## クライメートコントロール（左右独立調整）



### 送風口を選択する

-  ウィンドウの曇り取り
-  中央、サイドの送風口から送風
-  足元の送風口から送風

-  中央、サイドの送風口から上半身に送風、ウィンドウの曇り取り
-  足元の送風口から送風、ウィンドウの曇り取り

**i** 選択された送風口に関係なく、サイド送風口からは常に送風が行なわれます。サイド送風口が閉じるまでアジャスターを時計回りに回すと、閉じることができます。

### 送風口の設定



- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします (▷ 145 ページ)。
- ▶ ディスプレイに希望するマークが表示されるまで、 または  スイッチを繰り返し押します。

### 送風量の設定

## エアコンディショナー

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします (▷ 145 ページ)。
- ▶ **上げる/下げる**：コントロール ⑤ を時計回り / 反時計回りにまわします (▷ 129 ページ)。


## クライメートコントロール（左右独立調整）

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします (▷ 145 ページ)。
- ▶ **上げる/下げる**： /  スイッチを押します。

### ゾーン機能の設定/解除の切り替え

この機能は、クライメートコントロール（左右独立調整）のみに装備されていません。

▶ **オンにする**：  スイッチを押します。

 スイッチの表示灯が点灯します。

運転席側の温度設定は、助手席側には適用されません。

▶ **解除する**：再度、  スイッチを押します。

 スイッチの表示灯が消灯します。

運転席側の温度設定が、助手席側に適用されます。


## フロントウインドウの曇り取り

フロントウインドウに付着した霜や、フロントウインドウまたはサイドウインドウの内側の曇りを取る機能です。

① ウインドウの曇りが取れるまで、"フロントウインドウデフロスター"機能のみを選択してください。

▶ エンジンスイッチの位置を **2** にします (▶ 145 ページ)。

▶ **オンにする**：  スイッチを押します。


 スイッチの表示灯が点灯します。



エアコンディショナーが以下のように作動します。

- 高い送風量
- 高い温度
- フロントウインドウおよびフロントサイドウインドウへの送風配分
- 内気循環モードの解除

① "フロントウインドウデフロスター"機能は自動的に送風出力を最適な曇り取り効果に設定します。そのため、スイッチを押した後に送風量が自動で増減することがあります。

① "フロントウインドウデフロスター"機能を作動させている間、送風出力を手動で調整することができます。

• エアコンディショナー：送風量調整ダイヤル  を時計回りまたは反時計回りにまわします (▶ 129 ページ) にまわします。


• クライメートコントロール (左右独立調整)：  または  スイッチを押します。

▶ **解除する**：再度、  スイッチを押します。

 スイッチの表示灯が消灯します。

以前の設定が再度作動します。内気循環モードは解除されたままになります。




または

▶ クライメートコントロール (左右独立調整)：  スイッチを押します。

 スイッチの表示灯が消灯します。

送風量と送風配分が、AUTOモードに設定されます。


または


▶ エアコンディショナー：温度コントローラー  を時計回り、または反時計回りにまわします (▶ 129 ページ)。  
 クライメートコントロール (左右独立調整)：温度コントローラー  または  を時計回り、または反時計回りにまわします (▶ 131 ページ)。

## ウインドウの曇り取り

### フロントウインドウの内側が曇るとき




#### エアコンディショナー

▶  スイッチを押して、ACモード ("冷房・除湿") に設定します。



▶ ウインドウが曇り続ける場合は、  "フロントウインドウデフロスター"機能を作動させます。

① 上記の設定は、曇りが取れるまでの間にとどめてください。

## クライメートコントロール（左右独立調整）

- ▶  スイッチを押して、ACモード（"冷房・除湿"）に設定します。
  - ▶ AUTOモード  を作動させます。
  - ▶ ウィンドウが曇り続ける場合は、 "フロントウィンドウデフロスター"機能を作動させます。
- i** 上記の設定は、曇りが取れるまでの間にとどめてください。

## フロントウィンドウの外側が曇るとき



- ▶ ワイパーを作動させます。
  - ▶ 送風口を  または  に設定します。
- i** 上記の設定は、曇りが取れるまでの間にとどめてください。

## リアデフォグガー

### 全体的な注意事項

リアデフォグガーは大きな電力を消費します。したがって、ウィンドウの曇りが取れたら、すぐに停止してください。または、数分後に自動的に停止します。バッテリーの電圧が低すぎると、リアデフォグガーが停止する場合があります。

### 作動/停止

- ▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします (▷ 145 ページ)。
- ▶  スイッチを押す。
- ▶  スイッチの表示灯が点灯または消灯します。

## リアデフォグガーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
リアデフォグガーが短時間で停止したり、または作動させることができない。	<p>バッテリーが十分に充電されていない。</p> <p>▶ 読書灯、ルームライト、シートヒーターなど、必要のない電気装備を停止してください。</p> <p>バッテリーが十分に充電されたときは、リアデフォグガーを再び作動させることができます。</p>

## 内気循環モードの設定/解除

## 全体的な注意事項


不快なおいが外から車両に入ってくる場合は、新鮮な空気の送風を解除することができます。そして、すでに車内にある空気が循環されます。

内気循環モードを作動させた場合は、特に温度が低いときにウインドウがより早く曇ることがあります。ウインドウの曇りを防ぐため、短時間のみ内気循環モードを使用してください。


内気循環モードの操作は、すべての操作パネルで共通です。

## 作動/停止

▶ エンジンスイッチの位置を **2** にします (▶ 145 ページ)。

▶ **オンにする** :  スイッチを押します。

 スイッチの表示灯が点灯します。

**i** 外気温度が高いときは、内気循環モードが自動的に作動します。内気循環モードが自動的に作動した場合は、 スイッチの表示灯は点灯しません。

約30分後に外気が追加されます。

▶ **解除する** : 再度、 スイッチを押します。

 スイッチの表示灯が消灯します。

**i** 以下のときは、内気循環モードが自動的に解除されます。

- 外気温度が約5℃以下のときは約5分後
- "ACモード"が解除されている場合は約5分後
- "ACモード"が作動している場合で、約5℃以上の外気温度では約30分後

## 内気循環スイッチを使用時のコンビエンスオープニング/クロージング

## ⚠ 警告



コンビエンスクロージング機能が作動している場合、身体の一部がサイドウインドウおよびスライディングルーフの閉じる部分に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。



コンビエンスクロージング機能进行操作しているときは、最後まで閉じる動作に注意してください。閉じている間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。

## ⚠ 警告



コンビエンスオープニングを操作中は、身体の一部が巻き込まれたり、サイドウインドウとウインドウフレームの間に挟みこまれる恐れがあります。けがの危険性があります。






開けている最中は、誰もサイドウィンドウに触れないようにしてください。誰かが挟まれた場合、ドアにあるサイドウィンドウ開閉用の  スイッチを押してください。開閉して、サイドウィンドウを止めます。サイドウィンドウを閉じる動作を継続するには、 スイッチを引きます。

- ▶ **コンビニエンスクロージング機能**：サイドウィンドウおよびパノラミックスライディンググループが閉じるまで、 スイッチを押して保持します。  
 スイッチの表示灯が点灯します。内気循環モードが作動します。

コンビニエンスクロージング機能が作動中に、身体の一部が閉じる部分があるとき、以下の手順を行ってください：



- ▶ サイドウィンドウを開閉する： スイッチを押します。サイドウィンドウが止まります。
- ▶ サイドウィンドウを開く： スイッチを再度押します。

または

- ▶ 少なくとも約2秒  スイッチを再度押して保持します。サイドウィンドウが逆の方向に動きまわります。
- ▶ パノラミックスライディンググループを開閉するには、 スイッチを押します。パノラミックスライディンググループが停止します。
- ▶ パノラミックスライディンググループを開くためには、 スイッチを引きます。

**i** オートリバース機能に関する注意事項は以下をご覧ください：

- サイドウィンドウ (▷ 86 ページ)
- パノラミックスライディンググループ (▷ 90 ページ)

- ▶ **コンビニエンスオープニング機能**：サイドウィンドウおよびパノラミックスライディンググループが開くまで、 スイッチを押して保持します。サイドウィンドウおよびパノラミックスライディンググループが元の位置まで動いて戻ります。  
 スイッチの表示灯が消灯します。内気循環モードが解除されます。

**i** コンビニエンスクロージング機能で閉じた後にサイドウィンドウまたはパノラミックスライディンググループを手動で開くと、コンビニエンスオープニング機能を使用して開いたときは、それらはこの位置のままになります。

**余熱ヒーター機能の作動/停止**

**全体的な注意事項**

余熱ヒーターベンチレーションは、クライメートコントロール（左右独立調整）のみに装備されています。

エンジンを停止した後約 30 分間エンジンの余熱を利用して停止した車両を暖め続けることができます。暖房時間は、車内で設定された温度によります。

**i** 設定された送風量に関係なく、一定の少ない送風量に保たれます。

**i** 外気温度が高いときに余熱ヒーター機能を作動させると、換気のみが行なわれます。このときは、中程度の送風量になります。

## 作動/停止

- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわすか、または抜きます (▶ 145 ページ)。
- ▶ **オンにする**： **REST** スイッチを押します。  
**REST** スイッチの表示灯が点灯します。
- ▶ **解除する**：再度、 **REST** スイッチを押します。  
**REST** スイッチの表示灯が消灯します。

**i** 余熱ヒーターは、以下のように自動的に停止します。

- 約 30 分後
- イグニッションをオンにしたとき
- バッテリーの電圧が低下した場合

## 送風口の調整

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

送風口から熱風や冷風が吹き出されることがあります。そのため、送風口に身体を近づけたままにしていると、火傷やしもやけなどを起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

すべての乗員が送風口と十分な距離を確保していることを確認してください。必要に応じて、送風の向きを車内の他のエリアに変えます。

送風口から外気を直接車内に取り入れるため、以下の注意事項を守ってください。

- フロントウィンドウとボンネットの間にある吸気口に氷、雪または葉などの妨害物がないようにしてください。
- 送風口や車内の吸排気口をふさがないように注意してください。

**i** 送風の方向を設定するために、送風口のアジャスターを垂直または水平に動かすことができます。

**i** 送風口を完全に開いて、アジャスターを真ん中のポジションにすると、最適なエアコンディショナー機能が得られません。

### 中央送風口の調整



- ▶ **中央送風口を開く**：中央送風口①のアジャスターを反時計回りに回します。
- ▶ **中央送風口を閉じる**：中央送風口①が閉じるまでアジャスターを時計回りに回します。

### サイド送風口の調整



- ① サイドウィンドウのデフロスターの曇り取りの送風口
- ② サイド送風口

- ▶ **サイド送風口を開く**：サイド送風口 ② のアジャスターを反時計回りに回します。
- ▶ **サイド送風口を閉じる**：サイド送風口 ② が閉じるまでアジャスターを時計回りに回します。

### リア送風口の調整



- ① リア中央送風口（左側）
  - ② リア中央送風口（右側）
  - ③ リア中央送風口開閉ダイヤル
- ▶ **開閉する**：ダイヤル ③ を上または下にまわします。

役に立つ情報 .....	144
慣らし運転の注意事項 .....	144
走行 .....	144
オートマチックトランスミッション .....	151
給油 .....	160
駐車 .....	163
運転のヒント .....	166
走行装備 .....	170

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 23 ページ)

## 慣らし運転の注意事項

### 重要な安全上の注意事項

交換された新しいブレーキパッド/ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適なブレーキ効果を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少したブレーキ効果を補ってください。

### 最初の 1500 km

最初に十分な注意を払ってエンジンを取り扱った場合は、その後、将来にわたって安定した性能を維持することができます。

- 最初の 1500 km は、さまざまな車両速度およびエンジン回転数で走行してください。
- アクセルをいっぱい踏み込むなど、エンジンに大きな負担のかかる運転は避けてください。
- エンジン回転数がタコメーターのレッドゾーン（許容限度）の  $\frac{2}{3}$  を超えないように、適切にギアシフト操作しながら運転してください。

- エンジンブレーキを効かせるためにマニュアルギアシフトでギアをシフトダウンしないでください。
- 踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏み込む（キックダウン）ことはできるだけ避けてください。

1,500 km後は、車両を徐々に最大負荷およびエンジン回転数までもっていくことができます。

### AMG車の慣らし運転に関する注意事項

- 最初の約 1,500 km までは、約 140 km/h以上の速度で走行しないでください。
- エンジン回転数が約 4,500 rpm を超える状態は短時間にしてください。

**i** エンジンや駆動系部品の交換を行なったときも、上記の注意事項を守って慣らし運転を行なってください。

## 走行

### 重要な安全上の注意事項

#### 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルをロックすることがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。ペダルに常に十分な空間があることを確認するために、フロアマットは操作の妨げにならないように、ペダルから所定の余裕をとってしっかりと装着してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

**⚠ 警告**

以下のような適していない履物は、ペダルの正しい作動を妨げることがあります。

- 薄いソールの靴
- 高いヒールの靴
- スリッパ

事故の危険性があります。

適した履物を着用し、ペダルの正しい作動を確保します。

**⚠ 警告**

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

**⚠ 警告**

走行時にパーキングブレーキが完全に解除されていない場合は、パーキングブレーキは以下になることがあります。

- オーバーヒートおよび火災の原因
  - 車両にブレーキを効かせられなくなる
- 火災と事故の危険性があります。発進する前に、パーキングブレーキを完全に解除してください。

**!** 素早く暖機運転します。エンジンが暖まっていないときは、必要以上にエンジン回転数を上げないでください。

オートマチック車のシフト操作は、完全に停車して行なってください。

滑りやすい路面で発進するときは、駆動輪を空転させないように穏やかにアクセルペダルを操作してください。駆動系部品が損傷するおそれがあります。

**!** **AMG車**：エンジンが冷えているときは、全負荷運転およびエンジン回転数が5000 rpm を超えることをさけてください。これにより、エンジンを保護し、快適ではない走行をさけることができます。

**キーの位置**

- 0 キーを抜く
- 1 エンジン停止時にワイパーなどの電気装備が使用できる位置
- 2 イグニッション（すべての電気装備への電源供給）および運転するときの位置
- 3 エンジンを始動する

**i** キーがその車両のものでなくても、イグニッションロックに差し込んで回すことはできます。しかし、イグニッションはオンになりません。エンジンの始動はできません。

**エンジンの始動****重要な安全上の注意****⚠ 警告**

エンジンの燃焼は、一酸化炭素のような有毒な排気ガスを排出します。これらの排気ガスを吸い込むと中毒につながります。致命的なけがの危険性があります。従って、十分な換気がない閉じた空間で

エンジンを作動させたままにしないでください。

### ⚠ 警告

動物または環境の影響によってもたらされた可燃物が熱くなっているエンジンの部品または排気システムに接触すると、発火するおそれがあります。火災のおそれがあります。

定期的な点検を行ない、エンジンルーム、または排気システムに可燃性の異物が無いことを確認してください。

❗ エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。

❗ 触媒コンバーターが作動温度により早く到達できるようにするために、冷間始動の間はエンジンはより高いエンジン回転数で作動します。その結果、エンジンの音が変わることがあります。

### オートマチックトランスミッション

▶ シフトポジションを **P** にしてください。

マルチファンクションディスプレイにシフトポジション **P** が表示されます。

❗ シフトポジションが **N** のときも、ブレーキペダルを踏んで、エンジンを始動することができます。

### スタートプロセス

▶ エンジンスイッチのキーを **3** の位置 (▶ 145 ページ) にまわして、エンジンがかかったらすぐに放します。

### 発進

### オートマチックトランスミッション

❗ ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、トランスミッションをポジション **P** から希望のポジションにシフトするこ

とができます。そのあとでのみ、パーキングロックを解除することができます。ブレーキペダルが踏まれていない場合は、DIRECT SELECTレバーはまだ動かすことができますが、パーキングロックは固定されたままになります。

❗ トランスミッションオイルの温度が  $-20^{\circ}\text{C}$  以下のときは、エンジンがかかっているときにのみ、トランスミッションをポジション **P** から他のポジションにシフトできます。


▶ ブレーキペダルを踏み、踏んだままにします。

▶ シフトポジションを **D** または **R** にします。

▶ ブレーキペダルを徐々に戻します。

▶ アクセルペダルを注意しながら踏み、発進します。

パーキングブレーキ (▶ 165 ページ) は自動的に解除されます。

メーターパネルの赤い  表示灯が消灯します。

❗ 発進すると、車が自動的に施錠されます。ドアのロックノブが下がります。

ドアは車内からいつでもロックを解除して開くことができます。

また、車速感応ドアロックを解除することもできます。(▶ 225 ページ)

❗ エンジンが冷えているときは、より高いエンジン回転数でシフトアップが行なわれます。これにより、排気ガスを浄化する触媒がより早く適正な作動温度に達します。

### ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、坂道発進時に車が後退または前進するのを防ぎ、運転者の発進操作を補助します。ブレーキペダルから足を放しても、ヒルスタートアシストが車を停止したまま保持します。

そのため、車が動き出す前に、ブレーキペダルからアクセルペダルへ余裕を持って踏みかえることができます。

### ⚠ 警告

しばらくすると、ヒルスタートアシストは車両にブレーキを効かせなくなり、動き出すおそれがあります。事故やけがの危険性があります。

従って、すばやくブレーキペダルからアクセルペダルに足を動かします。ヒルスタートアシストで車が停止しているときは、絶対に車から離れないでください。

- ▶ ブレーキペダルから足を放します。車両はその後、約1秒間停止します。
- ▶ 発進します。

ヒルスタートアシストは以下のような状況では作動しません。

- 傾斜していない路面や下り坂で発進するとき
- トランスミッションがポジションが **N** にあるとき
- 電気式パーキングブレーキを効かせているとき
- ESP®が故障しているとき

上り坂勾配での停車に関する詳細は(▶ 155 ページ)をご覧ください。

## ECOスタートストップ機能

### 概要

特定の条件下で車両が停止した場合は、ECOスタートストップ機能は自動的にエンジンを停止します。

再び発進するときに、自動的にエンジンが始動します。その結果、ECOスタートストップ機能は、燃料消費と排出ガスを低減させます。

## 重要な安全上の注意事項

### ⚠ 警告

エンジンが自動的にオフになり、車両から出ると、エンジンは自動的に再始動します。車両が動き始めることがあります。事故やけがの危険性があります。車両から出たい場合は、必ずイグニッションをオフにし、動き出さないように車両を固定します。

## 全体的な注意事項



### ① ECOスタートストップ機能表示

マルチファンクションディスプレイに **ECO** マークが緑で表示される場合は、車両が停止したときにECOスタートストップ機能がエンジンを自動的にオフにします。

ECOスタートストップ機能は、イグニッションキーでエンジンを始動するたびに自動的に起動します。

ECOスタートストップ機能が手動で解除された(▶ 149 ページ)、または故障が原因でシステムが解除された場合は、**ECO** マークは表示されません。

**AMG車**：ECOスタートストップ機能は走行モード **C**でのみ使用できます。



## エンジン自動停止

### 全体的な注意事項

以下のときは、ECO スタートストップ機能が作動可能で、**[ECO]** マークがマルチファンクションディスプレイに緑で表示されます。

- ECOスイッチの表示灯が緑色に点灯している
- 外気温度がシステムに適した温度範囲にあるとき
- エンジンが正常な作動温度である
- 車内の設定温度に到達している
- バッテリーが十分に充電されている
- エアコンディショナーシステムが作動しているときに、フロントウインドウが曇っていないことをシステムが検知している
- ボンネットが閉じているとき
- 運転席のドアが閉じていて、運転席シートベルトが着用されている

自動エンジン停止のすべての条件が満たされていない場合は、**[ECO]** マークが黄色で表示されます。

**i** エンジンが自動的に停止しているとき、すべての車両のシステムは機能したままです。

**i** エンジンは最大で連続して4回自動的に停止させることができます（最初の停止と、それに続く3回の停止）。**[ECO]** マークは、4 回目にはエンジンが自動的に始動した後は、マルチファンクションディスプレイに黄色で表示されます。マルチファンクションディスプレイに **[ECO]** マークが緑色で表示されると、自動エンジン停止は再度可能です。

### オートマチックトランスミッション装備車

**D**または**N**で停止するまで車両にブレーキを効かせた場合は、ECOスタートス

トップ機能が自動的にエンジンを停止します。

**i** エンジンが自動停止した場合は、ホールド機能が作動することがあります。その場合は、自動停止状態の間はブレーキを効かせ続ける必要はありません。アクセルペダルを踏んだときはエンジンが自動的に始動し、ホールド機能のブレーキ作用は解除されます。

## 自動エンジン始動

### 全体的な注意事項

エンジンは以下のとき自動的に始動します。

- ECOスイッチを押して、ECOスタートストップ機能をオフにしたとき
- リバースギア**R**に入れたとき
- 車両が動き出したとき
- ブレーキシステムが要求したとき
- 車内の温度が設定範囲から外れたとき
- エアコンディショナーシステムが作動しているときに、フロントウインドウの曇りをシステムが検知したとき
- バッテリーの充電状態が低すぎるとき
- 運転席の乗員がシートベルトを外したか、あるいは運転席ドアを開いたとき

### オートマチックトランスミッション装備車

エンジンは以下のとき自動的に始動します。

- ホールド機能が作動していなく、トランスミッションが**D**または**N**のときに、ブレーキペダルを解除したとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- トランスミッションをポジション**P**から動かしたとき

**i** トランスミッションを**P**にシフトしても、エンジンは始動しません。

**i** トランスミッションをRからDへシフトすると、ECOスタートストップ機能は再び使用可能になり、**ECO** マークがマルチファンクションディスプレイに緑色で表示されます。

が停止したときに、エンジンが自動的に停止しません。

## ECOスタートストップ機能の作動/作動解除



### ECOスイッチ

▶ **オフにする**：スイッチ ① を押します。  
表示灯 ② と、マルチファンクションディスプレイの**ECO** マークが消えます。

▶ **オンにする**：スイッチ ① を押します。  
表示灯 ② が点灯します。

エンジン自動停止 (▶ 148 ページ) のすべての条件が満たされている場合は、マルチファンクションディスプレイに**ECO** マークが緑色で表示されます。

エンジン自動停止 (▶ 148 ページ) のすべての条件が満たされていない場合は、マルチファンクションディスプレイに**ECO** マークが黄色で表示されます。この場合は、ECOスタートストップ機能は作動しません。

**i** 表示灯 ② が消えている場合は、ECOスタートストップ機能は手動または誤作動により、作動解除されています。車両

## エンジンのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンが始動しない。	<p>ホールド機能またはディストロニック・プラスが作動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ホールド機能 (▷ 184 ページ) またはディストロニック・プラス (▷ 175 ページ) を解除します。</li> <li>▶ 再度、始動操作を行なってください。</li> </ul>
エンジンが始動しない。スターターモーターの音がする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エンジンの電子制御部品に異常がある。</li> <li>• 燃料供給に異常がある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 再びエンジンを始動させる前に、キーをまわしてエンジンスイッチのポジション<b>0</b>に戻します。</li> <li>▶ 再度、エンジンの始動を試みてください(▷ 145 ページ)。バッテリーが放電するので、極端に長く、頻繁なエンジン始動の試みは避けてください。</li> </ul> <p>何度始動を試みても、エンジンが始動しないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>
エンジンが始動しない。スターターモーターの音がする。燃料残量警告灯が点灯していて、燃料計の指針が <b>0</b> を示している。	<p>燃料タンクが空になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 燃料を給油してください。</li> </ul>
エンジンが始動しない。スターターモーターの音がしない。	<p>バッテリーがあがっているか充電されていないため、バッテリーの電圧が低くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ジャンプスタートを行なってください (▷ 321 ページ)。</li> </ul> <p>ジャンプスタートを試みても、エンジンが始動しないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul> <p>過度の負荷によりスターターモーターが過熱している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スターターモーターが冷えるまで約2 分間待ってください。</li> <li>▶ 再度、始動操作を行なってください。</li> </ul> <p>エンジンが始動しないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。</li> </ul>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンの回転が滑らかでなく、ミスファイアも起きています。	<p>エンジンの電子制御部品またはエンジン制御システムの機械部品に異常がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ アクセルペダルを踏みすぎないでください。触媒を損傷するおそれがあります。</li> <li>▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場での修理を行ってください。</li> </ul>
冷却水温度の表示が120℃以上を示している。冷却水警告灯も点灯し、警告音が鳴ることがある。	<p>リザーブタンクの冷却水量がかなり不足している。冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ すみやかに安全な場所に停車し、エンジンと冷却水を冷やしてください。</li> <li>▶ 冷却水量を点検します(▶ 295 ページ)。必要であれば、そうするときの注意事項に従って冷却水を補給してください。</li> </ul> <p>冷却水量が正常なときは、ラジエターの冷却ファンが故障している可能性がある。冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 冷却水温度が約120℃以下のときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行することができます。</li> <li>▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進/停止を繰り返したりしないでください。</li> </ul>

## オートマチックトランスミッション

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

エンジン回転数がアイドリング回転数以上で、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両は突然発進することがあります。事故の危険性があります。

トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時に加速しないでください。

#### ⚠ 警告

エンジンをオフにすると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンをオフにした後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

**i** エンジンを停止しているときは、エンジンとトランスミッションの間の動力伝達が遮断されていることに留意してください。

車両が動き出さないように、以下を行ってください：

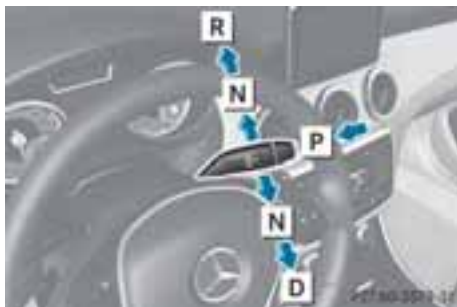
- エンジンが停止して車両が停止しているときは、オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** にシフトしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。

## DIRECT SELECTレバー

### トランスミッションポジションの概要

全車両（AMG車を除く）： DIRECT SELECTレバーは、ステアリングコラムの右側にあります。

AMG車のセレクターレバーに関する情報は（▶ 153 ページ）をご覧ください。



- P** パーキングロック付きパーキングポジション
- R** リバースギア
- N** ニュートラル
- D** ドライブ

**i** DIRECT SELECTレバーは常に元の位置に戻ります。現在のシフトポジション **P**、**R**、**N** または **D** は、マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示に表示されます（▶ 152 ページ）。

### シフトポジションと走行モード表示

現在のシフトポジションと走行モードがマルチファンクションディスプレイに表示されます。



- ① トランスミッションポジション表示
- ② 走行モード表示

**i** シフトポジション表示の矢印は、DIRECT SELECTレバーで選択できるシフトポジションとその方向を示しています。

**!** マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示が作動していない場合は、希望のシフトポジションに入っているかどうかを点検するために慎重に発進してください。理想的には、シフトポジション **D** および走行モード **E** または **S** を選択してください。

### パーキングポジションPの選択

▶ DIRECT SELECTレバーを矢印の方向 **P** に押します。  
マルチファンクションディスプレイにシフトポジション **P** が表示されます。

**i** パーキングポジション **P** にしたとき、トランスミッションポジションがマルチファンクションディスプレイで **P** を表示していることを確認してください。

**i** 車両が停車しているときのみ、パーキングポジション **P** にすることができます。

**i** オートマチックトランスミッションは以下の場合にパーキングポジション **P** に自動的にシフトします。

- 車両がトランスミッションポジション **D** または **R** で停車している間に、運転席ドアを開いた場合
- トランスミッションポジション **D** または **R** でごく低速で走行している間に、ドアを開いた場合

さらに、警告音が鳴り、ディスプレイメッセージが表示されます。

**i** ブレーキを踏んで、DIRECT SELECTレバーを上または下に押し、パーキングロックが解除されます。トランスミッションはニュートラル **N** に入っています。

エンジンが始動していて、トランスミッションオイル温度が-20℃以下のときにのみ、パーキングポジション **P** から他のトランスミッションポジションに変えることができます。

パーキングポジション **P** から **R** または **D** に直接シフトするために：

- ブレーキペダルを踏み、そして
- DIRECT SELECTレバーを最初に抵抗がある位置を超えて上または下に押しします。

**!** エンジン回転数が高すぎる時や走行中は、**D** から **R**、**R** から **D** または直接 **P** にシフトしないでください。オートマチックトランスミッションが損傷する原因になります。

### リバースギア **R** の選択

**!** 必ず停車してから、シフトポジションを **R** にしてください。

**i** リバースギアに入っているときはECOスタートストップ機能は作動しません。

ECOスタートストップ機能に関する詳しい情報は、(▶ 147 ページ) をご覧ください。

- ▶ 車両が停車している間にブレーキペダルを踏みます。
- ▶ DIRECT SELECTレバーを上にいっぱいまで操作します。

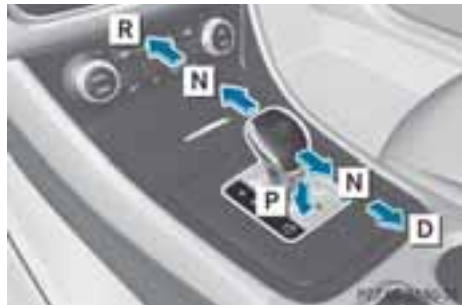
### ニュートラル **N** の選択

- ▶ DIRECT SELECTレバーを上または下に軽く操作します。

### ドライブポジション **D** の選択

- ▶ 車両が停車している間にブレーキペダルを踏みます。
- ▶ DIRECT SELECTレバーを下にいっぱいまで操作します。

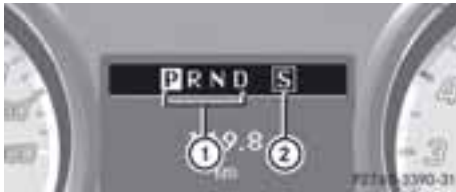
### セレクターレバー



AMG車両のPスイッチ付きセレクターレバー

- P** パーキングロック付きパーキングポジション
- R** リバースギア
- N** ニュートラル
- D** ドライブ

## シフトポジションと走行モード表示



例

- ① トランスミッションポジション表示
- ② 走行モード表示

現在のシフトポジションと走行モードがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

## パーキングポジションPの選択



- ▶ 車両が停止しているときに、**P** スイッチ ①を押します。

## トランスミッションポジション

**P** パーキングポジション

停止中に車両が動き出すのを防止します。車両が停車していない場合は、トランスミッションをポジション **P** (▶ 163 ページ) にシフトしないでください。

**R** リバースギア

シフトポジションを **R** にするには、必ず停車してから操作してください。

**N** ニュートラル

エンジンから駆動輪に動力が伝達されません。

このポジションでブレーキを緩めると、押したりけん引してもらうことで車を移動できます。

ESP® が故障しているときや機能を解除している場合、凍結路などで横滑りする危険性があるときにのみ、シフトポジションを **N** にしてください。

エンジンを停止すると、オートマチックトランスミッションが自動的にニュートラルポジション **N** にシフトします。

**D** ドライブ

オートマチックトランスミッションは自動変速します。すべての前進ギアを使用できます。

## ギア変速

オートマチックトランスミッションは、シフトポジションが **D** のときに自動的に変速を行いません。ギアシフトは以下によって決定されます。

- 選択されている走行モード (▶ 155 ページ)
- アクセルペダルの踏み込み量
- 走行速度

## 運転のヒント

## アクセルペダルの位置

アクセルペダルの踏み加減に応じて、ギアが変速するタイミングが変化します。

- 軽く踏んだとき：シフトアップするタイミングが早くなります。
- 深く踏み込んだとき：シフトアップするタイミングが遅くなります。

## 上り坂勾配で車両を停車したままにする

### ⚠ 警告

クラッチが過熱すると、エレクトロニックマネジメントシステムは自動的に解除されます。動力伝達を遮断します。車両が上り坂で後退するなどのおそれがあります。事故の危険性があります。決して、アクセルを踏むことにより、上り坂勾配で車両を停車させないでください。

アクセルを踏んで、上り坂勾配で車両を停車させると、クラッチが過熱する可能性があります。クラッチが過熱すると、警告音が鳴ります。

**全車（AMG車を除く）：**マルチファンクションディスプレイに **エンジンは止めずに停車してPにシフトして下さい** というメッセージが表示されます。クラッチの温度が下がり、マルチファンクションディスプレイからディスプレイメッセージが消えたら、引き続き走行することができます。

**AMG車：**マルチファンクションディスプレイに **トランスミッションオイルオーバーヒート 注意して走行** というメッセージが表示されます。

決して、アクセルを踏むことにより、上り坂勾配で車両を停車させないでください。その代り、以下のときにのみ上り坂勾配に車両を停車することができます：

- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- ホールド機能を作動させたとき
- パーキングブレーキをかけたとき

## キックダウン

**AMG車：**一時的にマニュアルギアシフトMでキックダウンを使用する場合のみ可能です。マニュアルギアシフトMに関する詳細は(▶ 157 ページ)をご覧ください。

最大の加速のためにキックダウンを使用します。

- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。エンジン回転数に応じて、自動的に低速ギアに切り替わります。
- ▶ 希望の速度に達したら、アクセルペダルを戻します。オートマチックトランスミッションがシフトアップして戻ります。

## 走行モード選択スイッチ

### 全体的な注意事項

走行モード選択スイッチを操作して、路面状況に適した走行モードを選択できません。



例：モード選択スイッチ

<b>E</b> エコノミー	快適性と経済性を重視した走行モード
<b>S</b> スポーツ	スポーティな走行に適したモード
<b>M</b> マニュアル	マニュアルギアシフト

- ▶ 走行モード選択スイッチ ① を押しながら、マルチファンクションディスプレイに希望の走行モードを表示させます。



① エンジン始動時は、常に **E** モードに設定されます。

① 自動走行モードについての詳しい情報は、(▶ 157 ページ)をご覧ください。

## AMG車両



<b>C</b> 効率的な制御	快適性と経済性を重視した走行モード
<b>S</b> スポーツ	スポーティな走行に適したモード
<b>M</b> マニュアル	マニュアルギアシフト

▶ 走行モード選択スイッチ ① を押しながら、マルチファンクションディスプレイに希望の走行モードを表示させます。

① エンジン始動時は、常に **C** モードに設定されます。

① オートマチック走行モードについての詳しい情報は、(▶ 157 ページ)をご覧ください。

## ステアリングのギアシフトパドル



① 左側のステアリングパドルシフト (シフトダウン)

② 右側のステアリングパドルシフト (シフトアップ)

走行モード **M** では、ステアリングパドルシフトを操作してギアを変更できません。

オートマチック走行プログラムが **E** (AMG車両では走行モード**C**) または**S** のとき、左または右のパドルシフトを引くと、限られた時間でオートマチックトランスミッションが走行モード **M** にシフトします。どちらのパドルシフトを引くかにより、オートマチックトランスミッションがただちに次のシフトを下げるか、上げるかします。

**AMG車**：パドルシフトを使用して、走行モード **M** レーススタート(▶ 186 ページ) を作動させることができます。

① シフトポジションが **D** のときのみ、パドルシフトでギアシフトが可能となります。

① マニュアルギアシフトに関する詳細は、(▶ 157 ページ) をご覧ください。

## オートマチック走行モード

**E** モード (AMG車両では **C**) を選択すると、以下の特性になります。

- 快適性に適応したエンジン設定
- オートマチックトランスミッションのシフトアップが早目に行なわれるため、燃費の向上に貢献します。
- アクセルペダルをいっぱいまで踏み込まないときのより穏やかな前進/後退ギアでの車両の発進
- 感度が向上します。路面状況に敏感に応答し、滑りやすい路面などでの走行安全性が向上します。
- オートマチックトランスミッションがより早めにシフトアップします。その結果、車両は低いエンジン回転数で走行し、スピンの可能性が減ります。

走行モード **S** を選択すると、以下の特性になります。

- スポーティなエンジン設定。
- より遅めのオートマチックトランスミッションのシフトアップ。
- オートマチックトランスミッションのシフトポイントがより遅めになる結果、燃料消費が増加する可能性があります。

## マニュアルギアシフト

### 概要

マニュアル走行モード**M**では、ステアリングパドルシフトを使用して、ギアをご自身で変更することができます。そのため、セレクターレバーが **D** に入っている必要があります。そのとき選択され、入っているギアがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

マニュアルギアシフト**M**は、シフトチェンジの自発性、応答性および滑らかさの点で、走行モード **E** (AMG車両では走行モード**C**) および **S** と異なります。

### ギア 走行状況

<b>3</b>	エンジンブレーキを使用するため
<b>2</b>	下り坂や以下の状況でエンジンブレーキが必要なときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 急な坂道を走行しているとき</li> <li>• 山道や坂道を走行しているとき</li> <li>• 過酷な状況で走行しているとき</li> </ul>
<b>1</b>	非常に急な下り坂や長い下り坂などでエンジンブレーキを最大に効かせます。

## マニュアルギアシフトの作動

### 常時作動

- ▶ マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されるまで、モード選択スイッチ (▷ 155 ページ) を繰り返し押します。  
走行モード **E** (AMG車の場合**C**) または **S** を選択するまで、マニュアルギアシフト **M** が作動したままになります。

### 一時的な作動

- ▶ 左または右側のステアリングパドルシフト (▷ 156 ページ) を引きます。  
マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されます。マニュアルギアシフト **M** が一時的に作動しています。どちらのギアシフトパドルを引くかにより、オートマチックトランスミッションがただちに次のシフトを下げるか、上げるかします。

**i** ステアリングパドルシフトからマニュアルギアシフト **M** を作動したとき、一時的に作動したマニュアルギアシフト **M** は、運転スタイルが可能な場合、限られた時間の後で自動的に解除されます。

オートマチックトランスミッションは最後に作動された走行モード **E** (AMG車では走行モード**C**)または**S**に切り替わります。下り坂勾配を走行したとき、一時的に作動したマニュアルギアシフト **M** は、車両が下り坂を走行しているときにアクセルペダルを踏んだときのみ、解除されます。

## シフトアップ

- ▶ 右側パドルを引きます (▶ 156 ページ)。  
1段高いギアにシフトします。

**!** **全車両 (AMG車を除く)** : エンジン損傷を防ぐために、以下のときオートマチックトランスミッションは自動的にシフトアップします :

- 現在締結しているギアでエンジン最高回転数にたっしたとき
- アクセルペダルを踏んだとき

## AMG車 :

**!** マニュアルギアシフト **M** では、現在のギアでのエンジン許容回転数に達しても、自動的にシフトアップしません。エンジンの許容回転数に達すると、エンジンの過回転を防ぎエンジンを保護するため、燃料供給が停止します。エンジン回転数が許容回転数を超えて、タコメーターのレッドゾーンに入らないように注意してください。エンジンが損傷するおそれがあります。

## 推奨ギアシフト

経済的な運転スタイルをとることができるよう、推奨ギアシフトは運転者を支援します。推奨ギアがマルチファンクションディスプレイに表示されます。



- ▶ メーターパネルのマルチファンクションディスプレイに表示されたときは、推奨ギアシフト ① に従って推奨ギア ② にシフトします。

## AMG車

**!** マニュアルギアシフト **M** では、現在のギアでのエンジン許容回転数に達しても、自動的にシフトアップしません。エンジンの許容回転数に達すると、エンジンの過回転を防ぎエンジンを保護するため、燃料供給が停止します。エンジン回転数が許容回転数を超えて、タコメーターのレッドゾーンに入らないように注意してください。エンジンが損傷するおそれがあります。



- ① シフトインジケーター
- ② シフトアップインジケーター

エンジン回転数が赤色の範囲に達する前に、シフトアップインジケーターがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ スピードメーターのマルチファンクションディスプレイの色が赤色に変わり、ディスプレイメッセージ **UP** が表示される場合は、ギアをシフトアップします。

## シフトダウン

- ▶ ステアリングの左側のパドルシフトを引きます (▷ 156 ページ)。  
1段低いギアにシフトします。

**i** シフトダウンしないで減速または停止した場合は、オートマチックトランスミッションは自動的にシフトダウンします。

**i** 最大限の加速のためには、トランスミッションがそのときの速度に最適なギアを選択するまで、ステアリング左側のギアシフトパドルを引きます。

**i** シフトダウンしたときにエンジンの許容回転数を超えそうな場合は、エンジンの損傷を防ぐため、シフトダウンが行なわれません。

## キックダウン

**AMG車:** キックダウンは、一時的にマニュアルギアシフト **M** のときにのみ可能です。

マニュアルギアシフト **M** では、最大限の加速のためにキックダウンを使用することができます。

- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。  
エンジン回転数に応じて、自動的に低速ギアに切り替わります。
- ▶ 希望の速度に達すると、元にシフトアップします。

**i** キックダウンの間は、ステアリングのギアシフトパドルを使用してギアをシフトすることはできません。

**i** フルスロットルを加えると、最大エンジン回転数に達するとオートマチックトランスミッションは次のギアにシフトアップします。これによりエンジンを過回転から防ぎます。

## マニュアル走行モードの解除

- ▶ マルチファンクションディスプレイに **E** または **S** が表示されるまで、モード選択スイッチ (▷ 155 ページ) を繰り返し押しします。

## マニュアル走行モードの一時解除

- ▶ オートマチックトランスミッションが最後に作動したオートマチック走行プログラム **E** (AMG車両では走行モード **C**) または **S** にシフトするまで、右側のパドルシフトを引いたまま保持してください。

**i** マニュアルギアシフト **M** が解除された場合、オートマチック走行プログラム **E** (AMG車両では走行モード **C**) または **S** のオートマチックトランスミッションが現在のギアから高いまたは低いギアにシフトすることがあります。これは、アクセルペダルの位置、走行速度や積載量に左右されます。

## トランスミッションのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
トランスミッションが正しく変速しない。	トランスミッションオイルが減っている。 ▶ すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのトランスミッションの点検を受けてください。
加速性能が悪化している。 トランスミッションがすべてのギアに入らない。 リバースギヤを入れることができない。	トランスミッションに異常があり、エマージェンシーモードになっている。 ▶ 停車してください。 ▶ シフトポジションを <b>P</b> にしてください。 ▶ エンジンを停止します。 ▶ 約10秒以上待ってから、エンジンを再始動します。 ▶ トランスミッションをポジション <b>D</b> にシフトします。 ▶ すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのトランスミッションの点検を受けてください。

## 給油

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジン、当てはまる場合は補助ヒーターを停止します。

## ⚠ 警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないこと、また目や衣服に付着させないでください。燃料の気体を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

## ⚠ 警告

静電気の蓄積により、火花が発生したり、燃料の気体に引火するおそれがあります。火災および爆発の危険性があります。

燃料給油口を開いたり、給油ノズルに触れる前に、必ず車体に触ってください。蓄積されている可能性がある静電気を放電します。

❗ ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグ

ミッションをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入っておそれがあります。少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統から完全に抜き取ってください。

**❶** 給油ノズルの自動停止後は、それ以上補給しないでください。燃料噴射システムを損傷するおそれがあります。

**❷** 給油中に燃料を塗装面にこぼさないよう注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。

**❸** 燃料携行缶から燃料を補給するときは、フィルターを使用してください。燃料携行缶に付着した微粒子によって、フューエルラインや燃料噴射システムの部品が詰まるおそれがあります。

給油中は車内に戻らないでください。再び帯電することがあります。

燃料タンクに補充しすぎると、燃料ポンプノズルを取り外すときに多少の燃料が飛散することがあります。

燃料と燃料の品質に関する詳細は (p 351 ページ) をご覧ください。

### セルフサービスのガソリンスタンド

給油に関する注意事項を遵守してください。(p 160 ページ)

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは必ず以下の点を守り、安全に十分注意して作業を行なってください。

- 給油前に必ずエンジンを停止して、ドアやサイドウィンドウなどを閉じてください。
- 燃料給油フラップを開くときから、一連の給油作業を必ずひとりで行ってください。

給油作業を行なう人以外は燃料給油フラップに近づかないでください。

- キャップの開閉は確実に行ってください。火気を近づけないようにしてください。
- 給油ノズルは給油口の奥まで確実に差し込んでください。
- 給油が自動的に停止したら、それ以上は給油しないでください。燃料があふれるおそれがあります。
- 給油の勢いを強くしないでゆっくりと給油してください。燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を遵守してください。


### 給油

#### 燃料給油フラップの開閉



- ① 燃料給油フラップを開く
- ② タイヤ空気圧ラベル
- ③ 燃料給油キャップをはめる
- ④ 使用燃料表示

キーで車両を開閉すると、燃料給油フラップも自動的に施錠 / 解錠されます。燃料給油フラップは車両の左側後方にあります。

メーターパネル内には、キャップの位置を示す  が表示されています。給油

ノズルの横の矢印は、給油口の取り付け位置を示しています。

## 開く

---

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 燃料給油フラップ ① の矢印の位置を押します。  
燃料給油フラップが開きます。
- ▶ キャップを反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ キャップを燃料給油フラップ ③ の内側にあるホルダーにかけます。
- ▶ 給油ノズルを奥まで差し込み、給油を開始します。
- ▶ 給油ノズルが自動停止した時点で給油を停止してください。

**i** 給油ノズルの自動停止後は、それ以上補給しないでください。燃料があふれるおそれがあります。

## 閉じる

---

- ▶ キャップを給油口に合わせ、時計回りにいっぱいまでまわして確実に閉じます。
- ▶ 燃料給油フラップを閉じます。

**i** 車を施錠する前に燃料給油フラップを閉じてください。

燃料および燃料タンクのトラブル	
トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
燃料が漏れている。	<p>燃料供給システムまたは燃料タンクに問題がある。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>火災または爆発の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ただちにイグニッション位置を <b>0</b> にし、エンジンスイッチからキーを抜いてください。(▶ 145 ページ)</li> <li>▶ 状況を問わず、エンジンを始動しないでください。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>
燃料給油フラップが開かない。	<p>燃料給油フラップが解錠されていない。</p> <p>または</p> <p>キーの電池が消耗している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車を解錠してください(▶ 76 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ エマージェンシーキーで車を解錠してください (▶ 77 ページ)。</li> </ul> <p>燃料給油フラップは解錠されているが、開閉機構に異常がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>

## 駐車

### 重要な安全上の注意事項

**⚠ 警告**

葉、草または小枝のような可燃性の素材は、排気システムの高温部品または排気ガスの排気に長時間触れると発火することがあります。火災の危険性があります。可燃性の素材が車両の熱い部品に触れないように車両を駐車してください。特に、乾燥した草原、または収穫した穀物畑に駐車しないでください。

### **⚠ 警告**

保護者のいない状態で子供を車両に残すと、例えば以下のようにして動かし始めるおそれがあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションのパーキングポジション **P**からのシフト
- エンジンの始動

彼らは車両装備を操作するおそれもあります。事故やけがの危険性があります。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。子供だけを車内に残して車両から離れないでください。



**!** 車両が動き出さないように、必ず適切な方法で固定してください。車体または駆動系を損傷するおそれがあります。

車両が不意に動き出さないように、以下の方法で車を固定してください。

- パーキングブレーキを確実にかけること
- シフトポジションが **P** にあり、マルチファンクションディスプレイのシフトポジションが **P** を表示していること
- エンジンスイッチからキーが取り外されていること
- 上り坂または下り坂の勾配では、前輪を縁石方向に向けなければなりません

## エンジンの停止

### 重要な安全上の注意事項

#### **⚠ 警告**

エンジンをオフにすると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンをオフにした後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

### オートマチックトランスミッション装備車両

全車両（AMG車両を除く）

- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。



AMG車のセレクターレバー

AMG 車両：

- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ **P** スイッチ **①** を押します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを**O**の位置にまわして、抜きます。  
イモビライザーが作動します。

**i** トランスミッションがポジション **R** または **D** でエンジンを停止した場合は、オートマチックトランスミッションは自動的に **N** にシフトします。

その後フロントドアの1つを開くか、またはエンジンスイッチからキーを抜いた場合は、オートマチックトランスミッションは **P** にシフトします。

エンジンを停止する前にオートマチックトランスミッションを **N** にシフトした場合は、ドアを開いてもオートマチックトランスミッションは**N**のままになります。

## 電気式パーキングブレーキ

### 全体的な注意事項

#### ⚠ 警告

保護者のいない状態で子供を車両に残すと、例えば以下のようにして動かし始めるおそれがあります。

- パーキングブレーキの解除
- オートマチックトランスミッションのパーキングポジション **P**からのシフト
- エンジンの始動


彼らは車両装備を操作するおそれもあります。事故やけがの危険性があります。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。子供だけを車内に残して車両から離れないでください。



**i** エンジンが停止しているときに、電気式パーキングブレーキは定期的に機能チェックを行ないます。作動音が発生しますが問題ありません。


### 手動での作動/解除

#### 作動

▶ ハンドル ① を押します。  
パーキングブレーキを効かせているときは、メーターパネルの赤い表示灯  が点灯します。

**i** 電気式パーキングブレーキは、キーを抜いているときも作動します。

#### 解除


▶ ハンドル ① を引きます。  
メーターパネルの赤い  表示灯が消灯します。

**i** エンジンスイッチのキーが **1** または **2** の位置にあるときのみ、パーキングブレーキを解除することができます。

### 自動的な作動

以下のときに、電気式パーキングブレーキは自動的に効きます。

- ディストロニック・プラスにより車両が停止したとき、あるいは
  - ホールド機能が車両を停止したまま保持している場合、または
  - アクティブパーキングアシストが車両を停止した状態で保っている場合
- さらに、少なくとも以下の条件のうち1つが満たされている必要があります。
- エンジンが停止している
  - 運転席ドアが開き、シートベルトが着用されていない
  - システムに故障がある
  - 電力供給が不十分である
  - 車両が長時間停車している

メーターパネルの赤い  表示灯が点灯します。

**i** ECOスタートストップ機能によりエンジンが停止した場合は、電気式パーキングブレーキは自動的に効きません。

### 自動解除

パーキングブレーキは、以下の条件がすべて満たされると自動解除されます。

- エンジンがかかっている
- トランスミッションがポジション**D**または**R**にある

- シートベルトを着用した
  - アクセルペダルを踏んだ
- シフトポジションがRのとき、トランクリッドは閉じている必要があります。
- シートベルトが着用されていない場合は、自動的に電気式パーキングブレーキを解除するためには以下の条件が満たされていなければなりません。
- 運転席ドアが閉まっている
  - トランスミッションをポジションPからシフトした、または以前に3 km/h以上で走行した


## 緊急ブレーキ

電気式パーキングブレーキを使って緊急時に車両にブレーキを効かせることもできます。

- ▶ 走行している間に、電気式パーキングブレーキのハンドル①を押します (▷ 165 ページ)。

**i** パーキングブレーキのハンドル①が押されている間中、ブレーキがかけられます。パーキングブレーキのハンドル①が押されている時間が長いほど、ブレーキの力も大きくなります。

ブレーキが効いている間は以下のようになります：

- 警告音が鳴ります。
- **パーキングブレーキ解除してください**というメッセージが表示される
- メーターパネルの赤い  表示灯が点滅する

停止するまで車両にブレーキを効かせると、電気式パーキングブレーキが効きません。

## 長期間の車両の駐車

車を4週間以上使用しないと、バッテリーが完全にあがって、損傷するおそれがあります。

車を6週間以上使用しないと、車両に不具合が生じるおそれがあります。

- ▶ 対応については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

**i** 充電器についてはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

## 運転のヒント

### 全体的な注意事項

#### 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

### ECO表示

ECO表示は、お客様の運転特性がどのくらい経済的であるか、評価を提供します。ECO表示は、選択された設定および現在の状況で最も経済的な運転スタイルを達成する補助をします。消費は運転スタイルによって著しく影響されることがあります。



例：ECO表示

ECO表示は以下の3本のバーで構成されています。

- **アクセル操作**
- **平均**
- **ブレーキ操作**

パーセンテージ数は、3本つのバーの値の平均値です。3つのバーおよび平均値は50%の値を起点としています。高いパーセンテージ数はより経済的な運転スタイルを示しています。

ECO表示は、実際の燃料消費を示していません。ECO表示の特定のパーセンテージ数は、特定の消費量を示していません。

運転スタイルに加えて、消費は以下のような他の多くの要因に影響されます。

- 積載状況
- タイヤ空気圧
- 冷間始動
- ルートの選択
- 電気消費物の使用

これらの要因はECO表示には含まれていません。

運転スタイルの評価には、以下の3つのカテゴリーが考慮されます。

- **アクセル操作** (すべての加速行為の評価)
  - バーが一番上に来ているとき：特に高い速度での適度な加速
  - バーが一番下に来ているとき：スポーツ走行時の加速
- **平均** (運転操作の常時評価)
  - バーが一番上に来ているとき：一定の速度、および不必要な加速および減速の回避
  - バーが一番下に来ているとき：速度に変動がある
- **ブレーキ操作** (すべての減速過程の評価)
  - バーが一番上に来ているとき：距離を保ちながらの予期走行およびアクセルの早期開放。車両はブレーキを使用することなく惰性走行できます。
  - バーが一番下に来ているとき：ブレーキを繰り返し踏んでいる

**i** 経済的な運転スタイルは適度なエンジン回転数での走行と関係しています。**アクセル操作**および**平均**のカテゴリーでのより高い値は以下の条件で達成します：

- 推奨ギアシフトを遵守してください。
- 走行モード **E** で車両を走行してください。

**i** 高速道路のような一定速度での長距離走行では、**平均**のバーのみが変化します。

**i** ECO表示は走行の開始から完了までの特性曲線を要約しています。そのため、走行開始時点ではバーに活発な変化があります。長い運転時間の間では、これらの変化は小さくなります。変化の動きを見たい場合は手動でリセットしてください。

ECO表示に関する詳細は、(p 213 ページ) をご覧ください。

## ブレーキ操作

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

## 下り坂勾配

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアにシフトします。荷物を積んだ車両を運転するときは、このことに特に注意してください。このため、マニュアルギアシフト M(▷ 157 ページ)を選択する必要があります。

❶ これは、クルーズコントロール、可変スピードリミッターまたはディストロニック・プラスの機能を設定した場合も該当します。

エンジンのブレーキ効果を使用することにより、車両を加速から防ぐために必要なブレーキが少なくなります。その結果、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキが過熱して早く摩耗するのを防ぎます。

❶ マニュアルギアシフト M が一時的に作動したとき、下り坂の勾配でアクセルペダルを軽く踏み込む：オートマチックトランスミッションは最後に作動していたオートマチック走行モード E または S に切り替わることがあります。オートマチックトランスミッションはより高いギアにシフトすることがあります。これは、エンジンのブレーキ作用を低減させます。

## 高い、および低い負荷

## ⚠ 警告

走行中にブレーキペダルの上に足を置くと、ブレーキシステムがオーバーヒートすることがあります。これにより制動距離が増加して、ブレーキシステムが故障する原因になるおそれもあります。事故の危険性があります。

ブレーキペダルをフットレストとして使用しないでください。ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏まないでください。

❶ ブレーキペダルを常時踏むと、ブレーキパッドが極端に早く磨耗する結果になります。

大きな負担がブレーキにかけられた場合は、すぐに車両を駐車しないでください。しばらくの間走行します。これにより送風され、ブレーキをより速く冷却します。

長時間、ブレーキをほぼ使用せずに走行した場合は、時々ブレーキの効きをテストしてください。これを行なうには、道路状況に注意を払って、高速の状態から強めにブレーキを踏み込みます。この操作によりブレーキの制動力が向上します。

## 濡れた路面

激しい雨の中で、ブレーキを効かせずに長時間走行した後、初めてブレーキを効かせたときにブレーキの反応が遅れることがあります。これは、洗車後または深い水の中の走行後にも起こることがあります。

滑りやすい路面では、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。前車との距離を十分に保ってください。

滑りやすい路面の走行後や洗車直後は、周囲の道路状況に注意しながら強めにブレーキを踏み込んでください。この操作によりブレーキディスクを加熱して、よ

り早く乾燥させ、腐食を防止することができます。

## 塩分処理された路面でのブレーキ性能の制約

塩分処理した道路を走行している場合は、塩分の層がブレーキディスクやパッドにできることがあります。これにより制動距離が著しく増加することがあります。

- 塩分が蓄積するのを避けるために時々ブレーキを効かせます。そうしているときは、他の道路利用者を危険にさらしていないことを確認してください。
- 走行の終了時と次の走行を開始するときはブレーキペダルを慎重に踏んでください。
- 先行車との、十分な距離を保ってください。

## 新品のブレーキパッド/ライニング

新しい、または交換されたブレーキパッド/ライニングおよびディスクは、数百km走行後のみ最適なブレーキ効果に到達します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少したブレーキ効果を補ってください。

安全を確保するため、必ず純正のブレーキパッド/ライニング、または同等の品質基準を満たしたものをご使用ください。メルセデス・ベンツ車のために承認されていないブレーキパッド/ライニングまたは同等の品質でないものは、車両の操作安全性に影響を与えることがあります。

## 濡れた路面の走行

### ハイドロプレーニング現象

路面に特定の深さまで水がたまると、以下の状況でもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 低速で走行しているとき
- タイヤの溝が十分にあるとき

わだちなどの水のたまりやすい場所を避けて走行し、注意深くブレーキ操作を行なってください。

### 冠水路の走行

**!** 先行車や対向車も波を発生させていることに注意してください。車が通ることにより、許容最大水深を超える可能性があります。

これらの注意事項は、どのような状況でも守ってください。そうしないと、エンジン、電気装備およびトランスミッションを損傷するおそれがあります。

冠水路を走行するときは、以下の点に注意してください。

- 渡れる最大許容水深は25 cmです。
- 歩くペースより速く走行しないでください。

## 冬季の走行

### 全体的な注意事項

#### 警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

**⚠ 危険**

マフラーが遮られ、適切な換気が可能でない場合は、一酸化炭素（CO）のような有毒ガスが車内に入り込んでくる可能性があります。車両が雪にはまった場合などがあてはまります。致命的なけがの危険性があります。

エンジンまたは補助ヒーターを作動させたままにする場合は、マフラーや車両周辺に雪がないことを確認してください。新鮮な空気の適切な供給を確保するために、風のほうを向いていない車両側のウィンドウを開きます。

冬になる前にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の寒冷時対応を実施してください。

"冬季の使用"の注意事項を遵守してください。（▷ 334 ページ）

**サマータイヤでの走行**

"冬季の使用"の注意事項を遵守してください。（▷ 335 ページ）

**滑りやすい路面****⚠ 警告**

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

車両がスリップしやすいとき、または低速走行中に停止できないときは、以下の指示に従ってください。

- ▶ トランスミッションをポジションNに動かします。
- ▶ ステアリング操作を修正して、車両の操縦性を確保します。

滑りやすい路面では、特に慎重に走行してください。急な加速、ステアリング、ブレーキ操作は避けてください。

外気温度表示灯は凍結警告デバイスとして使用するための設計はされていません。そのため、この用途には適切ではありません。外気温度が変化すると、少し遅れて表示されます。

表示された温度が氷点下に近いときは、路面が凍結している可能性があります。特に森林地域や橋の上など、路面が凍結しやすくなります。気温が氷点下前後のときは、路面状況に特に注意してください。

**i** スノーチェーンでの走行に関するさらなる情報は、（▷ 335 ページ）をご覧ください。

**走行装備****クルーズコントロール****全体的な注意事項**

クルーズコントロールは一定の走行速度を維持します。設定速度を超えないようにするために自動的にブレーキを効かせます。長い急な下り坂勾配で、特に車両に荷物を積載しているときは、適時低いギアを選択してください。このため、マニュアルギアシフト **M**（▷ 157 ページ）に必ずシフトしてください。そうすることにより、エンジンのブレーキ効果を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

道路や交通状況が長時間の一定速度の維持に適している場合にのみ、クルーズコントロールを使用してください。約 30 km/h 以上の走行速度を記憶させることができます。

## 重要な安全上の注意事項

運転者が周囲の状況に合わせて慎重に運転しなければ、クルーズコントロールは事故被害を軽減したり、物理的限界を超えて運転を支援することはできません。クルーズコントロールは道路、天気、交通事情を考慮することはできません。クルーズコントロールは補助装置です。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

次のような場合にはクルーズコントロールを使用しないでください。

- 一定の速度を維持できないような道路や交通状況のとき（例、混雑している交通やカーブしている道路）。
- 滑りやすい路面。ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。
- 霧や激しい雨、雪のときなど、視界が不十分なとき。

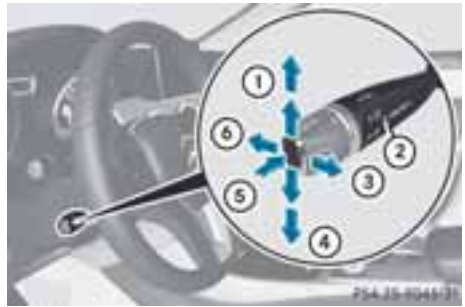
運転者を交代する場合は、交代する運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。

## クルーズコントロールレバー

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯は、選択したシステムの状態を表しています。

- **LIM表示灯が消灯**：クルーズコントロールが操作可能な状態です。
- **LIM表示灯が点灯**：可変スピードリミッターが操作可能な状態です。



- ① 速度を設定する / 上げる
- ② LIM表示灯
- ③ 現在の速度 / 前回の設定速度に設定する
- ④ 速度を設定する / 下げる
- ⑤ クルーズコントロールと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑥ クルーズコントロールの解除

クルーズコントロールを作動させると、記憶された速度がマルチファンクションディスプレイに約5秒間表示されます。マルチファンクションディスプレイには、記憶された速度と最高速度の間のセグメントが点灯します。

## 作動条件

クルーズコントロールを作動させるには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- パーキングブレーキを解除していること
- 約30 km/h以上で走行していること
- ESP® を使用しているが機能が介入していないこと
- オートマチック車でセレクタレバーがDのポジションにあること
- クルーズコントロールが選択されていること



- ▶ **クルーズコントロールの選択**： LIM 表示灯 ② がオンまたはオフかどうか確認します。

消灯しているときは、クルーズコントロールが選択されています。

- ▶ 消灯していないときは、クルーズコントロールレバーを矢印の方向 ⑤ に押します。クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が消灯します。クルーズコントロールが選択されます。

## 速度の記憶、維持、呼び出し

### 現在の速度を記憶および維持する

約 30 km/h 以上で走行しているときは、現在の速度が記憶されます。

- ▶ 希望の速度に加速します。
- ▶ クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ④ に軽く操作します。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。クルーズコントロールが作動します。車両は自動的に速度を維持します。

**i** 急な上り坂では、クルーズコントロールは記憶された速度を維持できないことがあります。勾配が小さくなると再び記憶された速度を維持します。クルーズコントロールは急な下り坂では自動的にブレーキを効かせることにより記憶された速度を維持します。

### 現在の速度の記憶および最後に記憶した速度の呼び出し

#### ⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度と異なるときは、車両が加速または減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に加速したりブレーキがかかることがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。

- ▶ クルーズコントロールレバーを手前 ③ に軽く引きます。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。初めてクルーズコントロールを作動させたときは現在の速度が記憶され、または以前に記憶した速度に車両速度を制御します。

## 速度の設定

車両が設定速度まで加速または減速するまでには少し時間がかかることに注意してください。

- ▶ 設定速度を上げるにはクルーズコントロールレバーを上 ① に、設定速度を下げるには下 ④ に操作します。
- ▶ 希望した速度に到達するまでクルーズコントロールレバーを保持します。
- ▶ クルーズコントロールレバーから手を放します。新しい速度が記憶されます。
- ▶ **設定速度を約 1 km/h 単位で調整する**： クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ④ に軽く操作します。前回の設定速度が約 1 km/h 単位で増減します。
- ▶ **設定速度を約 10 km/h 単位で調整する**： クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ④ に手応えのあるところを越えて操作します。前回の設定速度が約 10 km/h 単位で増減します。

**i** クルーズコントロールは、アクセルペダルを踏んでも解除されません。例えば、追い越しのために一時的に加速したときは、追い越しが終了した後にクルー

ズコントロールは、最後に記憶された速度に車両の速度を調整します。

## クルーズコントロールの解除

クルーズコントロールを解除するにはいくつかの方法があります。

▶ クルーズコントロールレバーを前方 ④ に軽く押します。

または

▶ ブレーキを効かせます。

または

▶ クルーズコントロールレバーを矢印の方向 ⑤ に軽く押します。

可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーのLIM表示灯 ② が点灯します。

以下のときはクルーズコントロールが自動的に解除されます。

- パーキングブレーキで車両を停止しているとき
- 30 km/h 以下で走行しているとき
- ESP®が介入したり、ESP®を解除したとき
- オートマチックトランスミッション装備車では、走行中にポジション N にシフトした。

クルーズコントロールが解除されると警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイに**クルーズコントロール解除**というメッセージが約5秒間表示されます。

① エンジンを停止すると、記憶されている速度は消去されます。

## スピードリミッター

### 重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、可変スピードリミッターは事故の危険性

を低減させることも、物理的法則を乗り超えることもできません。可変スピードリミッターは道路、天候および交通状況を考慮することはできません。可変スピードリミッターは単なる支援にすぎません。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。

### 全体的な注意事項

可変スピードリミッターまたはスノータイヤスピードリミッターを設定することができます。

- **可変スピードリミッター**は市街地などでの速度制限のためのものです。
- **スノータイヤスピードリミッター**は、ウィンタータイヤを装着して走行するときなど、長時間の速度制限のためのシステムです。(▶ 175 ページ)

① スピードメーターに表示された速度は記憶された制限速度と若干異なる場合があります。

### 可変スピードリミッター

#### 全体的な注意事項

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールまたはディストロニック・プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯は、選択したシステムの状態を表しています。

- **LIM表示灯が消灯**：クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されています。
- **LIM表示灯が点灯**：可変スピードリミッターが操作可能な状態です。

運転スタイルを合わせていない場合は、可変スピードリミッターは事故の危険性

エンジンがかかっているときにクルーズコントロールレバーを使用して、約30 km/h以上のあらゆる速度に速度を制限できます。



- ① 現在の走行速度、またはより速い速度を記憶する
- ② LIM表示灯
- ③ 現在の走行速度を記憶する、記憶されている速度を呼び出す
- ④ 現在の走行速度、またはより遅い速度を記憶する
- ⑤ クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑥ 可変スピードリミッターを解除する

### 可変スピードリミッターの選択

▶ LIM表示灯 ② が点灯しているか確認してください。

点灯しているときは、可変スピードリミッターはすでに選択されています。点灯していないときは、クルーズコントロールレバーを矢印の方向 ⑤ に押しします。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯 ② が点灯します。可変スピードリミッターが選択されます。

### 現在の速度の記憶

エンジンがかかっているときにクルーズコントロールレバーを使用して、約30 km/h以上のあらゆる速度に速度を制限できます。

▶ クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ④ に軽く操作します。

現在の速度が記憶されます。5秒間、マルチファンクションディスプレイに制限速度 100 km/h のように記憶した速度が表示されます。

### 現在の速度の記憶および最後に記憶させた速度の呼び出し

#### ⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度より低いときは、車両が減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に減速することがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。

▶ クルーズコントロールレバーを手前 ③ に軽く引きます。

▶ **設定した速度を 1 km/h 単位で調整する**：高い速度には上方へ ①、低い速度に下方へ ④、クルーズコントロールレバーを手応えのあるところまで軽く押します。

または

▶ 希望する速度に設定されるまでクルーズコントロールレバーを圧力点まで押し保持します。速度を上げる場合には ① の方向に、速度を下げる場合には ④ の方向にクルーズコントロールレバーを操作します。

▶ **設定した速度を 10 km/h 単位で調整する**：高い速度には上方へ ①、低い速

度には下方へ④、クルーズコントロールレバーを手応えのあるところを越えて軽く押します。

または

- ▶ 希望する速度に設定されるまでクルーズコントロールレバーを圧力点を越えて保持します。速度を上げる場合には①の方向に、速度を下げる場合には④の方向にクルーズコントロールレバーを操作します。

### 可変スピードリミッターの解除

ブレーキ操作で可変スピードリミッターを解除することはできません。

可変スピードリミッターを解除するにはいくつかの方法があります。

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方⑥に軽く押します。

または

- ▶ クルーズコントロールレバーを矢印の方向⑤に軽く押します。  
クルーズコントロールレバーのLIM表示灯②が消灯します。可変スピードリミッターは解除されます。  
クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されます。

**i** エンジンを停止すると、記憶されている速度は消去されます。

### キックダウン

#### 可変スピードリミッターを待機状態に切り替える

アクセルペダルを踏み応えのあるところを越えて踏み込むと（キックダウン）、可変スピードリミッターは待機状態に切り替わります。マルチファンクションディスプレイに以下のメッセージが表示されます。**可変スピードリミッター制御待機中**。

この後、記憶されている速度を超えることができます。スピードトロニックは、以下のとき再び作動します。

- キックダウンなしで記憶されている速度以下で走行したとき
- 新たに速度を設定したとき、または
- 最後に保存した速度を再度呼び出したとき

マルチファンクションディスプレイのメッセージ**可変スピードリミッター制御待機中**が消えます。

### スノータイヤスピードリミッター

マルチファンクションディスプレイを使用して、約160 km/h(例えばウィンタータイヤで走行するとき)から最高速度までの間の値に、常に速度を制限できます(▶ 225 ページ)。

記憶された速度に到達する少し前に、マルチファンクションディスプレイに速度が表示されます。

可変スピードリミッターを解除しても、スノータイヤスピードリミッターは作動したままになります。

アクセルペダルをいっぱいまで踏み込んでも（キックダウン）、記憶された制限速度を超えることはできません。

### ディストロニック・プラス

#### 全体的な注意事項

ディストロニック・プラスは速度を制御し、前方に検知された車両との距離を自動的に維持する補助を行いません。車両はレーダーセンサーシステムの支援で検知されます。ディストロニック・プラスは設定された速度を超えないように自動的にブレーキを効かせます。

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアにシフトします。荷物を積んだ車両を運転するとき

は、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ効果を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

ディストロニック・プラスが衝突の危険があることを検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告を行いません。運転者の操作なしでは、ディストロニック・プラスは衝突を回避することはできません。断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯が点灯します。安全な場合にのみ、ただちにブレーキを効かせて先行車両との距離を広げ、危険回避の操作を行なってください。

走行中にディストロニック・プラスが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムが作動していなければなりません。

ディストロニック・プラスは0 km/h ~ 200 km/hの間の速度で作動します。

急な坂道を走行しているときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください。

## 重要な安全上の注意事項

### ⚠ 警告

ディストロニック・プラスは以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 駐停車している車両など、道路上の静止している障害物
- 対向車や横切る車両

この場合、ディストロニック・プラスは警告も介入も行いません。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキをかける準備をしてください。

### ⚠ 警告

ディストロニック・プラスは、他の道路使用者や複雑な交通状況を常に明確に認識できるとは限りません。

その場合、ディストロニック・プラスは以下のように作動することがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレーキをかける
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる
- 不意に加速する

事故の危険性があります。

特に、ディストロニック・プラスから警告が送られた場合は、慎重に運転しブレーキをかける用意をしてください。

### ⚠ 警告

ディストロニック・プラスは最大可能減速の50%まで車両にブレーキを効かせます。減速が十分でない場合は、ディストロニック・プラスは視覚的および聴覚的警告で運転者に警告します。事故の危険性があります。

これらの状況では自分でブレーキを効かせ、回避行動を取るよう試みてください。

■ ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

運転者が周囲の状況に合わせて慎重に運転しなければ、ディストロニック・プラスは事故被害を軽減したり、物理的限界を超えて運転を支援することはできません。ディストロニック・プラスは路面、天候および交通状況を考慮することはできません。ディストロニック・プラスはあくまでも運転を支援するシステムで

す。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

以下のときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください：

- 一定の速度を維持できないような道路および交通状況（例：混雑している交通状況、または曲がりくねっている道路）
- 滑りやすい路面。ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。
- 霧や激しい雨、雪のときなど、視界が不十分なとき。

ディストロニック・プラスは、オートバイなど前方を走行している幅の狭い車両、または異なる車線を走行している車両を検知しないことがあります。

特に以下のときは、障害物の検知が困難になります。

- センサーに異物が付着しているときまたはセンサーが何かでおおわれているとき
- 雪または激しい雨が降っているとき
- 他のレーダー送信機による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射の可能性がある

ディストロニック・プラスが先行車を検知なくなると、予期せず、設定速度まで加速することがあります。

このときの速度は以下になることがあります：

- 合流車線または出口車線での速度が高すぎる
- 右側車線を走行中に速度があがり、左側車線の車を追い越してしまう（片側2車線の道路で）
- 左側車線を走行中に速度があがり、右側車線の車を追い越してしまう（片側2車線の道路で）

運転者を交代する場合は、交代する運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。

## クルーズコントロールレバー

クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスや可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーのLIM表示灯は、選択したシステムの状態を表しています。

- LIM表示灯が消灯：ディストロニック・プラスが選択されています。
- LIM表示灯が点灯：可変スピードリミッターが操作可能な状態です。



- ① 現在の走行速度、またはより速い速度を記憶する
- ② 指定最短距離を設定する
- ③ LIM表示灯
- ④ 現在の走行速度を記憶する、記憶されている速度を呼び出す
- ⑤ 現在の走行速度、またはより遅い速度を記憶する
- ⑥ ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
- ⑦ ディストロニック・プラスを解除する

## ディストロニック・プラスの選択

- ▶ LIM表示灯 ③ が消灯しているか確認してください。

消灯しているときは、ディストロニック・プラスがすでに選択されています。

- ▶ 消灯していないときは、クルーズコントロールレバーを矢印の方向⑥に押しします。クルーズコントロールレバーのLIM表示灯③が消灯します。ディストロニック・プラスが選択されます。

## ディストロニック・プラスの作動

### 作動条件

ディストロニック・プラスを作動させるには、以下の条件をすべて満たさなければなりません。

- エンジンがかかっている。ディストロニック・プラスが使用できるようになる前に少なくとも2分間走行している。
- 電気式パーキングブレーキが解除されている。
- ESP® が作動しているが、介入していない。
- アクティブパーキングアシストが作動していない。
- トランスミッションがポジション **D** である。
- **P** から **D** にシフトするときに運転席ドアが閉じていること、または運転者のシートベルトが装着されていること
- 助手席ドアとリアドアが閉じている。
- クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラス機能が選択されている(▶ 177 ページ)。

### 設定する

- ▶ クルーズコントロールレバーを軽く手前に引く④か、上①または下⑤に操作します。ディストロニック・プラスが作動します。
- ▶ 希望の速度が設定されるまでクルーズコントロールレバーを押し上げたままにするか①下げたままにします⑤。
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。希望の記憶させた速度までのみ、先行車の速度に自車の速度が合わせられません。

**i** アクセルペダルから完全に足を放していない場合は、マルチファンクションディスプレイに「**ディストロニックプラス制御待機中**」というメッセージが表示されます。このときは、ゆっくり走行している先行車との設定距離は維持されません。アクセルペダルの位置に応じた速度で走行します。

停止しているときもディストロニック・プラスを作動させることができます。設定できる最低速度は30 km/hです。

- ▶ クルーズコントロールレバーを軽く手前に引く④か、上①または下⑤に操作します。ディストロニック・プラスが作動します。

### 現在の速度/最後に記憶させた速度で作動させる

#### 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度と異なるときは、車両が加速または減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に加速したりブレーキがかかることがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を

覚えていない場合は、希望の速度を再設定してください。

- ▶ クルーズコントロールレバー(▶ 177ページ)を手前に軽く引きます。④
- ▶ アクセルペダルから足を放してください。  
ディストロニック・プラスが作動します。初めて作動させたときは、そのときの速度が記憶されます。それ以外のときは、以前に記憶させた値に車両の巡航速度を設定します。

## ディストロニック・プラスでの運転

### 発進と走行

**i** 未確認の障害物に面しているとき、または他の車両と異なるラインを走行するときにも、車両は発進できます。その後、車両は自動的にブレーキを効かせます。事故の危険性があります。いつでもブレーキを効かせる準備をしてください。

ブレーキを踏んだとき、車両が停止していないときはディストロニック・プラスは解除されます。

- ▶ **ディストロニック・プラスで発進した場合：** ブレーキペダルから足を放します。
- ▶ クルーズコントロールレバー (▶ 177ページ) を手前 ④ に軽く引きます。

または

- ▶ 軽く加速します。  
車両が発進して、速度を先行車両の速度に合わせます。  
検知された車両が前方にいない場合は、車両は設定した速度まで加速します。

先行車両がない場合は、ディストロニック・プラスはクルーズコントロールと同じ方法で作動します。

先行車両が減速したことをディストロニック・プラスが検知すると、車両にブレーキを効かせます。このようにして選択された距離が維持されます。

より速く走行している先行車両をディストロニック・プラスが検知すると、走行速度が上がります。記憶した速度までのみ車両は加速します。

### 走行モードの選択

走行モード S または M を選択したときは、ディストロニック・プラスはスポーティな運転スタイルをサポートします(▶ 155 ページ)。先行車両の後方で、または設定した速度まで非常にダイナミックに加速します。走行モード E を選択した場合は、車両は緩やかに加速します。この設定は交通渋滞で推奨されます。

### 車線の変更

追い越し車線に移るときは、以下のときにディストロニック・プラスが運転者を支援します。

- 70 km/h より速く走行しているとき
- ディストロニック・プラスが先行車両との距離を保っているとき
- 方向指示灯を作動させているとき
- ディストロニック・プラスが衝突の危険を検知していないとき

これらの条件を満たした場合は、車両は加速します。車線変更に時間がかかりすぎたり、車両と先行車両との距離が狭すぎるときは、加速は中断されます。

**i** 車線を変更するときは、ディストロニック・プラスは左側ハンドル車両では左の車線を、右側ハンドル車両では右の車線をモニターします。



## 停止

### ⚠ 警告

車から離れるときは、ディストロニック・プラスによりブレーキがかかっているにもかかわらず、以下の場合には車両が動き出すことがあります。

- システムまたは電源供給に異常があるとき
- 乗員または車外の誰かがクルーズコントロールレバーを操作して、ディストロニック・プラスが解除されたとき
- エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造されたとき
- バッテリーの接続を外したとき
- 同乗者などがアクセルペダルを踏んだとき

事故の危険性があります。

車から離れるときは、必ずディストロニック・プラスをオフにして車両が動き出さないように固定します。

ディストロニック・プラスの解除についてのさらなる情報は(▷ 181 ページ)をご覧ください。

先行車両が停止したことをディストロニック・プラスが検知すると、車両が停止するまでブレーキを効かせます。

一度車両が停止すると、停車したままになり、ブレーキを踏む必要はありません。

**①** しばらくすると電気式パーキングブレーキにより車両が動かなくなり、サービスブレーキは解除されます。

**②** 指定した最短距離によっては、車両は先行車両後方の十分な距離があるところで停止することがあります。指定最短距離はクルーズコントロールレバーのコントローラーを使用して設定します。

ディストロニック・プラスが作動している以下のようなときに電気式パーキングブレーキによって車両が動かなくなります。

- シートベルトが着用されておらず、運転席ドアが開いているとき
- ECOスタートストップ機能により自動的に停止しているのではなく、エンジンが停止しているとき
- システムに異常が発生しているとき
- 電力供給が十分でないとき

異常が発生したときは、トランスミッションが自動的にポジション **P** にシフトされることもあります。

## 速度の設定

車両が設定速度まで加速または減速するまでには少し時間がかかることに注意してください。



① 現在の走行速度、またはより早い速度を記憶する

② 現在の走行速度、またはより遅い速度を記憶する

▶ 設定速度を上げるにはクルーズコントロールレバーを上 ① に、設定速度を下げるには下 ② に操作します。

▶ 希望した速度に到達するまでクルーズコントロールレバーを保持します。

- ▶ クルーズコントロールレバーから手を放します。

新しい速度が記憶されます。ディストロニック・プラスが作動し、車両速度を新しく記憶した速度に調整します。

- ▶ **設定速度を約 1 km/h 単位で調整する：** クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く操作します。前回の設定速度が約 1 km/h 単位で増減します。

- ▶ **設定速度を約 10 km/h 単位で調整する：** クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に手応えのあるところを越えて操作します。前回の設定速度が約 10 km/h 単位で増減します。

❶ ディストロニック・プラスは、アクセルペダルを踏んでも解除されません。追い越すために一時的に加速したときは、追い越しが終了した後にディストロニック・プラスは、最後に記憶された速度に車両の速度を調整します。

### 最短車間距離の設定

時間間隔を1秒から2秒の間で変えることにより、ディストロニック・プラスの指定最短距離を設定することができます。この機能により、車両速度に応じてディストロニック・プラスが維持する、先行車との最短距離を設定することができます。マルチファンクションディスプレイでこの距離を表示することができます(▶ 182 ページ)。

❶ 法令に要求されているような先行車両との最短距離を維持していることを確認してください。必要であれば、先行車との距離を調整してください。



- ▶ **長くする：** コントローラー ③ を ② の方向にまわします。ディストロニック・プラスは自車と先行車との距離をより長く維持します。
- ▶ **短くする：** コントローラー ③ を ① の方向にまわします。ディストロニック・プラスは自車と先行車との距離をより短く維持します。

### ディストロニック・プラスの解除



ディストロニック・プラスを解除するにはいくつかの方法があります。

- ▶ クルーズコントロールレバーを前方 ① に軽く押します。
- または
- ▶ 車両が停止していない場合はブレーキを効かせます。

または

▶ クルーズコントロールレバーを矢印 ③

の方向に軽く押します。

可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が点灯します。

ディストロニック・プラスを解除すると、マルチファンクションディスプレイに **ディストロニック・プラス オフ** というメッセージが約5秒間表示されます。

❶ エンジンを停止するまでは、最後に記憶された速度が記憶されたままになります。アクセルペダルを踏んだ場合でも、ディストロニック・プラスは解除されません。

以下の場合、ディストロニック・プラスが自動的に解除されます。

- 電気式パーキングブレーキを効かせた、または車両が自動的に電気式パーキングブレーキで固定された。
- ESP®が介入したり、ESP®を解除した
- トランスミッションが **P**、**R**、または **N** ポジションにある。
- 発進するためにクルーズコントロールレバーを前方に引き、助手席ドアまたはリアドアの1つが開いている。
- 車が横滑りしている。
- アクティブパーキングアシストを作動させた。

ディストロニック・プラスが解除された場合は、警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイに **ディストロニック・プラス オフ** というメッセージが約5秒間表示されます。

## メーターパネルのディストロニック・プラスディスプレイ

### スピードメーターの表示



例：スピードメーターのディストロニック・プラスの表示

ディストロニック・プラスが作動しているとき、設定した速度範囲の1個または2個のセグメント ② が点灯します。

ディストロニック・プラスが先行車を検知すると、先行車の速度 ③ と設定した速度 ① の間のセグメント ② が点灯します。

❶ 設計上の理由により、スピードメーターに表示された速度はディストロニック・プラスで設定された速度と少し異なることがあります。

### ディストロニック・プラスが非作動のときの表示



- ① 検知された場合の先行車両
- ② 距離インジケーター：先行車両までの現在の距離

- ③ 設定した先行車両までの指定最短距離（調整可能）
- ④ 自車

マルチファンクションディスプレイのアシストメニュー（▶ 218 ページ）でアシスト表示を選択できます。

- ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、**車間ディスプレイ** 機能を選択します（▶ 219 ページ）。

ディストロニック・プラスが作動しているときの表示



- ① 検知された場合の先行車両
- ② 設定した先行車両までの指定最短距離（調整可能）
- ③ 自車
- ④ ディストロニック・プラス作動（文字はクルーズコントロールレバーが動かされたときのみ表示されます）
- ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、**車間ディスプレイ** 機能を選択します（▶ 219 ページ）。

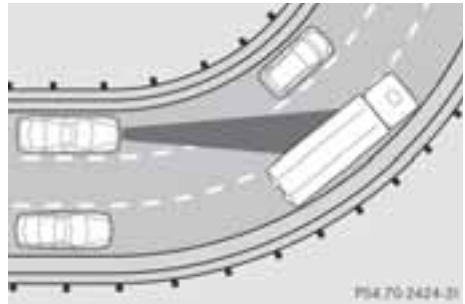
ディストロニック・プラスを作動させると、設定した速度が約5秒間最初に表示されます。

## ディストロニック・プラスでの運転のヒント

### 全体的な注意事項

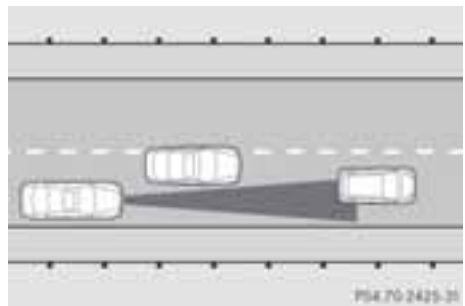
以下には、特に注意すべき道路や交通状況の記載が含まれています。そのような状況では必要であればブレーキを効かせてください。ディストロニック・プラスは解除されます。

### カーブでの走行、カーブに入るときやカーブを抜けるとき



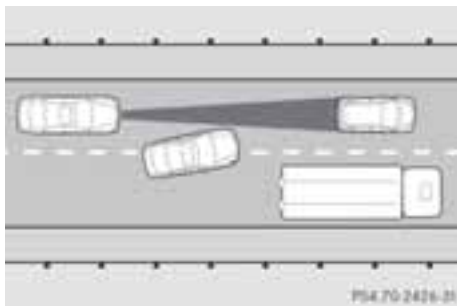
カーブではディストロニック・プラスの車両を検知する能力には限界があります。予期せずまたは遅くブレーキを効かせることがあります。

### 車線の中央を走行していない車両



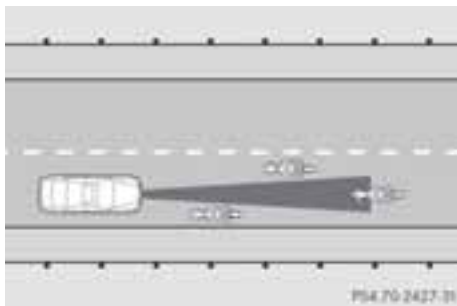
ディストロニック・プラスは車線の中央を走行していない車両を認識することができません。先行車との距離は非常に短くなる場合があります。

### 車線変更する他の車両があるとき



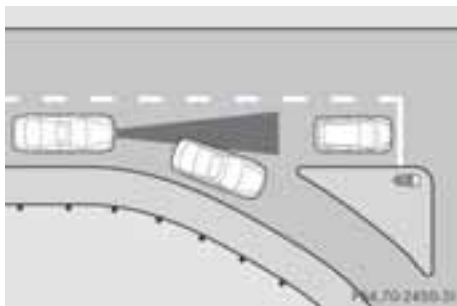
ディストロニック・プラスは割り込んでくる車両を検知しません。この車両との距離は非常に短くなる場合があります。

### 幅の狭い車両があるとき



ディストロニック・プラスは道路の端の幅の狭い車両を検知しないことがあります。先行車との距離は非常に短くなる場合があります。

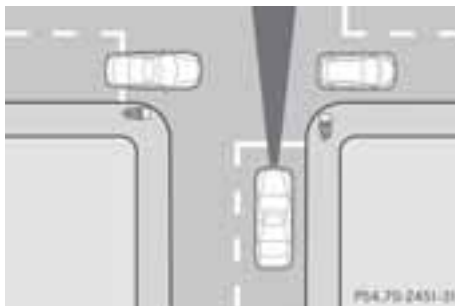
### 障害物や停止車両



ディストロニック・プラスは障害物や停止車両に対してブレーキを効かせないこ

とがあります。例えば、検知していた車両がカーブを曲がり、障害物や停止車両が現れたときは、ディストロニック・プラスはこれらに対してブレーキを効かせないことがあります。

### 横切る車両があるとき



ディストロニック・プラスは車線を横切る車両を誤って検知することがあります。交差点の信号でディストロニック・プラスを作動させると、例えば不意に車両が発進することがあります。

## ホールド機能

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

車両を離れるときは、ホールド機能によりブレーキを効かせているにも関わらず、以下のときに発進するおそれがあります。

- システムまたは電圧の供給に不具合がある
  - 例えば車両乗員によってアクセルペダルが踏まれることによりホールド機能が解除される
  - エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造される
  - バッテリーの接続が外された
- 事故の危険性があります。

車両を離れる前には常にホールド機能を解除し、発進しないように車両を固定してください。

**■** ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

ホールド機能 (▷ 185 ページ) を解除してください。

### 全体的な注意事項

ホールド機能は以下のようなときに運転者を補助します。

- 特に急な坂道で発進するとき
- 急な坂道で車を動かすとき
- 発進待ちをしているとき

運転者がブレーキペダルを踏まなくても、車両が停止した状態を保ちます。

発進するためにアクセルペダルを踏み込むと、ブレーキ効果が解除されホールド機能は解除されます。

### 作動条件

ホールド機能は以下のときに作動させることができます。

- 車両が停止しているとき
- エンジンがかかっているとき、またはエンジンをECOスタートストップ機能によって自動的に停止しているとき
- 運転席ドアを閉じているとき、または運転者がシートベルトを着用しているとき
- パーキングブレーキが解除されているとき
- オートマチックトランスミッション装備車でD、R、N のポジションにトランスミッションがあるとき
- ディストロニック・プラスが解除されているとき

### ホールド機能を作動させる



例：カラーマルチファンクションディスプレイ装備車

- ▶ 作動条件が合っていることを確認します。
- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに ① が表示されるまでブレーキペダルを素早く深く踏み込みます。ホールド機能が作動します。ブレーキペダルから足を放すことができます。

**①** 最初にブレーキペダルを踏んだときにホールド機能が作動しない場合には、少し待った後に再度試してください。

### ホールド機能を解除する

ホールド機能は以下のときに自動的に解除されます。

- 加速したとき オートマチックトランスミッション装備車：トランスミッションがシフトポジション **D** または **R** のとき
- オートマチックトランスミッション装備車で、シフトポジションが **P** のとき
- マルチファンクションディスプレイの ① が消えるまでブレーキペダルを再度深く踏んだとき
- 電気式パーキングブレーキを効かせて車両を動かさないようにしたとき
- ディストロニック・プラスを作動させたとき

**①** しばらくすると電気式パーキングブレーキにより車両が動かなくなり、サービスブレーキは解除されます。

ホールド機能が作動した状態で以下の状況になると、電気式パーキングブレーキが自動的に車両を固定します。

- 運転席ドアが開いていて、運転席のシートベルトが着用されていないとき
- ECOスタートストップ機能により自動的に停止しているのではなく、エンジンが停止しているとき
- システムに異常が発生しているとき
- 電力供給が十分でないとき

異常が発生したときは、トランスミッションが自動的にポジション **P** にシフトされることもあります。

## レーススタート

### 重要な安全上の注意事項

レーススタートは停車状態からの最適な加速を可能にします。このためには、作動に適した高いグリップの路面であることが前提条件になります。

レーススタートはサーキットでのみ使用してください。

**i** レーススタートは、AMG車両でのみ作動させることができます。

### 作動条件

以下のときにレーススタートを作動させることができます。

- ドア、ボンネットおよびトランクリッドが閉じているとき
- エンジンが作動状態で、トランスミッション、4輪駆動クラッチおよびエンジンが作動温度に達しているとき
- スポーツハンドリングモードになっているとき (▷ 69 ページ)
- ステアリングが直進位置にあるとき
- 車両が停止していて、ブレーキペダルを踏んでいる (左足で) とき

- トランスミッションがポジションが **D** にあるとき
- 走行モード **M** が選択されている (▷ 155 ページ) とき

### レーススタートの作動

- ▶ ブレーキペダルを左足で踏み、そのまま保持します。
- ▶ 両方のパドルシフトを引いて、保持します。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに **RACE START 確認:右側パドル 中断:左側パドル** というメッセージが表示されます。
- ▶ 両方のパドルシフトを放します。

**i** 作動条件が満たされない場合は、レーススタートは中断されます。マルチファンクションディスプレイに **RACE START 使用できません 取扱説明書を参照** というメッセージが表示されます。

- ▶ **中断する**：ステアリング左側のシフトパドルを引きます (▷ 156 ページ)。

または

- ▶ **確認する**：ステアリング右側のシフトパドルを引きます (▷ 156 ページ)。  
マルチファンクションディスプレイに **RACE START 使用できます アクセルを踏んで下さい** というメッセージが表示されます。

**i** 数秒以内にアクセルペダルを踏み込まないと、レーススタートは解除されません。マルチファンクションディスプレイに **RACE START 中断されました** というメッセージが表示されます。

- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。  
エンジン回転数が上昇します。  
マルチファンクションディスプレイに **RACE START スタートするには ブレーキを離して下さい** というメッセージが表示されます。

**i** 短時間でブレーキペダルを放さない場合は、レーススタートは中断されます。マルチファンクションディスプレイに**RACE START 中断されました**というメッセージが表示されます。

▶ ブレーキペダルから足を放し、アクセルペダルを踏んだままにしてください。最大加速で車両が発進します。

マルチファンクションディスプレイに**RACE START オン**というメッセージが表示されます。

車両が約 50 km/h の速度に達したときに、レーススタートは解除されます。走行モード**S**が設定されます。スポーツハンドリングモードはそのままになります。

レーススタートの間にアクセルペダルから足を放したり、作動条件を満たさなくなった場合は、レーススタートは解除されます。マルチファンクションディスプレイに**RACE START 使用できません**または**RACE START 中断されました**というメッセージが表示されます。

**i** 短時間で連続して数回使用すると、レーススタートは一定の距離を走行するまで利用できなくなります。

## 4MATIC

4MATICは4輪全てが常に駆動しています。不十分な接地力により駆動輪が空転したときはいつでも、ESP®とともに車両の駆動力を向上させます。

運転者が周囲の状況に合わせて慎重に運転しなければ、4MATICは事故被害を軽減したり、物理的限界を超えて運転を支援することはできません。4MATICは路面、天候および交通状況を考慮することはできません。4MATIC はあくまでも運転を支援するシステムです。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適

時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

不十分なグリップのため駆動輪が空転する場合

- 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- 走行中はアクセルペダルを緩めてください。

**!** 片方のアクスルを持ち上げた状態で車両をけん引しないでください。トランスファーケースを損傷するおそれがあります。このような損傷はメルセデス・ベンツの一般保証では保証されません。全ての車輪が接地しているか、完全に持ち上がっていないかなりません。車輪全てが完全に接地している状態で車両をけん引するときは、取扱説明書に従ってください。

**i** 冬に走行するときは、ウィンタータイヤ (M+S タイヤ)や必要であればスノーチェーンを装着すると4MATICの効果が最大限に発揮されます。

## パークトロニック

### 重要な安全上の注意事項

パークトロニックは超音波センサーによる駐車時に運転者を支援するシステムです。フロントバンパーの6個のセンサーとリアバンパーの6個のセンサーを使用して、車両周辺のエリアをモニターします。パークトロニックは、車両と物体との距離を視覚的、聴覚的に示します。

パークトロニックは駐車を支援するシステムです。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車をこなう間は、進行方向に人や動物、障害物が存在しないことを確認してください。



❗ 駐車するときは、鉢植えやトレーラーけん引部などセンサーの上下にあるものに十分注意をしてください。パークトロンニックはこれらが車両の至近距離にあるときは感知できません。車両や物を損傷するおそれがあります。

センサーは雪やその他の超音波を吸収しやすいものを感じないことがあります。

自動洗車機やトラックの圧縮空気ブレーキ、空気ドリルなどが発生する超音波によりパークトロンニックが機能しないことがあります。

不整地などではパークトロンニックが正しく作動しないことがあります。

パークトロンニックは以下のようなときに自動的に作動します。

- ・イグニッションをオンにします。
- ・トランスミッションをポジションD、RまたはNにしたとき
- ・パーキングブレーキを解除したとき

パークトロンニックは18 km/h以上の速度で解除されます。それより低い速度で再作動します。

## センサーの範囲

### 全体的な注意事項

以下のとき、パークトロンニックは障害物を考慮しません：

- ・人や動物、障害物などが検知範囲の下にあるとき
- ・車両から突き出た荷物や車両後部、積載用スロープなどが検知範囲の上にあるとき



① 例：左側フロントバンパーのセンサー



側面図



上面図

センサーに汚れ、氷および泥がないようにしてください。適切に機能しないことがあります。センサーに損傷を与えないように注意して、定期的に清掃してください。(▷ 304 ページ)

### フロントセンサー

センター部	約100 cm
-------	---------

コーナー部	約60 cm
-------	--------

### リアセンサー

センター部	約120 cm
コーナー部	約80 cm

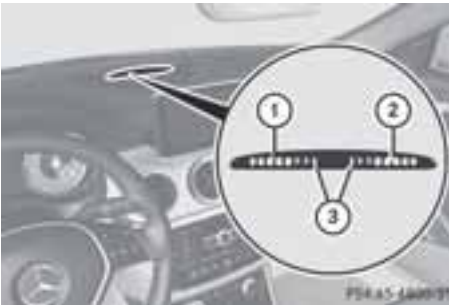
### 最小範囲

センター部	約20 cm
コーナー部	約20 cm

この範囲内に障害物があるときは、対応する警告灯が点灯して警告音が鳴ります。最短感知距離以下になると、警告灯が表示されなくなることがあります。

### 警告ディスプレイ

警告表示はセンサーと障害物との距離を示します。前方エリアの警告表示は中央送風口上部のダッシュボードにあります。後方のエリアに対するインジケーター/作動表示灯は後席のルーフライニング部分にあります。



前方エリアの警告表示

- ① 車両左側のセグメント
- ② 車両右側のセグメント
- ③ 作動準備ができていることを示すセグメント

車両の各側の警告表示は5個の黄色の、および2個の赤色のセグメントに分けられます。作動準備ができていることを示す黄色いセグメント ③ が点灯すると、パークトロニックは作動が可能です。

エンジンがかかっているときに、ギアレバーポジションまたはオートマチックトランスミッションのトランスミッションポジションと車両の進行方向によって、どの警告表示が作動するかが決定されます。

オートマチックトランスミッション:

シフトポジション	警告表示
D	前方のエリアが作動します。
R、N または車両が後退しているとき	前方と後方のエリアが作動します。
P	どのエリアも作動しません。

車両が障害物に近づくにつれ、障害物からの車両の距離に応じて1個またはそれ以上のセグメントが点灯します。

以下のように警告が行なわれます。

- 6個目のセグメントを超えると、断続的な警告音が約2秒間聞こえます。
- 7個目のセグメントを超えると、警告音が約2秒間聞こえます。これは、最短距離に達していることを示しています。

### パークトロニックの解除/作動



- ① 表示灯
- ② パークトロニックの解除 / 作動

表示灯 ① が点灯しているときは、パークトロニックは解除されています。

**i** エンジンスイッチのキーを**2**の位置にするとパークトロニックは自動的に作動します。

## パークトロニックのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>パークトロニック警告表示の赤色のセグメントだけが点灯している。警告音が約2秒間聞こえる。パークトロニックがその後解除され、パークトロニックスイッチの表示灯が点灯する。</p>	<p>パークトロニックが故障して、停止している。 ▶ 問題が続く場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場パークトロニックを点検してください。</p>
<p>パークトロニックの赤色インジケータだけが点灯している。パークトロニックがその後解除される。</p>	<p>パークトロニックセンサーが汚れているか、干渉がある。 ▶ パークトロニックセンサーを掃除してください (▶ 304 ページ)。 ▶ エンジンスイッチを2の位置にしてください。</p> <p>電波や超音波の外部要因が問題の原因になっている。 ▶ 場所を変えてパークトロニックが作動するか確認してください。</p>

### アクティブパーキングアシスト

#### 全体的な注意事項

アクティブパーキングアシストは超音波により駐車を支援するシステムです。車両の両側の道路を測定します。駐車マークは、適切な駐車スペースを示します。自動的なステアリングの介入で、移動および駐車している間に支援を行ないません。パークトロニックも利用できます (▶ 187 ページ)。

#### 重要な安全上の注意事項

アクティブパーキングアシストはあくまでも運転を支援するシステムです。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車の責任があります。

す。操作範囲に人や動物や物がないことを確認してください。

パークトロニックが解除されているときは、アクティブパーキングアシストも使用できません。

#### ▲ 警告

駐車するときや駐車スペースから出るとき、車両がはみ出し、対向車線に入ることがあります。他の道路使用者とぶつかる可能性があります。事故の危険性があります。

他の道路利用者に注意してください。必要な場合は停車して、アクティブパーキングアシストの作動を解除してください。

❗ 避けられないときは、ゆっくりと鋭角でない角度で縁石などの障害物を乗り越えてください。ホイールやタイヤを損傷するおそれがあります。

アクティブパーキングアシストは、以下のような駐車するのに適さないスペースを表示することがあります：

- 駐車または停車の規制
- 私道の手前または建物の出入り口
- 路面が駐車するのに適していない場所

駐車知識：

- 狭い道路では、できるだけ駐車スペースの近くを通過して走行してください。
- ゴミが散らかっていたり、草が茂っている駐車スペースは、確認や測定が不正確になることがあります。
- トレーラーけん引部が一部を占有している駐車スペースは、それが識別できなかったり、測定が不正確になることがあります。
- 雪や激しい雨により正しく計測されていない駐車スペースに誘導されることがあります。
- 駐車操作を行なっている間は、パークトロニック (p. 189 ページ) の警告メッセージに注意してください。
- 運転者はいつでもステアリング操作に介入して修正できます。その場合はアクティブパーキングアシストが解除されます。
- 車両からはみ出ている荷物を運んでいるときは、アクティブパーキングアシストを使用しないでください。
- スノーチェーンを装着しているときは、決してアクティブパーキングアシストを使用しないでください。
- タイヤの空気圧が常に適正であることを確認してください。これは車両の駐車特性に直接影響を与えます。

アクティブパーキングアシストは以下のような駐車スペースで使用してください。

- 走行する方向と平行なとき
- カーブしていないまっすぐな道のとき
- 歩道などでなく、道路と同じ高さにある

## 駐車スペースの検知

駐車スペースが計測される時、アクティブパーキングアシストの検知範囲より上にある障害物は検知されません。例えば、車両から突き出た荷物や車両後部、積載用スロープなどは、駐車スペースを計測するときに考慮されません。

### ▲ 警告

検知範囲上に障害物があると、アクティブパーキングアシストが早すぎるステアリング操作をすることがあります。衝突するおそれがあります。事故の危険性があります。

アクティブパーキングアシストの検知範囲上に障害物があると、車両が停止し、アクティブパーキングアシストが解除されます。

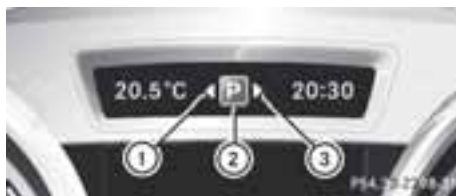
検知範囲に関して詳しくは (p. 188 ページ) をご覧ください。

アクティブパーキングアシストは、以下の場合には進行方向と直角なスペースでの駐車を支援しません。

- 2つの駐車スペースが隣り合っているとき
- 駐車スペースが低い縁石のような低い障害物のすぐ隣にあるとき
- 前向きに駐車するとき

アクティブパーキングアシストは、以下の場合には進行方向と平行または直角なスペースでの駐車を支援しません。

- 駐車スペースが縁石の上にあるとき
- 駐車スペースが、葉または草の舗装ブロックなどによって遮られているように見えるとき
- 稼動範囲が小さすぎるとき
- 駐車スペースが、木やトレーラーなどの明確に認識されない障害物に隣接しているとき



- ① 左側に検知された駐車スペース
- ② 駐車マーク
- ③ 右側に検知された駐車スペース

前方に走行しているときは、アクティブパーキングアシストが自動的に作動します。約35 km/h以下の速度でシステムは作動します。作動しているときは、車両両側の駐車スペースを独自に見つけて、測定します。

アクティブパーキングアシストは以下の条件を満たすときにのみ、駐車スペースを検出します。

- 進行方向と平行または直角である
- 進行方向と平行で、1.5 m以上の幅があるとき
- 進行方向と平行で、車両よりも1.0 m以上の長さがあるとき
- 進行方向と直角で、車両より1.0 m以上の幅があるとき

**i** 駐車スペースが進行方向と直角である場合は、駐車スペースが車両を入れるのに十分な長さであることを確認してください。

30 km/h以下で走行しているときは、メーターパネルにステータスインジケータとして駐車マーク②が表示されません。駐車スペースが検出されると、右向きまたは左向きの矢印も表示されます。標準では、アクティブパーキングアシストは助手席側の駐車スペースのみ表示します。運転席側の方向指示灯を作動させるとすぐに、運転席側の駐車スペースが表示されます。運転席側に駐車するときは、マルチファンクションステアリングの[OK]スイッチを押してアクティブパーキングアシストの使用を確認するまで、作動させたままにしなければなりません。

システムは、駐車スペースが進行方向に平行、または直角かどうかを自動で測定します。

駐車スペースは、駐車スペースを過ぎてから約15 m離れるまで表示されます。

## 駐車


### ⚠ 警告


ステアリング操作での作動介入により、アクティブパーキングアシストを行ないません。ブレーキを操作しない場合、事故を起こす危険性があります。

ステアリング操作や駐車を行なうときは、運転者がブレーキをかける必要があります。


▶ メーターパネルに希望の駐車スペースを示すマークが表示されたら、停車します。

▶ トランスミッションをポジションRにシフトします。

マルチファンクションディスプレイに「パーキングアシストオン Yes: OK No: 」というメッセージが表示されます。

- ▶ **操作を中止する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押すか、発進します。

または

- ▶ **アクティブパーキングアシストを使用して駐車する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに「**パーキングアシスト作動中** アクセルとブレーキを操作」というメッセージが表示されます。

- ▶ マルチファンクションステアリングを放します。
- ▶ いつでもブレーキを効かせられるようにして、車両を後退させます。後退するときは、7 km/h 以下の速度で走行してください。この速度を超えると、アクティブパーキングアシストが解除されます。

**i** 駐車スペースが狭いときは、できるだけ奥まで後退することによって最適な位置に駐車することができます。そのときは、パークトロニックのメッセージに従ってください。

- ▶ パークトロニックの連続警告音が鳴ったらすぐに停車します。  
狭い駐車スペースではさらに操作が必要となる場合があります。

マルチファンクションディスプレイに「**パーキングアシスト作動中** Dにシフト 周囲を確認」というメッセージが表示されます。

- ▶ 車両が停車している間に、トランスミッションポジション **D** を選択します。  
アクティブパーキングアシストはただちに逆方向にステアリング操作を行ないます。

マルチファンクションディスプレイに「**パーキングアシスト作動中** アクセルとブレーキを操作」というメッセージが表示されます。

**i** ステアリング操作の完了を待ってから発進することにより、最適な結果が得られます。

- ▶ 前進して、いつでもブレーキを効かせられるようにします。
- ▶ パークトロニックの連続警告音が鳴ったらすぐに停車します。

マルチファンクションディスプレイに「**パーキングアシスト作動中** Rにシフト 周囲を確認」というメッセージが表示されます。

さらにシフト操作が必要となる場合があります。

駐車手順が完了するとすぐに、「**パーキングアシスト 終了**」というメッセージが表示され、警告音が鳴ります。

アクティブパーキングアシストは、ステアリング操作の介入による支援を行なわなくなります。アクティブパーキングアシストが終了したときは、ご自身で再度ステアリング操作を行なってください。パークトロニックは引き続き使用できません。

- ▶ 必要であれば車両を移動してください。
- ▶ パークトロニックにより表示される警告メッセージを常に注意してください（▶ 189 ページ）。

駐車車の知識：

- 駐車後の駐車スペースでの車両の位置決めは、様々な要因に左右されます。これには、前後に停車している車両の位置や形、スペースの状態が含まれます。そのため、アクティブパーキングアシストは駐車スペース内の最適な位置よりも奥または手前の位置に誘導することがあります。また縁石をまたいだり、縁石に乗り上げることもあります。必要であれば、アクティブパーキ

ングアシストでの駐車操作を解除してください。



- 早めに前進ギアに入れることもできます。車両の向きが変わり、駐車スペースの奥の方まで移動しなくなります。ギアチェンジを早く行なうと、駐車操作が解除されます。この位置からは適切な位置に駐車することができなくなります。

### 駐車スペースからの退出

駐車スペースから出るときに、アクティブパーキングアシストが支援できるように以下を確認してください。

- 駐車スペースの境界が十分に高い。例えば、縁石が非常に小さい。
- 車両を駐車スペースに入れるときに、開始位置に対しての車両の位置が45°の角度を超えてはいけけないので、駐車スペースの境界は幅が広すぎない
- 操作距離が1.0 m以上である

アクティブパーキングアシストは、アクティブパーキングアシストを使用して進行方向と平行に車両を駐車した場合に限り、駐車スペースを出るときも運転者を支援することができます。

- ▶ エンジンを始動してください。
- ▶ 出る方向の方向指示灯を作動させます。
- ▶ トランスミッションをポジション **D** または **R** にシフトします。  
マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシストオン Yes: OK No:**  というメッセージが表示されます。
- ▶ **操作を中止する**：マルチファンクションステアリングの  スイッチを押すか、発進します。

または

- ▶ **アクティブパーキングアシストを使用して駐車スペースから出る**：マルチ

ファンクションステアリングの **OK** スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト作動中 アクセルとブレーキを操作** というメッセージが表示されます。

- ▶ マルチファンクションステアリングから手を放します。
- ▶ いつでもブレーキを効かせられるようにして、車両を後退または前進させます。駐車スペースから出るときは、最高速度が約 10 km/h を超えないようにしてください。この速度を超えると、アクティブパーキングアシストが解除されます。
- ▶ パークトロニックの連続警告音が鳴ったらすぐに停車します。
- ▶ 車両が停止しているときに、必要に応じてトランスミッションをポジション **D** または **R** にシフトします。  
アクティブパーキングアシストはただちに逆方向にステアリング操作を行ないます。マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト作動中 アクセルとブレーキを操作** というメッセージが表示されます。

**i** ステアリング操作の完了を待ってから発進することにより、最適な結果が得られます。

作動後に後退する場合は、ステアリングを直進位置に動かします。

- ▶ 必要に応じて数回、パークトロニックの警告表示による指示に従い、前進および後退します。
- ▶ パークトロニックの連続警告音が鳴ったらすぐに停車します。

駐車スペースから完全に出たら、ステアリングを直進位置に動かします。音が聞こえ、マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト 終了** というメッセージが表示されます。その後で、ご自身でステアリング操作を行ない、交通に合流する必要があります。パークト



ロニックは引き続き使用できます。車両が駐車スペースから完全に出る前に、ステアリング操作を引継ぐことができます。これは、すでに駐車スペースから出たと考えた場合などに役立ちます。

### アクティブパーキングアシストの中止


アクティブパーキングアシストはいつでも解除することができます。

- ▶ マルチファンクションステアリングの動きを止めるか、またはご自身でステアリング操作を行ないます。アクティブパーキングアシストはすぐに解除されます。マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト 中止** というメッセージが表示されます。

または

- ▶ センターコンソールにあるパークトロニックスイッチを押します (▶ 189 ページ)。  
パークトロニックが解除され、アクティブパーキングアシストがただちに解除されます。マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト 中止** というメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシストは以下のときに自動的に解除されます。

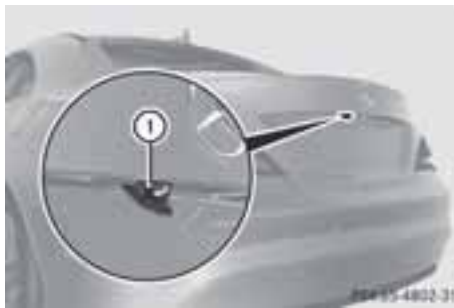
- 電気式パーキングブレーキを効かせた。
- トランスミッションポジション **P** が選択された。
- アクティブパーキングアシストを使用して駐車することができなくなった。
- 7 km/h 以上で走行した。
- 車輪が空転してESP® が介入したか、故障した。メーターパネルの警告灯  が点灯します。

警告音が鳴ります。駐車マークが消え、マルチファンクションディスプレイに **パーキングアシスト 中止** というメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシストが解除されたときは、ご自身で再度ステアリング操作を行なってください。

### パーキングアシストリアビューカメラ

#### 全体的な注意事項



パーキングアシストリアビューカメラ ① はトランクハンドルにあります。

パーキングアシストリアビューカメラは映像により駐車およびステアリング操作を補助するシステムです。オーディオ / COMANDディスプレイに車両後方の映像をガイドラインを使用して表示します。

車両後方エリアは、ルームミラーに写るように鏡像で表示されます。

パーキングアシストリアビューカメラはフラップによって雨やほこりから保護されています。パーキングアシストリアビューカメラが作動しているときは、このフラップが開きます。操作手順が終了して、パーキングアシストリアビューカメラがオフのときのみフラップが再度閉じます。技術的な理由のため、パーキングアシストリアビューカメラが解除された後にフラップが短時間開いたままになることがあります。エンジンをオフにすると、フラップも閉じます。

① COMANDディスプレイに表示されるメッセージの文字は、言語設定により異

なります。以下はCOMANDディスプレイのパーキングアシストリアビューカメラのメッセージの例です。

清掃に関する注意事項を遵守してください(▶ 305 ページ)。

### 重要な安全上の注意事項

パーキングアシストリアビューカメラは単なる支援にすぎません。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なう間は、進行方向に人や動物、障害物が存在しないことを確認してください。

次のような環境下ではパーキングアシストリアビューカメラは機能しなかったり、制限された方法で機能します。

- テールゲートが開いているとき
- 激しい雨、雪または霧のとき
- 夜や非常に暗い場所のとき
- カメラが非常に明るい光に照らされているとき
- 周囲が蛍光灯の光、またはLEDの光で照らされているとき (ディスプレイがちらつくことがあります)
- 冬に暖かい車庫に入るなど、急激な温度変化があったとき
- カメラのレンズが汚れていたり、遮られているとき
- 車両の後部が損傷しているとき。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置および設定を点検してください。

車両後部の追加のアクセサリー (ナンバープレートホルダー、自転車ラックなど) のために、リアビューカメラの視界およびその他の機能が制限される可能性があります。

### パーキングアシストリアビューカメラの作動/解除

- ▶ **作動させる**： エンジンスイッチが 2 の位置になっていることを確認します。
- ▶ オーディオシステム / COMANDシステムで"リバース連動"機能が選択されていることを確認します。別冊のオーディオシステム / COMANDシステム取扱説明書をご覧ください。
- ▶ リバースギアに入れます。オーディオ / COMANDディスプレイに車両後方の映像をガイドラインを使用して表示します。

**解除する**： オートマチック車でトランスミッションを P にシフトした場合、または短距離を前進した後に、リアビューカメラは解除されます。

### オーディオ / COMANDディスプレイの表示

リアビューカメラは、状況によっては障害物の歪んだ映像を映し出したり、障害物が正確に映し出されなかったり、まったく映らないことがあります。以下の場所にある障害物はリアビューカメラで表示されません。

- リアバンパーの近接部
- リアバンパーの下
- テールゲートハンドルのすぐ上の範囲

**!** 以下のような路面に接していない障害物は、実際よりも遠くに見えることがあります。

- 駐車車両のバンパー
- トレーラーのトローイングバー
- トレーラーけん引ヒッチのボールヘッドカップリング
- 大型車のリア部
- 傾いた柱

ガイドラインはあくまでも目安として利用してください。 障害物に近付くとき

は、障害物が一番下のガイドラインを越えないように注意してください。



ガイドライン

- ① 白色のガイドライン：ステアリングを直進状態にして車が後退するとき、ドアミラーを含む車幅延長線（固定）
- ② 黄色のライン：そのときのステアリング操舵角で進むときにタイヤが描く予想進路およびホイールの外側端を含む車幅（動的）
- ③ 赤色のガイドライン：そのときのステアリング操舵角で後退するときの、ドアミラーを含む車幅延長線（動的）
- ④ バンパー



ガイドライン

- ④ バンパー
- ⑤ 車両後部から約0.25 m先を示す赤色のガイドライン
- ⑥ 車両後部から約4.0 m の距離の黄色ガイドライン

- ⑦ 車両中央軸（補助マーカ―）
- ⑧ 車両後部から約1.0 m の距離の黄色ガイドライン

リバースギアにしていると、車線とガイドラインのみが表示されます。

距離は路面に接している障害物を基準に示しています。



パークトロンニックおよびCOMANDシステム装備車の追加表示

- ① フロントの警告灯
- ② パークトロンニックの追加計測作動が準備できていることの表示
- ③ リアの警告灯

**パークトロンニックおよびCOMANDシステム装備車**：パークトロンニックが作動している場合(▶ 187 ページ)、追加の作動待機インジケーター ② がCOMANDディスプレイに表示されます。パークトロンニックインジケーター/作動表示灯が作動または点灯している場合は、それに応じて警告灯 ① および ③ もCOMANDディスプレイ内で作動または点灯します。

## 後退駐車機能

▶ パーキングアシストリアビューカメラが作動し、“後退駐車”機能が選択されていることを確認してください。別冊のオーディオシステム / COMANDシステム取扱説明書をご覧ください。車線とガイドラインが表示されます。

ステアリングをまわさないで、まっすぐ後退駐車する



- ① ステアリングを直進にした状態での車両の進路を示す白色のレーン
- ② 車両後部から約1.0 m の距離の黄色ガイドライン
- ③ 車両後部から約0.25 m先を示す赤色のガイドライン
- ▶ 白色レーン ① の補助により、車両が駐車スペースに合うかどうかを確認します。
- ▶ 白色レーンをガイドとして使用して、終了位置に達するまで注意しながら後退します。赤色のガイドライン ③ が駐車スペースの停止位置にきます。車両は駐車スペースとほぼ平行になります。

ステアリングをまわして直角に後退駐車する

- ▶ 駐車スペースを通過して、車両を停止します。



ステアリングをまわす

- ① 現在のステアリング位置で車両が通る進路を示す赤色レーン
- ② 駐車スペースマーク
- ▶ 車両が停止している間に、赤色レーンが駐車スペースマーク ② に達するまで、駐車スペースの方向にステアリングをまわします。
- ▶ ステアリングをその位置で保持して注意しながら後退します。



ステアリングをまわしながら後退する

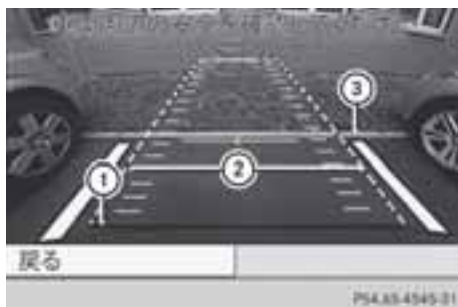
- ① 現在のステアリング位置で車両が通る進路を示す赤色レーン
- ▶ 駐車スペースのほぼ正面の位置で停車します。白色のレーンが駐車スペースとできるだけ平行になるようにします。



停止位置まで運転する

- ① 現在のステアリング位置で車両が通る進路を示す白色レーン
- ② 駐車スペースマーク

▶ 停車中にステアリングを直進位置に戻します。



- ① 車両後部から約0.25 m先を示す赤色のガイドライン
- ② ステアリングを直進にした状態での車両の進路を示す白色のレーン
- ③ 駐車スペースの停止位置

▶ 停止位置まで注意しながら後退します。赤色のガイドライン ① が駐車スペース ③ の停止位置にきます。車両は駐車スペースとほぼ平行になります。

## アテンションアシスト

### 全体的な注意事項

アテンションアシストは高速道路や幹線道路のような道路で、長時間の変化の少ない走行をするときに運転者を補助します。約80 km/hから180 km/hの範囲で作動します。

アテンションアシストが運転者の疲労の増加や集中力の欠如などの典型的な兆候を検知したときは、休憩を促します。

### 重要な安全上の注意事項

アテンションアシストはあくまでも運転を支援するシステムです。疲労や集中力低下の度合いを検出するのが遅すぎたり、全くしないことがあります。十分な休憩を取ったり、集中力のある運転者の代わりになるものではありません。

アテンションアシストは以下のような基準を考慮して、運転者の疲労や集中力欠如の度合いを判断します。



- ステアリング操作などのお客様の運転スタイル
- 時間や走行の長さなどの走行に関する要因

以下のときは、アテンションアシストの機能が制限されたり、警告が遅れる、またはまったく行なわれないことがあります。

- 路面が平坦でなかったり、穴があるなど、道路の状態が悪いとき
- 横風が強いとき
- 高いスピードでカーブを曲がっているときや急加速をしているときなど、スポーティな運転を行なっているとき
- 主に80 km/hより遅く、または180 km/hより速く走行している場合
- COMANDシステムを使用しているときやCOMANDシステムで電話を発信しているとき

- 時刻が正しく設定されていないとき
- 車線を変更したり走行速度を変えるなどの活発な運転状況のとき

## マルチファンクションディスプレイの警告とディスプレイメッセージ

- ▶ マルチファンクションディスプレイを使用してアテンションアシストを起動させます(▷ 220 ページ)。マーク  がアシスト画面 (▷ 219 ページ) に表示されます。たとえアテンションアシストが設定されていても、運転を開始してから少なくとも約20分経過しないと警告は行なわれません。断続的な警告音が2回聞こえ、マルチファンクションディスプレイに**アテンションアシスト 休憩しませんか?** と表示されます。
- ▶ 必要であれば、休憩を取ってください。
- ▶  スイッチを押して、選択を確定します。

長時間の運転では、適切な休憩をするために、適切な時間に定期的に休憩を取るようにしてください。休憩を取らない場合は、早くて15分後に再度警告が行なわれます。これは、アテンションアシストが疲労増加または集中力低下の兆候を検知した場合にのみ実行されます。

走行を継続するときには以下のときに、アテンションアシストはリセットされ、運転者の疲労の評価を開始します。

- エンジンを停止した
- 運転者を交代したり、休憩を取るために、運転者がシートベルトを外して運転席のドアを開いたとき

## レーントラッキングパッケージ

### 全体的な注意事項

レーントラッキングパッケージはブラインドスポットアシスト (▷ 201 ページ) とレーンキーピングアシスト (▷ 203 ページ) で構成されます。

### ブラインドスポットアシスト

#### 全体的な注意事項

ブラインドスポットアシストは、レーダーセンサーシステムを使用して車両の両側のエリアをモニターします。約30 km/hからの速度で運転者を支援します。ドアミラーの警告表示によって、モニターしている範囲で検知された車両に運転者の注意が向けられます。そのときに車線変更する側の方向指示灯を作動させると、視覚的および聴覚的な衝突警告が行なわれます。そのために、ブラインドスポットアシストはリアバンパーに装着されたレーダーセンサーを使用します。

#### 重要な安全上の注意事項

##### 警告

ブラインドスポットアシストは以下の場合には車両に反応しません。

- 自車が追い越そうとしている隣接車線の車両が接近し過ぎ、死角エリアに入ったとき
- 接近と追い越しの速度差が非常に大きいとき

このような状況では、ブラインドスポットアシストは運転者に警告を発することができません。事故の危険性があります。常に交通状況に十分注意を払い、車両の両側と安全な車間距離を維持してください。

ブラインドスポットアシストは単なる支援にすぎません。状況によっては車両を検知できないことがあり、運転者の代わ

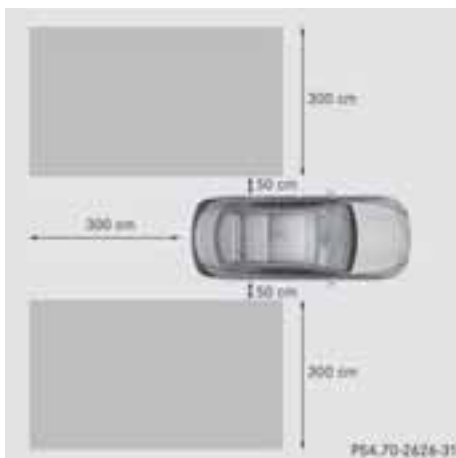
りに安全確認を行なうことはできません。

### センサーの感知範囲

特に以下のときは、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われているとき
- 霧や激しい雨、雪などで視界が悪いとき
- 先行車がオートバイのように車幅が狭い車両であるとき
- 非常に幅の広い車線のとき
- 狭い車線のとき
- 車両が車線の中央を走行していないとき
- 隔壁その他の道路分離帯

モニター範囲にある車両は検知されません。



ブラインドスポットアシストは、図に示すように約 3.0 m までの車両後方および車両のすぐ脇の範囲をモニターします。そのため、ブラインドスポットアシストはリアバンパーに装着されたレーダーセンサーを使用します。

車線の幅が狭い場合、2車線横の車両が(中央を走行していない場合などに) 検

知されることがあります。これは、車両が車線の外端部を走行している場合などです。

以下は、システムの特性に起因するものです。

- ガードレール、または似たような高さのある車線境界の近くを走行しているときに警告が間違っで発せられることがあります。
- トラックなど特に長い車両が長い時間並走しているときに、警告が中断されることがあります。

ブラインドスポットアシストの2 個のレーダーセンサーは、リアバンパーの左右に内蔵されています。バンパーのセンサー付近に汚れ、氷や泥が付着していないことを確認してください。車両に装着された自転車のキャリアや垂れ下がった荷物などでセンサー付近が覆われないようにしてください。強い衝撃を受けたり、バンパーに損傷を与えたときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではレーダーセンサーの機能を点検してください。これらのことをお守りいただかないと、ブラインドスポットアシストが正常に作動しなくなるおそれがあります。

### 表示灯と警告灯

ブラインドスポットアシストは、約 30 km/h以下の速度では作動しません。モニター範囲にある車両は検知されません。



① 黄色の表示灯/赤色の警告灯

ブラインドスポットアシストが作動している場合は、ドアミラーの表示灯 ① が 30 km/h の速度まで黄に点灯します。約 30 km/h 以上の速度では、表示灯が消え、ブラインドスポットアシストが作動可能になります。

約30 km/h以上の速度でブラインドスポットアシストのモニター範囲内に車両が検知されると、対応する側の警告灯 ① が赤色で点灯します。この警告は、後方または側方から車両がブラインドスポットのモニター範囲に入ると常に行なわれます。車両を追い越すときは、速度差が 12 km/h 以下の場合にのみ警告が行なわれます。

黄色の表示灯はリバースギアになると消灯します。次に、ブラインドスポットアシストが解除されます。

表示灯/警告灯の明るさは周囲の明るさによって自動的に調整されます。

### 衝突の警告

ブラインドスポットアシストのモニター範囲に車両が検知されている状態で検知された側の方向指示灯をオンにすると、警告音が2回鳴ります。赤色の警告灯 ① が点滅します。方向指示灯をそのままにすると、検知された車両が赤色の警告灯 ① の点滅により表示されます。警告音はそれ以上鳴りません。

### ブラインドスポットアシストの作動

- ▶ ブラインドスポットアシストがマルチファンクションディスプレイで設定されていることを確認してください。(p. 220 ページ)
- ▶ エンジンスイッチを 2 の位置にします。ドアミラーの警告灯 ① が約 1.5 秒間赤色で点灯した後、黄色に変わります。

## レーンキーピングアシスト

### 全体的な注意事項

レーンキーピングアシストは、フロントウインドウ上部に装着されたカメラで車両前方をモニターします。レーンキーピングアシストは路面の車線を検知し、車線を外れそうになる前に運転者に警告を行ないます。



#### ① レーンキーピングアシストカメラ

マルチファンクションディスプレイの表示単位 速度/距離: 機能で km を選択すると (p. 221 ページ)、レーンキーピングアシストが約60 km/h以上の速度で作動を開始します。miles表示が選択されている場合は、支援範囲は約40 mphから始まります。

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

レーンキーピングアシストは常に明確に車線ラインを検知することはできません。このような場合、レーンキーピングアシストは以下を行うことがあります

- 不必要な警告を発する
- 警告を発しない

事故の危険性があります。

特にレーンキーピングアシストが警告しているときは、必ず交通状況および車線内を保つように特に注意してください。



### ⚠ 警告

車両が元の車線に戻らないと、レーンキーピングアシストによって警告が発せられます。事故の危険性があります。

レーンキーピングアシストが警告しているときは、常に運転者自身で車両のステアリング操作やブレーキ操作または加速操作を行ってください。

運転スタイルを合わせられない場合は、レーンキーピングアシストは、事故の危険性を軽減することも、物理的な法則を乗り越えることもできません。レーンキーピングアシストは、道路、天候、交通状況を考慮することはできません。レーンキーピングアシストはあくまでも運転を支援するシステムです。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

レーンキーピングアシストは車線内を自動的に走行させる機能ではありません。以下のときはシステムの作動が損なわれたり、正しく機能しないことがあります。

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や小雨により視界が悪いとき
- 対向交通、太陽または他の車両からの反射などで眩しい（路面が濡れている場合など）とき
- フロントウィンドウが汚れていたり、曇っている、または、カメラ付近がステッカーなどで覆われているとき
- 工事などで1車線の車線マークが全くない、いくつかある、不明瞭であるとき
- 車線ラインが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われているとき
- 先行車両との車間距離が短くて車線マークが検知できないとき

- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わるとき
- 道路が狭かったりカーブしているとき
- 道路に著しく様々な状況の日陰があるとき

前輪が車線マークを超えると警告が行なわれます。警告はステアリングを約1.5秒間以上振動させることにより行なわれます。

### レーンキーピングアシストの作動

▶ そのためにはマルチファンクションディスプレイを使用して、レーンキーピングアシストを作動させて、**標準**または**アダプティブ**を選択します（▶ 220 ページ）。

60 km/h 以上の速度で走行していて、車線マークが検知された場合は、アシストグラフィックディスプレイに車線マークが緑色に表示されます。

**標準**を選択すると、以下のときは振動による警告が行なわれません。

- 方向指示灯を作動させたとき このようなときは、短時間警告が抑えられることがあります。
- ABSやBAS、ESP<sup>®</sup>などの走行安全装備が介入したとき

**アダプティブ**を選択すると、以下のときは振動による警告が行なわれません。

- 方向指示灯を作動させたとき このようなときは、警告が短時間に抑えられることがあります。
- ABSやBAS、ESP<sup>®</sup>などの走行安全装備が介入したとき
- キックダウンなどの急加速を行なったとき
- 急ブレーキを効かせたとき
- 障害物を避けるために急に進路変更をしたり、急に車線を変更するなど、活発なステアリング操作を行なったとき
- きついカーブの内側をまたいだとき

車線を越えたとき、必要な状況で適切なタイミングでのみ警告を行なうため、システムは特定の状況を認識し、それに応じて警告を行ないます。

以下のときは、早めに警告の振動が行なわれます。

- カーブの外側の車線に近づいたとき
- 高速道路などの非常に幅の広い道路のとき

• システムが実線の車線を検知したとき  
以下のときは、遅めに警告の振動が行なわれます。

- 狭い車線の道路のとき
- カーブの内側をまたいだとき

役に立つ情報 .....	208
重要な安全上の注意事項 .....	208
表示および操作 .....	208
メニューおよびサブメニュー .....	211
ディスプレイメッセージ .....	230
メーターパネルの警告および表示 灯 .....	264

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▶ 23 ページ)

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

## ⚠ 警告

メーターパネルに故障や異常がある場合は、安全性に関わる機能を認識することができません。走行安全性が損なわれる可能性があります。事故の危険性があります。

注意して運転してください。すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場にて点検を受けてください。

マルチファンクションディスプレイを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

マルチファンクションディスプレイは、特定のシステムからのメッセージや警告

のみを表示します。そのため、常に安全に走行してください。車両を安全に操作しないと、事故の原因になるおそれがあります。

メーターパネルの図は、(▶ 28 ページ)をご覧ください。

## 表示および操作

## メーターパネル照明

メーターパネル、ディスプレイおよび車内のコントロールの照明は、照度調整ノブを使用して調整することができます。照度調整ノブはメーターパネルの左下にあります (▶ 28 ページ)。

▶ 照度調整ノブを時計回りまたは反時計回りにまわします。

ランプスイッチが **AUTO**、**☀** または **☾** の位置に設定されていると、照度は周囲の明るさに応じて変わります。

**i** マルチファンクションディスプレイの照度は、メーターパネルのライトセンサーによって自動的にコントロールされます。

日中はメーターパネルのディスプレイは点灯しません。

## 冷却水温度計

## ⚠ 警告

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

エンジン冷却水温度計は、メーターパネルの右側にあります。

指定の冷却水を適切な混合比で使用しているときは、通常の作動条件で冷却水温度が約 120 °C に上がることがあります。

暑い日や上り坂が続くときなどに、冷却水温度計の指針が上限付近を示すことがあります。故障 / 警告メッセージが表示されない限り故障ではありません。

### タコメーター

**!** エンジンを損傷する原因となりますので、レッドゾーンに入らないよう運転してください。

タコメーターのレッドゾーンは、エンジンの許容回転数を超えたオーバーレングを示します。

エンジン回転数がレッドゾーンに達すると、エンジン保護のため、燃料供給が停止されます。

### 外気温度表示

気温が氷点前後のときは、路面状況に特に注意してください。

外気温度表示はマルチファンクションディスプレイ内にあります。

外気温度が変化すると、少し遅れて表示されます。

### セグメント付きスピードメーター

スピードメーターは、ディストロニック・プラスのセグメントと分けられません。

スピードメーターの内側に表示されるセグメントは、走行可能な速度レンジを示します。

- クルーズコントロールを設定しているとき (▶ 170 ページ)

記憶された設定速度から最高速度までのセグメントが点灯します。

- 可変スピードリミッターを設定しているとき (▶ 174 ページ)

ゼロから設定された制限速度までのセグメントが点灯します。

- ディストロニック・プラスを設定しているとき (▶ 175 ページ)

設定速度レンジ内の1 つまたは2 つのセグメントが点灯します。

- ディストロニック・プラスは先行車を感知することができます。

先行車の速度と記憶されている設定速度の間のセグメントが点灯します。

## マルチファンクションディスプレイの操作

### 概要










- ① マルチファンクションディスプレイ
- ② 音声認識のオン：別冊取扱説明書をご覧ください
- ③ 右側操作パネル
- ④ 左側操作パネル
- ⑤ リターンスイッチ



▶ **マルチファンクションディスプレイを起動する**：エンジンスイッチを 1 にします。




マルチファンクションステアリングのスイッチを使用して、マルチファンクションディスプレイの操作と設定を行なうことができます。

### 左側操作パネル



	• メニューやメニューバーの呼び出し
	• 呼び出し
	<b>軽く押す：</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リストのスクロール</li> <li>• サブメニューや機能の選択</li> <li>• <b>オーディオ</b>メニュー：保存した放送局、音楽トラックまたはビデオシーンの選択</li> <li>• <b>TEL</b>（電話）メニュー：電話帳の表示、名前や電話番号の選択</li> </ul>
	<b>長押しする：</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>オーディオ</b>メニュー：高速スクロールによる、前 / 次の放送局または音楽トラック、ビデオシーンの選択</li> <li>• <b>TEL</b>（電話）メニュー：電話帳内での速いスクロールの開始</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 選択項目 / ディスプレイメッセージの確定</li> <li>• <b>TEL</b>（電話）メニュー：電話帳への切り替えと選択した番号への発信の開始</li> <li>• <b>オーディオ</b>メニュー：放送局サーチ機能による希望の放送局の選局</li> </ul>

### 右側操作パネル

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通話を拒否する、または終了する</li> <li>• 電話帳 / 発信履歴を終了する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発信する、または受ける</li> <li>• リダイアルメモリーに切り替える</li> </ul>

	• 音量の調整
	
	• ミュート

## リターンスイッチ



	<b>軽く押す：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 戻る</li> <li>• 音声認識のオフ：別冊取扱説明書をご覧ください</li> <li>• ディスプレイメッセージを隠す / 最後に使用した <b>トリップ</b> メニュー機能の呼び出し</li> <li>• 電話帳 / 発信履歴の終了</li> </ul>
	<b>長押しする：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>トリップ</b> メニューの基本画面の呼び出し</li> </ul>

## マルチファンクションディスプレイ



- ① 常時表示エリア：外気温度または速度 (▷ 222 ページ)
- ② 時計
- ③ 表示フィールド
- ④ メニューバー

- ⑤ 走行モード (▷ 152 ページ)
- ⑥ シフトポジション (▷ 152 ページ)



▶ **メニューバー** ④ を表示する：ステアリングの  または  スイッチを押します。

数秒後にメニューバー ④ が消えます。

表示フィールド ③ にはディスプレイメッセージとともに選択したメニューまたはサブメニューが表示されます。

**i** COMANDシステムを使用して時刻を設定することができます。別冊の取扱説明書をご覧ください。

マルチファンクションディスプレイに以下のメッセージが表示されることがあります。

- ↑ 推奨ギアシフト (▷ 157 ページ)
- ←P→ アクティブパーキングアシスト (▷ 191 ページ)
-  クルーズコントロール (▷ 170 ページ)
- LIM スピードリミッター (▷ 173 ページ)
-  アダプティブハイビームアシスト (▷ 115 ページ)
- ECO ECO スタートストップ機能 (▷ 147 ページ)
- HOLD ホールド機能 (▷ 184 ページ)

## メニューおよびサブメニュー

## メニューの概要

マルチファンクションディスプレイの操作 (▷ 210 ページ)

車両に取り付けられている装備に応じて、以下のメニューを呼び出すことができます。

- **トリップ** メニュー (▷ 212 ページ)
- **ナビ** メニュー (ナビゲーション案内) (▷ 214 ページ)
- **オーディオ** メニュー (▷ 215 ページ)
- **TEL** (電話) メニュー (▷ 217 ページ)
- **アシスト** (アシスト) メニュー (▷ 218 ページ)
- **メンテナンス** メニュー (▷ 221 ページ)
- **設定** メニュー (▷ 221 ページ)
- AMG車の**AMG**メニュー (▷ 227 ページ)

## トリップメニュー

### 基本ディスプレイ



- ▶ ステアリングの スイッチを **トリップ** メニューがトリップメーター ① およびオドメーター ②に表示されるまで押し続けます。

### トリップコンピューター"スタートから"または"リセット後"



例："スタート後"のトリップコンピューター

- ① 距離
- ② 時計
- ③ 平均速度
- ④ 平均燃費

- ▶ ステアリングの または スイッチを押して、**トリップ** メニューを選択します。

- ▶ または スイッチを押して、**スタート後** または **リセット後** を選択します。

サブメニューの**スタート後**の数値は、走行開始から算出されるものであり、サブメニューの**リセット後**の数値はサブメニューが最後にリセットされたときから算出されるものです。(▷ 213 ページ)

トリップコンピューターの**スタート後**は以下のときに自動的にリセットされます。

- イグニッションをオフにして約4 時間以上経過したとき
- 999 時間を超えたとき
- 9,999 km を超えたとき

**リセット後** トリップコンピューターは、値が9,999 時間または99,999 km を超えると、自動的にリセットされます。



## ECO表示



例：ECO表示

- ▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、トリップメニューを選択します。
- ▶ ▲または▼を押して、ECO表示を選択します。


イグニッションが4時間以上オフのままの場合は、ECO表示は自動的にリセットされます。

ECO表示に関する詳細は、(▶ 166 ページ)をご覧ください。

## 走行可能距離と現在の燃料消費の表示



- ▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、トリップメニューを選択します。
- ▶ ▲または▼スイッチを押して、現在の燃料消費②（AMG車以外）と概算の走行可能距離①を選択します。

概算の走行可能距離①は、現在の運転スタイルとタンク内の燃料残量から計算されています。燃料タンク内に残っている燃料の量が少ないときは、給油されている車両のマークが、走行可能距離①の代わりにディスプレイに表示されます。

## デジタルスピードメーター



① 推奨ギアシフト (▶ 157 ページ)

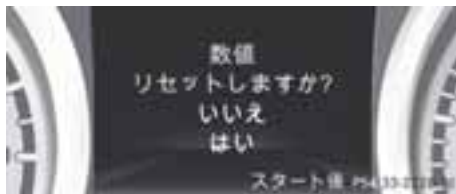
② デジタルスピードメーター

推奨ギアシフト①はAMG車にはありません。

▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、トリップメニューを選択します。

▶ ▲または▼スイッチを押して、デジタルスピードメーターを選択します。

## 数値のリセット



例：トリップコンピューター"スタート後"のリセット

以下の機能の数値をリセットできます。

- トリップメーター
- トリップコンピューター"スタート後"
- トリップコンピューター"リセット後"
- ECO表示

▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、トリップメニューを選択します。

▶ ▲または▼スイッチを押して、リセットしたい機能を選択します。

- ▶ **[OK]** スイッチを押します。
- ▶ **[▼]** スイッチを押して、**はい**を選択して、**[OK]** を押して確定します。

**i** ECO表示の値をリセットすると、トリップコンピューターの"スタート後"の値もリセットされます。トリップコンピューターの"スタート後"の値をリセットすると、ECO表示の値もリセットされます。

### ナビゲーションメニュー

#### ナビゲーション案内の表示

- ▶ COMANDシステムをオンにします。別冊取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの**[◀]**または**[▶]** スイッチを押して、**ナビ**メニューを選択します。

**ナビ**メニューでは、マルチファンクションディスプレイにナビゲーション案内が表示されます。詳しい情報については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

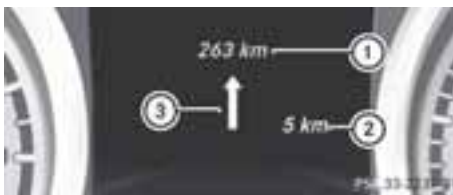
#### ルート案内が作動していないとき



- ① 進行方向

#### ルート案内作動

##### 進路変更の案内がないとき



- ① 目的地までの距離
- ② 次の進路変更までの距離
- ③ 現在の道路
- ③ "案内ルートを進む"のマーク

##### 車線変更を伴わない進路変更の案内があるとき



- ① 進路変更の目標
- ② 進路変更までの距離と距離ディスプレイ表示
- ③ 進路変更アイコン

進路変更が案内されると、進路変更のマーク ③ と距離表示 ② が表示されます。案内のあった進路変更地点に近づくにつれて、表示の上に向かって短くなります。

車線変更を伴う進路変更の案内があるとき



- ① 進路変更の目標
- ② 進路変更までの距離と距離ディスプレイ表示
- ③ 推奨車線
- ④ 進路変更の間の新しい車線
- ⑤ 進路変更の間も続いている車線
- ⑥ 進路変更アイコン

複数車線の道路では、次の進路変更のための新しい推奨車線 ③ をシステムが表示することがあります。進路変更の間、追加の車線が表示されることがあります。

推奨車線は、デジタル地図に該当データがあるときのみ表示されます。

## ナビゲーションシステムの他の状況インジケーター

- ：目的地または立ち寄り地点に到着しました。
- **新ルート** または **ルート計算中**：新ルートを計算中です。
- **案内ルート外**：車両の位置が地図の範囲外（地図外の位置）にあります。
- **ルートなし**：選択されている目的地へのルートを計算できませんでした。

## オーディオメニュー

### ラジオ放送局の選択



- ① 周波数バンドと放送局リスト番号
- ② メモリーポジションのある放送局周波数

① メモリーポジションは、保存されている場合には、必ず放送局 ② と一緒に表示されます。

▶ COMANDシステムをオンにして、ラジオを選択します（別冊の取扱説明書をご覧ください）。

▶ ステアリングの または スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。

▶ **保存されている放送局を選択する**：  
 または スイッチを軽く押します。

▶ **放送局リストから放送局を選択する**：  
 または スイッチを少しの間押し続けます。

放送局リストが受信されない場合：

▶ **放送局サーチを使って放送局を選択する**：  
 または スイッチを少しの間押し続けます。

① 周波数バンドの変更と放送局の登録については、別冊の取扱説明書をご覧ください。

## オーディオプレーヤーまたはオーディオメディアの操作



- ① 現在のCD
- ② 現在のトラック

車両に装着された装備に応じて、多彩なオーディオ機器やメディアから音楽データを再生できます。

▶ COMANDシステムをオンにして、音楽CD、DVDオーディオまたはMP3モードを選択します。別冊の取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、**オーディオ** メニューを選択します。

▶ **次/前のトラックを選択する**： ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **トラックリストからトラックを選択する（高速スクロール）**： 希望のトラック ② が表示されるまで、▲ または ▼ スイッチを押し続けます。

▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、高速スクロールの速度が上がります。すべてのオーディオ機器またはメディアがこの機能をサポートしているわけではありません。

オーディオ機器またはメディアにトラック情報が保存されているときは、マルチファンクションディスプレイにトラック名と番号が表示されます。オーディオAUXモード（**外部** オーディオモード：外部のオーディオソース接続）では、現在のトラックは表示されません。

## DVDビデオの操作



- ① 現在のDVD
- ② 現在のシーン

▶ COMANDシステムをオンにして、DVDビデオを選択します。別冊取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、**オーディオ** メニューを選択します。

▶ **次 / 前のシーンを選択する**： ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **シーンリストからシーンを選択する（高速スクロール）**： 見たいシーンが表示されるまで ▲ または ▼ スイッチを押し続けます。

## TVの操作



- ① 機能およびチャンネルリスト番号
- ② メモリーポジションのある放送局周波数

❶ メモリーポジションは、保存されている場合には、必ずチャンネル ② と一緒に表示されます。

- ▶ COMANDシステムをオンにして、テレビを選択します。別冊取扱説明書をご覧ください。
- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。
- ▶ 保存されているチャンネルを選択する： ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。
- ▶ チャンネルリストからチャンネルを選択する： ▲ または ▼ スイッチを軽く押して保持します。

**i** TV チャンネルの保存（別冊の取扱説明書をご覧ください）。

## TELメニュー

### 概要

#### ⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイやCOMANDシステムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

電話を使用するときは、必ずそのとき運転している国の法規則に従ってください。

- ▶ 携帯電話とCOMANDシステムのオンについては、別冊の取扱説明書をご覧ください。
- ▶ COMANDシステムのBluetooth®接続を確立してください（別冊の取扱説明書をご覧ください）。
- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、TELメニューを選択します。

マルチファンクションディスプレイに、以下のメッセージのいずれかが表示されます。

- 電話 待ち受けまたはネットワークプロバイダーの名称：携帯電話がネットワークを探索し、受信する準備が整っています。
- 圏外：ネットワークに接続できない状態にあるか、携帯電話がネットワークを探索中の状態です。

### 着信を受ける



例：受信

- ▶ ステアリングの ☎ スイッチを押して、着信した電話を受けます。

TELメニューのときに電話が着信すると、マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージが表示されません。

TELメニューではないときも、着信した電話を受けることができます。

### 通話の拒否または終了

- ▶ ステアリングの ☎ スイッチを押します。

TELメニューでないときも、通話を拒否または終了できます。

## 電話帳からの番号のダイヤル

- ▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、TELメニューを選択します。
- ▶ ▲▼ または OK スwitchを押して、電話帳に切り替えます。
- ▶ ▲ または ▼ スwitchを押して、希望の名称を選択します。速くスクロールするには ▲ または ▼ スwitchを1秒以上押し続けます。スwitchを放すか、リストの最後まで行くと、スクロールは停止します。
- ▶ 名称に1つだけ電話番号が保存されているとき：☎ または OK スwitchを押して、発信を開始します。

または

- ▶ その名称に2つ以上の番号があるとき：☎ または OK スwitchを押して、電話番号を表示させます。
- ▶ ▲ または ▼ スwitchを押して、発信先の番号を選択します。
- ▶ ☎ または OK スwitchを押して、発信を開始します。

または

- ▶ 発信したくないとき：☎ または ⏪ スwitchを押します。

## リダイヤル

マルチファンクションディスプレイでは、最後に発信した名称と番号がリダイヤルメモリーに保存されています。

- ▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、TELメニューを選択します。
- ▶ ☎ スwitchを押して、リダイヤルメモリーに切り替えます。
- ▶ ▲ または ▼ スwitchを押して、希望の名称または番号を選択します。
- ▶ ☎ または OK スwitchを押して、発信を開始します。

または

- ▶ 発信したくないとき：☎ または ⏪ スwitchを押します。

## アシストメニュー





### 概要



アシストメニューには、以下のオプションがあります。




- アシスト一覧の表示
- ESP®の設定/解除
- 車間距離警告機能の作動/解除
- コリジョンプリベンションアシストプラスの作動 / 解除
- アテンションアシストの作動/解除
- ブラインドスポットアシストの作動/解除
- レーンキーピングアシストの作動/解除

## アシスト一覧

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**アシスト**メニューを選択します。
- ▶  または  を押して、**アシスト一覧**を選択します。
- ▶ **OK** スイッチを押します。  
マルチファンクションディスプレイのアシストグラフィックに、ディストロニック・プラスの距離ディスプレイが表示されます (▶ 182 ページ)。

アシストグラフィックには、他の走行システムまたは走行安全システムの状況および情報も表示されます。

アシストグラフィックは以下を表示します。

- アテンションアシスト (▶ 200 ページ) が設定されているときの  マーク
- レーンキーピングアシスト (▶ 203 ページ) が設定されているときの明るい線での車線マーク
- 距離警告機能 (▶ 63 ページ) が設定されているときの  マーク
- CPAプラス (衝突警告システムプラス) (▶ 65 ページ) が設定されているときの  マーク

## ESP® の設定/作動

**i** ESPの記載にある "重要な安全上の注意事項" を遵守してください (▶ 67 ページ)。

### 警告





ESP®を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。


以下に記載された状況でのみESP®を解除してください。



以下の状況では、ESP®を解除したほうが良いことがあります。

- スノーチェーンを装着しているとき
  - 深い雪の上を走行するとき
  - 砂地や砂利道を走行するとき
- AMG車両でのESP®の解除/作動 (▶ 69 ページ)。

ESP®に関する詳しい情報については、(▶ 66 ページ)をご覧ください。

- ▶ エンジンを始動してください。
- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して**アシスト**メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ESP**を選択します。
- ▶ **OK** スイッチを押します。  
現在の選択が表示されます。





- ▶ **設定/解除する** : **OK** スイッチを再度押します。  
エンジンをかけた状態でメーターパネルの表示灯  が点灯し続けるときは、ESP®の機能が解除されています。

警告灯  および警告灯  が点灯し続ける場合は、故障によりESP®は作動していません。


警告灯に関する情報に注意してください。(▶ 268 ページ)

ディスプレイメッセージに関する情報に注意してください。(▶ 231 ページ)

## 車間距離警告機能の設定/解除





- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**アシスト**メニューを選択します。
- ▶  または  を押して、**車間距離警告**を選択します。


- ▶ **[OK]** スイッチを押します。  
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する:** **[OK]** スイッチを再度押します。

車間距離警告機能を作動させると、アシスタンスグラフィックがマルチファンクションディスプレイに  マークを表示します。

車間距離警告機能について、詳しくは (p 63 ページ) をご覧ください。





### コリジョンプリベンションアシストプラスの作動/解除

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**アシスト** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**衝突防止アシストプラス** を選択します。
- ▶ **[OK]** スイッチを押します。  
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する:** **[OK]** スイッチを再度押します。


コリジョンプリベンションアシストプラスが解除されている場合は、アシスタンスグラフィックがマルチファンクションディスプレイに  マークを表示します。

コリジョンプリベンションアシストプラスについて、詳しくは (p 65 ページ) をご覧ください。





### アテンションアシストの作動/解除

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**アシスト** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**アテンションアシスト** を選択します。

- ▶ **[OK]** スイッチを押します。  
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する:** **[OK]** スイッチを再度押します。

アテンションアシスト (p 200 ページ) が設定されているときは、アシスタンスグラフィックが  マークをマルチファンクションディスプレイに表示します。

### ブラインドスポットアシストの作動/解除





- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して **アシスト** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ブラインドスポット** を選択します。
- ▶ **[OK]** スイッチを押します。  
現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定/解除する:** **[OK]** スイッチを再度押します。

ブラインドスポットアシストについて、詳しくは (p 201 ページ) をご覧ください。

**ブラインドスポットアシスト センサー 停止しました** というメッセージが表示されている場合は、レーダーセンサーシステムが停止しています。

- ▶ レーダーセンサーシステムの機能をオンにしてください。 (p 226 ページ)

### レーンキーピングアシストの作動/解除

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して **アシスト** メニューを選択します。
- ▶  または  を押して、**レーンキーピングアシスト** を選択します。
- ▶ **[OK]** スイッチを押します。  
現在の選択が表示されます。



- ▶ **[OK]** を押して確定します。
- ▶ **[▼]** または **[▲]** スイッチを押して、**オフ**、**標準**または**アダプティブ**に設定します。
- ▶ **[OK]** スイッチを押して、設定を保存します。  
レーンキーピングアシストが作動しているとき、マルチファンクションディスプレイはアシスト一覧に車線マークを明るく表示します。

レーンキーピングアシストに関するさらなる情報は、(▶ 203 ページ) をご覧ください。

### メンテナンスメニュー



**メンテナンス** メニューには、以下のオプションがあります。

- メッセージメモリーのディスプレイメッセージの呼び出し (▶ 230 ページ)
- タイヤ空気圧警告システムを再起動する (▶ 338 ページ)
- 点検整備時期の表示 (▶ 299 ページ)

### 設定メニュー

#### 概要



**設定**メニューでは、以下のオプションを選択できます。

- メーター設定の変更
- ライト設定の変更
- 車両設定の変更
- コンフォート設定の変更
- 工場出荷時の設定に戻る

### メーターパネル

#### 距離単位の選択

マルチファンクションディスプレイに表示される距離の単位を、マイル表示またはキロメートル表示に設定できます。

- ▶ ステアリングの**[◀]**または**[▶]**スイッチを押して、**設定**メニューを選択します。
- ▶ **[▼]**または**[▲]**スイッチを押して**メーター**サブメニューを選択します。
- ▶ **[OK]** を押して確定します。
- ▶ **[▼]** または **[▲]** スイッチを押して、**表示単位 速度/距離**: 機能を選択します。  
選択されている設定**km**または**miles**が表示されます。
- ▶ **[OK]** スイッチを押して、設定を保存します。

選択された距離の表示単位は、以下の項目に適用されます。

- **トリップ** メニューのデジタルスピードメーター
- オドメーターとトリップメーター
- トリップコンピューター
- 現在の燃費と走行可能距離
- **ナビ** メニューのナビゲーション案内
- クルーズコントローल
- スピードリミッター
- ディストロニック・プラス
- メンテナンスインジケーター画面

## 補助スピードメーターのオン/オフの切り替え

**速度[mph]**:機能により、マルチファンクションディスプレイのステータスエリアに、常に外気温度または速度mphを表示させるか選択することができます。

- ▶ ステアリングの◀ または ▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して**メーター**サブメニューを選択します。
- ▶ **OK** を押して確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**速度[mph]** : 機能を選択します。選択されている設定が表示されます:  
**オン** または **オフ**
- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

## 常時表示機能の選択

マルチファンクションディスプレイに常時表示させる項目として、走行速度または外気温度を設定できます。

- ▶ ステアリングの◀ または ▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して**メーター**サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**サブメーター**:機能を選択します。選択されている設定が表示されます。  
**外気温度** または **速度[mph]**
- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

① 速度が mph で表示されます。

## ライト

### デイトタイムドライビングライトの設定/解除の切り替え

**デイトタイムライト**: 機能は、エンジンが停止でオンにすることができます。





- ▶ ステアリングの◀ または ▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**デイトタイムライト**:機能を選択します。**デイトタイム**機能がオンになっている場合は、ライトの円錐形と\*マークがマルチファンクションディスプレイで橙色で表示されます。
- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

① **デイトタイムライト**機能をオンに設定しているときは、昼間でもロービームヘッドライトが常時点灯します。そのため、この機能をオフに設定し、ライトスイッチを操作してライトを手動で点灯させてください。

デイトタイムドライビングライトに関する詳細情報 (▶ 110 ページ)

### インテリジェントライトシステムのオン/オフの切り替え

- ▶ ステアリングの◀ または ▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。

- ▶  または  スイッチを押して、**インテリジェントライトシステム**機能を選択します。  
インテリジェントライトシステム機能がオンのときは、ライトの円錐形と  マークがマルチファンクションディスプレイで橙色に表示されます。
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。






インテリジェントライトシステム機能を作動させているときは、以下のものが作動します：




- ハイウェイモード
- アクティブライトシステム
- コーナリングライト
- フォグランプ強化機能

ロービームヘッドライトを右側通行 / 左側通行用 (▶ 223 ページ) に設定しているときは、**インテリジェントライトシステム: システム作動できません 左側通行設定では無効** または **インテリジェントライトシステム: システム作動できません 右側通行設定では無効** というディスプレイメッセージが、**インテリジェントライトシステム** 機能の代わりにマルチファンクションディスプレイの**ライト** サブメニューで表示されます。

インテリジェントライトシステムのについて、詳しくは (▶ 114 ページ) をご覧ください。

### ロービームヘッドライトの左側/右側通行の設定

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。

- ▶  または  スイッチを押して、**ヘッドランプロービーム設定** 機能を選択します。  
選択されている設定が表示されます：**右側通行用** または **左側通行用**
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。  
設定を変更すると、次に停車したときに変更が実行されます。

この機能は、インテリジェントライトシステム装備車両にのみ用意されています。









この機能を使用して、ロービームヘッドライトを左右対称または左右非対称に切り替えることができます。

ロービームヘッドライトを右側通行/左側通行用に設定しているときは、ハイウェイモードおよびフォグランプ強化機能が解除されます。

右側/左側通行用の下向きヘッドライトの設定は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でも行なうことができます。

### アダプティブハイビームアシストのオン/オフの切り替え

この機能は、インテリジェントライトシステム装備車両にのみ用意されています。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  スイッチを押して、**アダプティブハイビーム** 機能を選択します。  
**アダプティブハイビーム** 機能をオンにすると、ライトの円錐形と  マークが、マル

チファンクションディスプレイで橙色に表示されます。

- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

アダプティブハイビームアシストについて、詳しくは (p 115 ページ) をご覧ください。

### アンビエントライトの明るさの設定

- ▶ ステアリングの **◀** または **▶** スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ **▼** または **▲** スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶ **OK** を押して確定します。
- ▶ **▼** または **▲** スイッチを押して、**アンビエントライト 明るさ** 機能を選択します。選択されている設定が表示されます。
- ▶ **OK** を押して確定します。
- ▶ **▼** または **▲** スイッチを押して、照度を**オフ**から**レベル5** (明るさ) までのレベルに調整します。
- ▶ **OK** または **↩** スイッチを押して、設定を保存します。

### ロケイターライティング/車外ライト残照機能の作動/解除

**ロケイターライティング** 機能を作動させ、ライトスイッチを **AUTO** に設定すると、暗いときに以下の機能が作動します。

- **ロケイターライティング**：キーで車を解錠すると、車外ランプが約40 秒間点灯し続けます。エンジンを始動するとロケイターライティングの機能が解除され、ヘッドライト自動点灯モードに設定されます。(p 110 ページ)
- **車外ランプ残照機能**：エンジンを停止した後、約60 秒間点灯し続けます。すべてのドアとトランクを閉じると、

約 15 秒後に車外ランプが消灯します。

- ▶ ステアリングの **◀** または **▶** スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ **▼** または **▲** スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶ **OK** を押して確定します。
- ▶ **▼** または **▲** を押して、**ロケイターライティング** 機能を選択します。**ロケイターライティング** 機能がオンのとき、ライトの円錐形と車両周辺部がマルチファンクションディスプレイに橙色で表示されます。
- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

車外ランプ残照機能を一時的に解除する

- ▶ 車両から離れる前に、エンジンスイッチを **0** の位置にします。
- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします。車外ランプ残照機能が一時的に解除されます。

次にエンジンを始動すると、車外ランプ残照機能が再び設定されます。

**i** ロケイターライティングおよび車外ランプ残照機能を設定すると、車両の装備に応じて以下のライトが点灯します。

- 車幅灯
- フォグランブ
- ロービームヘッドライト
- デイタイムドライビングライト
- ドアミラーのロケイターライティング

### ルームライト残照機能の作動/解除

**ルームランプ 消灯遅延**機能がオンになっているときは、エンジンスイッチからキーを抜いた後、ルームライトが約 20 秒間点灯したままになります。

- ▶ ステアリングの◀ または▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**ライト** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**ルームランプ 消灯遅延** 機能を選択します。  
ルームランプ 消灯遅延 機能をオンにすると、マルチファンクションディスプレイで車内が橙色に表示されます。
- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

## 車両

### スノータイヤスピードリミッターの設定

**速度制限 (冬タイヤ)** 機能を使用して、スノータイヤスピードリミッターを設定できます。

- ▶ ステアリングの◀ または▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**車両** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**速度制限 (冬タイヤ)** 機能を選択します。  
現在の設定が表示されます。
- ▶ 押して **OK** 確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**10 (240 km/h ~ 160 km/h)** 単位でスノータイヤスピードリミッターを調整します。**17** 設定で、スノータイヤスピードリミッターは解除されます。
- ▶ **OK** スイッチを押して、入力を保存します。

スノータイヤスピードリミッターに関する詳細 (▷ 175 ページ)

### 車速感応ドアロック機能のオン/オフの切り替え

- ▶ ステアリングの◀ または▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**車両** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**車速感応ドアロック** 機能を選択します。  
車速感応ドアロック機能を設定しているときは、マルチファンクションディスプレイにドアが橙色で表示されます。
- ▶ **OK** スイッチを押して、設定を保存します。

車速感応ドアロック機能が設定されているときは、走行速度が約 15 km/h 以上になると自動的にすべてが施錠されます。

車速感応ドアロックについて、詳しくは (▷ 83 ページ) をご覧ください。

### アンサーバック機能の作動/解除

**キーアンサーバック** 機能を設定しているときは、車を施錠すると確認音が鳴ります。

- ▶ ステアリングの◀ または▶ スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、**車両** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して **OK** 確定します。

- ▶  または  スイッチを押して、**キーアンサーバック**機能を選択します。  
キーアンサーバック機能を設定しているときは、マルチファンクションディスプレイの  マークが橙色に点灯します。
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

### レーダーセンサーシステムの作動/解除

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**車両** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。
- ▶  または  ボタンを押して、**レーダーセンサー (取扱説明書を参照)**: を選択します。  
選択されている設定が表示されます：  
**オン** または **オフ**
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

レーダーセンサーシステムが解除されると、ブラインドスポットアシストの機能も解除されます (▶ 201 ページ)。

### コンフォート

#### ベルト調整のオン/オフの切り替え

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**コンフォート** サブメニューを選択します。
- ▶  を押して確定します。

- ▶  または  スイッチを押して、**ベルト調整** 機能を選択します。  
**ベルト調整**機能を設定すると、マルチファンクションディスプレイに車両のシートベルトが橙色で表示されます。
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

ベルト調整について、詳しくは (▶ 45 ページ)を参照してください。

#### ロック時のドアミラー格納の設定/解除

この機能は、メモリー機能装備車にのみ用意されています (▶ 107 ページ)。

**ロック時のミラー格納** 機能を設定しているときは、車を施錠するとドアミラーが自動的に格納されます。

車を解錠してドアを開くと、格納されたドアミラーが再び展開します。

**ロック時のミラー格納**機能をオンにしている、ドアのスイッチ(▶ 105 ページ)を使用してドアミラーを格納した場合は、ドアミラーは自動的に展開しません。ドアのスイッチを使用したときのみ、ドアミラーは展開します。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**設定** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して、**コンフォート** サブメニューを選択します。
- ▶ 押して  確定します。
- ▶  または  を押して、**ロック時のミラー格納** 機能を選択します。  
**ロック時のミラー格納**機能が作動すると、マルチファンクションディスプレイの車両のドアミラーが橙色に表示されます。
- ▶  スイッチを押して、設定を保存します。

## 工場出荷時の設定に戻す

- ▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、設定メニューを選択します。
- ▶ ▼ または ▲ スwitchを押して、初期設定サブメニューを選択します。
- ▶ OK を押して確定します。  
全ての設定を初期化しますか?というメッセージが表示されます。
- ▶ ▼ または ▲ スwitchを押して、いいえまたははいを選択します。
- ▶ OK スwitchを押して、選択を確定します。  
はいを選択したときは、マルチファンクションディスプレイに確認メッセージが表示されます。

安全確保のため、一部の機能はリセットされません。スノータイヤスピードリミッターの速度制限(冬タイヤ)機能は、車両サブメニューでのみ設定できます。ライトサブメニューのデイトタイムライトを初期化したいときは、イグニッションロックのキーを1の位置にしなければなりません。

## AMGメニュー (AMG車両)

## AMGディスプレイ



- ① デジタルスピードメーター
- ② シフトインジケータ
- ③ シフトアップインジケータ
- ④ エンジンオイル温度

## ⑤ 冷却水温度

## ⑥ トランスミッションオイル温度

- ▶ ステアリングの◀または▶スイッチを押して、AMGメニューを選択します。

マニュアルギアシフトのときにシフトアップインジケータにUP③が表示されたときは、エンジンが過回転域に入っていることを示しています。シフトアップインジケータのUP③は、シフトアップ操作を行なうと他のメッセージに変わります。

エンジンオイル温度が約80℃よりも低いときは、油温ゲージ④が青色で表示されます。この間は、エンジンを最大出力にしないでください。

トランスミッションオイル温度が約50℃より低い時は、油温ゲージ⑥が青色で表示されます。この間は、エンジンを最大出力にしないでください。

## セットアップ



- ① 走行モード (C/S/M)
- ② ESP®モード (ON / OFF) またはスポーツモード (SPORT)

セットアップ画面では、走行モードやESP® (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム) モード、スポーツハンドリングモードが表示されます。

- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、AMGメニューを選択します。
- ▶ セットアップ画面が表示されるまで、▲ スイッチを繰り返し押します。

## レースタイマー

### レースタイマーの表示と開始

クローズドレースサーキットでのみレースタイマー機能を使用してください。公道で使用しないでください。

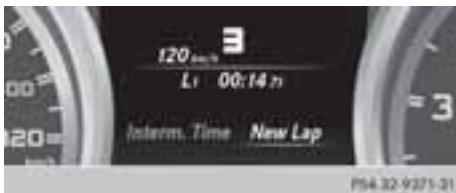


- ① ラップ
- ② レースタイマー

レースタイマーは、エンジンがかかっているか、またはエンジンスイッチが 2 の位置のときに開始できます。

- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ を押して、AMG メニューを選択します。
- ▶ レースタイマーが表示されるまで、▲ スイッチを繰り返し押します。
- ▶ **開始する**： [OK] スイッチを押して、レースタイマーを開始します。

### スプリットタイムの表示



- ▶ ◀ または ▶ スイッチを押して、Interm. Timeを選択します。
- ▶ [OK] を押して確定します。5 秒間スプリットタイムが表示されません。

### 新しいラップの開始



- ① レースタイマー
- ② 最速ラップタイム(ベストラップ)
- ③ ラップ

- ▶ [OK] を押して New Lap を確定します。

❗ 最大16ラップまで保存することが可能です。16ラップ目はFinish Lapでのみ停止できます。

### レースタイマーの停止



- ▶ ステアリングの ⇐ スイッチを押します。
- ▶ Yes で確定します。[OK].

車両を停止して、エンジンスイッチのキーを 1 の位置にしたときに、レースタイマーの計測を中断します。エンジンスイッチを 2 または 3 の位置にして [OK] を押し、Start を確定すると、計測を再開します。



### 現在のラップのリセット

- ▶ レースタイマーを停止します。
- ▶  または  を押して **Reset Lap** を選択します。
- ▶  を押して、ラップタイムを"0"にリセットします。

### 全ラップの削除



エンジンを停止すると、レースタイマーが約30秒後に"0"にリセットされます。全ラップが削除されます。

保存されたラップを個々に削除することはできません。16ラップを停止する場合、現在のラップをリセットする必要はありません。

- ▶ 現在のラップをリセットします。
- ▶  を押して、**Reset**を確定します。マルチファンクションディスプレイに **Reset Race Timer?** と表示されます。
- ▶  スイッチを押して、**Yes** を選択し、 スイッチを押して確定します。全ラップが削除されます。

### 全ラップの評価



- ① レースタイマー全体の計測結果
- ② 全走行時間

- ③ 平均速度
- ④ 走行距離
- ⑤ 最高速度

この機能は、少なくとも1ラップを保存していて、レースタイマーが停止しているときに表示されます。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**AMG**メニューを選択します。
- ▶ 全体の計測結果が表示されるまで、 スイッチを繰り返し押します。

### ラップの評価



- ① ラップ
- ② ラップタイム
- ③ ラップでの平均速度
- ④ ラップの走行距離
- ⑤ ラップでの最高速度

この機能は、少なくとも2ラップが保存されていて、レースタイマーが停止しているときに使用できます。

- ▶ ステアリングの  または  スイッチを押して、**AMG**メニューを選択します。
- ▶ ラップ計測結果が表示されるまで、 スイッチを繰り返し押します。サブメニューごとに、それぞれのラップが表示されます。最速ラップは、マーク ① が点滅して表示されます。
- ▶  または  スイッチを押して、他のラップ計測結果を選択します。

## ディスプレイメッセージ

### 全体的な注意事項

ディスプレイメッセージはマルチファンクションディスプレイに表示されます。取扱説明書では記号マークを伴うディスプレイメッセージを簡略化しているため、マルチファンクションディスプレイのマークと異なる場合があります。

ディスプレイメッセージの指示に従って対応し、この取扱説明書の追加の注意事項に従ってください。

特定のディスプレイメッセージには、警告音、または連続音が伴います。

エンジンスイッチをオフにすると、重要度の高い一部のメッセージを除いて、メッセージがすべて削除されます。故障の原因が解決すると、重要度の高いメッセージも削除されます。

車両を駐停車するときは、ホールド機能 (▷ 184 ページ) および駐車 (▷ 163 ページ) に関する注意に従ってください。

### ディスプレイメッセージを非表示にする

▶ ディスプレイメッセージを非表示にするには、ステアリングの **OK** または **←** スイッチを押します。

ディスプレイメッセージが消えます。

マルチファンクションディスプレイには、重要度の高いメッセージが赤色で表示されます。一部の重要度の高いディスプレイメッセージは非表示にはできません。

これらのメッセージは、故障や異常の原因が解決するまでマルチファンクションディスプレイに常時表示されます。

### メッセージメモリー

マルチファンクションディスプレイは **メッセージメモリー** の中の特定のディスプレイメッセージを保存します。以下のようにしてディスプレイメッセージを呼び出すことができます。

▶ ステアリングの **◀** または **▶** スイッチを押して、**メナス** メニューを選択します。

メッセージがある場合は、ディスプレイに **2 メッセージ** のように故障の件数が表示されます。

▶ **▲** または **▼** スイッチを押して、**2 メッセージ** を選択します。

▶ 押して **OK** 確定します。

▶ **▲** または **▼** スイッチを押して、ディスプレイメッセージをスクロールします。

## 安全装備システム

## ディスプレイメッセージ




## 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



現在 使用できません  
取扱説明書を参照

ABS (アンチロック・ブレーキング・システム)、ESP® (エレクトロニック・スタビリティ・プログラム)、BAS (ブレーキアシスト)、PRE-SAFE®, ホールド機能、ヒルスタートアシストが一時的に使用できない。

アダプティブブレーキライトとコリジョンプリベンションアシスト / コリジョンプリベンションアシストプラスも故障している可能性がある。

メーターパネルの 、、 警告灯も点灯している。

アテンションアシストは解除されている。

考えられる原因

- 自己診断がまだ完了していない。
- バッテリーの電圧が不十分な可能性がある。

### ⚠ 警告

上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがある。

ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。

ESP® が作動しない場合は、ESP® の機能で走行安全性を確保することができない。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 約 20 km/h 以上の速度で緩やかにステアリング操作しながら、適切な道路を選んで注意して走行してください。ディスプレイメッセージが消えると、上記の機能が再び作動します。





ディスプレイメッセージが消えないとき

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。



作動できません 取扱  
説明書を参照

故障のため、ABS、ESP®, BAS、PRE-SAFE®, ホールド機能、ヒルスタートアシストが使用できない。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>アダプティブブレーキライトとコリジョンプリベンションアシスト / コリジョンプリベンションアシストプラスも故障している可能性がある。</p> <p>さらに、メーターパネルの 、、、 警告灯も点灯している。</p> <p>アテンションアシストは解除されている。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがある。</p> <p>ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p>ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <p>▶ 注意して運転してください。</p> <p>▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>

## ディスプレイメッセージ

## 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



現在 使用できません  
取扱説明書を参照

ESP<sup>®</sup>、BAS、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシストが一時的に使用できない。

アダプティブブレーキライトとコリジョンプリベンションアシスト / コリジョンプリベンションアシストプラスも故障している可能性がある。

さらに、メーターパネルの  と  警告灯も点灯している。

アテンションアシストは解除されている。

たとえば、自己診断が完了していないことがある。

**⚠ 警告**

上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。

緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。

ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。

横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 約 20 km/h 以上の速度で緩やかにステアリング操作しながら、適切な道路を選んで注意して走行してください。ディスプレイメッセージが消えると、上記の機能が再び作動します。

ディスプレイメッセージが消えないとき

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。



## ディスプレイメッセージ

## 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



作動できません 取扱  
説明書を参照

故障のため、ESP<sup>®</sup>、BAS、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシストが使用できない。  
アダプティブブレーキライトとコリジョンプリベンションアシスト / コリジョンプリベンションアシストプラスも故障している可能性がある。

さらに、メーターパネルの  と  警告灯も点灯している。

アテンションアシストは解除されている。

 警告









上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。




緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。

ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。




横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。

- ▶ 注意して運転してください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<div data-bbox="120 215 288 255">  </div> <div data-bbox="120 263 201 303">  </div> <p data-bbox="115 319 352 375">作動できません 取扱説明書を参照</p>	<p data-bbox="369 215 1036 335">故障のため、EBD（エレクトロニックブレーキパワーディストリビューション）ABS、ESP<sup>®</sup>、BAS、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシストが使用できない。</p> <p data-bbox="369 343 1036 438">アダプティブブレーキライトとコリジョンプリベンションアシスト / コリジョンプリベンションアシストプラスも故障している可能性がある。</p> <p data-bbox="369 446 1036 518">さらに、メーターパネルの  と 、 も点灯し、警告音が鳴った。</p> <p data-bbox="369 526 840 550">アテンションアシストは解除されている。</p> <p data-bbox="380 566 476 598"><b>⚠ 警告</b></p> <p data-bbox="369 614 1036 710">上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。</p> <p data-bbox="369 718 1036 805">ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p data-bbox="369 821 1036 877">ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p data-bbox="369 885 890 917">横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul data-bbox="369 925 1036 1029" style="list-style-type: none"> <li>▶ 注意して運転してください。</li> <li>▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
<div data-bbox="120 1061 201 1101">  </div> <p data-bbox="115 1117 352 1173">パーキングブレーキを解除してください</p>	<p data-bbox="369 1061 1036 1157">赤色の警告灯  が点滅し、警告音も鳴った。電気式パーキングブレーキを自動解除する条件が満たされていない。(▷ 165 ページ)</p> <p data-bbox="369 1173 1036 1204">電気式パーキングブレーキをかけた状態で走行している。</p> <ul data-bbox="369 1212 1036 1236" style="list-style-type: none"> <li>▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。</li> </ul> <p data-bbox="369 1268 912 1300">赤色の  警告灯が点滅し、警告音も鳴った。</p> <p data-bbox="369 1316 1036 1372">電気式パーキングブレーキを使用して緊急停止している。(▷ 165 ページ)</p>



ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<div data-bbox="84 207 173 255" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">(P)</div> <p data-bbox="84 263 330 327">パーキングブレーキ 取扱説明書参照</p>	<p data-bbox="341 207 1005 247">黄色の警告灯  が点灯している。</p> <p data-bbox="341 255 1005 295">電気式パーキングブレーキが故障している。</p> <p data-bbox="341 295 1005 327"><b>作動させる：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="341 335 1005 375">▶ イグニッションをオフにします。</li> <li data-bbox="341 375 1005 438">▶ 電気式パーキングブレーキのハンドルを約10 秒以上押し続けてください。</li> <li data-bbox="341 438 1005 502">▶ トランスミッションのセレクターレバーを <b>P</b> に動かしてください。</li> <li data-bbox="341 502 1005 542">▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul> <hr/> <p data-bbox="341 566 1005 606">黄色の警告灯  と赤色の  表示灯が点灯している。</p> <p data-bbox="341 614 1005 646">電気式パーキングブレーキが故障している。</p> <p data-bbox="341 646 1005 678"><b>解除する：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="341 694 1005 758">▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。</li> <li data-bbox="341 758 1005 798">▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。</li> </ul> <p data-bbox="341 805 1005 837">または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="341 837 1005 901">▶ 電気式パーキングブレーキを自動で解除してください。 (▶ 165 ページ)</li> </ul> <p data-bbox="341 917 1005 949">それでも電気式パーキングブレーキを解除できないとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="341 965 1005 997">▶ 走行を続けしないでください。</li> <li data-bbox="341 997 1005 1029">▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>



ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>赤色の警告灯  表示灯が点滅し、黄色の  警告灯が点灯している。</p> <p>電気式パーキングブレーキが故障している。</p> <p><b>解除する：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。</li><li>▶ 電気式パーキングブレーキを手動で解除してください。</li></ul> <p><b>作動させる：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。</li><li>▶ 電気式パーキングブレーキを手動で効かせてください。</li></ul> <p>赤色の  表示灯が点滅し続けるとき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 走行を続けしないでください。</li><li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 341ページ)</li><li>▶ トランスミッションのセレクターレバーを <b>P</b> に動かしてください。</li><li>▶ 前輪を縁石側に向けます。</li><li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li></ul>

## ディスプレイメッセージ

## 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法

黄色の警告灯  が点灯している。パーキングブレーキの作動 / 解除を行なった後、赤色の警告灯  が約10秒間点滅した。その後で消灯または常時点灯した。

電気式パーキングブレーキが故障している。

- ▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。
- ▶ パーキングブレーキを効かせてください。

電気式パーキングブレーキを効かせることができないとき：



- ▶ トランスミッションのセレクターレバーを **P** に動かしてください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。

電気式パーキングブレーキを解除できないとき

- ▶ 電気式パーキングブレーキを自動で解除してください。  
(▶ 165 ページ)








それでも電気式パーキングブレーキを解除できないとき：




- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

黄色の警告灯  が点灯している。パーキングブレーキの作動 / 解除を手動で行なうと、赤色の警告灯  が点滅した。

電気式パーキングブレーキが故障している。手動で電気式パーキングブレーキを効かせることができない。





- ▶ トランスミッションのセレクターレバーを **P** に動かしてください。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。





ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p data-bbox="120 212 199 252"></p> <p data-bbox="115 264 344 327">パーキングブレーキ作動できません</p>	<p data-bbox="370 212 1031 384">黄色の警告灯  が点灯している。パーキングブレーキの作動 / 解除を行なった後、赤色の警告灯  が約10秒間点滅した。その後で消灯または常時点灯した。過電圧や電圧不足などが原因で、電気式パーキングブレーキが故障している。</p> <ul data-bbox="370 395 1031 528" style="list-style-type: none"> <li>▶ バッテリーの充電やエンジンの再始動などを行ない、過電圧または電圧不足の原因を修理してください。</li> <li>▶ 電気式パーキングブレーキを効かせる、または解除してください。</li> </ul> <p data-bbox="370 544 1031 603">まだ電気式パーキングブレーキを効かせる、または解除することができないとき</p> <ul data-bbox="370 619 1031 751" style="list-style-type: none"> <li>▶ イグニッションをオフにしてから、オンに戻してください。</li> <li>▶ 電気式パーキングブレーキを効かせる、または解除してください。</li> </ul> <p data-bbox="370 767 1031 799">それでも電気式パーキングブレーキを解除できないとき：</p> <ul data-bbox="370 810 1031 842" style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul> <p data-bbox="370 863 1031 959">ディスプレイメッセージが走行中のみ表示される。赤色の警告灯  が点滅し、黄色の警告灯  が点灯している。</p> <p data-bbox="370 975 1031 1034">手動で電気式パーキングブレーキを効かせることができない。</p> <ul data-bbox="370 1050 1031 1177" style="list-style-type: none"> <li>▶ トランスミッションのセレクターレバーを <b>P</b> に動かしてください。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
<p data-bbox="120 1201 199 1241"></p> <p data-bbox="115 1254 350 1348">パーキングブレーキイグニッション オンで解除できます</p>	<p data-bbox="370 1201 759 1233">赤色の警告灯  が点灯します。</p> <p data-bbox="370 1249 1031 1308">イグニッションがオフのときに電気式パーキングブレーキを解除しようと試みた。</p> <ul data-bbox="370 1321 1031 1353" style="list-style-type: none"> <li>▶ イグニッションスイッチを <b>1</b> の位置にまわします。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>ブレーキ液レベル点検してください</p>	<p>リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。さらに、メーターパネルの赤色の警告灯  も点灯し、警告音が鳴った。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>ブレーキの性能が損なわれるおそれがある。事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。状況を問わず、走行しないでください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> <li>▶ 絶対にブレーキ液を補給しないでください。これを行っても問題は解消しません。</li> </ul>
 <p>ブレーキパッド磨耗点検してください</p>	<p>ブレーキパッド/ライニングの摩耗が限界に達している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>コリジョンプリベンションアシストプラス</p> <p>現在 使用できません 取扱説明書を参照</p>	<p>コリジョンプリベンションアシストプラスが一時的に作動しない。考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントバンパーが汚れている。</li> <li>• 激しい雨や雪により機能が損なわれている</li> <li>• 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない</li> <li>• AMG 車：ESP® が解除された</li> <li>• システムが作動温度範囲外にある</li> <li>• バッテリー電圧が低すぎる</li> </ul> <p>上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。</p> <p>コリジョンプリベンションアシストプラスが再度作動可能になります。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください (▶ 163 ページ)。</li> <li>▶ フロントバンパーを清掃する (▶ 304 ページ)。</li> <li>▶ エンジンを再始動してください。</li> <li>▶ AMG 車：ESP® を再び作動させてください (▶ 69 ページ)。</li> </ul>
<p>コリジョンプリベンションアシストプラス</p> <p>作動できません</p>	<p>コリジョンプリベンションアシストプラスが故障しています。車間距離警告信号も故障している可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>プレセーフ機能が現在 制限されています 取扱説明書を参照</p>	<p>アダプティブブレーキアシストが一時的に作動しない状態になっている。考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントバンパーが汚れている。</li> <li>• 激しい雨や雪により機能が損なわれている</li> <li>• 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない</li> <li>• AMG 車：ESP® が解除された</li> <li>• システムが作動温度範囲外にある</li> <li>• バッテリー電圧が低すぎる</li> </ul> <p>上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。</p> <p>アダプティブブレーキアシストが再び作動する。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください (▶ 163 ページ)。</li> <li>▶ フロントバンパーを清掃する (▶ 304 ページ)。</li> <li>▶ エンジンを再始動してください。</li> <li>▶ AMG 車：ESP® を再び作動させてください (▶ 69 ページ)。</li> </ul>
<p>プレセーフ機能が 制限されています 取扱説明書を参照</p>	<p>アダプティブブレーキアシストが故障している。車間距離警告信号も故障している可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
<p>プレセーフ作動できません 取扱説明書を参照</p>	<p>PRE-SAFE®の重要な機能に異常がある。エアバッグなどの他の乗員保護装置はすべて機能している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>SRS システム 故障 工場での点検</p>	<p>SRS（乗員保護補助装置）が故障している。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。けがをするおそれが高まります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p> <p>乗員安全についての詳しい情報 (▶ 36 ページ)</p>
 <p>フロント左 SRS システム故障 工場での点検 または フロント右 SRS システム故障 工場での点検</p>	<p>フロント左側またはフロント右側の SRS に異常がある。メーターパネルの警告灯  も点灯している。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。けがをするおそれが高まります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>







ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>リア左 SRSシステム故障 工場で点検 または リア右 SRSシステム故障 工場で点検</p>	<p>リア左側またはリア右側のSRSに異常がある。メーターパネルの  警告灯も点灯している。</p> <p><b>△ 警告</b></p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。けがをするおそれが高まります。</p> <p>▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p>
 <p>左ウインドウバッグ故障 工場で点検 または 右ウインドウバッグ故障 工場で点検</p>	<p>左側または右側のウインドウバッグが故障している。メーターパネルの警告灯  も点灯している。</p> <p><b>△ 警告</b></p> <p>左側または右側のウインドウバッグが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。けがをするおそれが高まります。</p> <p>▶メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p>







## ライト







### **i** LEDに関するディスプレイメッセージ


以下のディスプレイメッセージは、すべてのLEDが故障したときのみ表示されません。





ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>左 コーナリングライト または 右 コーナリングライト</p>	<p>左右どちらかのコーナリングライトの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください。(▶ 118 ページ)</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左ロービーム または 右ロービーム</p>	<p>左右どちらかのロービームヘッドライトの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください。(▶ 118 ページ)</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左リア ウィンカー または 右リア ウィンカー</p>	<p>左右どちらかのリア方向指示燈の電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (▶ 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左フロント ウィンカー または 右フロント ウィンカー</p>	<p>左右どちらかのフロント方向指示燈の電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (▶ 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左ドアミラー ウィンカー または 右ドアミラー ウィンカー</p>	<p>左右どちらかのドアミラーの方向指示燈の電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>ハイマウント ブレーキランプ</p>	<p>ハイマウントストップランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>左ブレーキランプ または 右ブレーキランプ</p>	<p>左右どちらかのブレーキランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (p 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左テールランプ/ブレーキランプ または 右テールランプ/ブレーキランプ</p>	<p>左右どちらかのテールランプ/ブレーキランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (p 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左ハイビーム または 右ハイビーム</p>	<p>左右どちらかのハイビームヘッドライトの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (p 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>ライセンスランプ</p>	<p>左右どちらかのライセンスランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左フォグランプ または 右フォグランプ</p>	<p>左右どちらかのフロントフォグランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>リアフォグランプ</p>	<p>リアフォグランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (p 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>左フロント パーキングランプ または 右フロント パーキングランプ</p>	<p>左右どちらかのフロントパーキングランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (▶ 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>バックランプ</p>	<p>バックランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (▶ 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左テールランプ または 右テールランプ</p>	<p>左右どちらかのテールランプの電球が切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様自身で交換できる電球が確認してください (▶ 118 ページ)。</li> </ul> <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>左デイトタイム ドライビングランプ または 右デイトタイム ドライビングランプ</p>	<p>左右どちらかのデイトタイムドライビングランプの電球が切れている。</p>
 <p>インテリジェントライトシステム 作動できません</p>	<p>インテリジェントライトシステムが故障している。インテリジェントライトシステムを除き、ライトはそのまま使用できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>オートライト 作動できません</p>	<p>ライトセンサーが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>ライトを消してください!</p>	<p>車から離れるとき、ライトがまだ点灯していた。警告音も鳴った。</p> <p>▶ ライトスイッチを <b>AUTO</b> にまわします。</p>
<p>アダプティブハイビームアシスト 作動できません</p>	<p>アダプティブハイビームアシストが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>
<p>アダプティブハイビームアシスト 現在使用できません 取扱説明書を参照</p>	<p>アダプティブハイビームアシストが解除され、一時的に作動しない。考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントウインドウのカメラ設置部分が汚れている</li> <li>• 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている</li> </ul> <p>▶ フロントウインドウを清掃してください。</p> <p>カメラが再び正常に機能していることをシステムが認識すると、<b>アダプティブハイビームアシスト 再び使用可能です</b>というメッセージが表示されます。</p> <p>アダプティブハイビームアシストが再び作動します。</p>

エンジン	
ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 冷却水を点検してください 取扱説明書を参照	<p>冷却水レベルが低すぎる。</p> <p><b>!</b> エンジン冷却システムの冷却水がかなり不足している状態で長距離走行しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 冷却水補給時の注意事項に従って、冷却水を補給してください。(▶ 295 ページ)</li><li>▶ 冷却水の減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li></ul>
	<p>ファンモーターが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 冷却水温度が約 120 °C 以下のときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行することができます。</li><li>▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進 / 停止を繰り返したりしないでください。</li></ul>

## ディスプレイメッセージ

## 考えられる原因および影響 ▶ 解決方法



冷却水が減少 停車してエンジンを停止

冷却水の温度が高すぎる。  
警告音も鳴った。



**⚠ 警告**



エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンが過熱した状態で走行すると、エンジンルームに漏れたフルード類に引火するおそれがある。ボンネットを開いただけで、過熱したエンジンからの蒸気で重度の火傷をするおそれがある。

けがの危険性があります。



- ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。
- ▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)
- ▶ エンジンが冷えるまでお待ちください。
- ▶ 雪やほこりなどにより、ラジエターへの送風が遮られていないか確認してください。
- ▶ ディスプレイメッセージが消え冷却水温度が約 120 °C 以下になるまではエンジンを再始動しないでください。エンジンが損傷することがあります。
- ▶ エンジン冷却水温度計で冷却水温度を点検してください。
- ▶ 冷却水温度が再び上昇する場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

指定の冷却水を適切な混合比で使用しているときは、通常の作動条件で冷却水温度が約 120 °C に上がることがあります。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>バッテリーが充電されていない。 警告音も鳴った。</p> <p>考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オルタネーターの故障</li> <li>• Vベルトが切れている</li> <li>• 電気装備の故障</li> </ul> <p>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。</p> <p>▶ ボンネットを開きます。</p> <p>▶ Vベルトが損傷していないか点検してください。</p> <p><b>Vベルトが切れているとき</b></p> <p><b>!</b> 走行しないでください。エンジンがオーバーヒートするおそれがあります。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</p> <p><b>Vベルトが損傷していないとき</b></p> <p>▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場点検を受けてください。</p>
 <p>給油の際 エンジンオイル量を点検してください</p>	<p>エンジンオイル量が下限まで減っている。 警告音も鳴った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 次回の給油時にはオイル量を点検してください。(▶ 293 ページ)</li> <li>▶ 必要であれば、エンジンオイルを補給してください。(▶ 294 ページ)</li> <li>▶ エンジンオイルの減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場点検を受けてください。</li> </ul> <p>エンジンオイルに関する情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。また、ウェブサイト <a href="http://bevo.mercedes-benz.com">http://bevo.mercedes-benz.com</a> (米国のみ) でもご覧いただけます。</p>



ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 給油してください	燃料の残量が少なくなっている。 ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
	燃料タンク内に非常に少ししか燃料がない。 ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。

## 走行装備

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 アテンションアシスト 休憩しませんか?	アテンションアシストが、一定の基準に基づいて運転者の疲労や注意力低下を検知し、注意を促している。警告音も鳴った。 ▶ 必要であれば、休憩を取ってください。  長距離運転時には、早い時期に休憩を取り、身体を十分に休ませてください。
 アテンションアシスト 作動できません	アテンションアシストが作動しない。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
<b>HOLD</b> オフ	ホールド機能が解除されている。車が横滑りしている。警告音も鳴った。 ▶ 再度ホールド機能を作動させてください。(▶ 184 ページ)  ホールド機能が解除されている。ブレーキペダルを強く踏むと、作動条件が満たされない。警告音も鳴った。 ▶ ホールド機能の作動条件を確認してください。(▶ 184 ページ)
レーダーセンサー 停止しました 取扱説明書を参照	レーダーセンサーシステムの機能が解除されている。 ▶ レーダーセンサーシステムの機能をオンにしてください。(▶ 226 ページ)




ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p>レーンキープ アシスト 現在 使用できません 取扱説明書を参照</p>	<p>以下の理由により、レーンキープアシストの機能が一時的に作動しない状態になっている。考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フロントウインドウのカメラ設置部分が汚れている</li> <li>• 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている</li> <li>• 車線がない道路を長時間走行している</li> <li>• 車線が汚れや雪などに覆われ、薄くなったり黒ずんだりしている</li> </ul> <p>上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。</p> <p>レーンキープアシストが再び作動する。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ フロントウインドウを清掃してください。</li> </ul>
<p>レーンキープ アシスト 作動できません</p>	<p>レーンキープアシストが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ブラインドスポットアシスト現在 使用できません 取扱説明書を参照	<p>ブラインドスポットアシストが一時的に作動しない状態になっている。考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーが汚れている</li> <li>• 激しい雨や雪により機能が損なわれている</li> <li>• レーダーセンサーシステムが作動温度範囲外にある</li> <li>• 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない</li> </ul> <p>ドアミラーの黄色の  表示灯も点灯する。</p> <p>上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。</p> <p>ブラインドスポットアシストが再び作動する。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ センサーを清掃してください。(▶ 304 ページ)</li> <li>▶ エンジンを再始動してください。</li> </ul>
ブラインドスポットアシスト作動できません	<p>ブラインドスポットアシストが故障している。</p> <p>ドアミラーの黄色の  表示灯も点灯する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
パーキングアシスト中止	<p>運転席ドアが開き、運転席側シートベルトが着用されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ シートベルトを着用し運転席ドアを閉じた状態で、再度駐車操作を行ってください。</li> </ul> <p>ステアリングの介入動作が行なわれているときに不意にマルチファンクションステアリングに触れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ステアリング介入動作中は、マルチファンクションステアリングに触れないように注意してください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>車両が横滑りし始め、ESP® が作動した。</p> <p>▶ この後で、アクティブパーキングアシストを再度使用してください。(▶ 191 ページ)</p>
パーキングアシスト作動できません	<p>ステアリング操作や駐車操作を何度も行なった。約10分経過すると、アクティブパーキングアシストの機能が再び作動します。(▶ 191 ページ)</p> <p>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</p> <p>▶ エンジンを停止し、再始動してください。</p> <p>ディスプレイメッセージが消えないとき</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p> <p>パークトロニックが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p>
ディストロニックプラス オフ	ディストロニック・プラスが解除されている (▶ 175 ページ)。自動的に解除されたときは、警告音も鳴った。
ディストロニックプラス 再び使用できません	一時的に使用できなくなった後、ディストロニック・プラスが再び使用できる状態になった。ディストロニック・プラスを再び作動させることができる。(▶ 175 ページ)

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ディストロニックプラス 現在使用できません 取扱説明書を参照	ディストロニック・プラスが一時的に作動しない。考えられる原因 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 激しい雨や雪により機能が損なわれている</li> <li>• ラジエーターグリルに装着されたセンサーが汚れている</li> <li>• 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない</li> <li>• システムが作動温度範囲外にある</li> <li>• バッテリー電圧が低すぎる</li> </ul> 警告音も鳴った。 上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。 ディストロニックが再び作動する。 ディ스플레이メッセージが消えないとき <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ ラジエーターグリルに装着されたセンサーを清掃してください。(▶ 304 ページ)</li> <li>▶ エンジンを再始動してください。</li> </ul>
ディストロニックプラス 作動できません	ディストロニック・プラスが故障している。アダプティブブレーキアシストも故障している可能性があります。 警告音も鳴った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>
ディストロニックプラス 制御待機中	アクセルペダルを踏んだ。ディストロニック・プラスは車両の速度を制御しなくなっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ アクセルペダルから足を放してください。</li> </ul>
ディストロニックプラス --- km/h	ディストロニック・プラスの作動条件を満たしていない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ディストロニック・プラスの作動条件を確認してください。(▶ 178 ページ)</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ディストロニックプラスと可変スピードリミッター 作動できません	<p>ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターが故障している。警告音も鳴った。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>
クルーズコントロールと可変スピードリミッター 作動できません	<p>クルーズコントロールと可変スピードリミッターが故障している。警告音も鳴った。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>
制限速度 --- km/h	<p>アクセルペダルをいっぱいまで踏み込んでも（キックダウン）可変スピードリミッターが作動しない。</p>
クルーズコントロール --- km/h	<p>クルーズコントロールの作動条件を満たしていない。たとえば、約 30 km/h 以下の速度を設定しようとした。</p> <p>▶ 設定可能な状況であれば、約 30 km/h 以上で走行し、クルーズコントロールを設定してください。</p> <p>▶ クルーズコントロールの作動条件を確認してください。（▶ 171 ページ）</p>





タイヤ	
ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
タイヤ空気圧 タイヤを点検してください	<p>タイヤ空気圧警告システムがタイヤからの急激な空気の漏れを検知した。 警告音も鳴った。</p> <p> <b>警告</b></p> <p>タイヤ空気圧が低すぎると、以下の危険が生じるおそれがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 荷重が大きく車両速度が高い場合は特に、タイヤが破裂するおそれがある。</li> <li>• タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が損なわれるおそれがある。</li> <li>• ステアリング操作やブレーキ操作などの車両操縦性が大幅に損なわれるおそれがある。</li> </ul> <p>事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 急ハンドルや急ブレーキを避けて停車してください。周囲の状況に注意しながら操作してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ タイヤを点検し、必要であれば、タイヤがパンクしたときの指示に従ってください。(▶ 311 ページ)</li> <li>▶ タイヤ空気圧を点検し、必要であれば適正な空気圧に調整してください。</li> <li>▶ 適正なタイヤ空気圧に調整した後に、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。(▶ 338 ページ)</li> </ul>
空気圧点検後 タイヤ空気圧 警告システム 再始動	<p>タイヤ空気圧警告システムのディスプレイメッセージが送られた。その後は再始動していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ すべてのタイヤの空気圧を適正に調整してください。</li> <li>▶ タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。(▶ 338 ページ)</li> </ul>
タイヤ空気圧 警告システム 作動できません	<p>タイヤ空気圧警告システムに異常がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>


車両	
ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジン始動 PまたはNにシフト	<p>トランスミッションが ポジションR または D のときにエンジンの始動を試みた。</p> <p>▶ トランスミッションをポジション P または N にシフトしてください。</p>
バックアップバッテリー 故障	<p>オートマチックトランスミッションの補助バッテリーが充電されていない。</p> <p>▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p> <p>▶ それまでは、エンジンを始動する前にシフトポジションを P にしてください。</p> <p>▶ 車両から離れる前に、パーキングブレーキを作動させてください。</p>
ブレーキを踏んでエンジン をかけて下さい	<p>ブレーキを踏まずにシフトポジションが N のときにエンジンを始動しようとした。</p> <p>▶ ブレーキペダルを踏んでください。</p>
PまたはNからシフト するには ブレーキを踏んでエンジン をかけて下さい	<p>エンジンを始動しないでシフトポジションを R または D にしようとした。</p> <p>▶ エンジンを始動してください。</p> <p>▶ ブレーキペダルを踏んでください。</p> <p><b>i</b> ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、トランスミッションをポジション P から希望のポジションにシフトすることができます。そのあとでのみ、パーキングロックを解除することができます。ブレーキペダルが踏まれていない場合は、DIRECT SELECTレバーはまだ動かすことができますが、パーキングロックは固定されたままになります。</p> <p><b>i</b> エンジンが始動していて、トランスミッションオイル温度が約-20 °C以下のときにのみ、パーキングポジション P から他のトランスミッションポジションに変えることができます。</p>
ブレーキを踏んで P レンジからシフト	<p>ブレーキを踏まずにセレクターレバーを N、R、D に操作しようとした。</p> <p>▶ ブレーキペダルを踏んでください。</p>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シフトポジションが P ではないため 車が動く恐れがあります	<p>トランスミッションがポジション R、N、D のいずれかのときに運転席ドアを開いた。 警告音も鳴った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ トランスミッションをポジション P にシフトしてください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> </ul>
シフトチェンジせず 工場点検	<p>故障のため、トランスミッションのポジションを変更することができない。 警告音も鳴った。</p> <p>トランスミッションポジション D が選択されている場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ トランスミッションをポジションを D からシフトしないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。</li> </ul> <p>トランスミッションがポジション R、N、P のいずれかのとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>
停車中のみ P レンジ にシフト できます	<p>車が動いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ トランスミッションをポジション P にシフトしてください。</li> </ul>
後退できません 工場 点検	<p>オートマチックトランスミッションが故障している。後退することができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場点検を受けてください。</li> </ul>
トランスミッション 故障	<p>オートマチックトランスミッションが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場点検を受けてください。</li> </ul>





ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
トランスミッション 故障 停車して下さい	<p>オートマチックトランスミッションが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>
エンジンは止めずに 停車してPにシフトして下さい	<p>オートマチックトランスミッションが過熱しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 注意して運転してください。 ディスプレイメッセージが消えると、オートマチックトランスミッションが再び作動します。</li> </ul> <p>ディスプレイメッセージが消えないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ オートマチックトランスミッションが冷え、ディスプレイメッセージが消えるまでお待ちください。</li> </ul>
トランスミッションオイルオーバー 注意して走行	<p>AMG車：トランスミッションオイルが過熱しています。マニュアルギアシフト <b>M</b> および一時的に作動しているマニュアルギアシフトは、もう使用できません。エンジン出力が低下しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車両が冷却されるまで待ちます。</li> </ul>
4MATIC 現在使用できません	<p>4MATIC（フルタイム4輪駆動システム）が過熱しています。車両は前輪のみで駆動されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 走行を続けてください。 気流がより迅速に4MATICを冷却します。 ディスプレイメッセージが消えたら、4MATICは再び使用可能になり、車両は4輪すべてで駆動されます。</li> </ul>
4MATIC 作動できません	<p>4MATICが誤作動しています。車両は前輪のみで駆動されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて点検を受けてください。</li> </ul>



ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>トランクが開いている。</p> <p>▶ トランクを閉じます。</p>
	<p>ボンネットが開いている。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>ボンネットが開いた状態で走行すると視界が遮られるおそれがある。</p> <p>事故の危険性があります。</p> <p>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。</p> <p>▶ パーキングブレーキを効かせてください。</p> <p>▶ ボンネットを閉じます。</p>
	<p>いずれかのドアが開いている。警告音も鳴った。</p> <p>▶ すべてのドアを閉じます。</p>
 <p>パワーステアリング故障 取扱説明書を参照</p>	<p>ステアリングのパワーアシストが故障している。警告音も鳴った。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>ステアリング操作に大きな力が必要になる。事故の危険性があります。</p> <p>▶ 大きな力を加えればステアリングが操作できるか確認してください。</p> <p>▶ <b>安全にステアリング操作ができるときは</b>、注意しながら、メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。</p> <p>▶ <b>安全にステアリング操作ができないときは</b>、走行しないでください。最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。</p>
<p>圏外</p>	<p>車がネットワークプロバイダーの電波を送受信できない場所にある。</p> <p>▶ マルチファンクションディスプレイに携帯電話の作動マークが表示されるまで待ってください。</p>

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>ウォッシャー液を補充してください</p>	<p>ウォッシャー液リザーブタンクのウォッシャー液レベルが最低レベルまで下がっている。</p> <p>❶ 冬期に凍結防止液をウォッシャー液に加えないと、ウォッシャー液リザーバ内で凍結することがあります。その場合は、<b>ウォッシャー液を補充してください</b>というディスプレイメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。</p> <p>▶ ウォッシャー液を補給してください。(p. 297 ページ)</p>
<p>ワイパ - 故障</p>	<p>ワイパーが故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>
<p>非常点滅灯 故障</p>	<p>非常点滅灯が故障している。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>





## キー


ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>キーが違います</p>	<p>エンジンスイッチに別の車両のキーを差し込んでいる。</p> <p>▶ 正しいキーを使用してください。</p>
 <p>キーを交換してください</p>	<p>キーを交換する必要がある。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>


**メーターパネルの警告および表示灯****シートベルト警告灯**



トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p> フロントドアを閉じてエンジンを始動すると、赤色のシートベルト警告灯が点灯する。</p>	<p>運転席または助手席の乗員がシートベルトを着用していない。</p> <p>▶ シートベルトを着用してください。(▶ 43 ページ) 警告灯が消灯します。</p> <p>助手席シートの上に荷物を置いている。</p> <p>▶ 助手席シートに置いてある荷物を、別の安全な場所に収納してください。警告灯が消灯します。</p>
<p> 赤色のシートベルト警告灯が点滅し、断続的な警告音も鳴った。</p>	<p>運転席または助手席の乗員がシートベルトを着用していない。その状態で、約 25 km/h 以上の速度で走行している。または速度が一時的に約 25 km/h を超えた。</p> <p>▶ シートベルトを着用してください。(▶ 43 ページ) 警告灯が消灯し、警告音も鳴り止みます。</p> <p>助手席シートの上に荷物を置いている。その状態で、約 25 km/h 以上の速度で走行している。または速度が一時的に約 25 km/h を超えた。</p> <p>▶ 助手席シートに置いてある荷物を、別の安全な場所に収納してください。警告灯が消灯し、警告音も鳴り止みます。</p>

## 安全装備システム



トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p> エンジンがかかっているときに赤色のブレーキシステム警告灯が点灯する。警告音も鳴った。</p>	<p>リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。</p> <p> <b>警告</b></p> <p>ブレーキの性能が損なわれるおそれがある。事故の危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。状況を問わず、走行しないでください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ 絶対にブレーキ液を補給しないでください。補給しても異常は解消しません。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> <li>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</li> </ul>
<p> エンジンがかかっているときに黄色のABS警告灯が点灯する。</p>	<p>故障のため、ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）が解除されている。そのため、BAS（ブレーキアシスト）、コリジョンプリベンションアシスト、コリジョンプリベンションアシストプラス、ESP<sup>®</sup>（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、アダプティブブレーキライトなどの機能も解除されている。</p> <p>アテンションアシストは解除されている。</p> <p> <b>警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがある。</p> <p>ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p>ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p>


トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</p> <p>▶ 注意して運転してください。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p> <p>ABS コントロールユニットが故障すると、ナビゲーションシステム、オートマチックトランスミッションなど、他のシステムも作動しなくなることがある。</p>
<p> エンジンがかかっているときに黄色のABS警告灯が点灯する。</p>	<p>ABSが一時的に作動しない。そのため、BAS、コリジョンプリベンションアシスト、コリジョンプリベンションアシストプラス、ESP<sup>®</sup>、EBD（エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション）、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、アダプティブブレーキライトなどの機能も解除されている。</p> <p>考えられる原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自己診断がまだ完了していない。</li> <li>• バッテリーの電圧が不十分な可能性がある。</li> </ul> <p>アテンションアシストは解除されている。</p> <p><b>▲ 警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。</p> <p>ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p>ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p>事故の危険性があります。</p> <p>▶ 約 20 km/h以上の速度で緩やかにステアリングを動かしながら、適切な直線路で慎重に走行してください。警告灯が消灯すると、上記の機能が再び作動します。</p> <p>警告灯がまだ点灯したままのとき</p> <p>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</p> <p>▶ 注意して運転してください。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</p>


トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
<p> エンジンがかかっているときに黄色のABS警告灯が点灯する。警告音も鳴った。</p>	<p>EBDが故障している。そのため、ABS、BAS、コリジョンプリベンションアシスト、コリジョンプリベンションアシストプラス、ESP<sup>®</sup>、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、アダプティブブレーキライトなどの機能も作動しない状態になっている。            アテンションアシストは解除されている。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。            ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p>ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。            横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</li> <li>▶ 注意して運転してください。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>



トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに赤色のブレーキ警告灯、黄色のESP<sup>®</sup> 表示灯、ESP<sup>®</sup> オフ表示灯、黄色のABS警告灯が点灯する。</p>	<p>ABSとESP<sup>®</sup> が故障している。そのため、BAS、コリジョンプリベンションアシスト、コリジョンプリベンションアシストプラス、EBD、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、アダプティブブレーキライトなどの機能も作動しない状態になっている。 アテンションアシストは解除されている。</p> <p><b>▲ 警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。 ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p>ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</li> <li>▶ 注意して運転してください。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>走行中に黄色のESP<sup>®</sup> 表示灯が点滅する。</p>	<p>車が横滑りをするおそれがあるか、少なくとも1つの車輪が空転し始めているため、ESP<sup>®</sup> やトラクションコントロールが作動している。 クルーズコントロールやディストロニック・プラスは解除されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。</li> <li>▶ 走行中は緩やかに加速してください。</li> <li>▶ 路面と天候の状態に合わせて運転してください。</li> <li>▶ ESP<sup>®</sup> の機能を解除しないでください。</li> </ul> <p>例外については(▶ 67 ページ) をご覧ください。</p>









トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに黄色の ESP<sup>®</sup> オフ表示灯が点灯する。</p>	<p>ESP<sup>®</sup> の機能が解除されているとき 車が横滑りし始めたときや車輪が空転し始めたときに、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>ESP<sup>®</sup> が解除されている場合は、ESP<sup>®</sup> は車両を安定させることはできません。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ESP<sup>®</sup> を再び作動させてください。 例外については(▶ 67 ページ) をご覧ください。</li> <li>▶ 路面と天候の状態に合わせて運転してください。</li> </ul> <p>ESP<sup>®</sup> が作動しないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でESP<sup>®</sup> の点検を受けてください。</li> </ul>
 <p>AMG車のみ： エンジンがかかっているときに黄色の ESP<sup>®</sup> スポーツ表示灯が点灯する。</p>	<p>スポーツハンドリングモードになっている。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>スポーツモードがオンになっている場合、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スポーツハンドリングモードは特定の状況でのみ切り替えます (▶ 69 ページ)。</li> </ul>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに黄色のESP<sup>®</sup>表示灯と黄色のESP<sup>®</sup>オフ表示灯が点灯する。</p>	<p>故障のため、ESP<sup>®</sup>、BAS、コリジョンプリベンションアシスト、コリジョンプリベンションアシストプラス、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシスト、アダプティブブレーキライトが作動しない状態になっている。アテンションアシストは解除されている。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。</p> <p>緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。</p> <p>ESP<sup>®</sup>が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup>の機能で走行安全性を確保することができない。</p> <p>横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</li> <li>▶ 注意して運転してください。</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</li> </ul>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに黄色のESP<sup>®</sup>表示灯と黄色のESP<sup>®</sup>オフ表示灯が点灯する。</p>	<p>ESP<sup>®</sup>、BAS、PRE-SAFE<sup>®</sup>、ホールド機能、ヒルスタートアシストが一時的に使用できない。 アダプティブブレーキライトとコリジョンプリベンションアシスト / コリジョンプリベンションアシストプラスも故障している可能性がある。 アテンションアシストは解除されている。 自己診断がまだ完了していない。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。 緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP<sup>®</sup> が作動しない場合は、ESP<sup>®</sup> の機能で走行安全性を確保することができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。</p> <p>▶ 約 20 km/h以上の速度で緩やかにステアリングを動かしながら、適切な直線路で慎重に走行してください。 警告灯が消灯すると、上記の機能が再び作動します。</p> <p>警告灯がまだ点灯したままのとき</p> <p>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</p> <p>▶ 注意して運転してください。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。</p>



トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>電気式パーキングブレーキの赤色の表示灯が点滅または点灯する。または、電気式パーキングブレーキの黄色の警告灯が点灯する。</p>	<p>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</p>
 <p>エンジンがかかっているときに赤色のSRS警告灯が点灯する。</p>	<p>SRS（乗員保護補助装置）が故障している。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。けがをすることが高まります。</p> <p>▶ 注意して運転してください。</p> <p>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場ですRSの点検を受けてください。</p> <p>乗員保護補助装置に関する詳しい情報は、以下を参照してください。(▶ 36 ページ)</p>

エンジン	
トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 エンジンがかかっているときに黄色のエンジン警告灯が点灯する。	以下のシステムが故障している可能性がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• エンジン制御システム</li> <li>• 燃料噴射システム</li> <li>• 排気システム</li> <li>• エンジンスイッチシステム</li> <li>• フューエルシステム</li> </ul> 排出ガス中の成分が基準値を超えたため、エンジンがエマージェンシーモードになっている可能性がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場にて点検を受けてください。</li> </ul>
 エンジンがかかっているときに黄色の燃料残量警告灯が点灯する。	燃料の残量が少なくなっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。</li> </ul>
 エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。エンジン冷却水温度計の指針が下限にある。	冷却水温度計の温度センサーが故障している。冷却水温度を確認することができない。冷却水の温度が高すぎる場合は、エンジンが損傷するおそれがある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。状況を問わず、走行しないでください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。</li> </ul>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 <p>エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。</p>	<p>リザーブタンクの冷却水量がかなり不足している。冷却水量が正常なときは、ラジエターへの送風が遮られているか、ラジエターの冷却ファンが故障しているおそれがある。</p> <p>冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</li> <li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。</li> <li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li> <li>▶ 車から降り、エンジンが冷えるまで車から安全な距離を確保してください。</li> <li>▶ 冷却水量を点検し、不足しているときは補給してください。(▶ 295 ページ) 警告メッセージに従ってください。</li> <li>▶ 冷却水の減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でエンジン冷却システムの点検を受けてください。</li> <li>▶ 雪やほこりなどにより、ラジエターへの送風が遮られていないか確認してください。</li> <li>▶ 冷却水温度が約 120 °C 以下に下がるまでは、エンジンを再び始動しないでください。エンジンが損傷することがあります。</li> <li>▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。</li> <li>▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進 / 停止を繰り返したりしないでください。</li> </ul>
 <p>エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。警告音も鳴った。</p>	<p>冷却水温度が約 120 °C を超えている。ラジエターへの送風が遮られているか、冷却水量がかなり不足している可能性がある。</p> <p> <b>警告</b></p> <p>エンジンが十分に冷却されないため、エンジンが損傷するおそれがある。</p>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	<p>エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンが過熱した状態で走行すると、エンジンルームに漏れたフルード類に引火するおそれがある。ボンネットを開いただけで、過熱したエンジンからの蒸気で重度の火傷をするおそれがある。</p> <p>けがの危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。</li><li>▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。</li><li>▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)</li><li>▶ 車から降り、エンジンが冷えるまで車から安全な距離を確保してください。</li><li>▶ 冷却水量を点検し、不足しているときは補給してください。(▶ 295 ページ) 警告メッセージに従ってください。</li><li>▶ 冷却水の減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でエンジン冷却システムの点検を受けてください。</li><li>▶ 雪やほこりなどにより、ラジエターへの送風が遮られていないか確認してください。</li><li>▶ 冷却水温度が約 120 °C 以下のときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行することができます。</li><li>▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進 / 停止を繰り返したりしないでください。</li></ul>

**走行装備**

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 走行中に赤色の車間距離警告灯が点灯する。	設定された速度に対し、先行車との車間距離が近すぎる。 ▶ 車間距離を広げてください。
 走行中に赤色の車間距離警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	同じ走行車線にいる前車または静止している障害物に急速に近付いている。 ▶ ただちにブレーキをかける準備をしてください。 ▶ 交通状況に注意して運転してください。ブレーキ操作や危険回避の操作が必要となる可能性があります。 コリジョンプリベンションアシストの車間距離警告機能について詳しくは(▶ 63 ページ)をご覧ください。 コリジョンプリベンションアシストプラスについて、詳しくは(▶ 65 ページ)をご覧ください。



役に立つ情報 .....	278
積載のガイドライン .....	278
収納エリア .....	279
機能 .....	285

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場  
で情報をご覧ください。(▷ 23 ページ)

## 積載のガイドライン

## ⚠ 警告

荷物や重い荷物が固定されていない、または十分に固定されていないと、すべったり、放り出されて乗員にぶつかるおそれがあります。特にブレーキ操作時や急な進路変更時にけがをする可能性があります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。走行前に、荷物や積載物などがすべったりひっくり返ったりしないように固定されていることを確認してください。

## ⚠ 警告

燃焼エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッドが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッドを開く前に、必ずエンジンをオフにしてください。トランクリッドを開いたまま走行しないでください。

荷物の積み方は車両の走行安定性に大きく影響します。荷物を積むときは、以下の点に注意してください。

- 荷物を運搬するときは、最大車両総重量および許容軸重（乗員を含む）を超えないようにしてください。
  - 荷物はトランクに入れて運ぶことをお勧めします。
  - 重い物はできるだけ前方、およびトランク内でできるだけ低く配置してください。
  - 荷物を車内に積むときは、シートのバックレストよりも高く積み上げないでください。
  - トランクに荷物を積むときは、必ずリアシートまたはフロントシートのバックレストに接するように積んでください。シートバックレストがしっかりと固定されていることを確認してください。
  - なるべく乗員のいない席の後方に荷物を積み込んでください。
  - 固定用リングおよびラゲッジネットを荷物や積載物を運搬するために使用してください。
  - 荷物の大きさと重さに適した荷物固定用リングおよび固定具のみを使用してください。
  - 強度のある耐摩耗性の荷物固定用ストラップなどを使用して、荷物を確実に固定してください。鋭い角のある荷物は、角の部分にカバーをしてください。
- i** 荷物固定用ストラップはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

**収納エリア**  
**収納スペース**

**重要な安全上の注意事項**

**⚠ 警告**

収納物を車内に正しく収納しないと、滑ったり、飛び出したりして、乗員がけがをするおそれがあります。特にブレーキ操作や急な進路変更を行ったときは、けがをするおそれがあります。

- このようなときや似たような状況で収納物が飛び出さないように、常に収納する
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようする
- 走行中はロック可能な小物入れを閉じる
- 重い物、固い物、先の尖った物、鋭利な物、壊れやすいもの、大きな物はトランクに収納し、固定する

荷物の積み方 (▷ 278 ページ) をお守りください。

**前席の小物入れ**

**グローブボックス**



- ▶ **開く：** ハンドル ① を引き、グローブボックスのカバー ② を開きます。
- ▶ **閉じる：** グローブボックスのカバー ② を押してロックします。

① グローブボックスのカバー にペンホルダーがあります。

**サングラス入れ**



- ▶ **開く：** マーク ① を押します。
- 車両が動いている間はメガネケースが閉じていることを必ず確認してください。

**センターコンソール内の小物入れ**



DIRECT SELECT (ダイレクトセレクト) 装備車

- ▶ **開く：** カバーのマーク ① を押します。
- ① 車両装備により、センターコンソールには小物入れではなく灰皿が取り付けられています。

## フロントアームレストの小物入れ（オートマチック車）



DIRECT SELECTレバー装備車両

▶ **開く：** カバーのマーク ① を押します。

❶ ノンスリップマットとインサートは、取り外して洗い流すことができます。インサートを取り外すときは、若干の抵抗があります。

## アームレスト下の小物入れ



▶ **開く：** 可動式アームレスト装備車では、アームレストが最も後方の位置にあることを確認してください。

▶ ボタン ① を押して、アームレストを持ち上げてください。

❶ 車両装備により、USBポート、AUX-INジャックまたはメディアインターフェースが小物入れに取り付けられています。メディアインターフェースは、iPod®またはMP3プレーヤーなどの、携帯オーディオ機器のための汎用インタ

フェースです（別冊のオーディオまたはCOMANDシステム取扱説明書をご覧ください）。

## 運転席および助手席シート下部の小物入れ

### ⚠ 警告

小物入れの最大荷重を超えると、カバーは物を抑制することができない可能性があります。物が小物入れから飛び出し、乗員にぶつかる可能性があります。特に急ブレーキや急な方向転換をすると、けがの恐れがあります。

小物入れの最大許容荷重を決して超えないようにしてください。重い荷物はトランクに固定して収納してください。

小物入れの最大許容荷重は1.2 kgです。



▶ **開く：** ハンドル ① を引き上げ、カバー ② を前方に引き出します。

❶ 消火器装備車では、運転席下部に小物入れの代わりに消火器が取り付けられています。

## 後席の小物入れ

### センターコンソール（後席）の小物入れ



- ▶ **開く**： ハンドルの端で小物入れ ① の上部を引き下ろします。

**i** 車両装備により、小物入れの上に蓋の付いていない収納用の空間ができます。

### ラゲッジネット

ラゲッジネットは以下にあります：

- 助手席足元
- 運転席・助手席の背面
- トランクの左右

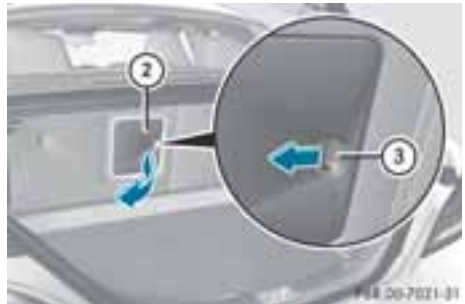
荷物の積み方 (▷ 278 ページ) および収納用スペースに関する安全上の注意 (▷ 279 ページ) をお守りください。

### 後席のスルーローディング

荷物の積み方 (▷ 278 ページ) をお守りください。



- ▶ **開く**： アームレスト ① を引き下ろします。
- ▶ リアシートのセンターヘッドレストを最大位置に引き上げます。(▷ 99 ページ)



- ▶ ロックスイッチ ③ を矢印の方向にスライドさせます。
- ▶ フラップ ② を横に完全に回します。フラップ ② がマグネットで開いたまま保持されます。
- ▶ **閉じる**： フラップ ② をはまるまでトランク側に戻します。
- ▶ 必要に応じて、アームレスト ① を完全に引き上げます。

## リアベンチシートの分割可倒式シート

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

リアベンチシート / リアシートとシートバックレストが固定されていない場合、急なブレーキ操作や事故のときに、前に倒れる可能性があります。

- これにより、乗員は、リアベンチシート / リアシートまたはシートバックレストによってシートベルトに押さえ込まれます。シートベルトは、十分な保護効果を発揮することができず、さらにけがをするおそれがあります。
- トランクの荷物や重い荷物はシートバックレストで固定することはできません。

けがをするおそれが高まります。

走行前に、必ずシートバックレストおよびリアベンチシート / リアシートが固定されていることを確認してください。

**!** 後席のバックレストを前方に倒す前に、後席アームレストおよびカップホルダーが格納されていることを確認してください。損傷するおそれがあります。

荷物の積み方 (p. 278 ページ) をお守りください。

### リアシートバックレストを前方/後方に倒す

#### リアシートのバックレストを前方に倒す

左右リアシートのバックレストを前方に別々に倒して、トランク容量を拡大することができます。



- ▶ バックレストヘッドレストを完全に差し込みます (p. 100 ページ)。
- ▶ 必要に応じて、運転席または助手席シートを前方に移動します。
- ▶ 左右いずれかのシートバックレストのリリースハンドル ② を手前に引きます。対応する側のシートバックレスト ① が解除されます。
- ▶ バックレスト ① を前に倒します。
- ▶ 必要に応じて、運転席または助手席側のシートバックレストを移動します。



- ▶ シートベルトをシートベルトエクステンダー ① に差し込みます。

### リアシートのバックレストを起こす



▶ 必要に応じて、運転席または助手席シートを前方に移動します。

**!** リアシートバックレストを起こすときは、シートベルトが挟まれていないことを確認してください。損傷するおそれがあります。

▶ シートバックレスト ① を起こしてロックします。

赤色のロックステータスインジケータ ② が見えないことを確認してください。

▶ 必要に応じて、ヘッドレストの高さを調整します (▶ 100 ページ)。

▶ 必要に応じて、運転席または助手席側のシートバックレストを移動します。

### 荷物の固定

#### 荷物固定用リング

荷物を固定するときは、以下の点に注意してください。

- 荷物の積み方 (▶ 278 ページ) をお守りください。
- 荷物固定用リングを使用して、荷物を固定してください。
- 荷物固定用リングには均等に力がかかるようにしてください。
- 伸縮性のあるストラップやネットは軽い荷物のずれを防ぐためのものです。

これらを使用して荷物を固定しないでください。

- 固定用具が荷物のとがった部分や角に当たらないようにしてください。
- 鋭い角のある荷物は、角の部分にカバーをしてください。



① 荷物固定用リング

#### トランクフロア下の収納スペース

トランクフロア下に、タイヤフィットおよび車載工具などのブラケットがあります。



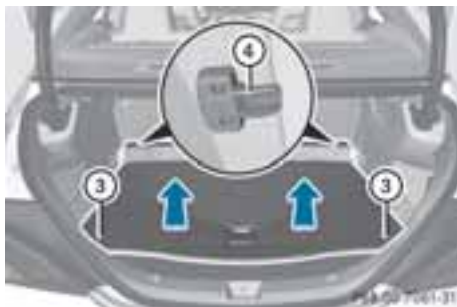
▶ 開く：ハンドル ① を上に引きます。



- ▶ ハンドル ① をリアウインドウ下側のトランクの縁 ② にかけます。

トランクを拡大するため、トランクフロアを取り外すことができます。

- ▶ **取り外す：** 溝 ② のところまでトランクフロアを持ち上げ、引き抜きます。



- ▶ **差し込む：** トランクフロアを中央の下に置きます。
- ▶ トランクフロア ③ の横を支え、フック ④ がはまるまで矢印の方向に押しします。

## ルーフキャリア

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

ルーフに荷物を積むと、車両の重心位置が上がり、走行特性が変化します。ルーフの最大積載量を越える場合、走行特性や、ステアリング操作やブレーキ操作が

大幅に損なわれるおそれがあります。事故の危険性があります。運転スタイルを調整し、ルーフの最大積載量を決して超えないでください。

- ❗ ルーフラックは、メルセデス・ベンツ車用に認定された推奨品の使用をお勧めします。推奨品以外の製品を取り付けると車両を損傷するおそれがあります。ルーフラックに荷物を積むときは、走行中に車両を損傷しないように確実に固定してください。

車両の装備に応じて、ルーフラックを取り付けたときに、以下の操作ができることを確認してください。

- パノラミックスライディングルーフをいっばいに開ける
- トランクリッドをいっばいに開ける

最大許容荷重は約 75 kg です。

ルーフラックが正しく固定されていない、またはルーフの積載量が適切でない場合は、車両から脱落する場合があります。必ず、ルーフラックメーカーの装着説明書の指示に従ってください。

### ルーフキャリアの取り付け



- ▶ カバー ① を矢印の方向に注意して開きます。
- ▶ カバー ① を引き上げます。



- ▶ ルーフラックはカバー ①の下のマウント部に装着します。
- ▶ ルーフラックの装着方法は、製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

## 機能

### カップホルダー

#### 重要な安全上の注意事項

##### ⚠ 警告

走行している間、カップホルダーは容器を完全に固定することはできません。走行している間、カップホルダーを使用する場合、容器が移動したり、中身がこぼれたりすることがあります。容器の中身が乗員にかかり、その中身が熱い場合やけどするおそれがあります。交通状況から注意がそれ、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故やけがの危険性があります。

カップホルダーは、車両が停止しているときのみ使用してください。カップホルダーに合った容器のみ使用してください。熱い飲み物のときは特に、必ず容器を閉じてください。

##### ⚠ 警告

収納物を車内に正しく収納しないと、滑ったり、飛び出したりして、乗員がけがをするおそれがあります。特にブレーキ操作や急な進路変更を行ったときは、けがをするおそれがあります。

- このようなときや似たような状況で収納物が飛び出さないように、常に収納する
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようする

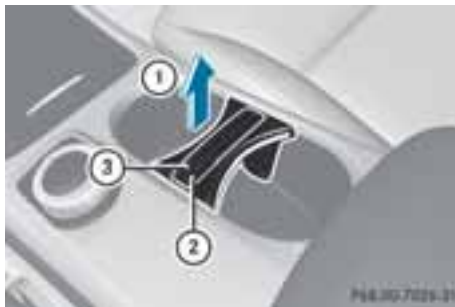
- 走行中はロック可能な小物入れを閉じる
- 重い物、固い物、先の尖った物、鋭利な物、壊れやすいもの、大きな物はトランクに収納し、固定する

**!** カップホルダーのサイズに合ったフタ付きの容器をお使いください。飲み物がこぼれるおそれがあります。

ドアの小物入れには、以下のボトルを収容できます：

- 前席：容量1.0 Lまで
- 後席：容量0.5 Lまで

#### フロントセンターコンソールのカップホルダー



2つのコインホルダー ③ およびカードホルダー ② はカップホルダーにあります。

カップホルダーおよび下のラバーマットは清掃時に外すことができます。きれいなぬるま湯でのみ、清掃してください。

- ▶ **取り外す：** カップホルダーを少し強く上に持ち上げて ① 外します。



- ▶ **取り付け**：カップホルダー ① を小物入れ側面の曲がった部分 ② に差し込みます。同時に、カップホルダーの上部のツメが前方を向くようにカップホルダーを差し込みます。
- ▶ カップホルダー ① を左右がはまるまで、下方へ押しします。

### リアシートのアームレストのカップホルダー

**!** リアアームレストを倒しているときに、アームレストに腰をかける、体重を支えるなど無理な力を加えないでください。アームレストが損傷する原因になります。

**!** リアシートのアームレストを格納する前にカップホルダーを閉じてください。さもないと、カップホルダーが損傷するおそれがあります。



- ▶ リアシートのアームレストを引き出します。
- ▶ **開く**：カップホルダー ① または ② の前側を押します。カップホルダー ① または ② が自動的に出てきます。
- ▶ **閉じる**：カップホルダー ① または ② をはまるまで押し戻します。

### サンバイザー

#### 概要



- ① ミラーライト
- ② フック
- ③ クリップ
- ④ バニティミラー
- ⑤ バニティミラーカバー

#### サンバイザーのバニティミラー

ミラーライト ① は、サンバイザーがフック ② で固定されている状態で、ミラーカバー ⑤ が開いているときにだけ点灯します。

## 横方向からの眩しさを防ぐ

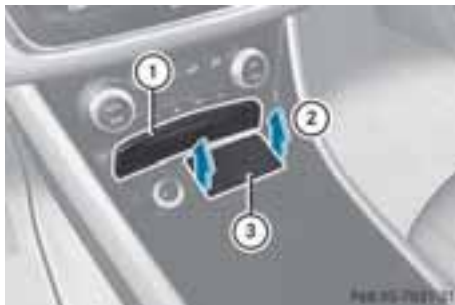


- ▶ サンバイザー ① を下げます。
- ▶ サンバイザー ① をブラケット ② から引き出します。
- ▶ サンバイザー ① を横にまわします。
- ▶ ミラーライト装備車：サンバイザー ① を希望する方向にスライドします。

## 灰皿

### 前席灰皿

**!** 灰皿の下の小物入れは耐熱性ではありません。火のついたタバコを灰皿に置くときは、灰皿が確実に固定されていることを確認してください。小物入れが損傷するおそれがあります。



例：アームレストカバー装備車

- ▶ 開く：カバー ① の下部を軽く押しま  
す。  
小物入れが開きます。
- ▶ インサートを取り外す：インサート ③  
を引き上げ ② 外します。
- ▶ インサートを取り付ける：固定される  
までインサート ③ をホルダーに押し  
込みます。

**i** 灰皿を取り外すと、そのスペースを小物入れとして使用できます。

### 後席灰皿



- ▶ 開く：上端でカバー ③ を引き出しま  
す。
- ▶ 取り外す：凹部 ① を持ってインサー  
ト ② 矢印の方向 ④ にロックが解除  
される音が聞こえるまで引きます。
- ▶ インサート ② を持ち上げて外します。
- ▶ インサートを取り付ける：上からイン  
サート ② をホルダーに取り付け、固  
定されるまでホルダーに押し下げます。

## ライター

### ⚠ 警告

ライターのヒーター部や熱くなっているホルダー部を触ると、火傷をするおそれがあります。

以下のとき、可燃性の素材が燃える可能性があります：

- 熱くなっているライターを落としたとき
- 子供などが熱くなっているライターを荷物の上に置いたとき

火災およびけがの危険性があります。

ライターは必ずノブの部分を持ってください。子供がライターを触らないように常に気をつけてください。保護者のいない子供を車内に残さないでください。

常に交通状況に注意してください。道路および交通状況が許されているときのみ、ライターを使用してください。



例：アームレストカバー装備車

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にまわします(▷ 145 ページ)。
- ▶ **開く**：カバー **①** の下部を軽く押しします。  
小物入れが開きます。
- ▶ ライター **②** を押し込みます。  
ヒーター部が熱せられると、ライター **②** は自動的に元の位置に戻ります。

## 12 V電源ソケット

### 使用上の注意

- ▶ エンジンスイッチを **1** の位置にまわします。(▷ 145 ページ)

ソケットは最大電力 180 W (15 A) のアクセサリに使用できます。アクセサリにはランプや携帯電話の充電器のようなアイテムが含まれます。

エンジンがかかっていない状態で長時間使用しないでください。バッテリーあがりの原因になります。

**i** 緊急カットオフにより、バッテリーの電圧が過度に降下しないようにします。バッテリーの電圧が過度に低い場合、ソケットの電源は自動的に停止します。これにより、エンジンを始動するための十分な電力が確保されます。

### フロントセンターコンソールの電源ソケット



アームレストカバー装備車

- ▶ **開く**：カバー **①** の下部を軽く押しします。  
小物入れが開きます。
- ▶ 12 V電源ソケットのカバー **②** を開きます。



アームレストカバー非装備車

- ▶ 12 V電源ソケットのカバー ①を開きます。

### 後席センターコンソールの電源ソケット



- ▶ 上端でカバー ① を引き出します。
- ▶ 12 V電源ソケットのカバー ②を開きます。

### トランク内のソケット



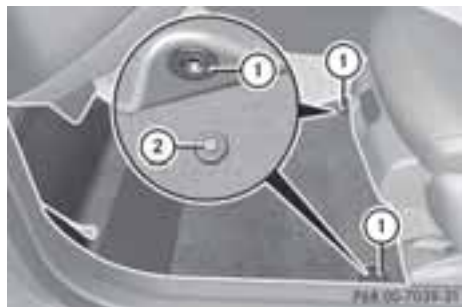
- ▶ 12 V電源ソケットのカバー ①を開きます。

### 運転席のフロアマット

#### ⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルをロックすることがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。ペダルに常に十分な空間があることを確認するために、フロアマットは操作の妨げにならないように、ペダルから所定の余裕をとってしっかりと装着してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。



- ▶ シートを後方に動かします。
- ▶ **取り付け**：フロアマットを足元に敷きます。
- ▶ フロアの凸部 ② の固定用ノブ ① を押します。
- ▶ **取り外す**：凸部 ② からフロアマットを引いて外します。
- ▶ フロアマットを取り外します。

### 後付けした防眩フィルム

ウインドウの内側に遮光フィルムなどを貼り付けると、携帯電話やラジオなどの電波受信に影響を与えるおそれがあります。導電性フィルムや金属コーティングが施されたフィルムを貼り付けた場合は、特に電波受信への影響が懸念されます。遮光フィルムについて、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

役に立つ情報 .....	292
エンジンルーム .....	292
エンジンルームの概要 .....	299
サービス .....	299
手入れ .....	300

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 23 ページ)

## エンジンルーム

## ボンネット

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

解除すると、走行中にボンネットが開いて視界の妨げとなり危険です。事故の危険性があります。

走行中にボンネットを解除しないでください。

## ⚠ 警告

開閉中、ボンネットが急に下がる場合があります。ボンネットの動作範囲では、けがの危険性があります。

ボンネットの動作範囲に誰もいないことを確認して、ボンネットを開閉してください。

## ⚠ 警告

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボ

ンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

## ⚠ 警告

エンジンルームには作動する構成部品があります。ラジエーターファンなどの特定の構成部品は、エンジンスイッチをオフにしても、動きつづけるか、自動的に作動を開始します。けがの危険性があります。

エンジンルームで作業を行わなければならない場合：

- エンジンスイッチをオフにします。
- ファンの回転範囲などの動いている部分は危険なので決して近づかないでください。
- 動いている部品に衣類が触れないようにしてください。

## ⚠ 警告

イグニッションシステムおよび燃料噴射システムは高電圧下で作動しています。高電圧を含んだ構成部品に接触すると、感電するおそれがあります。けがの危険性があります。

イグニッションをオンにしたら、イグニッションシステムまたは燃料噴射システムの構成部品に決して触れないでください。

## ボンネットを開く

## ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

## ⚠ 警告

ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動位置のままにしていると、ワイ



パーリンクージでけがをするおそれがあります。けがの危険性があります。ボンネットを開く前に、必ずワイパーおよびエンジンスイッチをオフにしてください。

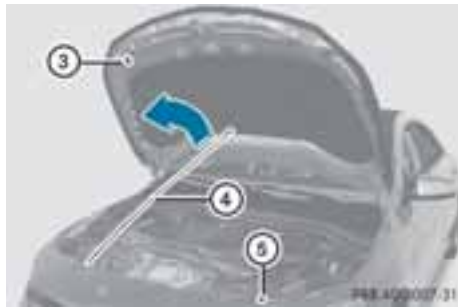
**!** ワイパーアームを起こしたままでボンネットを開かないでください。ボンネットとワイパーが接触して、損傷するおそれがあります。



- ▶ フロントワイパーが停止していることを確認します。
- ▶ ボンネットの解除レバー ① を引きまします。  
ボンネットが解除されます。



- ▶ ボンネットとラジエータートリム間の隙間に手を入れ、ボンネット固定レバー ② を左に押しまします。
- ▶ ボンネットが持ち上がります。



- ▶ ボンネットダンパー ④ をホルダー ⑤ から取り出します。
- ▶ ボンネットダンパー ④ を持ち上げ、黄色いクリップ ③ に差し込みまします。

### ボンネットを閉じる

- ▶ ボンネットを少し持ち上げ、同時にボンネットダンパー ④ を黄色のクリップ ③ から外します。
- ▶ ボンネットダンパー ④ を下方に動かし、ホルダー ⑤ に固定するまで押しまします。
- ▶ ボンネットを下げ、約 20 cmの高さから下ろします。
- ▶ ボンネットが確実に固定されていることを確認します。  
ボンネットがわずかに持ち上がる場合は、確実に固定されていません。閉じたボンネットを押さないでください。ボンネットを再度開き、少し力を入れて閉じまします。

### エンジンオイル

#### 全体的な注意事項

**!** エンジンオイルに添加剤を使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

**!** エンジンオイルは使用している間に汚れたり劣化するだけでなく、消費され

減少します。定期的にエンジンオイル量を点検し、必要に応じて補給または交換してください。

運転スタイルによって、車両は1,000 km 当たり最大 0.8 litres のオイルを消費します。新車のときや頻繁にエンジン回転数を上げて走行する場合は、オイル消費量はこれより増加します。

エンジンによっては、エンジンオイルレベルゲージの取り付け位置が異なる場合があります。

エンジンオイル量を点検するときは、以下の点に注意してください。

- 車両を水平な場所に停車している。
- エンジンが温まっている場合は、エンジンを停止してから約5分以上経過している。
- エンジンを短時間のみ始動した場合などエンジンが通常の作動温度でない場合は、計測を実行する前に約30分待ちます。

## オイルレベルゲージを使用してオイルレベルを点検する

### ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。



例

- ▶ オイルレベルゲージ ① をガイドチューブから引き抜きます。
- ▶ オイルレベルゲージ ① を拭きます。
- ▶ オイルレベルゲージ ① をガイドチューブにいっぱいまでゆっくり差し込んで、再び引き抜きます。オイル量は、MIN マーク ③ とMAX マーク ② の間にあれば適正です。
- ▶ オイル量がMIN マーク ③ 以下まで下がってきた場合は、エンジンオイルを1.0 L補給してください。

## エンジンオイルの追加

### ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

### ⚠ 警告

エンジンオイルがエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

エンジンオイルが補給口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを冷やし、エンジンを始動する前に、

エンジンオイルで汚れた構成部品を清掃してください。

## 📍 環境

エンジンオイルを補給するときは、こぼさないように注意してください。エンジンオイルが地面や排水溝に流れると、環境に悪影響を与えます。

**❗** サービスシステム装備車両のために承認されているエンジンオイルとオイルフィルターのみを使用してください。サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツの仕様に適合するためにテストされ、承認されたエンジンオイルとオイルフィルターのリストはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行うことができます。

エンジンまたは排気システムの損傷は以下のことに起因します。

- サービスシステムで承認されていない仕様のエンジンオイルやオイルフィルターの使用
- サービスシステムで要求される交換期間を過ぎた後のエンジンオイルやオイルフィルターの交換
- エンジンオイル添加剤の使用

**❗** オイルを過剰に補給しないでください。エンジンオイルを過剰に補給すると、エンジンまたは触媒が損傷する可能性があります。余分なエンジンオイルを抜き取ってください。



例：エンジンオイルキャップ

- ▶ キャップ ① を反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ エンジンオイルを補給します。オイルレベルがオイルゲージのMINマーク、またはそれ以下の場合は、エンジンオイルを 1.0 L 補充してください。
- ▶ キャップ ① を補給口に合わせ、時計回りにまわして取り付けます。キャップが元の場所に固定されていることを確認します。
- ▶ オイルレベルゲージを使用してオイル量を再度点検します (▷ 294 ページ)。

エンジンオイルについての詳しい情報は、(▷ 354 ページ) をご覧ください。

## 冷却水

### 冷却水レベルの点検

#### ⚠️ 警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムに圧力がかかっています。キャップを開くとき、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。けがの危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋と保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。

**❗** 必ずエンジンが冷えているときのみ冷却水量を点検し、調整してください(冷却水温度は約 40 °C以下)。冷却水温度が約 40 °C 以上のときに冷却水温度を点検すると、エンジンまたはエンジン冷却システムが損傷するおそれがあります。



例

- ▶ 車を水平な場所に停めます。車両が水平な場所にあり、エンジンが冷えているときのみ冷却水の量を点検します。
- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にまわします。(▶ 145 ページ)
- ▶ メーターパネルのエンジン冷却水温度表示を確認します。冷却水温度は約 40 °C以下でなければなりません。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** (▶ 145 ページ) の位置にします。
- ▶ キャップ **①** を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。
- ▶ キャップ **①** をさらに反時計回りにまわして取り外します。水温が低いときに冷却水の液面が補給口のマーカーパー **③** の高さには達して

いれば、リザーブタンク **②** 内の冷却水量は十分です。

- ▶ キャップ **①** を元通りに取り付け、時計回りにいっぱいまでまわします。

冷却水についての詳しい情報は、(▶ 355 ページ)をご覧ください。

## 冷却水の補給

### ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

### ⚠ 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

不凍液を充填する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液で汚れた構成部品を清掃してください。

- ❗** 冷却水が塗装面に付着しないように注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。



例

冷却水リザーブタンク ② 内の液量が低すぎる場合は、水平な場所に停止し、エンジンが冷えているときに冷却水を補給してください。

- ▶ キャップ ① を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。
- ▶ キャップ ① をさらに反時計回りにまわして取り外します。
- ▶ 冷却水をマーカーバー ③ まで補給してください。  
使用状況 (p. 355 ページ) に合わせた水道水と不凍/腐食剤の濃度で使用します。
- ▶ キャップ ① を合わせ、時計回りにいっぱいまでまわします。
- ▶ エンジンを始動し、約5分後に再度オフにして冷まします。
- ▶ 冷却水の量 (p. 295 ページ) を点検し、必要であれば補給します。

### 定期的な冷却水の交換

冷却水の品質は時間とともに劣化します。整備手帳の指示に従い、定期的に冷却水を交換してください。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

### エンジンのオーバーヒート

#### ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

#### ⚠ 警告

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。けがの危険性があります。


ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

#### ⚠ 警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムに圧力がかかっています。キャップを開くとき、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。けがの危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋と保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。

オーバーヒートしたときは：

- メーターパネルに約 120 °C 以上の冷却水温度が表示されている。
- マルチファンクションディスプレイに **冷却水が減少 停車して エンジンを停止** というメッセージが表示されている。
- エンジンがかかっているときに、メーターパネルに赤色の  冷却水警告灯が表示される。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

### 他のサービスプロダクトの点検および補給

### ウインドウウォッシャーとヘッドライトウォッシャーの補給

#### ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品

は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

### ⚠ 警告

ウインドウウォッシャー液の濃縮液は高い可燃性です。熱いエンジン部品または排気システムに触れると、発火することがあります。火災およびけがの危険性があります。

ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。



例

- ▶ **開く**： タブを持ってキャップ ① を引き上げます。
- ▶ 混合しておいたウォッシャー液を補給します。
- ▶ **閉じる**： キャップ ① を補給口に押し付けて、固定します。

ウインドウウォッシャーとヘッドライトウォッシャーのウォッシャー液リザーブタンクは共用です。

ウォッシャー液レベルが推奨される最低の1Lを下回った場合は、ウォッシャー液を補充することを促すメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます(▶ 263 ページ)。

ウインドウウォッシャー液/凍結防止液について、詳しくは(▶ 355 ページ)をご覧ください。

## ブレーキ液レベル

### ⚠ 警告

エンジン、ラジエーター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行う場合、けがの危険性があります。

なるべく、エンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

❗ ブレーキ液リザーブタンクのブレーキ液レベルがMINマークまたはそれ以下まで低下しているときは、ただちにブレーキシステムの漏れを点検してください。ブレーキパッド / ライニングの厚みも点検してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場での点検を受けてください。

絶対にブレーキ液を補給しないでください。これを行っても問題は解消しません。



例

ブレーキ液量の点検は、必ず水平な場所に停車した状態で行ってください。ブレーキ液の液面がブレーキ液リザーブタンクのMINマーク ② とMAXマーク ① の間にあれば適量です。

## エンジンルームの概要



例

- ① オイルレベルゲージ
- ② エンジンオイルキャップ
- ③ ブレーキ液リザーブタンク
- ④ ウォッシャー液リザーブタンク
- ⑤ 冷却水リザーブタンク

## サービス

### メンテナンスインジケーター

#### メンテナンスメッセージ

定期点検には以下のものがあります。

- 日常点検 - 点検時に異常を発見した場合は、できるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場にて車両の点検を受けてください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。日常点検に関する情報（別冊の整備手帳をご覧ください）

- 1年ごとの法定点検
- 2年ごとの法定点検

法定点検の次回期日を記したステッカーは、フロントウィンドウに貼付してあります。

① メンテナンスインジケーターには、法定点検の期日は考慮されません。

メンテナンスインジケーターは、次回の点検期日をお知らせします。

点検の種類と点検時期に関する情報（別冊の整備手帳をご覧ください）

さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

① メンテナンスインジケーターは、エンジンオイル量に関するいかなる情報も表示しません。エンジンオイル量(▶ 293ページ)に関する注意事項を遵守してください。

マルチファンクションディスプレイに以下のようなメンテナンスメッセージが数秒間表示されます。

- **メンテナンス A** あと .. 日です
- **メンテナンス A** 期限が切れます
- **メンテナンス A** .. 日超過しました

車両の使用条件により、次回の点検期日までの残りの時間や距離が表示されます。

数字や他の文字を伴うことがある文字 A または B は、メンテナンスの種類を表しています。A は小規模なメンテナンス、B は大規模なメンテナンスを示しています。

詳細な情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

メンテナンスインジケーターは、バッテリーの接続を外している間の期日を考慮していません。

時期に左右されるメンテナンススケジュールは、以下のように管理してください。

▶ バッテリーの接続を外す前に、マルチファンクションディスプレイに表示されるメンテナンス予定期日をメモしてください。

または

▶ バッテリーを再度接続した後に、ディスプレイに表示されているメンテナンス予定期日からバッテリーの接続を外していた期間を引いてください。

## メンテナンスメッセージを非表示にする

- ▶ ステアリングの **OK** または **←** スイッチを押します。

## メンテナンスメッセージを表示する

- ▶ イグニッションをオンにします。
- ▶ **◀** または **▶** スイッチを押して、**メンテナンス** メニューを選択します。
- ▶ **▲** または **▼** スイッチを押して、サブメニューの **メンテナンス** を選択し、**OK** スイッチを押して確定します。マルチファンクションディスプレイにメンテナンス予定期日が表示されます。

## メンテナンスに関する情報

### メンテナンスインジケータのリセット

**!** 不注意でメンテナンスインジケータをリセットしたときでも、この設定はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で修整することができます。

整備手帳に記載されているように点検作業を実施してください。さもないければ、主要部品や車両の摩耗が進んだり、損傷するおそれがあります。

点検作業の実施後、メルセデス・ベンツ指定サービス工場はメンテナンスインジケータのリセットを行いません。メンテナンス作業などに関する詳細もメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

## 特別な点検が必要なとき

所定のメンテナンス間隔は、車両の通常の条件を元にしてしています。車両が過酷な使用条件や、車両に負荷のかかる以下のような状態で操作されるときは、より頻繁にメンテナンス作業を行う必要があります。

- 通常の市街地走行であっても頻繁に停止を繰り返すとき
- 主に短い距離を走行するとき
- たびたび山間地や路面の悪いところを走行するとき
- エンジンを長い時間アイドリングさせることが多いとき

上記または同様の作動条件では、エアフィルター、エンジンオイルおよびオイルフィルターなどを短い周期で交換してください。車両に高い負荷がかかるときには、タイヤはより短い周期で交換する必要があります。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

## 手入れ

### 全体的な注意事項

#### 🌀 環境

空の容器や使用済みのクリーニングクロスは、環境に配慮した方法で廃棄してください。

**!** お車の手入れをされる場合は、次のものは絶対に使用しないでください。

- 乾いた布や目の粗い布、硬めの布など
- 研磨剤を含む洗剤
- 溶剤
- 溶剤を含む洗剤

強く擦らないでください。

リングやスクレーパーなどのかたい物が、塗装面や保護膜に触れないようにし



てください。塗装面や保護膜が損傷するおそれがあります。

**!** 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングを、ブレーキ制動により加熱して乾燥させます。その後で駐車してください。

定期的な車の手入れにより、長い期間品質を保つことができます。

メルセデス・ベンツが推奨し、承認した手入れ用品およびクリーナーを使用してください。

## 外装の手入れ

### 自動洗車機

#### 警告

自動洗車機で洗車した直後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。事故の危険性があります。

車両を洗車した後は、完全にブレーキの性能が元に戻るまでは道路状況に注意して慎重にブレーキ操作を行ってください。

**!** ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

**!** けん引式の洗車機で洗車するときは、オートマチックトランスミッションが **N** の位置にあることを確認してください。

トランスミッションが他の位置にあると、車両の損傷につながります。

**!** 注意：

- サイドウィンドウとスライディングルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- ベンチレーション / ヒーターの送風が停止していること (OFF スイッチが押されている / 送風コントローラーが **0** の位置にある)。
- ワイパースイッチが **0** の位置になっていること

車両を損傷するおそれがあります。

最初から自動洗車機で洗車することができます。

ひどい汚れは、自動洗車機で洗車をする前に洗ってください。

自動洗車機を使用した後は、フロントウインドウやワイパーブレードのワックスを拭いてください。フロントウインドウの残留物に起因する汚れを防ぎ、ワイパーの音を低減します。

### 手洗い

国によっては、洗車は専用の洗車場でのみ許可されている場合があります。各国の法規を遵守してください。

- ▶ 熱いお湯は使用せず、直射日光の下で洗車しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジを使用して清掃してください。
- ▶ メルセデス・ベンツにより承認されたカーシャンプーなどの中性洗剤を使用してください。
- ▶ 低圧の水流で車両全体に水をかけてください。
- ▶ 外気取り入れ口には直接水をかけないでください。
- ▶ スポンジをこまめにすすぎながら、十分な量の水を使用します。

- ▶ 車両をきれいな水で洗い流した後、セーム皮で全体を拭きます。
- ▶ 塗装面で洗浄液を乾燥させないでください。

冬に車両を使用したときは、注意しながら道路の塩分堆積物のすべての跡をできるだけ早く除去してください。

## 高圧洗浄機器

### ⚠ 警告

円形ジェットノズル（粉塵グラインダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。車両の清掃をするときに円形ジェットノズル付きの高圧式スプレーガンを使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

**❗** 車両と高圧式スプレーガンのノズルの間には、常に最低でも約30 cm以上の距離を空けてください。適正な距離については、製品のメーカーにご確認ください。

車両を清掃するときは、高圧式スプレーガンのノズルを円を描くように動かしてください。

以下のものには直接向けないでください。

- タイヤ
- ドアの間隙、ルーフの間隙、継ぎ目など
- 電気装備
- バッテリー
- コネクター
- ライト
- シール

- トリム部品
- 換気用の隙間

シールや電気装備が損傷して、水漏れや故障につながります。

## 車輪の清掃

**❗** ホイールには酸性ホイールクリーナーを絶対に使用しないでください。ホイールボルトやブレーキ部品が損傷するおそれがあります。

**❗** 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキディスクやブレーキパッド/ライニングを、ブレーキ制動により加熱して乾燥させます。その後で駐車してください。

## 塗装面の清掃

**❗** ボディの表面には、次のものを貼り付けしないでください。

- ステッカー
- フィルム
- マグネット

塗装面が損傷するおそれがあります。

- ▶ 可能であれば、不純物は強くこすらないようにしてただちに取り除いてください。
- ▶ 虫の死がい、インセクトリムーバーをしみこませ、その後で手入れを行なった範囲を洗い流してください。
- ▶ 鳥のふんは、水をしみこませ、その後で手入れを行なった範囲を洗い流してください。
- ▶ 冷却水、ブレーキ液、樹液、オイル、燃料、グリースなどは、エーテルやラ

イターオイルを染み込ませた布で軽く拭いて、取り除いてください。

- ▶ タールの汚れは、タール除去剤を使用して取り除いてください。
- ▶ ワックスは、シリコン除去剤を使用して取り除いてください。

以下のものは常に完全に補修ができるとはかぎりません。

- ・ひっかき傷
- ・腐食堆積物
- ・錆に侵された部分
- ・適切でない手入れに起因する損傷

このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

### マットペイントの手入れと取り扱い

**!** 車両や軽合金ホイールを磨かないでください。磨くと光沢がある仕上がりの原因になります。

**!** 以下により塗装に艶が出て、マット効果が減少することがあります。

- ・不適切な素材での力強い研磨
- ・洗車機の頻繁な使用
- ・直射日光の下での洗車

**!** 塗装クリーナーや研磨・艶出し用品、ワックスのような光沢復活剤を使用しないでください。これらの製品は、高い艶がある表面のみに適したものです。これらの製品をマット仕上げ車両に使用すると、表面の著しい損傷(光沢のあるシミ部分)につながります。

塗装面の補修は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

**!** ホットワックス仕上げによる洗車サービスは絶対に利用しないでください。

車両がクリアマット仕上げの場合はこれらの注意に従ってください。適切でない

取り扱いにより塗装に損傷を与えるのを防ぐのに役立ちます。

これらの注意はクリアマット仕上げの軽合金ホイールにも当てはまります。

**i** 車両は、柔らかいスポンジやカーシャンプー、たくさんの水を使用して手で洗うようにしてください。

**i** インセクトリムーバーおよびカーシャンプーは、メルセデス・ベンツが推奨し、承認した中からのみお選びください。

### ウインドウの清掃

#### 警告

ワイパーを作動の位置のままにしていると、フロントウインドウまたはワイパーブレードの清掃中に、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。フロントウインドウまたはワイパーブレードを清掃する前に、必ずワイパーおよびエンジンスイッチをオフにしてください。

**!** 垂直になっているときのみフロントガラスからフロントワイパーを起こしてください。ボンネットを損傷するおそれがあります。

**!** ウインドウの内側を清掃する場合は、乾いた布や、研磨剤、有機溶剤や有機溶剤を含むクリーナーを使用しないでください。アイススクレーパーや指輪などの硬質のものがウインドウの内側に触れないようにしてください。ウインドウを損傷する危険性があります。

**!** フロントウインドウおよびリアウインドウの排水口を定期的に清掃してください。特定の状況では、葉、花びら、花粉などの堆積物により排水されなくなり、腐食による損傷や電子部品の損傷につながるおそれがあります。

- ▶ 湿らせた布とメルセデス・ベンツが推奨し、承認したクリーナーでウインドウの内側と外側を清掃してください。

## ワイパーブレードの清掃

### ⚠ 警告

ワイパーを作動の位置のままにしていると、フロントウインドウまたはワイパーブレードの清掃中に、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

フロントウインドウまたはワイパーブレードを清掃する前に、必ずワイパーおよびエンジンスイッチをオフにしてください。

- ❗ 垂直になっているときのみフロントガラスからフロントワイパーをを起こしてください。ボンネットを損傷するおそれがあります。

- ❗ ワイパーブレードを持って引っ張らないでください。ワイパーブレードが損傷するおそれがあります。

- ❗ ワイパーブレードを頻繁に清掃したり、強く擦ったりしないでください。グラフィットコーティングが損傷するおそれがあります。ワイパーからノイズが発生する原因になります。

- ▶ ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。
- ▶ 湿らせた布を使用して、注意してワイパーブレードを清掃します。
- ▶ イグニッションをオンにする前に、ワイパーを再度元に戻します。

- ❗ ワイパーアームを元の位置に確実に固定します。ワイパーアームが不意に当たると、フロントウインドウに傷が付くおそれがあります。

## 車外ライトの清掃

- ❗ 必ずプラスチック製レンズに適した洗剤やクリーニングクロスのみを使用し

てください。適切でない洗剤やクリーニングクロスは、車外ライトのプラスチック製レンズを傷つけたり、損傷するおそれがあります。

- ▶ メルセデス・ベンツ純正シャンプーやクリーニングクロスなど、湿らせたスポンジと中性洗剤を使用して車外ライトのプラスチック製レンズを清掃してください。

## ドアミラー方向指示灯の清掃

- ❗ 必ずプラスチック製レンズに適した洗剤やクリーニングクロスのみを使用してください。適切でない洗剤やクリーニングクロスは、ドアミラー方向指示灯のプラスチック製レンズを傷つけたり、損傷するおそれがあります。

- ▶ メルセデス・ベンツ純正シャンプーやクリーニングクロスなど、湿らせたスポンジと中性洗剤を使用してドアミラーユニットにあるドアミラー方向指示灯のプラスチック製レンズを清掃してください。

## センサーの清掃

- ❗ 高圧式スプレーガンを使用してセンサーを清掃するときは、スプレーガンのノズルと車体の距離を約30 cm以上離してください。適正な距離については、製品のメーカーにご確認ください。



- ▶ 走行装備のセンサー ① は、カーシャンプーを混ぜた水で汚れを落とし、柔らかい布で拭き取ってください。

### パーキングアシストリアビューカメラの清掃

- ❗ 高圧式スプレーガンを使用する場合は、カメラのレンズやパーキングアシストリアビューカメラの周囲を避けてください。



- ▶ 停車していることを確認し、エンジンスイッチを 2 の位置にします。
- ▶ パーキングアシストリアビューカメラのカバーを開く：オーディオシステム / COMANDシステムを起動して、**[SYS]** スイッチを押します。

- ▶ オーディオシステム / COMAND コントローラーをまわして **[SYS]**、**システム** を選択し、押して **[OK]** で確定します。
- ▶ **リアビューカメラ** を選択し、押して **[OK]** で確定します。
- ▶ **カメラのカバーを開けてください** を選択し、**[OK]** で確定します。  
360° カメラのカバーが開きます。
- ▶ **パーキングアシストリアビューカメラを清掃する**：カメラレンズ ① はきれいな水に浸した柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

### マフラーの清掃

路面の小石や腐食性の環境物質などの不純物が付着すると、マフラーの表面に錆が発生する原因になります。特に冬の間や洗車後など、定期的に清掃することにより、マフラーの元来の輝きを取り戻すことができます。

- ❗ ホイールクリーナーなど、酸性のクリーナーでマフラーを清掃しないでください。

- ▶ メルセデス・ベンツ純正の専用カーケア製品でマフラーを清掃してください。

- ❗ ブラックマフラーを装備したAMG車：メッキ用研磨剤を使用して黒いクロームメッキ面を磨かないでください。滑らかな黒い光沢が失われるおそれがあります。洗車後は、毎回オイルを軽く含ませた布でマフラー表面を拭いてください。このオイルには、市販のエンジンオイル WD 40またはBallistolが適しています。

## 車内の手入れ

### ディスプレイの清掃

❗ ディスプレイの手入れには、以下のものは絶対に使用しないでください。

- アルコールやシンナー、ガンソリン
- 研磨剤を含む洗剤
- 市販の家庭用洗剤

これらを使用すると、ディスプレイ表面のコーティングを傷つけるおそれがあります。ディスプレイ表面を強くこすらないでください。ディスプレイが損傷して修理できなくなるおそれがあります。

- ▶ ディスプレイを清掃する前に、オフになっていて、冷めていることを確認します。
- ▶ 市販のマイクロファイバークロスとTFT液晶ディスプレイクリーナーを使用して、ディスプレイ表面を清掃します。
- ▶ 乾いたマイクロファイバークロスを使用してディスプレイ表面を拭きます。

### プラスチックトリムの清掃

#### ⚠ 警告

手入れおよび清掃で、溶剤を含む洗剤を使用すると、ダッシュボードの表面がもろくなります。エアバッグが展開するときに、プラスチック部品が破損するおそれがあります。けがの危険性があります。

ダッシュボードの手入れおよび清掃で、溶剤を含む洗剤を使用しないでください。

❗ プラスチックの表面には、以下のものを貼り付けしないでください。

- ステッカー
- フィルム
- 芳香ボトルや類似のもの

プラスチックを損傷するおそれがあります。

❗ 化粧品、殺虫剤、日焼け止めなどが樹脂製トリムに付着しないようにしてください。表面の光沢や質感が損なわれるおそれがあります。

- ▶ 湿らせたマイクロファイバークロスなどの柔らかい布でプラスチックトリムを拭きます。
- ▶ **汚れがひどいとき**：メルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたカーケア用品および清掃用品を使用してください。表面が一時的に変色することがあります。表面が再度乾くまでお待ちください。

### ステアリングおよびギアまたはセレクターレバーの清掃

- ▶ 湿らせた布、またはメルセデスベンツによって推奨され承認された手入れ用品を使用して全体を拭いてください。

### ウッドトリムおよびトリムエレメントの清掃

❗ タール除去剤、ホイールクリーナー、光沢剤、ワックスなどの有機溶剤を絶対に使用しないでください。トリム表面を傷つけるおそれがあります。

- ▶ ウッドトリムやトリム部品は、湿らせたマイクロファイバークロスなどの柔らかい布で拭いてください。
- ▶ **汚れがひどいとき**：メルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたカーケア用品および清掃用品を使用してください。

### シート表皮の清掃

#### 全体的な注意事項

❗ 純正本革、人工皮革またはDINAMICAの表皮の清掃には、マイクロファイバークロスを使用しないでください。

い。頻繁に使用すると、表皮を損傷するおそれがあります。

**i** シートの外観と快適性をいつまでも保つには、定期的な手入れが大切です。

### 本皮シートカバー

革は天然素材です。

表面には次のように自然な特徴があります。

- シボ（表面の凹凸）の不均一
- 革本来の成長痕や傷
- 微妙な色の違い

これらは革本来の特徴であり、製品の欠陥ではありません。

**!** 革本来の特性を保つには、以下の日常の手入れを遵守してください。

- 純正本革の表皮は、湿らせた布で注意して清掃し、その後に乾いた布で表皮を拭きます。
- 革が濡れないように注意してください。硬化やひび割れにつながります。
- メルセデス・ベンツがテストし、承認したレザーケア用品のみを使用してください。詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

### そのほかの素材のシートカバー

**!** 清掃するときには、以下のことに注意してください。

- 人工皮革のカバーは、1%の洗剤（洗濯液など）を含む溶液で湿らせた布で清掃します。
- 布の表皮は、1%の洗剤（洗濯液など）を含む溶液で湿らせたマイクロファイバークロスで清掃します。注意深く汚れを落とし、シート全体をまんべんなく拭き取り、拭き跡が残らないようにします。その後、シートを乾燥させます。清掃の効果は、汚れの種類

およびどの程度の期間汚れていたかによります。

- アルカンタラ® の表皮は、湿らせた布で清掃します。目に見える線が残らないように、シート全体をまんべんなく拭きます。

### シートベルトの清掃

#### ⚠ 警告

シートベルトは漂白や染色によって劣化する可能性があります。その結果、シートベルトが事故のときにちぎれたり、機能しなくなる可能性があります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

シートベルトを漂白したり、染色させたり決してしないでください。

**!** シートベルトの手入れには、ケミカル洗剤を使用しないでください。約80℃以上の温度や直射日光に当てて乾燥させないでください。

▶ めるま湯と中性洗剤を使用します。

### ルーフライニングとカーペットの清掃

▶ **ルーフライニング**：非常に汚れている場合は、柔らかいブラシ、またはメルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたクリーナーを使用してください。

▶ **カーペット**：メルセデス・ベンツによって推奨および承認されてるカーペットや布用のクリーナーを使用します。

役に立つ情報 .....	310
車載品の収納場所 .....	310
タイヤのパンク .....	311
バッテリー（車両） .....	317
ジャンプスタート .....	321
けん引およびけん引始動 .....	324
ヒューズ .....	327



## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▶ 23 ページ)

## 車載品の収納場所

## 非常信号用具

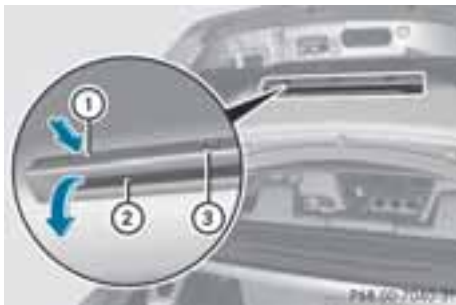
車内には懐中電灯が装備されています。運転席ドアまたは助手席ドアのいずれかの小物入れに収納されています。

**i** 新品の懐中電灯には電池の自然放電を防ぐため、電池の間に紙片が挟まれています。初めて使用する前に、紙片を取り除きます。

**i** 懐中電灯が十分な明るさで点灯することを定期的に点検してください。電池が切れたら交換してください。

## 停止表示板

## 停止表示板の取外し / 交換



- ▶ **取外し**：トランクリッドを開きます。
- ▶ 停止表示板ホルダ ① を矢印の方向に押しつけて開きます。クリップ ③ を持ち上げ、停止表示板 ② を取り外します。
- ▶ **②元に戻す**：停止表示板を停止表示板ホルダー ① に戻します。
- ▶ 停止表示板ホルダー ① を閉じ、固定するまで押し上げます。

## 停止表示板の組み立て



- ▶ スタンド ③ を横に引き出します。
- ▶ 側方の反射板 ② を引き上げて三角形を作り、上部のフック ① で固定します。

## 救急セット



- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ 救急セット ① を取り出します。

**i** 最低1年に1回、救急セット①の使用期限が切れていないか確認してください。中身が揃っているか確認し、なくなりかけたものは補充してください。

### 車載工具キット

#### 全体的な注意事項

タイヤフィット装備車：タイヤフィットはトランクフロア下の収納部にあります。

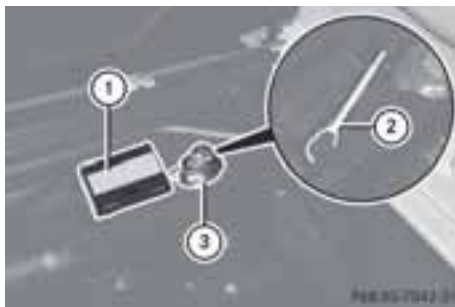
タイヤ交換工具キット装備車：タイヤ交換工具キットはトランクフロア下の収納部にあります。

**i** 国による仕様の違いとは別に、車両にはタイヤ交換工具は装備されないことがあります。タイヤ交換用ツールの中にはその車両専用のものも含まれていません。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

必要なタイヤ交換工具としては、例えば以下が含まれることがあります。

- ジャッキ
- 輪止め
- ホイールレンチ

### タイヤフィット装備車



- ① 電動エアポンプ
- ② けん引フック
- ③ タイヤフィットの充填ボトル

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ トランクフロアを引き上げます (▷ 283 ページ)。

**i** けん引フック②は電動エアポンプ①の下にあります。

### タイヤ交換工具キット装備車

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ トランクフロアを引き上げます (▷ 283 ページ)。
- ▶ タイヤ交換工具キットを取り外します。

タイヤ交換工具キットには以下のものが含まれます。

- ジャッキ
- ホイールレンチ
- 手袋
- 折りたたみ式輪止め

### タイヤのパンク

#### 車両の準備

車両によって、以下の装備があります。

- MOExtendedタイヤ（ランフラットタイヤ） (▷ 312 ページ)

MOExtendedタイヤ装備車の場合、車両の準備作業は必要ありません。

- タイヤフィット (▶ 311 ページ)
  - 応急用スペアタイヤ (一部の国のみ)
- ホイールの交換 / 装着に関する情報 (▶ 340 ページ)

- ▶ 走行中にタイヤがパンクしたときは、交通の妨げにならず、地面がかたく滑らない水平な場所に停車します。
- ▶ 非常点滅灯を点滅させます。
- ▶ 車両が動き出さないように固定してください。 (▶ 163 ページ)
- ▶ なるべく前輪を直進位置にしてください。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 乗員全員を車両から降ろします。そのとき、彼らが危険にさらされないことを確認してください。
- ▶ タイヤ交換をするときは、危険な範囲の近くに誰もいないことを確認してください。作業員以外は、フェンスなどで区切られた安全な場所に避難してください。
- ▶ 運転者も車から降ります。降車時は周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 運転席ドアを閉じます。
- ▶ 適切な距離を離して停止表示板を置きます (▶ 310 ページ)。法規を遵守してください。

**i** 高速道路や自動車専用道路で駐停車する場合は、周囲に注意を促すため、停止表示板を置くことが法律で義務付けられています。

**i** MOExtendedタイヤ装備車には、タイヤフィットを標準装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットキットは

メルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

## MOExtendedタイヤ (ランフラットタイヤ)

### 全体的な注意事項

MOExtendedタイヤ (ランフラット特性を持つタイヤ) で、1本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。該当のタイヤの損傷がどこにあるかわからない状態です。

タイヤウォールのMOExtendedマークでMOExtendedタイヤを識別できます。このマークはタイヤサイズ表示、耐荷重性能、スピードインデックスの横に表示されています。

MOExtended タイヤは、作動しているタイヤ空気圧警告システムとの組み合わせでのみ使用することができます。

### マルチファンクションディスプレイに空気圧警告メッセージが表示された場合：

- ディスプレイメッセージの指示に従ってください。 (▶ 258 ページ)
- タイヤに損傷があるか確認してください。
- 運転する際は、以下の注意事項を遵守してください。

最長走行距離は、車両に部分的に積載しているときは約 80 km、車両にいったい積載をしているときは約 30 km です。

車両の荷物に加えて、走行可能な距離は以下によって異なります。

- 走行速度
- 道路状況
- 外気温度

ランフラットモードで走行可能な距離は、極端な走行状況/操作によって短く

なったり、穏やかな運転スタイルによって長くなることがあります。

走行可能な距離は、タイヤ空気圧警告システムの警告メッセージが、マルチファンクションディスプレイに表示されたときに起点になります。

最高速度が約 80 km/hを超えないようにしてください。

**①** 1本または4本全てのタイヤを交換するときは、必ず以下のものだけを使用してください。

- 車両に指定されたタイヤサイズ、
  - 「MOExtended」マーク付きタイヤ
- タイヤがパンクし、MOExtendedタイヤと交換できない場合は、一時的な措置として標準タイヤを使用してください。必ず適正なサイズと適正な種類（サマータイヤまたはウィンタータイヤ）を使用してください。

**①** MOExtendedタイヤ装備車には、タイヤフィットを標準装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットキットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

## 重要な安全上の注意

### ⚠ 警告

エマージェンシーモードで運転すると、コーナリングや急加速、ブレーキ時などに走行特性が低下します。事故の危険性があります。

規定の最高速度を超えないでください。急激なステアリング操作、運転操作、障害物（縁石、穴、オフロード）を超える運転を避けてください。これは特に荷物積載時にあてはまります。

以下の場合、エマージェンシーモードでの運転は中止してください。

- 大きい異音が聞こえるとき
- 車に振動が発生するとき
- 煙やタイヤの焦げる臭いが発生するとき
- ESP®が常時作動するとき
- タイヤのサイドウォールに裂け目があるとき

エマージェンシーモードでの運転のあとは、さらに使用できるかの確認のためにホイールリムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。不具合のあるタイヤは新品と交換してください。

## タイヤフィット

### 重要な安全上の注意事項

タイヤフィットはタイヤシーラント剤です。

タイヤフィットを使用して、4 mm 以下のパンク、特にタイヤトレッドにあるものをふさぐことができます。タイヤフィットは、約 -20 °Cまでの外気温度で使用できます。

### ⚠ 警告

以下の状況のときは、タイヤフィットが十分に機能しないため、タイヤを適切に修理することはできません。

- 上記に記した以上のタイヤの裂け目や穴
- ホイールリムが損傷しているとき
- 非常に低い空気圧、またはパンクした状態で走行したとき

事故の危険性があります。

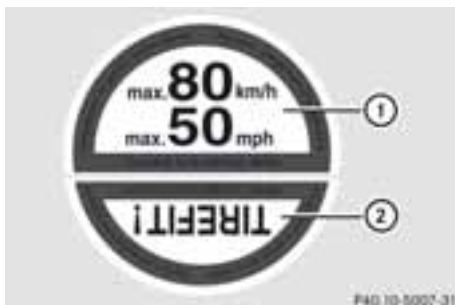
それ以上走行しないでください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

### ⚠ 警告

タイヤフィットは有害で、炎症を起こす原因となります。皮膚、眼、服に付着させたり、吸い込んだりしないようにしてください。タイヤフィットの臭気を吸い込まないでください。タイヤフィットは子供の手の届かないところに保管してください。負傷するおそれがあります。タイヤフィットが付着した場合は、以下の指示にしたがってください。

- タイヤフィットをただちに水道水で皮膚から洗い流してください。
- タイヤフィットが眼に付着した場合は、ただちに水道水で十分に洗い流してください。
- 万一、タイヤフィットを飲み込んだ場合は、ただちに水道水で口を十分すすぎ、水道水を大量に飲ませてください。無理に吐かせないでください。ただちに専門医の診断を受けてください。
- タイヤフィットが付着した衣類は、ただちに着替えてください。
- アレルギー反応が生じた場合は、ただちに専門医の診断を受けてください。

### タイヤフィットの使用



タイヤフィットステッカー、2部分

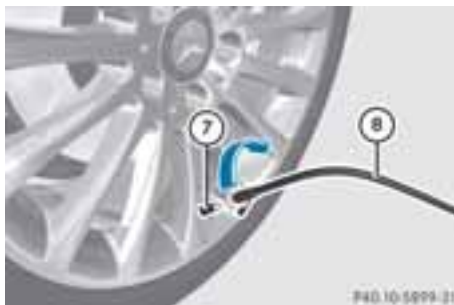
- ▶ タイヤに刺さったクギやネジなどは取り除かないでください。
- ▶ ラゲッジルームフロア下の収納スペースからタイヤフィットのボトル、付属のタイヤフィットステッカー、および

タイヤ充填コンプレッサーを取り出します(▷ 311 ページ)。

- ▶ タイヤフィットステッカーの部分 ① を運転者の見やすい位置に貼ります。
- ▶ タイヤフィットステッカーの部分 ② を不具合のあるタイヤのホイールのバルブ付近に貼ります。



- ▶ 充填ホース ⑥ およびプラグ ③ をタイヤ充填コンプレッサーのケースの底部から取り外します。
- ▶ プラグが固定されるまで、黄色の充填ホースコネクタをタイヤフィットのボトル ① の黄色のキャップ ⑤ の取り付け部にスライドします。
- ▶ 前部のシーリングリングで、キャップおよび両方のフックが固定されるまで、タイヤフィットのボトル ① の黄色のキャップ ⑤ をタイヤ充填コンプレッサー ② の取り付け部にスライドします。



- ▶ パンクしたタイヤのバルブ ⑦ からキャップを取り外します。
- ▶ 充填ホース ⑧ をバルブに締めます。
- ▶ 電源プラグ ③ を車内のライター (▶ 287 ページ) のソケットまたは 12 V電源ソケット (▶ 288 ページ) に差し込みます。
- ▶ イグニッションスイッチを 1 の位置にまわします (▶ 145 ページ)。
- ▶ タイヤ充填コンプレッサーのオン/オフスイッチ ④ を ON に押します。  
電動エアポンプが作動し始めます。応急用スペアタイヤに空気が送り込まれます。

**!** 最初に、タイヤにタイヤフィットが送り込まれます。このとき、空気圧が一時的に約 500 kPa (5 bar / 73 psi) まで高まることがあります。

**この間は、タイヤ充填コンプレッサーを停止しないでください。**

- ▶ タイヤ充填コンプレッサーを最大約 10 分間作動させます。その後にはタイヤは約 200 kPa (2.0 bar/29 psi) 以上の圧力になっていなければなりません。

**!** 絶え間なくタイヤ充填コンプレッサーを約 10 分以上作動させないでください。オーバーヒートするおそれがあります。冷えたら再度、タイヤ充填コンプレッサーを作動させることができます。

タイヤ空気圧が 200 kPa (2.0 bar/29 psi) に達した場合、(▶ 315 ページ) をご覧ください。

タイヤ空気圧が 200 kPa (2.0 bar/29 psi) に達しなかった場合、(▶ 315 ページ) をご覧ください。

**!** タイヤフィットが漏れ出た場合は、そのまま乾燥させてください。フィルム状になり、剥がすことができます。

衣類にタイヤフィットが付着した場合は、できるだけ早くパークロロエチレンでクリーニングしてください。

### 不十分なタイヤ空気圧

約 10 分後に空気圧が約 200 kPa (2.0 bar/29 psi) に達していない場合は、以下をご覧ください。

- ▶ 電動エアポンプを停止します。
- ▶ パンクしたタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ ごく低速で約 10 m 前進または後退します。
- ▶ 再度、タイヤに空気を注入します。

最大で約 10 分後にタイヤ空気圧が少なくとも約 200 kPa (2.0 bar/29 psi) でなければなりません。

#### 警告

規定の時間が経過したのに、必要十分なタイヤ空気圧に達しない場合は、タイヤは致命的に損傷しており、タイヤフィットによるタイヤ修理はできません。損傷したタイヤや非常に低下したタイヤ空気圧により、車両のブレーキや走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

それ以上走行を続けないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

### 十分なタイヤ空気圧

#### 警告

タイヤフィットで一時的に修理したタイヤは車両操縦性が損なわれてしまい、高速走行には適しません。事故の危険性があります。

そのため、状況に応じて運転スタイルを調整し慎重に走行してください。タイヤフィットで修理したタイヤで走行する場合は、指定された最高速度を超過しないでください。

**!** 使用後は、ホースから余分なタイヤフィットが漏れることがあります。タイヤフィットが付着すると、シミの原因になります。

したがって、ホースはタイヤフィットが収納されていた袋に入れてください。

#### 🌀 環境保護に関する注意

使用済みのタイヤフィットのボトルを廃棄処分する場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご依頼ください。

約 10 分後に空気圧が約 200 kPa (2.0 bar/29 psi) に達した場合は、以下をご覧ください。

- ▶ 電動エアポンプを停止します。
- ▶ パンクしたタイヤのバルブから充填ホースを外します。
- ▶ タイヤフィットのボトル、電動エアポンプおよび停止表示板を収納します。
- ▶ **ただちに発進します。**

タイヤフィットで修理したタイヤの最高速度は 80 km/h です。タイヤフィットステッカーの上部は必ず運転者が簡単に認識できるメーターパネル上に貼り付けてください。

- ▶ 約 10 分間走行した後で車を止め、電動エアポンプを取り付けてタイヤ空気圧を点検してください。  
この時、タイヤ空気圧は 130 kPa (1.3 bar/19 psi) 以上でなければなりません。

#### ⚠ 警告

短時間の走行後に規定タイヤ空気圧に達しない場合は、タイヤがひどく損傷しています。この場合は、タイヤフィットでタイヤを修理することができません。タイヤの損傷およびタイヤ空気圧が低すぎることに、車両のブレーキ操作や操縦性が著しく損なわれるおそれがあります。事故発生の危険性があります。

それ以上走行を続けずに、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

- ▶ まだ 130 kPa (1.3 bar/19 psi) 以上の場合はタイヤ空気圧を調整します (値は燃料給油フラップをご覧ください)。
- ▶ **タイヤ空気圧を上げる**： 電動エアポンプのスイッチを入れます。



- ▶ **タイヤ空気圧を下げる**： 空気圧ゲージ ② の横にある空気圧調整スイッチ ① を押します。



- ▶ タイヤ充填コンプレッサーからタイヤフィットのボトルを取り外すためには、黄色いキャップのロックタブを一緒に押します。
- ▶ タイヤフィットのボトルをタイヤ充填コンプレッサーから引き出します。充填ホースはタイヤフィットのボトルにとどまります。

- ▶ タイヤフィットのボトル、電動エアポンプおよび停止表示板を収納します。
- ▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。
- ▶ タイヤフィットのボトルおよび充填ホースはできるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。
- ▶ タイヤフィットのボトルは4年ごとにメルセデス・ベンツ指定サービス工場

## バッテリー（車両）

### 重要な安全上の注意事項

取り外し、または取り付けなどのバッテリーの作業は、専門的な知識および専用工具の使用が必要です。したがって、バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

#### ⚠ 警告

バッテリーに不適切な作業を行なうと、例えばショートにつながり、車両の電子部品を損傷します。これにより、ライトシステム、ABS（アンチロック・ブレーキシステム）またはESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）のような安全に関連したシステムに機能の制限を与えることにつながるおそれがあります。車両の操作安全性が制限されるおそれがあります。例えば、以下のときに車両のコントロールを失うおそれがあります。

- ブレーキ時
- 急なステアリング操作時、および/または車両速度が道路の状態に合っていないとき

事故の危険性があります。

ショート、または似たような出来事

サービス工場にご連絡ください。それ以上走行しないでください。バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

ABS (▷ 62 ページ) およびESP® (▷ 66 ページ) に関するさらなる情報

#### ⚠ 警告

静電気を帯びていると、火花が発生してバッテリーから発生する高可燃性のガスに引火することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱う前に、車体に触れて身体の静電気を放電させてください。

バッテリーを充電している間、およびジャンプスタートを行なっているときは、可燃性の高い混合ガスが発生します。

お客様にも、そしてバッテリーにも静電気が帯電していないことを常に確認してください。静電気の帯電は以下のときなどに発生します。

- 合成繊維製の衣服の着用しているとき
- 衣服とシートとの間の摩擦が起こるとき
- カーペットまたは他の合成物質の上でバッテリーを押す、または引いたとき
- バッテリーを布で拭いたとき

#### ⚠ 警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- 接続されたバッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーの接続および切り離しを行なうときは、記載された手順通りにバッテリー端子を接続することが重要です。



- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルの接続、切り離しを行なうときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子の接続または切り離しを行なわないでください。

### ⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。けがををするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

### ♻ 環境保護に関する注意



電池には環境汚染物質が含まれています。電池を家庭用ゴミとして廃棄することは法律で禁じられています。使用済みの電池は個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください。



電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。使用済みの電池は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお持ちいただくか、ボタン電池専用の回収箱に廃棄してください。

**!** メルセデス・ベンツ指定サービス工場  
でバッテリーの点検を定期的に受けてください。

整備手帳のメンテナンスインターバルを確認するか、詳しくはメルセデス・ベン

ツ指定サービス工場におたずねください。

**!** バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。やむを得ずお客様自身でバッテリーを切り離す必要がある場合は、以下の注意事項をお守りください。

- エンジンを停止し、キーを抜き取ります。メーターパネルのすべての表示灯が消灯していることを確認します。オルタネーターなどの電子部品を損傷するおそれがあります。
- 先にマイナス端子、次にプラス端子を外します。決して端子を逆に接続しないでください。車両の電子部品を損傷するおそれがあります。
- オートマチックトランスミッション搭載車では、バッテリーを切り離した後、シフトポジションが **P** にロックされます。車両が動き出さないように固定されます。そのため、車両を動かすことができなくなります。

運転中はバッテリーおよびプラス端子のカバーを確実に装着しておく必要があります。

バッテリーを取り扱うときは、安全上の注意事項および防護措置を守ってください。



警告



バッテリーを取り扱うときは、火気や裸火、タバコは禁止です。火花の発生は避けてください。



バッテリー液は腐食性があります。皮膚、眼または衣服への付着を防いでください。

手袋やエプロン、マスクなど、適切な保護衣を着用してください。

清潔な水で、ただちに飛散した酸を洗い流してください。必要であれば、医師の診察を受けてください。

保護眼鏡を着用してください。



子供を近付けないでください。



取扱説明書の指示に従ってください。



安全のため、バッテリーは必ず純正品を使用してください。これらのバッテリーは、衝撃抵抗が高いため、事故の際にバッテリーが損傷した場合にも結果として、乗員が酸によるやけどを負う危険性はありません。

バッテリーの性能を長期にわたって最大限に発揮させるためには、バッテリーが常に十分に充電されていることが必要です。

車両のバッテリーは他のバッテリーと同様に、車両を使用しないと、徐々に放電する可能性があります。そのような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのバッテリーの接続を外す作業を依頼してください。純正バッテリー充電器を使用してバッテリーを充電することもできます。詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

車を長期間使用しないときや、短距離、短時間の走行が多い場合は、通常よりも頻繁にバッテリー液量や充電状態を点検してください。車を長期間使用しないときの保管方法については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

**①** 駐車時に電気装備を必要としないときは、キーを抜いてください。エンジン

スイッチにキーが差し込まれているときは、電力をわずかに消費します。

**①** 電力供給が中断した場合、例えば、バッテリーが放電した場合は、以下のことを行ってください。

- 時刻を設定します（別冊のCOMANDシステム取扱説明書を参照してください）。
- ミラーを一度展開して、ドアミラーの自動展開/格納機能をリセットします（▶ 105 ページ）。

## バッテリーの充電

### ⚠ 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近付けないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確認してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

### ⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。けがをしますおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

### ⚠ 警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生す

ることがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリー液を解凍してください。

**❶** 必ず最大充電電圧が約14.8 Vのバッテリー充電器を使用してください。

**❷** バッテリーを充電する場合は、必ずジャンプスタートターミナルを使用してください。

ジャンプスタートターミナルは、エンジンルーム（▷ 321 ページ）内にあります。

▶ ボンネットを開きます。

▶ ジャンプスタートにより救援車のバッテリーを接続したときと同じ順序で、バッテリー充電器をプラス端子とアース端子に接続してください。（▷ 321 ページ）

低温時に、表示灯 / 警告灯が点灯しない場合は、放電したバッテリーが凍結していることがあります。このような場合は、バッテリーを充電することも車両をジャンプスタートすることもできないことがあります。解凍したバッテリーの寿命は短くなる場合があります。特に低温時の始動性能が損なわれることがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場で解凍したバッテリーの点検を受けてください。

バッテリーの充電に使用する充電器は、必ず純正品を使用してください。メルセデス・ベンツ車両用に特別に適合した、メルセデス・ベンツによりテストおよび承認されたバッテリー充電器ユニットはアクセサリとして入手できます。搭載された位置のままのみ、バッテリーの充電が許可されています。情報および入手については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。バッテリーを充電する前に、バッテリー充電器の取扱説明書をお読みください。

## ジャンプスタート

ジャンプスタートには、エンジンルームのプラス端子とアース端子で構成されているジャンプスタートターミナルのみを使用してください。

### ⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。けがをするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

### ⚠ 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近付けないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

### ⚠ 警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- 接続されたバッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーの接続および切り離しを行なうときは、記載された手順通りにバッテリー端子を接続することが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルの接続、切り離しを行なうときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子の接続または切り離しを行なわないでください。

### ⚠ 警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリー液を解凍してください。

**!** エンジン始動操作を長時間繰り返して行なわないでください。未燃焼燃料によって触媒が損傷するおそれがあります。

低温時に、表示灯 / 警告灯が点灯しない場合は、放電したバッテリーが凍結していることがあります。このような場合は、バッテリーを充電することも車両をジャンプスタートすることもできないことがあります。解凍したバッテリーの寿命は短くなることがあります。特に低温時の始動性能が損なわれることがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場では解凍したバッテリーの点検を受けてください。

車両の始動のために急速充電機器を使用しないでください。車両のバッテリーが放電したときは、ブースターケーブルを使用して他車や他のバッテリーからエンジンをジャンプスタートすることができます。以下の点に注意してください。

- バッテリーが手の届きにくい位置に設置されている車もあります。他車のバッテリーに手が届かないときは、他のバッテリーまたはジャンプスタート機器を使用して、車両をジャンプスタートしてください。
- エンジンと排気システムが冷えていない場合は、車両のジャンプスタートは実行できません。
- バッテリー液が凍結しているときはジャンプスタートはできません。バッテリー液を解凍してから行なってください。
- ジャンプスタートは、自車と同じ12 Vバッテリーを搭載した救援車に依頼してください。
- 十分な容量と太さがあり、絶縁されたクランプを持つブースターケーブルを使用してください。
- バッテリーが完全に放電した場合は、ケーブルの接続を完了してすぐにエンジン始動を試みるのではなく、数分置いてから始動操作を行なってください。その間、バッテリーは十分な電力を溜めることができます。
- 自車と救援車が接触していないことを確認します。

以下のことを確認してください。

- ブースターケーブルが損傷していないこと。
- ブースターケーブルをバッテリーに接続している間、クランプの絶縁されていない部分が他の金属部品と接触しないこと。
- エンジンが回転しているとき、ブースターケーブルがVベルトプーリーやファンなどの部品に巻き込まれないようにすること。
- ▶ パーキングブレーキを効かせ、車両を停止します。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。
- ▶ エンジンスイッチのキーを**O**の位置にまわして、抜きます。
- ▶ リアデフォグラー、ライトなどすべての電気装備をオフにします。
- ▶ ボンネットを開きます。



位置番号 ⑥ は、救援車のバッテリーまたはジャンプスタート装置を示します。

- ▶ プラス端子 ② のカバー ① を一緒に押し、後ろにスライドさせます。
- ▶ ブースターケーブルを、自車のバッテリーのプラス端子 ② に接続します。次に、ケーブルの反対側を救援車のバッテリー ⑥ のプラス端子 ③ に接続します。
- ▶ 救援車のエンジンを始動し、アイドリング状態にします。
- ▶ ブースターケーブルを救援車のバッテリー ⑥ に接続します。次に、救援車のバッテリー ⑥ のマイナス端子 ④ を自車のバッテリーのアース端子 ⑤ に接続します。
- ▶ エンジンを始動してください。
- ▶ ブースターケーブルを外す前に、エンジンを数分間作動させてください。
- ▶ 最初にブースターケーブルをアースポイント ⑤ とマイナス端子 ④ から、次にプラスクランプ ② とプラス端子 ③ から取り外します。その際、いずれも自車の端子から開始してください。
- ▶ ブースターケーブルを取り外した後に、プラス端子 ② のカバー ① を閉じます。
- ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのバッテリーの点検を受けてください。

**i** ジャンプスタートでエンジンがかかっても、車両は正常な作動状態ではありません。

**i** ジャンプブースターケーブルおよびジャンプスタートについて、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

## けん引およびけん引始動

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

安全性に関連する機能は以下の場合に制限されるか、または使用できなくなります。

- エンジンが作動しないとき
- ブレーキシステムまたはパワーステアリングに不具合がある
- 電圧供給または車両の電気システムに不具合がある

車両をけん引する場合は、ステアリング操作、またはブレーキ操作により大きな力が必要になることがあります。事故の危険性があります。

そのような場合は、けん引バーを使用してください。けん引する前に、ステアリングが自由に動くことを確認してください。

## ⚠ 警告

自車の許容総重量より重い車をけん引またはけん引始動しようとする、以下の状態が発生するおそれがあります。

- けん引フックが外れる。
- トレーラーを連結した車両が横転する。

事故が起こるおそれがあります。

他車をけん引またはけん引始動するときは、自車の許容総重量より軽い車でなければなりません。

❗ コリジョンプリベンションアシストプラス、ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではこれらのシステムが解除されます：

- けん引時
- 洗車時

❗ けん引ロープやロッドは、けん引フック以外にはかけないでください。車体が損傷するおそれがあります。

❗ けん引ロープを使用してけん引を行なう場合は、必ず以下の点に注意してください。

- ロープは、両車とも同じ側につないでください。
- けん引ロープの長さは5m以内である必要があります。その中間に白い布(30x30cm)を付けて、けん引中であることが周囲から明確にわかるようにしてください。
- けん引フック以外にはロープをかけないでください。
- 走行中は、けん引する車のブレーキランプに注意してください。常に車間距離を維持しつつ、ロープをたるませないように走行してください。
- ワイヤロープや金属製のチェーンは使用しないでください。車体に傷が付くおそれがあります。

❗ スタックから脱出するためにけん引フックを使用しないでください。車体を損傷するおそれがあります。できれば、クレーンを使用して車両を脱出させてください。

❗ けん引する時は、ゆっくりとスムーズにけん引します。けん引力が大きすぎると、車両が損傷するおそれがあります。

❗ 車両は最長で約50 kmまでけん引できます。けん引する際の速度は、約30 km/hを超えないようにしてください。

距離が約50 kmを超える場合は、必ず車両全体をリフトアップして、車両運搬車を利用してください。

**!** オートマチック車はけん引始動しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

けん引やけん引始動を行なうときは、各国の法規を遵守してください。

けん引はできるだけ避け、車両を搬送してください。

オートマチック車をけん引するときは、トランスミッションはポジション **N** になければなりません。

バッテリーが接続されていて、十分に充電されていることを確認してください。そうしないと、以下の問題が起こりません。

- エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわすことができない
- トランスミッションをポジション **N** に動かすことができなくなる

**i** 車両をけん引してもらう前に、車速感応ドアロックを解除してください (▷ 225 ページ)。さもないと、車両を押したり、またはけん引するときに、閉め出されるおそれがあります。

車両をけん引する前に、けん引防止機能を解除してください (▷ 73 ページ)。

## けん引フックの取り付け/取り外し

### けん引フックの取り付け



例：けん引フック取り付け部のカバー

▶ けん引フックを収納スペースから取り外します。

けん引フックは、トランクフロア下の車載ツールにあります (▷ 283 ページ)。

タイヤフィット装備車：けん引フックは、タイヤ充填コンプレッサー下にあります。

- ▶ カバー **①** のマーク部を矢印の方向に内側に押します。
- ▶ カバー **①** を開口部から取り外します。
- ▶ 内部のネジ穴にけん引フックをねじ込み、時計回りに止まるまで締め込みます。

### けん引フックの取り外し

- ▶ けん引フックを緩めて取り外します。
- ▶ カバー **①** の上部をバンパーに合わせ、固定されるまで底部で押します。



- ▶ けん引フックをトランクフロア下の収納スペースに置きます (▷ 283 ページ)。
- ▶ タイヤフィット装備車：電動エアポンプを交換します。

### フロントアクスルをつり上げてけん引を行なう場合

4MATIC非装備車両のみ、フロントアクスルを上げてけん引することができます。

❗ 4MATIC装備車は、フロントまたはリアアクスルを持ち上げてけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

4MATIC装備車両は、両アクスルを地面に接地してけん引する、または積載して運搬するかのいずれかにします。

❗ フロントアクスルをつり上げてけん引を行なうときは、必ずイグニッションをオフにしてください。ESP®の介入によりブレーキが損傷するおそれがあります。

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします。
- ▶ 車両が停止しているときに、ブレーキペダルを踏んで、そのまま保持します。
- ▶ オートマチックトランスミッションのシフトポジションを **P** にします。
- ▶ ブレーキペダルを放します。
- ▶ 電気式パーキングブレーキを解除します。
- ▶ 自動ロックを解除します (▷ 225 ページ)。
- ▶ 非常点滅灯を点滅させます (▷ 113 ページ)。
- ▶ イグニッション位置を **0** にして、エンジンスイッチからキーを抜き取ります。

フロントアクスルを上げて車両をけん引するときは、安全指示を遵守することが重要です (▷ 324 ページ)。

### 両アクスルを接地させて車両をけん引する

❗ 非常点滅灯を点滅させてけん引してもらうときは、通常通りにコンビネーションスイッチを操作して方向指示を行なってください。このときは、希望の方向の方向指示灯のみが点滅します。コンビネーションスイッチを元に戻すと、非常点滅灯が再度点滅し始めます。

運転席または助手席ドアを開いたとき、またはエンジンスイッチからキーを取り外したときは、オートマチックトランスミッションは自動的に **P** の位置にシフトします。車両をけん引するときにオートマチックトランスミッションを **N** の位置に保つためには、以下の点に従わなければなりません。

- ▶ 車両が停止していることを確認してください。
- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします。
- ▶ ブレーキペダルを踏んだまま保持します。
- ▶ オートマチックトランスミッションのシフトポジションを **N** にします。
- ▶ エンジンスイッチの位置を **2** にします。
- ▶ ブレーキペダルを徐々に戻します。
- ▶ パーキングブレーキを解除します。
- ▶ 非常点滅灯を点滅させます。 (▷ 113 ページ)

けん引を行なうときは、以下の安全注意事項を守ってください。 (▷ 324 ページ)

### 車両を運搬する

**!** 車両を固定するときは、アクスルやステアリング構成部品などにかげずに、ホイールにのみかけてください。車体を損傷するおそれがあります。

- ▶ エンジンスイッチを **2** の位置にします。
- ▶ トランスミッションをポジション **N** に動かします。

車両を積載したら、以下の点に注意してください。

- ▶ 車両が動き出すのを防止するため、パーキングブレーキを効かせてください。
- ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **O** の位置にまわして、抜きます。
- ▶ 車両を固定します。

けん引フックはトレーラーまたは輸送用トランスポーターで車両をけん引するために使用します。

### 4MATIC車両に関する注意事項

**!** 4MATIC装備車は、フロントまたはリアアクスルを持ち上げてけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

4MATIC装備車は、両アクスルを地面に接地してけん引する、または積載して運搬するかのいずれかのみに行います。

車両のトランスミッションが損傷したり、フロントまたはリアアクスルが損傷した場合は、運搬車またはトレーラーで運搬してください。

#### 電気装備が損傷したとき

バッテリーに不具合がある場合は、オートマチックトランスミッションは **P** の位置でロックされます。オートマチック

トランスミッションをポジション **N** にシフトするためには、ジャンプスタート時と同じ方法で車両の電気装備に電力を供給しなければなりません(▶ 321 ページ)。

運搬車またはトレーラーで車両を運搬してください。

### けん引始動 (エンジン緊急始動)

**!** オートマチック車はけん引始動しないでください。オートマチックトランスミッションを損傷するおそれがあります。

## ヒューズ

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

切れたヒューズを使用したり、ブリッジしたり、またはより高いアンペア数のヒューズと交換すると、ケーブルに過負荷がかかります。火災の原因になります。事故やけがの危険性があります。

切れたヒューズは、必ず正しいアンペア数の指定された新品のヒューズと交換してください。

**!** ヒューズは必ず、メルセデス・ベンツ車両に適合し、関連するシステムへの正しい電流値を満たしたもののみを使用してください。"S"のマークが付いているヒューズのみ使用してください。お守りいただかないと、構成部品またはシステムを損傷するおそれがあります。

車両のヒューズは、異常のある回路への接続を遮断する働きをします。ヒューズが切れると、回路上のすべての構成部品とそれらの機能が作動しなくなります。切れたヒューズを交換するときは、ヒューズの色と数字で確認し、必ず同じ定格のヒューズと交換してください。

ヒューズの定格は、ヒューズ配置表に記載されています。

新しいヒューズに交換してもすぐに切れる場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で原因究明および修理を行なってください。

### ヒューズを交換する前に

- ▶ 車両が動き出さないように固定してください。(▶ 163 ページ)
- ▶ すべての電気装備を停止します。
- ▶ キーをまわしてイグニッション位置を **0** にした後、キーを抜き取ります(▶ 145 ページ)。メーターパネル内のすべての表示灯が消灯します。

ヒューズは、以下のヒューズボックス内にあります。

- 進行方向に見たときの車両のエンジンルーム内左側のヒューズボックス
- 助手席足元のヒューズボックス

ヒューズ配置表は助手席足元のヒューズボックス(▶ 329 ページ)にあります。

### エンジンルーム内のヒューズボックス

#### ⚠ 警告

ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動位置のままにしていると、ワイパーリンクageでけがをすることがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、必ずワイパーおよびエンジンスイッチをオフにしてください。

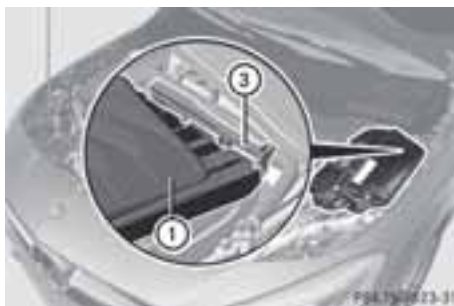
**!** カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に浸水しないように注意してください。

**!** カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実にハマっていることを確認し

てください。ヒューズボックスの中に水分や異物が浸入すると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。



- ▶ ボンネットを開きます。
- ▶ カバーに水分が付着しているときは、乾いた布で拭き取ります。
- ▶ **開く**： クランプ **②** を外します。
- ▶ カバー **①** を矢印の方向に持ち上げて取り外します。

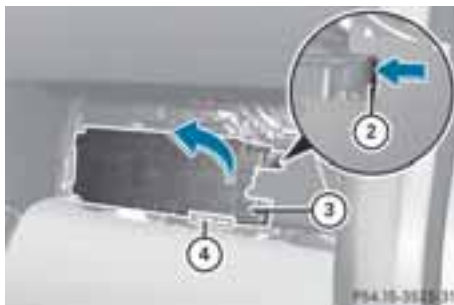


- ▶ **閉じる**： シール部がカバー **①** の正しい位置にあることを確認します。
- ▶ カバー **①** をヒューズボックスの後方側の開口部 **③** に差し込みます。
- ▶ カバー **①** を下げます。
- ▶ クランプ **②** をヒューズボックスに引っかけて閉じます。
- ▶ ボンネットを閉じます。

## 助手席足元のヒューズボックス



- ▶ **開く**： 助手席側からフロアマットを取り外します。
- ▶ 穴のあいたフロアカバー ① を矢印の方向に倒します。



- ▶ カバー ③ を外すには、リテーニングクランプ ② を押します。
  - ▶ カバー ③ をキャッチの方へ倒します (矢印の方向)。
  - ▶ カバー ③ を前方に取り外します。
- i** ヒューズ配置表 ④ はカバーの右下側 ③にあります。

- ▶ **閉じる**： カバー ③ をリテーナー (ヒューズボックス側方) に差し込みます。カバー ③ をリテーナーに取り付けます。
- ▶ クランプ ② を音がして固定されるまで、カバー ③ を下方に倒します。
- ▶ 穴のあいたフロアカバー ① を後方に倒します。

P94-15-3120-31

P94-15-3120-31

役に立つ情報 .....	332
重要な安全上の注意事項 .....	332
使用 .....	333
冬季の使用 .....	334
タイヤ空気圧 .....	336
車輪の交換 .....	339
ホイールとタイヤの組み合わせ ..	344
応急用スペアタイヤ .....	346

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて情報をご覧ください。(▷ 23 ページ)

## 重要な安全上の注意事項

## ⚠ 警告

誤ったサイズのホイールやタイヤを使用すると、車輪ブレーキまたはサスペンションの部品を損傷することがあります。事故の危険性があります。

純正部品の仕様に適合するホイールやタイヤと必ず交換してください。

ホイールを交換する場合、正しく取り付けるために以下を確認してください：

- 型式
- タイプ

タイヤを交換する場合、正しく取り付けるために以下を確認してください：

- 型式
- メーカー
- タイプ

## ⚠ 警告

パンクは車両の走行、ステアリング、ブレーキ特性を著しく損なうことがあります。事故の危険性があります。

ランフラット特性のないタイヤ：

- パンクしたタイヤで走行しないでください。
- ただちにパンクしたタイヤを応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤと交換するか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご相談ください。

ランフラットタイヤ：

- MOExtendedタイヤ(ランフラットタイヤ)に関する情報と警告注意に注意してください。

メルセデス・ベンツにより承認されていない、または正しく使用されていないアクセサリは、作動安全性を損なうおそれがあります。

承認されていないアクセサリを購入し、ご使用になる前に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にて以下の事柄をご確認ください。

- 適合性
- 合法性
- 推奨品

ホイールとタイヤのサイズと種類に関する情報は (▷ 344 ページ) をご覧ください。

車両のタイヤ空気圧に関する情報は、以下にあります。

- 燃料給油口にあるタイヤ空気圧ラベル
- "タイヤ空気圧"

ブレーキシステムおよびホイールの改造は許可されていません。ホイールスペアサブラケットまたはブレーキダストシールドの使用は許可されていません。このような改造を行なった場合は、不具合が生じても保証の適用外になります。

**i** タイヤとホイールについて、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

## 使用

## 走行に関する情報

- 車両に重い荷物を積んでいるときは、タイヤ空気圧を点検し、必要に応じて調整してください。
- 走行中は、振動や騒音が発生したり、ステアリングが片側に取られるなど、車両操縦性に変化が現れていないか注意してください。このような症状の原因には、タイヤやホイールの損傷が考えられます。タイヤに異常を感じたら、速度を落として慎重に運転してください。すみやかに安全な場所に停車して、タイヤとホイールに損傷がないか点検してください。タイヤが損傷すると、車両操縦性が損なわれる原因になります。損傷が何も認められない場合、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でのタイヤおよびホイールの点検を受けてください。
- 車両を駐車するときは、タイヤが縁石や障害物により変形していないことを確認してください。また、縁石や路面の段差などを乗り越える必要がある場合は、速度を落とし、縁石や段差に対してタイヤをできるだけ直角にして乗り越えてください。そうしないと、タイヤ、特にサイドウォールが損傷するおそれがあります。

## ホイールとタイヤの定期点検

## ⚠ 警告

タイヤが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。その結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故発生の危険性があります。タイヤに損傷がないか定期的に点検を行ない、損傷したタイヤはただちに新品と交換してください。

ホイールとタイヤの定期点検は、少なくとも月に1度、またオフロードや凹凸路の走行後にも行ない、タイヤに損傷がないか確認してください。ホイールが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。特に、以下のような損傷にご注意ください。

- タイヤの傷
- 刺し傷などの穴
- タイヤの裂け目
- タイヤの突起
- ホイールの変形や腐食

タイヤのトレッドの深さやタイヤの幅全体にわたるトレッドの状態を定期的に点検してください(▷ 334 ページ)。必要であれば、タイヤ表面の内側を点検するために、前輪をフルロックまでまわしてください。

ほこりや水分の侵入を防ぎバルブを保護するため、すべてのホイールにバルブキャップを必ず装着してください。純正品または承認された製品以外のバルブキャップをバルブに装着しないでください。純正品以外のバルブキャップまたはタイヤ空気圧モニタリングシステムなどのシステムを装着しないでください。

長距離走行の前は特に、定期的にすべてのタイヤの空気圧を点検してください。必要であれば、タイヤ空気圧を調整してください(▷ 336 ページ)。

応急用スペアタイヤに関する注意事項を遵守してください(▷ 346 ページ)。

タイヤの耐用年数は、以下を含むさまざまな要因に左右されます。

- 走行スタイル
- タイヤ空気圧
- 総走行距離

## タイヤトレッドに関する重要な安全上の注意

### ▲ 警告

タイヤのトレッドが不十分であると、タイヤのグリップが低下します。このようなタイヤは水を排出することができなくなり、濡れた路面で、特に走行状況に適していない速度で走行すると、ハイドロプレーニング現象が生じる危険性が高くなります。事故発生の危険性があります。タイヤ空気圧が高すぎたり低すぎたりすると、トレッド面の位置によって偏摩耗が生じることがあります。タイヤの定期点検を行なう時は、タイヤの溝の深さだけでなく、タイヤの内側の摩耗状態も点検してください。

タイヤの溝の深さの最小値：

- サマータイヤ：3mm
- ウィンタータイヤ：4mm

安全保持のために、タイヤの溝の深さが法律で定められた最小値に達する前に、該当するタイヤを新品と交換してください。

## タイヤの選択、装着および交換

- タイヤとホイールは、4輪とも同一種類、同一銘柄のものを装着してください。

例外：パンクした場合は、違う種類、違う銘柄の使用が認められています。MOExtendedタイヤ（ランフラットタイヤ）（▷ 312 ページ）を遵守してください。

- 適正なサイズのタイヤをホイールに装着してください。
- 新品のタイヤでは最初の約100 kmまでは適切な速度で走行してください。この距離を走行後にのみ、最高の性能に達します。
- タイヤトレッド部の残り溝が不足したタイヤで走行しないでください。濡れた路面ではタイヤのグリップが著しく

低下します（ハイドロプレーニング現象）。

- 摩耗の程度に関わらず、6年以上経過したタイヤは新品と交換してください。応急用スペアタイヤに関する注意事項を遵守してください（▷ 346 ページ）。

## MOExtendedタイヤ（ランフラットタイヤ）

MOExtendedタイヤ（ランフラットタイヤ）で、1本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）は、作動しているタイヤ空気圧警告システムおよびメルセデス・ベンツにより特別にテストされたホイールとの組み合わせでのみ使用することができます。

パンクしたランフラットタイヤで走行する時の注意事項（▷ 312 ページ）

**i** ランフラットタイヤ装備車には、タイヤフィットを標準装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

## 冬季の使用

### 全体的な注意事項

冬になる前にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の寒冷時対応を実施してください。

"タイヤの交換"に記載された注意事項を守ってください。（▷ 339 ページ）



## サマータイヤでの走行

約7℃以下の温度では、サマータイヤは弾力性を失い、接地性と制動力が低下します。車両のタイヤをウィンタータイヤと交換します。寒冷時にサマータイヤを装着したまま走行すると、タイヤ側面に亀裂が生じ、破損する原因になります。このようなタイヤの損傷は、保証の対象外になります。


## M+Sタイヤ

### ⚠ 警告

ウィンタータイヤの溝の深さが約4mm以下になったときは、冬季用のタイヤとして不適切になり、十分な接地性を確保できなくなります。事故につながるおそれがあります。

ウィンタータイヤの溝の深さが約4mm以下になったときは、必ず新品と交換してください。

温度が約+7℃以下の場合、ウィンタータイヤまたはオールシーズンタイヤを使用してください。どちらのタイヤもM+Sマークで識別できます。

冬季の道路状況では、M+Sマークに加えて雪の結晶マーク  の記載があるウィンタータイヤのみが最も優れたグリップをもたらします。ABSおよびESP®などの走行安全装備が冬季に適切に機能できるようにするのは、これらのタイヤだけです。これらのタイヤは、特に雪道走行用に開発されました。

走行安全性を確保するため、ウィンタータイヤは、4輪とも同じ銘柄およびトレッドのものを装着してください。

装着されたウィンタータイヤの指定された許容最高速度を常に守って走行してください。

車両の性能よりも低い最高許容速度のウィンタータイヤを装着している場合は、適切な警告ラベルを運転者の視界内に貼付してください。これはメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。入手できます。

このような状況では、ウィンタータイヤの最高許容速度を超えないように、スノータイヤスピードリミッターを使用して車両の最高速度を制限してください(▶ 175 ページ)。

ウィンタータイヤの装着時は、以下の手順に従ってください。

- ▶ タイヤ空気圧を点検します。(▶ 336 ページ)
- ▶ タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。(▶ 338 ページ)

応急用スペアタイヤでの走行に関するさらなる情報は、(▶ 346 ページ)をご覧ください。

## スノーチェーン

### ⚠ 警告

スノーチェーンを後輪に装着すると、それらが車体またはシャーシの部品を損傷するおそれがあります。これにより、車両またはタイヤが損傷するおそれがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるために

- スノーチェーンを後輪に装着しないでください。
- スノーチェーンはペアで前輪にのみ装着してください。

**!** **スチールホイール装備車：**スチールホイールにスノーチェーン取り付ける場合、ホイールのホイールキャップを損傷する可能性があります。スノーチェーンを取り付ける前に、各ホイールからホイールキャップを取り外してください。

安全上の理由のため、メルセデス・ベンツによりお客様の車両用に特別に承認したスノーチェーン、または同等の品質基準のもののみを使用することを、メルセデスベンツは推奨します。

スノーチェーンを装着するときは、以下の点に注意してください。

- スノーチェーンはすべてのホイールとタイヤの組み合わせに装着できるわけではありません。許容されるホイールとタイヤの組み合わせ(▶ 344 ページ)。
- 路面が完全に雪に覆われているときのみ、スノーチェーンを使用してください。雪に覆われていない路面に来たときは、できるだけ早くスノーチェーンを取り外してください。
- 法令でスノーチェーンの使用が制限されている地域があります。スノーチェーンを装着する場合は、該当する規制を遵守してください。
- 最大許容速度 50 km/h を超えないようにしてください。
- スノーチェーンを装着しているときは、決してアクティブパーキングアシストを使用しないでください (▶ 191 ページ)。

**i** スノーチェーンを装着して発進するときは、ESP®(▶ 67 ページ) を解除しても構いません。この方法により、制御しながら車輪を空転させ、駆動力(トラクション)を高めることができます。

応急用スペアタイヤでの走行に関する情報(▶ 346 ページ)

## タイヤ空気圧

### タイヤ空気圧基準値

#### ⚠ 警告

タイヤ空気圧が不足または過剰な場合、以下の危険があります。

- 荷重が大きく車両速度が高い場合は特に、タイヤが破裂するおそれがある。
- タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が損なわれるおそれがある。
- ステアリング操作やブレーキ操作などの車両操縦性が大幅に損なわれるおそれがある。

事故を起こすおそれがあります。

指定のタイヤ空気圧を遵守し、以下のときにはスペアタイヤを含むすべてのタイヤの空気圧を点検してください。

- 少なくとも2週間に1回
- 荷重が変化したとき
- 長距離走行を開始する前
- オフロード走行など、使用条件が変わったとき

必要であれば、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

#### ⚠ 警告

適切でないアクセサリをバルブに取り付けると、バルブに過負荷がかかって誤作動し、タイヤ空気圧が不足する原因となります。設計上、タイヤ空気圧モニターシステムを後装着すると、バルブが開いたままになり、タイヤ空気圧が不足するおそれもあります。事故発生の危険性があります。

標準仕様のバルブキャップまたはメルセデス・ベンツ純正の車両専用バルブキャップのみをバルブに取り付けてください。

#### ⚠ 警告

タイヤ空気圧が何度も低下する場合は、ホイール、バルブまたはタイヤが損傷している可能性があります。タイヤ空気圧

が不十分であると、タイヤが破裂するおそれがあります。事故発生の危険性があります。

- タイヤに異物がないか点検します。
- ホイールやバルブからの空気漏れがないか点検します。

損傷を修理できない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

🔍 環境保護に関する注意

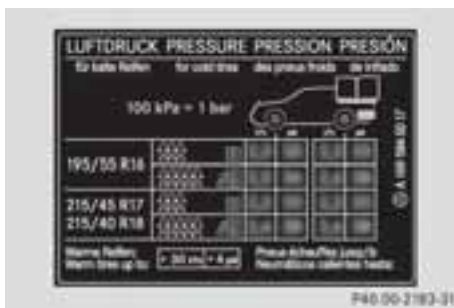
少なくとも2週間に1度、タイヤ空気圧の点検を行なってください。

燃料給油フラップ裏側には、走行状況に応じた空気圧が記載されたタイヤ空気圧ラベルが貼られています。

応急用スペアタイヤでの操作 (▷ 346 ページ)。

燃料給油フラップの裏側の表には、さまざまな積載状態でのタイヤ空気圧が記載されています。これらは、さまざまな乗員数および積載量として表に定義されています。実際の座席数は異なる場合があります。詳しくは、車両の登録書類を参照してください。

タイヤサイズの指定がない場合、タイヤ空気圧ラベルに記載されているタイヤ空気圧は車両に承認されているすべてのタイヤに適用されます。



タイヤのサイズに応じて空気圧を調整する場合は、以下の空気圧に関する情報

は、そのタイヤサイズのみ有効となります。

タイヤ空気圧を点検するには、適切な空気圧ゲージを使用してください。タイヤの外観を点検しても空気圧を正しく判断することはできません。

タイヤ空気圧の調整は、できるだけタイヤが冷えているときに行なってください。

以下のときは、タイヤの温度が低い状態です。

- 車両に直射日光が当たらない状態で少なくとも約3 時間駐車したとき、および
- 車両が約1.6 km以上走行しなかったとき

周辺温度、走行している速度およびタイヤへの荷重に応じて、タイヤ温度およびタイヤ空気圧は約10 kPa (0.1 bar / 1.5 psi) (10 °Cごとに) 変化します。温まっているタイヤの空気圧を点検するときは、このことを考慮に入れてください。そのときの使用条件に対して非常に低いときのみ、タイヤ空気圧を修正してください。

空気圧が適正でないタイヤで走行すると、以下のような状態になります。

- タイヤの寿命が短くなります。
- タイヤが損傷を受けやすくなります。
- 車両操縦性や走行安全性に悪影響をおよぼします (ハイドロプレーニング現象など)。

❗ 低負荷時の空気圧は、快適な乗り心地を得るために必要な空気圧の下限値を示しています。

ただし、高負荷時の空気圧に調整することもできます。これらは空気圧許容値であり、車両の走行安全性に悪影響を与えることはありません。

## タイヤ空気圧警告システム

### 全体的な注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、走行中に4輪すべてのホイール回転速度を検知することによりタイヤ空気圧をモニターします。システムは、タイヤ空気圧の著しい低下を検知することができます。タイヤ空気圧の低下にともないホイールの回転速度が変化すると、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージを表示します。

マルチファンクションディスプレイのメニューに表示される**タイヤ空気圧警告システム** オン OKボタンで再始動でタイヤ空気圧警告を認識することができます。ディスプレイメッセージの詳細は、"タイヤ空気圧警告システムの再起動"をご覧ください (▷ 338 ページ)。

### 重要な安全上の注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、適切でないタイヤ空気圧の設定には警告は行ないません。推奨タイヤ空気圧に関する注意を遵守してください (▷ 336 ページ)。

タイヤ空気圧警告は、タイヤ空気圧点検を定期的に行うものではありません。タイヤ空気圧警告システムは、複数のタイヤから同量の空気が漏れた場合などは検知できません。

タイヤ空気圧警告システムは、タイヤに異物が刺さった場合など急激に空気圧が低下した場合は、警告を行なうことができません。空気圧が突然低下した場合、ブレーキを慎重に効かせて車両を停止します。急激なステアリング操作をしないようにしてください。

タイヤ空気圧警告システムは、以下の状況では正常に作動しなくなったり、反応が遅れることがあります。






- スノーチェーンを装着しているとき
- 積雪路や凍結路を走行しているとき

- 砂地や砂利道を走行しているとき
- スポーティ走行時 (高速コーナリング、急加速など)
- 重い荷物を車内やルーフに積載しているとき





### タイヤ空気圧警告システムを再起動する

以下のような作業を行ったときは、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。





- タイヤ空気圧を調整したとき
- タイヤやホイールを交換したとき
- 新しいタイヤやホイールを装着したとき
- ▶ 再起動する前に、タイヤ空気圧が作動状況に対応して、4本のタイヤすべてで適正に設定されていることを確認してください。推奨タイヤ空気圧は燃料給油口のタイヤ空気圧ラベルに記載されています。
- ▶ タイヤ空気圧警告システムは、適切なタイヤ空気圧に設定したときのみ信頼性のある警告を行なうことができます。適切でないタイヤ空気圧に設定されている場合は、これらの適切でない値がモニターされます。
- ▶ タイヤ空気圧に記載されている注意事項を守ってください。 (▷ 336 ページ)
- ▶ エンジンスイッチのキーが **2** の位置にあることを確認します (▷ 145 ページ)。

- ▶ ステアリングの  または  を押して、**メンテナンス** メニューを選択します。
- ▶  または  スイッチを押して **タイヤ空気圧** を選択します。
- ▶  スイッチを押す。  
マルチファンクションディスプレイに **タイヤ空気圧 警告システム オン OK ボタンで再始動** というメッセージが表示されます。

**再起動を確定するには、以下の操作を行なってください。**

- ▶  スイッチを押す。  
マルチファンクションディスプレイに **タイヤ空気圧 正常ですか?** というメッセージが表示されます。
- ▶  または  スイッチを押して、**はい** を選択します。
- ▶  スイッチを押す。  
マルチファンクションディスプレイに **タイヤ空気圧警告システム再始動しました** というメッセージが表示されます。  
測定プロセスが終了すると、タイヤ空気圧警告システムが4輪すべてのタイヤ空気圧のモニターします。

**再起動をキャンセルするには、以下の操作を行なってください。**

- ▶  スイッチを押す。  
または
- ▶ **タイヤ空気圧 正常ですか?** というメッセージが表示される場合は、 または  スイッチを押して、**キャンセル** を選択します。
- ▶  スイッチを押す。  
前回の再起動時に保存されたタイヤ空気圧の値が引き続きモニターされます。

## 車輪の交換

### タイヤのパンク

タイヤがパンクしたときの対処方法に関する情報は、"パンクしたとき" (▷ 311 ページ) に記載されています。タイヤがパンクしたときにMOExtendedタイヤで走行する際の情報は、"万一のとき"のセクションをご覧ください (▷ 312 ページ)。

**応急用スペアタイヤ装備車：** タイヤがパンクした場合は、"タイヤの取り付け" (▷ 340 ページ) の記載にしたがって応急用スペアタイヤを装着してください。

### 車輪のローテーション

#### 警告

ホイールまたはタイヤのサイズが異なる場合に、フロントとリアの車輪を入れ替えると、走行特性が著しく損なわれることがあります。車輪のブレーキまたはサスペンションの部品も損傷することがあります。事故の危険性があります。

ホイールとタイヤが同じサイズの場合にのみ、フロントとリアの車輪を入れ替えてください。

異なるサイズのフロントとリアのホイールを入れ替えると、一般の使用許可が無効になることがあります。

車輪を交換するときは指示や安全上の注意に常に注意を払ってください (▷ 339 ページ)。

タイヤは、走行状況によって前輪と後輪で摩耗具合に差が生じ、偏摩耗を起こします。これを防止するため、タイヤが摩耗し始めたなら早めにタイヤローテーションをしてください。一般的に、前輪はショルダー部の摩耗が起こりやすく、後輪ではセンター部の摩耗が起こりやすい傾向があります。

前後同じサイズの車輪を持つ車両は、タイヤの摩耗具合に応じて約5,000 ～ 10,000 kmごとに車輪を入れ替えることができます。回転方向が維持されていることを確認します。

タイヤを入れ替えるときは、ホイールの接触面とブレーキディスクを十分に清掃してください。空気圧を点検し、必要であればタイヤ空気圧警告システムを再起動します。

### 回転方向

タイヤの回転方向が指定されているタイヤは、例えばハイドロブレーニング現象のおそれがある状況などで補助的な効果を発揮します。回転方向が指定されているタイヤは、指定された回転方向になるように装着することで性能を十分発揮できます。

タイヤのサイドウォールにある矢印は、正しい回転方向を示しています。

### 車輪の保管

使用していないタイヤは、涼しくて乾燥している、なるべく暗い場所に保管してください。タイヤにオイルやグリース、ガソリン、軽油などが付着しないように保護してください。

### 車輪の清掃

#### ⚠ 警告

円形ジェットノズル（粉塵グラインダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。車両の清掃をするときに円形ジェットノズル付きの高圧式スプレーガンを使用しないでください。損傷したタイヤまたは

シャーシの部品はすぐに交換してください。

### 車輪の取り付け

#### 車両の準備

- ▶ 固く、滑らない水平な地面に車両を停車します。
- ▶ パーキングブレーキを手動で作動させます (▶ 165 ページ)。
- ▶ 前輪を直進位置にします。
- ▶ DIRECT SELECTレバーをPにします。
- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。
- ▶ 車両装備に含まれている場合は、車両からタイヤ交換工具キットを取り出します。
- ▶ 作業中に車が動き出すのを防ぐため、車を固定します。

**i** 国による仕様の違いとは別に、車両にはタイヤ交換工具キットは装備されていません。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

必要な車輪交換工具としては、例えば以下が含まれることがあります。

- ジャッキ
- 輪止め
- ホイールレンチ

## 車両が動き出さないように固定する



車両に輪止めが装備されている場合は、タイヤ交換工具キットの中にあります。  
(▶ 311 ページ)

折りたたみ式の輪止めは、タイヤ交換時などに車が動き出すのを防止するための補助的な固定手段です。

- ▶ 両側のプレートを上方に起こします ①。
- ▶ 下側のプレートを引き出します ②。
- ▶ 下側のプレートの凸部をベースプレートの開口部に差し込みます③。



水平な場所で車両に輪止めをする

- ▶ **水平な場所**： 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、輪止めまたは適切な物を挟みます。



緩い下り坂で車両に輪止めをする

- ▶ **緩い下り坂**： 前輪と後輪の前方に輪止めまたは適切な物を挟みます。

## 車両のジャッキアップ

### ⚠ 警告

車両の適切なジャッキポイントに正しくジャッキを設置しないと、車両をジャッキアップした時にジャッキが倒れるおそれがあります。負傷するおそれがあります。

必ず車両の適切なジャッキポイントにジャッキを設置してください。ジャッキの底面は車両のジャッキポイントの真下に来るように設置してください。

ジャッキアップするときは、以下の注意事項をお守りください。

- 車両をジャッキアップするときは、メルセデス・ベンツにより試験が行われ、承認された車両専用ジャッキのみを使用してください。ジャッキを正しく使用しないと、車両をジャッキアップしている間に倒れることがあります。
- ジャッキは、この車のタイヤ交換で一時的に車両をジャッキアップするただけに設計されています。車両の下回りのメンテナンス作業を行なう目的には適していません。
- 上り坂や下り坂でのタイヤ交換は行わないでください。
- 車両をジャッキアップする前にパーキングブレーキを効かせて輪止めをし、

車両が動き出さないように固定してください。車両をジャッキアップしている間は絶対にパーキングブレーキを解除しないでください。

- ジャッキは、固く平らで滑らない地面の上に設置してください。柔らかい地面の上では、大型の耐荷重マットを使用してください。滑りやすい地面の上では、ラバーマットなどの滑り止めマットを敷いてください。
- ジャッキの下に木片などを置いてジャッキアップしないでください。ジャッキの高さ制限による耐荷重性能を得られない可能性があります。
- タイヤの下面と地面との間の距離が3 cmを超えていないことを確認してください。
- ジャッキアップした車両の下には絶対に手または足を入れないでください。
- ジャッキアップした車両の下には絶対に身体を入れないでください。
- ジャッキアップした状態で絶対にエンジンを始動しないでください。
- ジャッキアップした状態では絶対にドアやトランクリッドを開閉しないでください。
- ジャッキアップした状態で車両に人が乗っていないことを確認してください。



ホイールトリム付きスチールホイール

- ▶ **スチールホイール装備車**：ホイールトリム開口部2箇所慎重に手を伸ばし、ホイールトリムを取り外します。



- ▶ ホイールレンチ ① を使用して、交換するタイヤのホイールボルトを約 1 回転緩めます。この時点では、ホイールボルトを完全に緩めません。



ジャッキポイントは、前輪のすぐ後ろと、後輪のすぐ前にあります (矢印)。



フロント側のカバー (例：AMGスポーツパッケージ装備車)

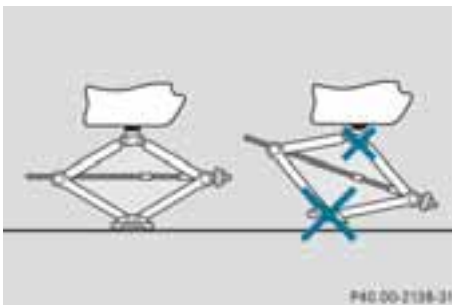
- ▶ **AMG車とAMGスポーツパッケージ装備車**：車体を保護するため、サイドスカートに設けられたジャッキポイントにカバーが付いています。



- ▶ AMG車とAMGスポーツパッケージ装備車：カバー ② を上方に引き上げます。
- ▶ 車載工具からタイヤ交換ツールキットのラチェットレンチを取り出して、AUF の文字が見えるようにジャッキの六角ナットの上に置きます。



- ▶ ジャッキ ③ をジャッキポイント ② の位置に合わせます。



- ▶ ジャッキの底面がジャッキポイントの真下にくるように設置してください。
- ▶ ジャッキ ③ がジャッキポイント ② に完全にはまり、ジャッキの底面が地面に均一に接地するまでラチェットレンチ ④ をまわします。
- ▶ ラチェットレンチ ④ をまわし、タイヤが地面から約 3 cm 離れるまでジャッキアップします。

## 車輪の取り外し

- ❗ 砂などの異物が付着しないように注意してください。ホイールボルトをねじ込む時に、ボルトやハブのネジ山が損傷するおそれがあります。
- ▶ ホイールボルトを緩めます。
- ▶ タイヤを取り外します。

## 新しい車輪の取り付け

### ⚠ 警告

オイルやグリースが付着したホイールボルトまたは損傷したホイールボルト/ハブのネジ山は、ホイールボルトが緩む原因になります。その結果として、走行中にホイールが緩むおそれがあります。事故発生の危険性があります。

ホイールボルトには、絶対にオイルやグリースを塗布しないでください。ネジ山が損傷している場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。損傷したホイールボルトまたはハブのネジ山を切り直してください。それ以上は走行を続けしないでください。

### ⚠ 警告

車両をジャッキアップしている時にホイールボルトまたはホイールナットを締め付けると、ジャッキが倒れることがあります。負傷の危険性があります。

車両が接地している場合のみ、ホイールボルトまたはホイールナットを締め付けてください。

"タイヤの交換" (p. 339 ページ) にある指示や安全上の注意に常に注意を払ってください。

ホイールボルトは、必ずホイールと車両に適合した製品を使用してください。安全のため、ホイールボルトは純正品または承認されている製品を使用することをお勧めします。



- ▶ ホイールおよびハブの接合面の汚れを拭き取ります。
- ▶ 新しいタイヤをホイールハブに取り付け、押し込みます。
- ▶ ホイールボルトを取り付けて、手締めします。

## 車両を下げる

### ⚠ 警告

ホイールナットやボルトが規定の締め付けトルクで締め付けられていないと、ホイールが緩むおそれがあります。事故発生の危険性があります。

タイヤを交換した後で、直ちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で、締め付けトルクの点検を受けてください。



- ▶ **AB** の文字が見えるようにジャッキの六角ナットにラチェットレンチを置きます。
- ▶ 車両が再度しっかりと接地するまでラチェットレンチをまわします。
- ▶ ジャッキを横に置きます。
- ▶ 示されている順番 (① ~ ⑤) で対角パターンで、ホイールボルトを均一に締めます。締め付けトルクの規定値は **130 Nm** です。
- ▶ ジャッキをまわして元の状態に戻します。
- ▶ ジャッキとその他の車載ツールを車両に再び収納します。
- ▶ 新しく取り付けしたタイヤの空気圧を点検し、点検結果に応じて調整します。指定タイヤ空気圧を遵守してください (▷ 336 ページ)。

## ホイールとタイヤの組み合わせ

### 全体的な注意事項

**■** 安全に走行するため、タイヤとホイールは必ず純正品および承認されている製品を使用してください。

それらのタイヤは、ABSやESP® などのコントロールシステムに適應しており、以下のマークが付いています。

- MO = Mercedes-Benz Original
- MOE = Mercedes-Benz Original Extended(ランフラットタイヤ)
- MO1 = Mercedes-Benz Original(特定のAMGタイヤ)

ランフラットタイヤ(MOExtended)は、純正品および承認されたホイールだけに装着できます。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリを使用しないでください。車両操縦性や騒音、排出ガス、燃料消費などに悪影響を与えるお

それがあります。また、乗車人数や荷物が増えた場合などには、タイヤやホイールが車体やサスペンションに接触するおそれがあり、タイヤや車両の損傷につながるおそれがあります。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリーを装着した場合は、損傷が生じても保証の対象外になります。

タイヤやホイール、指定された組み合わせなどに関して、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

**1** 再生タイヤは、元の損傷状態を確認することが難しいため、使用をお勧めできません。再生タイヤを装着した場合、安全性の保証はできなくなります。中古タイヤは、過去の使用状況が確認できない場合は装着しないでください。

**1** 大径ホイール：特定のホイールサイズの断面幅が減少すると、悪路での乗り心地が低下します。走行快適性および安定性が低下し、さらに路面の障害物を乗り越える際にホイールやタイヤへの損傷リスクが高くなります。

下記のタイヤ一覧表にある略号

- BA：前後の車輪
- FA：前輪
- RA：後輪

さまざまな使用条件での推奨タイヤ空気圧の表は、車両の燃料給油口の内側にあります。タイヤ空気圧について、詳しくは (p 336 ページ) を参照してください。タイヤ空気圧の点検は定期的に、タイヤが冷えている状態で行なってください。タイヤとホイールは、以下の点を確認して正しく装着してください。

- 左右には必ず同サイズのタイヤを装着してください。
- サマータイヤ、ウィンタータイヤ、MOExtendedタイヤ (ランフラット

タイヤ) など、異なる種類のタイヤを同時に装着しないでください。

例外：パンクした場合は、違う種類、違う銘柄の使用が認められています。MOExtendedタイヤ (ランフラットタイヤ) (p 312 ページ) を遵守してください。

MOExtendedタイヤ装備車には、タイヤフィットを標準装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

以下の表で、ホイール/タイヤの組み合わせはV1、V2などの区分で車種に割り当てられます。

V 1	CLA 180
V 2	CLA 250、CLA 250 4MATIC
V 3	CLA 45 AMG 4MATIC

**i** すべてのホイール/タイヤの組み合わせが、すべての国の工場で装着できるわけではありません。

## タイヤ

	サマータイヤ	軽量アルミホイール	V 1	V 2	V 3
BA	205/55 R16 91 W <sup>9</sup>	6.5 J x 16 H2 ET 49	●	—	—
BA	225/45 R17 91 V <sup>10</sup>	7.5 J x 17 H2 ET 52.5	●	●	—
BA	225/45 R17 91 W <sup>9, 10</sup>	7.5 J x 17 H2 ET 52.5	●	●	—
BA	225/40 R18 92 Y XL <sup>9, 10, 11</sup>	7.5 J x 18 H2 ET 52	●	●	—
BA	235/40 ZR18 95 Y XL <sup>10</sup>	8.0 J x 18 H2 ET 48	—	—	●
BA	235/35 ZR19 91 Y XL <sup>10</sup>	8.0 J x 19 H2 ET 48	—	—	●

## ホイールとタイヤ

	ウィンタータイヤ	軽量アルミホイール	V 1	V 2	V 3
BA	205/55 R16 91 H M+S  <sup>9</sup>	6.5 J x 16 H2 ET 49	●	—	—
BA	205/50 R17 93 H XL M+S  <sup>9</sup>	6.5 J x 17 H2 ET 49	●	●	—
BA	215/45 R18 93 V XL M+S 	7.5 J x 18 H2 ET 44	—	—	●
BA	235/40 R18 95 V XL M+S  <sup>10</sup>	8.0 J x 18 H2 ET 48	—	—	●

## 応急用スペアタイヤ

## 重要な安全上の注意事項

 警告

スペアタイヤまたは応急用スペアタイヤと、交換した車輪のホイールまたはタイヤのサイズやタイヤの種類は異なることがあります。スペアタイヤ/応急用スペアタイヤを装着すると、走行特性が著しく

損なわれることがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるために

- 適宜運転スタイルを合わせ、慎重に運転してください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤを1つ以上装着しないでください

<sup>9</sup> MOExtendedタイヤとしても利用可能

<sup>10</sup> スノーチェーンは装着できません。"スノーチェーン"の注意事項を遵守してください。

<sup>11</sup> "ホイール/タイヤの組み合わせ"の"大型ホイール"の注意事項を遵守してください。

- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤは一時的にのみ使用してください
- ESP® をオフにしないでください
- サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤは最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。ホイールとタイヤのサイズがタイヤの種類とともに正しいことに注意してください。

サイズの異なる応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤを使用するときは、最高速度 80 km/h を超えてはいけません。スノーチェーンは応急用スペアタイヤには装着しないでください。

### 全体的な注意事項

**①** 国による仕様の違いとは別に、車両には応急用スペアタイヤは装備されていません。応急用スペアタイヤは、車両専用のもので、車両に承認された応急用スペアタイヤに関する詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

特に長距離走行の前には、応急用スペアタイヤを含めて、すべてのタイヤの空気圧を定期的に点検し、必要に応じて空気圧を調整してください(▷ 336 ページ)。ホイールまたは"ホイールとタイヤ"に記載されている値 (▷ 348 ページ) は有効です。

**①** 応急用スペアタイヤを装着して走行する場合は、タイヤ空気圧警告システムは確実に機能しないことがあります。不具合のある車輪を新しい車輪に交換したときのみ、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

ただし、応急用スペアタイヤは回転方向とは逆に装着することができます。応急用スペアタイヤに記載されている使用制

限時間と制限速度を守って正しく使用してください。

摩耗の程度に関わらず、6年以上経過したタイヤは新品と交換してください。これは応急用スペアタイヤにも該当します。

### 応急用スペアタイヤの取り外し



応急用ミニスペアタイヤ装備車

応急用ミニスペアタイヤは応急用スペアタイヤのバッグ①に収納され、トランクに固定されています。

- ▶ トランクリッドを開きます。
- ▶ 応急用スペアタイヤのバッグ ① の荷物固定用ストラップ ② を外します。
- ▶ 応急用ミニスペアタイヤと応急用スペアタイヤのバッグ ① を取り外します。
- ▶ 応急用スペアタイヤのバッグ①を開け、応急用ミニスペアタイヤを取り出します。

"タイヤの取り付け"(▷ 340 ページ)の説明および安全上の注意を遵守してください。

## サービスデータ

応急用ミニスペアタイヤ

タイヤ

スチールホイール

T  
125/80 R17 99  
M3.5 B x 17 H  
2 ET 19.5タイヤ空気圧：  
420 kPa  
(4.2 bar/61 psi)

役に立つ情報 .....	350
車両の電子制御部品 .....	350
ビークルプレート .....	350
サービスプロダクトと容量 .....	351
車両データ .....	356

## 役に立つ情報

**i** この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。国別仕様の違いがあることもあります。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

**i** メルセデス・ベンツ指定サービス工場でご覧ください。(▷ 23 ページ)



例：ビークルプレート（右ハンドル車）

- ▶ 運転席ドアを開きます。  
ビークルプレート ① が確認できます。

## 車両の電子制御部品

## エンジン電子制御部品の改造

**!** コントロールユニット、センサー、コネクターケーブルなど、電子制御部品およびその関連部品に関わる点検整備や修理などの作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。車両の構成部品が通常より早く摩耗したり、車両の使用許可が無効になることがあります。



例：ビークルプレート

② VIN

**i** 車両の識別プレートに記載されたデータは一例です。このデータは車両ごとに異なりますので、ここに示すデータとは異なることがあります。お客様の車両に該当するデータは、車両の識別プレートで確認できます。

## 無線機の装着（RF送信機）

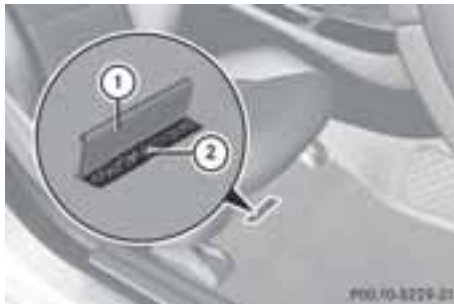
RF送信機の取付けについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

## ビークルプレート

## 車台番号（VIN）のあるビークルプレート



## 車台番号



- ▶ 右側前席をいっぱいまで後方に動かします。
- ▶ 右フロントシート前方のフロアカバー ① をめくり上げます。  
車台番号 ② が確認できます。

車台番号はビークルプレートでも確認できます。(▶ 350 ページ)

## エンジン番号

エンジン番号は、エンジンブロックに打刻されています。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

## サービスプロダクトと容量

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

サービスプロダクトは健康に有害で危険です。けがの危険性があります。

サービスプロダクトの使用、保管および廃棄については、それぞれ元の容器のラベルの指示を遵守してください。サービスプロダクトは必ず元の容器に密閉して保管してください。サービスプロダクトは必ず子供の手の届かないところに保管してください。

#### 🌿 環境

燃料および油脂は、環境汚染を配慮して、廃棄処分してください。

サービスプロダクトには以下のものが含まれます。

- 燃料
- 潤滑剤（エンジンオイル、オートマチックトランスミッションオイルなど）
- 冷却水
- ブレーキ液
- ウォッシャー液
- エアコンディショナーの冷媒

構成部品とサービスプロダクトは適合していなければなりません。メルセデス・ベンツが承認するもののみを使用してください。これらの製品は、本書の該当するセクションに記載されています。

メルセデス・ベンツが承認するサービスプロダクトは、容器に以下のようなマークが付いています。

- MB-Freigabe ( MB-Freigabe 229.51 など)
- MB Approval ( MB Approval 229.51 など)

これ以外のマークや記載は、MBシート番号 (MB 229.5 など) に準拠した品質レベルまたは仕様を示しています。これらは、メルセデス・ベンツによる承認は必要としません。

さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

#### 燃料

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジン、当てはまる場合は補助ヒーターを停止します。

### ⚠ 警告

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲まないこと、また目や衣服に付着させないでください。燃料の気体を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹼および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

## タンク容量

モデル	全容量
4MATIC装備モデル	約56.0 L
他の全モデル	約50.0 L

モデル	予備タンク容量
AMG車	約8.0 L
他の全モデル	約6.0 L

## ガソリン

### 燃料のグレード

❗ ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグ

ニッションをオンにしないでください。さもないと、燃料が燃料システムに入っておそれがあります。少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統から完全に抜き取ってください。

❗ 最低95 RONの無鉛ガソリンのみを使用して給油してください。

そうしないと、エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷する原因になります。

❗ 必ず指定の燃料を使用してください。その他の燃料で車両を操作すると、エンジンの不具合の原因になります。

❗ 以下のような燃料を使用しないでください。

- E85 (エタノール配合率85%のガソリン)
- E100 (エタノール100%)
- M15 (メタノール配合率15%のガソリン)
- M30 (メタノール配合率30%のガソリン)
- M85 (メタノール配合率85%のガソリン)
- M100 (メタノール100%)
- ガソリンと金属を含有する添加物
- ディーゼル

このような燃料を車両に推奨されている燃料とは決して混合しないでください。添加剤を使用しないでください。エンジンの損傷につながるおそれがあります。ただし、スラッジの生成を抑制・除去する効果のある添加剤を除きます。ガソリンにはメルセデス・ベンツで推奨された添加剤のみを混合してください。"添加剤"をご覧ください。さらなる情報はメ

ルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

通常、燃料のグレードは給油ポンプに記載されています。給油ポンプにラベルが見当たらないときは、ガソリンスタンドのスタッフにおたずねください。

**i** E10には最大10%のバイオエタノールが含まれています。お客様の車両はE10燃料の使用に適しています。E10燃料を使用してお客様の車両に給油することができます。

**i** 推奨燃料が使用できない場合は、一時的な手段としてオクタン価が91 RONの無鉛ガソリンを使用することもあります。これにより、エンジンの性能が低下したり、燃料消費が増加することがあります。フルスロットルでの走行および急な加速は避けてください。決して、91 RON 以下の燃料を給油しないでください。

給油に関する情報は (▷ 160 ページ) をご覧ください。

## AMG車

**!** 燃料を給油するときは、最低98 RONの無鉛プレミアムガソリンを使用してください。

指定以外の燃料を給油すると、エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷するおそれがあります。

**!** 緊急時で指定燃料が入手できないときに限り、91 RON無鉛レギュラーガソリンも使用できます。

その結果燃料消費量が著しく増大し、エンジン出力は著しく低下します。アクセルをいっぱい踏み込んで運転するのは避けてください。

91 RONあるいはそれ以下のグレードのガソリン以外の燃料しか入手できない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス

工場でその燃料で走行するために必要な車両の調整を受けてください。

## 添加剤

**!** 燃料添加剤を後で加えてエンジンを作動させると、エンジン故障につながるおそれがあります。燃料に燃料添加剤を混ぜないでください。これには、生成堆積物除去および防止のための添加剤は含まれません。ガソリンにはメルセデス・ベンツにより承認された添加物のみを混合してください。製品の容器に記載の使用上の注意をお守りください。推奨添加剤に関するさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場です。

メルセデス・ベンツは、添加剤がある燃料ブランドの使用を推奨します。

一部の国で市販されている燃料の中には、品質の劣るものがあります。このような燃料を使用すると、エンジン内部にスラッジが形成されるおそれがあります。その場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談のうえ、純正の洗浄添加剤をガソリンに注入してください (部品番号 A000989254512)。製品の容器に記載された注意事項と配合率をお守りください。

## 燃料消費に関する情報

### ⊕ 環境に関する注意

CO<sub>2</sub> (二酸化炭素) の排出は、地球温暖化の主な原因となります。車両のCO<sub>2</sub> 排出量は、燃料消費と直接関係があり、以下の条件によって変化します。

- エンジンの燃焼効率
- 走行スタイル
- 環境の影響や道路状況、交通の流れのような、技術的ではない他の要因

緩やかな運転を心がけ、定期的に点検整備を行なうことにより、CO<sub>2</sub> 排出量を最小限に抑えることができます。

以下のような状況では、燃料消費量が増加します。

- ・外気温が非常に低いとき
- ・市街地を走行するとき
- ・短距離を走行するとき
- ・山道や坂道を走行しているとき

## エンジンオイル

### 全体的な注意事項

エンジンオイルを取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意を遵守してください (p. 351 ページ)。

エンジンオイルの性質は、エンジンの性能や使用寿命に大きな影響を与えます。広範囲に渡る試験の末、メルセデス・ベンツでは最新の技術基準に適合するエンジンオイルのみを指定しています。

そのため、メルセデス・ベンツ車のエンジンには必ず承認されたエンジンオイルを使用してください。

承認された指定のエンジンオイルについて、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。エンジンオイルの交換はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことを、メルセデス・ベンツはお勧めします。

### 容量

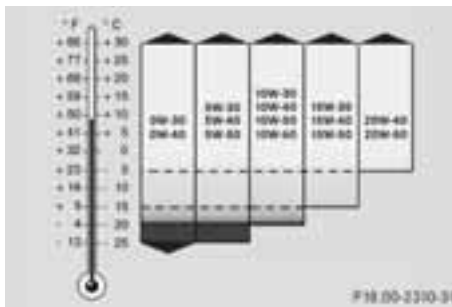
以下の容量は、オイルフィルター分を含むオイル交換時の参考数値です。

モデル	交換時の容量
CLA 180	約5.8 L
CLA 250 CLA 250 4MATIC	約5.6 L
CLA 45 AMG 4MATIC	約5.5 L

### 添加剤

❗ エンジンオイルに添加剤を使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

### エンジンオイルの粘度



粘度は、液体の流動性を示します。粘度が高いエンジンオイルはゆっくりと流れます。粘度が低いほど流れる速度が速くなります。

エンジンオイルは、外気温度に応じて適切なSAEグレード（粘度）のものを選択してください。上の表は、外気温度に適したエンジンオイルのSAEグレードを示しています。低温の環境では、使用に伴う劣化や煤、添加剤などによりエンジンオイルの特性が著しく損なわれます。そのため、適切なSAEグレードで承認されたエンジンオイルを使用して、定期的なオイル交換を行なってください。

### ブレーキ液

#### ⚠ 警告

ブレーキ液は使用している間に大気中の湿気を吸収して劣化します。ブレーキ液の沸点を下げます。ブレーキ液の沸点が低すぎる場合、ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ液が沸騰して気泡が発生します。ブレーキ液が劣化しベーパーロックが起ると、ブレーキの性能が損なわれます。事故の危険性があります。

ブレーキ液は、定期的にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

ブレーキ液 (▷ 351 ページ) を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意を遵守してください。

ブレーキ液の交換時期は、整備手帳で確認してください。

承認されたブレーキ液に関する情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

**i** ブレーキ液はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で定期的に交換して下さい。

## 冷却水

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災およびけがの危険性があります。

不凍液を充填する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液で汚れた構成部品を清掃してください。

**!** 冷却水は、必ず弊社指定の不凍液を混合したものを補給してください。エンジンを損傷するおそれがあります。

冷却水についての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

**!** たとえ熱帯地域であっても、必ず適切な冷却水を使用してください。

不適切な冷却水を使用すると、エンジン冷却システムの腐食やオーバーヒートを防ぐことができなくなります。

**i** 冷却水はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で定期的に交換し、点検内容を整備手帳でご確認ください。

冷却水 (▷ 351 ページ) を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意を遵守してください。

冷却水は水と不凍液/防錆剤の混合液です。以下の役割があります。

- 防錆保護
- 凍結防止
- 沸点の上昇

不凍液/防錆剤が適切な濃度の場合、作動中の冷却水の沸点は約 130 °C になります。

エンジン冷却システム内の不凍液/防錆剤の濃度は、

- 50 % 以上にしてください。これにより、約 -37 °C までエンジン冷却システムを凍結から保護します。
- 55 % (-45 °C までの凍結防止保護) を超えないようにしてください。さもないと、熱が効果的に発散しません。

冷却水が不足している場合は、同量の水道水と不凍液/防錆剤を補充してください。

**i** 車両の納車時には、適切な凍結防止および防錆保護を行なうことができる濃度の冷却水が充填されています。

**i** 冷却水は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での定期整備時に点検が行なわれます。

### フロントウインドウウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャー

### 重要な安全上の注意事項

#### ⚠ 警告

ウインドウウォッシャー液の濃縮液は高い可燃性です。熱いエンジン部品または

排気システムに触れると、発火することがあります。火災およびけがの危険性があります。

ウインドウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。

**!** 夏季用や冬季用など、ヘッドライトの樹脂製レンズに適したウォッシャー液のみを使用してください。不適切なウォッシャー液を使用すると、ヘッドライトの樹脂製レンズを損傷するおそれがあります。

**!** 蒸留水や脱イオン水をウォッシャー液リザーブタンクに入れないでください。レベルセンサーを損傷するおそれがあります。

**!** 夏季用および冬季用の純正ウォッシャー液を混合して使用します。純正品以外のウォッシャー液を使用すると、噴射ノズルが詰まるおそれがあります。

ウォッシャー液 (▷ 351 ページ) を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意を遵守してください。

気温が氷点下より高いとき

▶ 夏用のウォッシャー液と水を混ぜて、ウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

夏用のウォッシャー液と水を1：100の混合比に混ぜます。

気温が氷点下のとき

▶ 冬用のウォッシャー液と水を混ぜて、ウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

外気温に応じて混合比を調整してください。

- 約-10 °Cに下がるまで：水の量2に対して冬用ウォッシャー液の量1を混合します。
- 約-20 °Cに下がるまで：水の量1に対して冬用ウォッシャー液の量1を混合します。
- 約-29 °Cに下がるまで：水の量1に対して冬用ウォッシャー液の量2を混合します。

**i** 1年を通して、夏用と冬用のウォッシャー濃縮液を水で薄めたウォッシャー液を使用してください。

## 車両データ

### 全体的な注意事項

記載の車両データについては、以下の点にご注意ください。

- 記載の車高は、以下の条件に応じて異なります。
  - タイヤ
  - 積載状況
  - サスペンションの状態
  - オプション装備品
- オプション装備は最大積載量を減少させます。

## 寸法および重量



P7Z-20-3179-01

モデル	① トランク リッドを開いた ときの高さ (外側)
CLA 180	1745 mm
CLA 250 CLA 250 4MATIC	1749 mm
CLA 45 AMG 4MATIC	1727 mm

## ルーフとトランクの最大荷重

未記載の数値は出版時に確認できなかったものです。

全車種	
ルーフの最大荷重	
トランクの最大荷重	100 kg

## バッテリー

CLA 45 AMG 4MATIC	
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	70 Ah または 80 Ah

## 他の全モデル

バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	80 Ah

## 発行物の詳細

### インターネット

メルセデス・ベンツ車やDaimler AGについてのさらなる情報は、以下のウェブサイトにあります。

<http://www.mercedes-benz.co.jp>

### 編集オフィス

©Daimler AG : Daimler AGの書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複製、翻訳または複製することはできません。

### 自動車製造会社

Daimler AG  
Mercedesstrasse 137  
70327 Stuttgart  
ドイツ





1175841181

Order no. 6515 5210 20 Part no. 117 584 11 81 Edition ÄJ 2013-1a